

館山自動車道
豊成高架橋耐震補強工事
契約参考図書
(率計上項目及び概算数量、図面)

令和7年11月

東日本高速道路株式会社 関東支社
市原管理事務所

- 契約参考図書は、率計上項目や概算数量等を指示する資料であり、設計書第1条にいう設計図書でない。（請負契約上拘束力しない）
- 当該内容は、受注後に協議を開始する項目であるため、内容に関する質問は受付けない。

図 面 目 次

図 面 名	図 番	図 面 名	図 番
1 . 数量総括表(その1～2)	1 ～ 2	34 . 豊成高架橋 (上り線) P9橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	78
2 . 浜野橋 (下り線) A1橋台 施工計画図(参考図)	3	35 . 豊成高架橋 (上り線) P10橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	79
3 . 浜野橋 (下り線) P2橋脚 施工計画図(参考図)(その1～3)	4 ～ 6	36 . 豊成高架橋 (上り線) P12橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	80
4 . 浜野橋 (上下線) 段差防止構造施工計画図(参考図)	7	37 . 姉崎第二橋 (上り線) 排水装置撤去図	81
5 . 浜野橋 (下り線) P2橋脚 耐震連結装置撤去・復旧図(参考図)	8	38 . 姉崎第二橋 (下り線) 排水装置撤去図	82
6 . 村田川橋 (上り線) 防護柵・転落防止柵撤去設置工 平面図	9	39 . 姉崎第二橋 (上り線) 排水装置復旧図	83
7 . 村田川橋 (上り線) A1橋台 撤去・設置工 排水管A 詳細図	10	40 . 姉崎第二橋 (下り線) 排水装置復旧図	84
8 . 村田川橋 (上り線) P2橋脚(A2側) 撤去・設置工 排水管A 詳細図	11	41 . 姉崎第二橋 (上下線) 付帯工 撤去図 (参考図)	85
9 . 村田川橋 (上り線) A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1～3)	12 ～ 14	42 . 姉崎第二橋 (上下線) 付帯工 再設置図 (参考図)	86
10 . 村田川橋 (上り線) P2橋脚(P1側) 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1～3)	15 ～ 17	43 . 姉崎第二橋 (上下線) 仮設防護柵図 (参考図)(その1～2)	87 ～ 88
11 . 村田川橋 (上り線) 護岸撤去・復旧図	18	44 . 大曽根高架橋 (上り線) 排水装置撤去図	89
12 . 加茂橋 (上り線) 防護柵・立入防止柵撤去設置工 平面図	19	45 . 大曽根高架橋 (上り線) 排水装置復旧図	90
13 . 加茂橋 (上り線) P2橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図	20	46 . 大曽根高架橋 (上り線) 下部工検査路撤去図	91
14 . 加茂橋 (上り線) P3橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図	21	47 . 大曽根高架橋 (上り線) 下部工検査路復旧図(その1～2)	92 ～ 93
15 . 加茂橋 (上り線) A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1～2)	22 ～ 23	48 . 大曽根高架橋 (上り線) 付帯工 撤去図(その1～3)	94 ～ 96
16 . 加茂橋 (上り線) A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1～2)	24 ～ 25	49 . 大曽根高架橋 (上り線) 付帯工 再設置図(その1～3)	97 ～ 99
17 . 加茂橋 (上り線) 下水路撤去・復旧図(参考図)(その1～2)	26 ～ 27	50 . 大曽根高架橋 (上り線) P2橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	100
18 . 豊成高架橋 (上り線) 排水装置撤去図(その1～2)	28 ～ 29	51 . 大曽根高架橋 (上り線) P3橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	101
19 . 豊成高架橋 (上り線) 排水装置復旧図(その1～3)	30 ～ 32	52 . 大曽根高架橋 (上り線) P4橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	102
20 . 豊成高架橋 (上り線) 下部工検査路撤去図(その1～3)	33 ～ 35	53 . 大曽根高架橋 (上り線) P5橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	103
21 . 豊成高架橋 (上り線) 下部工検査路復旧図(その1～25)	36 ～ 60	54 . 大曽根高架橋 (上り線) P6橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	104
22 . 豊成高架橋 (上り線) 昇降梯子撤去図	61	55 . 大曽根高架橋 (上り線) P7橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	105
23 . 豊成高架橋 (上り線) 昇降梯子復旧図(その1～2)	62 ～ 63	56 . 大曽根高架橋 (上り線) P8橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	106
24 . 豊成高架橋 (上り線) 付帯工 撤去図(その1～3)	64 ～ 66	57 . 大曽根高架橋 (上り線) P9橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	107
25 . 豊成高架橋 (上り線) 付帯工 再設置図(その1～3)	67 ～ 69	58 . 大曽根高架橋 (上り線) P10橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	108
26 . 豊成高架橋 (上り線) P1橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	70	59 . 大曽根高架橋 (上り線) P11橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	109
27 . 豊成高架橋 (上り線) P2橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	71	60 . 大曽根高架橋 (上り線) P13橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	110
28 . 豊成高架橋 (上り線) P3橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	72	61 . 大曽根高架橋 (上り線) P14橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	111
29 . 豊成高架橋 (上り線) P4橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	73	62 . 大曽根高架橋 (上り線) P15橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	112
30 . 豊成高架橋 (上り線) P5橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	74	63 . 大曽根高架橋 (上り線) P16橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	113
31 . 豊成高架橋 (上り線) P6橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	75	64 . 大曽根高架橋 (上り線) P17橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	114
32 . 豊成高架橋 (上り線) P7橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	76	65 . 大曽根高架橋 (上り線) P18橋脚 仮排水管配置図 (参考図)	115
33 . 豊成高架橋 (上り線) P8橋脚 仮排水管設置図 (参考図)	77		

番 号		1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17
項目名称		コンクリート ブロック積工	コンクリートブロック張工				裏込め砕石	基礎工			集水ます				排水管	検査路	防護柵撤去設置工	
区 分		コンクリートブロック 積み(練) 控35cm	コンクリートブロック 張り(空) 控12cm	コンクリートブロック 張り(空) 控12.5cm	コンクリートブロック 張り(空) 控15cm		コンクリート 基礎工 TypeA	コンクリート 基礎工 TypeB	コンクリート 基礎工 TypeC	TypeA	TypeC	TypeD	TypeE	A	B	ガードレール Gr-A-2E	ガードレール Gr-B-4E	ガードレール Gr-B-2B
単 位		m2	m2	m2	m2	m3	m	m	m	箇所	箇所	箇所	箇所	m	kg	m	m	m
浜野橋	上下線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	16.0	22.0
村田川橋	上り線	-	-	16.6	-	3.3	-	-	-	-	-	-	-	7.6	1,204	-	-	-
加茂橋	上り線	59.0	-	-	57.1	33.9	32.9	23.1	-	-	-	-	-	3.4	120	-	-	-
豊成高架橋	上り線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	1	1	12.5	6,952	-	-	-
姉崎第二橋	上下線	-	465.5	-	-	20.7	-	-	62.1	2	-	-	-	4.5	-	63.1	-	-
大曽根高架橋	上り線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	39.0	131	-	-	-
合 計		59.0	465.5	16.6	57.1	57.9	32.9	23.1	62.1	2	1	1	1	67.0	8,407	63.1	16.0	22.0

番 号		18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34
項目名称		防護柵撤去設置工		立入防止柵 撤去設置工	立入防止柵の出入口 撤去設置工		視線誘導標 撤去設置工	距離標 撤去設置工	緑石工		コンクリート シール工	構造物等取壊し工					立入禁止板 撤去設置工	仮設防護柵工
区 分		ガードレール Gr-C-4E	ガードレール Gr-C-4B	一般型 非積雪地用	一般型 非積雪地用	門扉W=3.0m	A2-1	D2	アスファルト 縁石	工場製 コンクリート 縁石	(t=10cm)	コンクリート 構造物取壊し (TypeA)	コンクリート 構造物取壊し (TypeB)	アスファルト 構造物取壊し (TypeA)	アスファルト 舗装版取壊し (TypeA)	アスファルト 舗装版取壊し (TypeB)		A
単 位		m	m	m	箇所	箇所	基	枚	m	m	m2	m3	m3	m3	m2	m2	枚	m
浜野橋	上下線	-	-	15.5	1	-	-	-	-	8.1	24.3	4.1	-	-	3.5	-	-	55.0
村田川橋	上り線	15.0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2.1	0.8	-	-	-	-	-
加茂橋	上り線	-	12.5	37.9	-	-	-	-	-	-	-	34.9	10.5	-	-	-	-	-
豊成高架橋	上り線	-	-	285.0	4	-	-	-	-	-	-	2.3	0.3	-	-	3.3	8	-
姉崎第二橋	上下線	-	-	-	-	-	2	4	63.1	-	39.6	72.9	0.1	1.4	-	-	-	-
大曽根高架橋	上り線	27.0	-	178.3	4	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	7.9	5	-
合 計		42.0	12.5	516.7	9	2	2	4	63.1	8.1	63.9	116.3	11.7	1.4	3.5	11.2	13	55.0

館山自動車道 村田川橋新設補強工事			
図面の種類	数量総括表(その1)		
縮 尺	—	図面番号	/
設計会社名			
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

番 号		35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	49	50	51
項目名称		仮設防護柵工	撤去工		撤去・設置工													
区 分		B	排水管A	検査路B	PuL・0. 30・ 0. 30	PuL・0. 45・ 0. 45	PuL・0. 60・ 0. 60	PuL (CH1) ・ 0. 40・0. 40	Dv-PuL・ 0. 30・0. 30 (5)	P (H) ・2・ φ 0. 40 (Sd-B)	クレーン ^ク 蓋	排水管A	検査路B	排水管 VP φ 60	耐震連結装置	車止め Type-A	車止め Type-B	車止め Type-C
単 位		m	m	kg	m	m	m	m	m	m	枚	m	kg	m	基	基	基	基
浜野橋	上下線	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2	-	-	-
村田川橋	上り線	-	7. 4	524	-	-	-	-	-	-	-	8. 7	1, 860	-	-	3	1	2
加茂橋	上り線	-	4. 0	30	-	-	-	-	-	-	-	14. 1	1, 526	-	-	-	-	-
豊成高架橋	上り線	-	4. 5	1, 743	179. 0	6. 4	17. 2	4. 3	-	3. 5	1	165. 5	2, 779	-	-	-	-	-
姉崎第二橋	上下線	168. 0	-	-	65. 4	-	-	-	4. 0	-	-	15. 9	-	6. 0	-	-	-	-
大曽根高架橋	上り線	-	-	28	75. 5	-	-	-	-	-	-	100. 2	437	-	-	-	-	-
合 計		168. 0	15. 9	2, 325	319. 9	6. 4	17. 2	4. 3	4. 0	3. 5	1	304. 4	6, 602	6. 0	2	3	1	2

番 号		52	53	54	55	56	57	58	59	60	61	62	63	64	65	66	67	68
項目名称		撤去・設置工			埋戻し工	舗装復旧工		L型街渠	路盤撤去 復旧工									
区 分		転落防止柵	案内標識	用地境界杭	無収縮モルタル	A	B											
単 位		m	基	本	m2	m2	m2	m	m3									
浜野橋	上下線	-	-	-	-	3. 5	-	6. 4	3. 6									
村田川橋	上り線	14. 1	-	-	2. 03	-	-	-	-									
加茂橋	上り線	-	-	-	-	-	-	-	-									
豊成高架橋	上り線	-	-	14	-	-	3. 3	-	-									
姉崎第二橋	上下線	-	1	-	-	-	-	-	-									
大曽根高架橋	上り線	-	-	-	-	-	7. 9	-	-									
合 計		14. 1	1	14	2. 03	3. 5	11. 2	6. 4	3. 6									

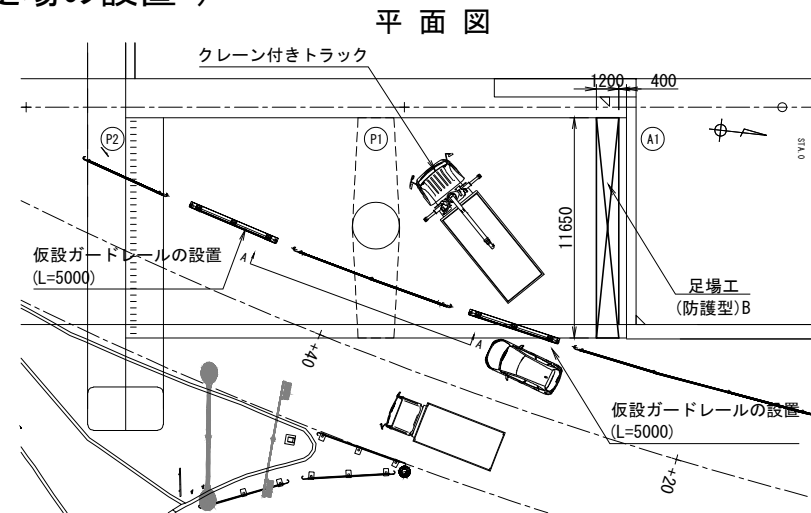
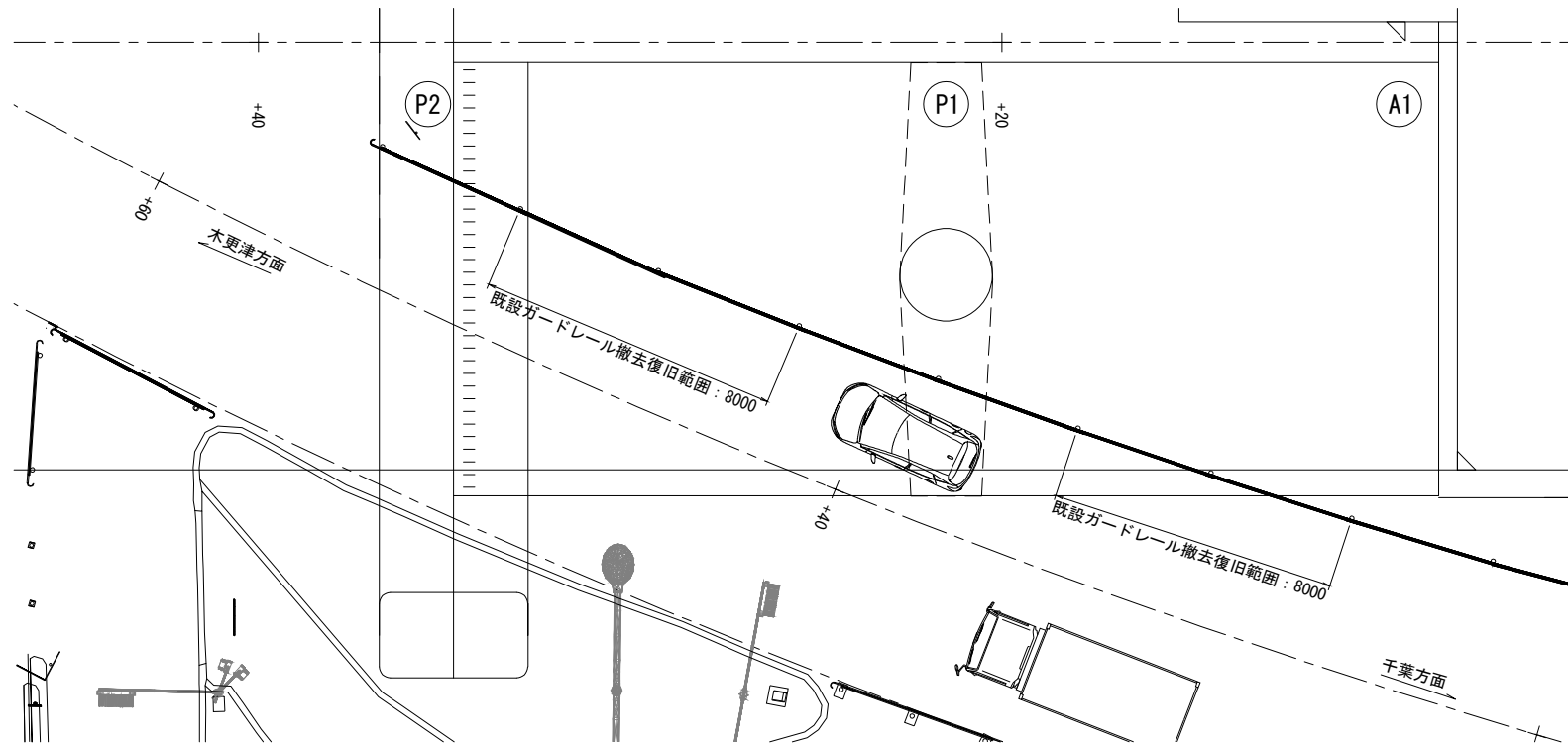
浜野橋（下り線）A1橋台 施工計画図(参考図)

(資機材の搬入搬出、枠組足場の設置)

3 / 115

施工要領図 S=1:400

施工平面図 S=1:200



側面図
(A1橋台枠組足場)

<施工順序>

<STEP 1>
・既設Grの撤去
・仮設Grの設置

<STEP 2>
・工事用車両の進入
・足場の設置、撤去
・落橋防止構造の設置

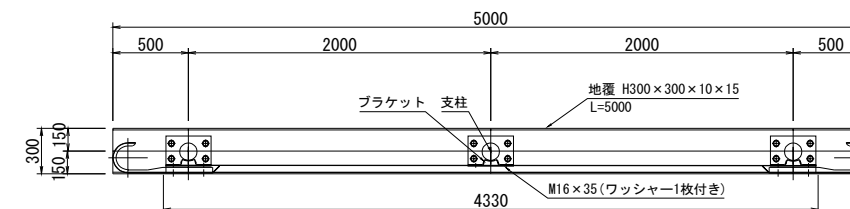
<STEP 3>
・工事用車両の退出
・Grの復旧
・仮設Grの撤去

ガードレール配置図(A - A)

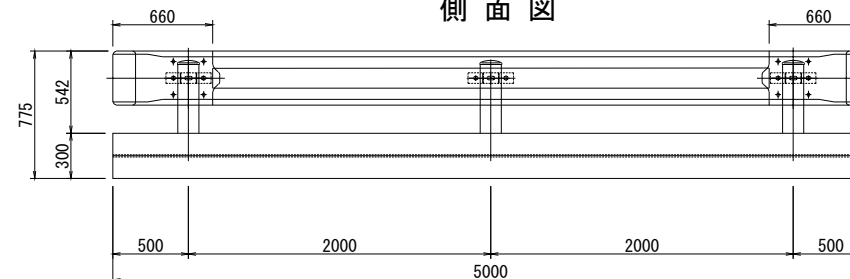


仮設ガードレール詳細図 S=1:50

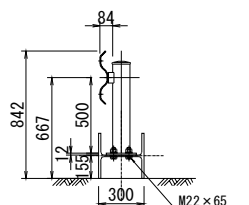
平面図



側面図



断面図



注記)

1. 既設ガードレールの諸元は現地状況(路線や支柱間隔)から推定している。施工前には道路管理者と協議し、道路規格や設置するガードレール規格について確認すること。
2. 既設ガードレールの撤去は交通規制等を行わないで行う計画であるが、必要に応じて交通規制を行うこと。
3. 既設ガードレールは支柱間隔4mである。そのため支柱を存置させた状態で工事用車両を進入させた場合、衝突等が考えられるため、出入口付近の支柱は撤去する。(出入口とならないP1橋脚前面のGrは存置とする)
4. 復旧するガードレールは、既設ガードレールと同等規格を想定している。
5. 本図は既存の測量平面図を基本としているが、一部平面情報が不足する範囲については、航空写真より再現している。施工前には現地状況を確認すること。

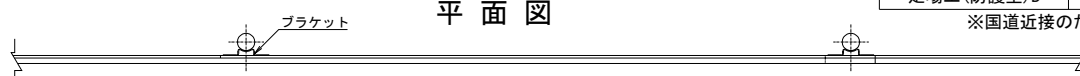
数量一覧表

項目名称	区 分	単位	数量	備考
防護柵撤去設置工	ガードレール Gr-B-4E	m	16.0	
仮設防護柵工	A	m	10.0	
足場工(防護型)B		空m ³	93.9	

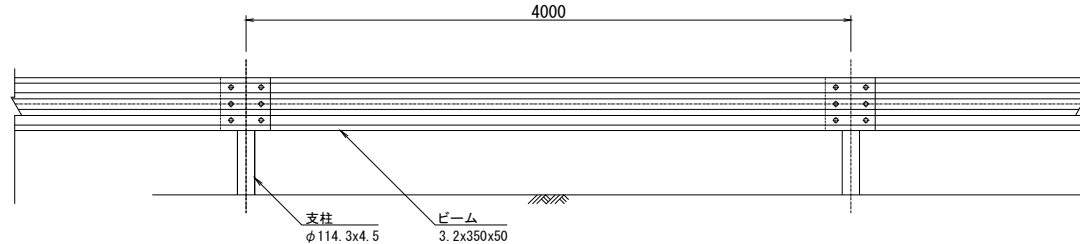
※国道近接のため防護型にする。

復旧ガードレール詳細図 S=1:50

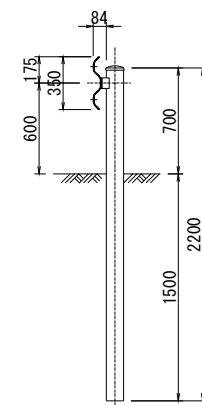
平面図



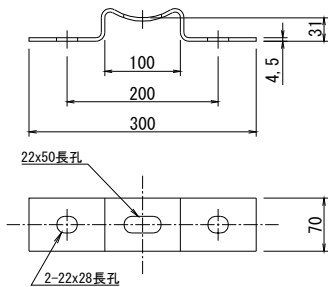
側面図



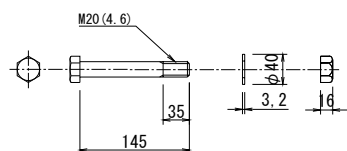
断面図



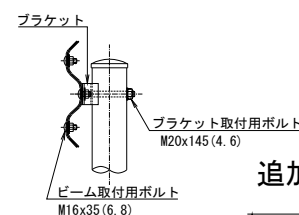
ブラケット S=1:10



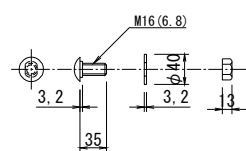
ブラケット取付用ボルト S=1:10



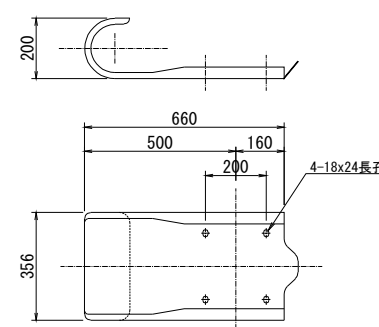
取付詳細図 S=1:25



ビーム取付用ボルト S=1:10



追加袖ビーム詳細図 S=1:25



仮設ガードレール部材数量表

部材名	規格	長さ(mm)	員数	質量(kg)	L=5000あたり	
					1基数	質量(kg)
主材	H300×300×10×15	5000	1	500	1	500.00
主ビーム	Gr-B-2B	4330	1	45.5	1	45.50
袖ビーム	Gr-B-2B	660	1	6.56	2	13.12
支柱	φ114.3×4.5	600	1	7.6	3	22.80
ベースプレート	PL12×200×300		1	5.65	3	16.95
ブラケット	4.5×70×300		1	0.93	3	2.79
ブラケット取付ボルト	BN M20×145		1	0.53	3	1.59
ビーム取付ボルト	BN M16×35		1	0.12	14	1.68
支柱取付ボルト	BN M22×65		1	0.35	12	4.20
					合計	609.00

追加袖ビーム部材数量表

部材名	規格	長さ(mm)	員数	質量(kg)	箇所	質量(kg)
袖ビーム	Gr-B-2B	660	1	6.56	4	26.24
ビーム取付ボルト	BN M16×35		4	0.12	4	1.92
					合計	28.16

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浜野橋（下り線） A1橋台 施工計画図(参考図)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NIX JAPAN 株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

浜野橋（下り線）P2橋脚 施工計画図(参考図)(その1)

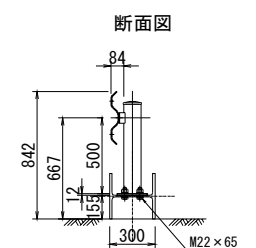
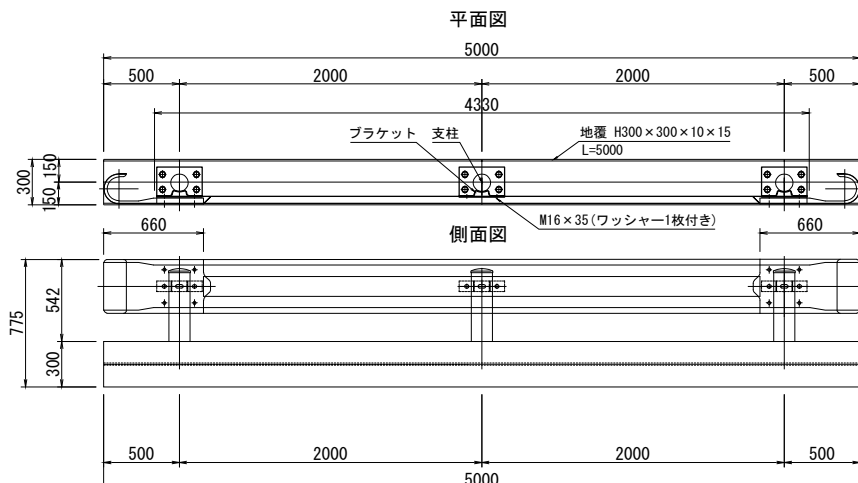
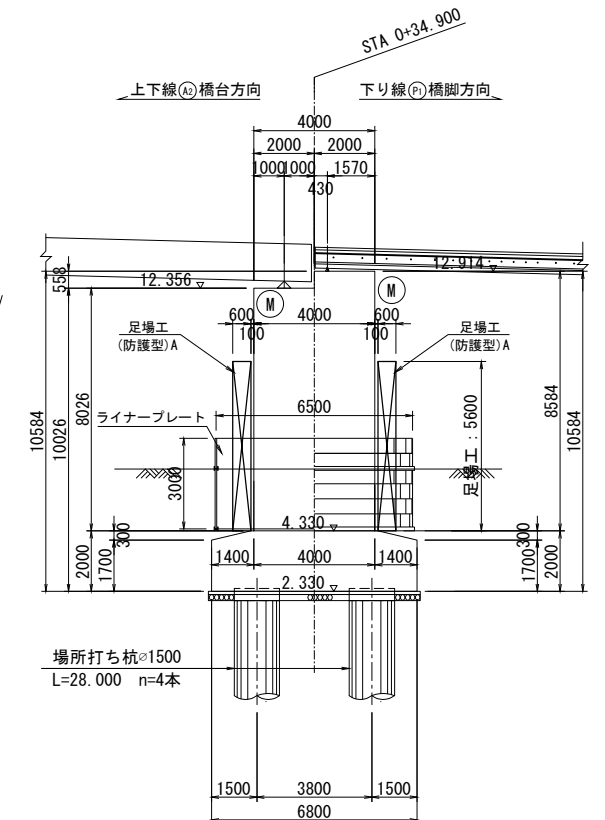
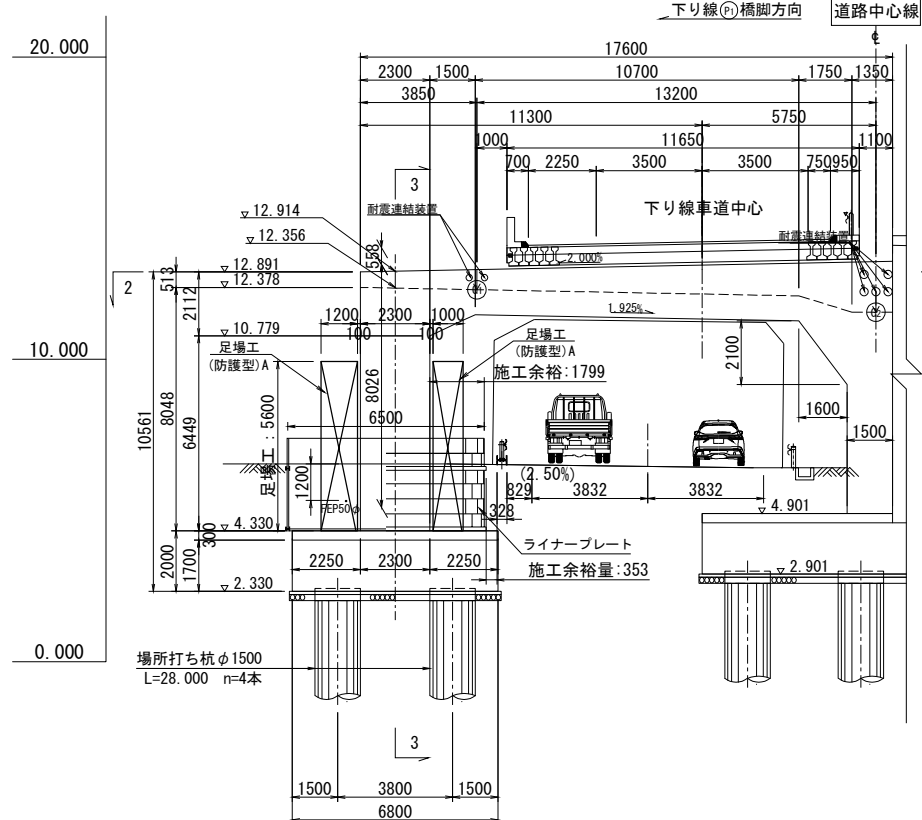
S=1:250

(柱補強時)

仮設ガードレール詳細図 S=1:50

正面図(1-1)

断面図(3-3)



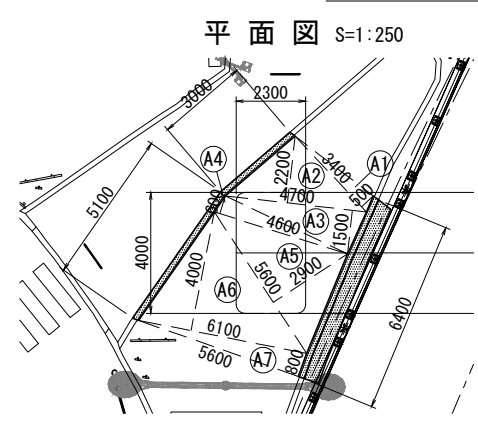
仮設ガードレール部材数量表

部材名		規格	長さ(mm)	員数	質量(kg)	1基数	質量(kg)
主材		H300×300×10×15	5000	1	500	1	500.00
主ビーム		Gr-B-2B	4330	1	45.5	1	45.50
袖ビーム		Gr-B-2B	660	1	6.56	2	13.12
支柱		φ114.3×4.5	600	1	7.6	3	22.80
ベースプレート		PL12×200×300		1	5.65	3	16.95
ブラケット		4.5×70×300		1	0.93	3	2.79
ブラケット取付ボルト		BN M20×145		1	0.53	3	1.59
ビーム取付ボルト		BN M16×35		1	0.12	14	1.68
支柱取付ボルト		BN M22×65		1	0.35	12	4.20
						合計	609.00

数量一覧表

項目名称	区分	単位	数量	備考
緑石工	工場製コンクリート緑石	m	8.1	
コンクリートシール工	t=10cm	m ²	24.3	
構造物等取壊し	コンクリート構造物取壊し(TypeA)	m ³	4.1	
	アスファルト舗装版取壊し(TypeA)	m ²	3.5	
仮設防護欄工	A	m	20.0	
舗装復旧工	A	m ²	3.5	
L型街渠		m	6.4	
路盤撤去復旧工		m ³	3.6	
足場工(防護型)A		空m ²	61.3	

アイランド撤去復旧図



No.	底辺	高さ	倍面積	面積
A1	3.40	0.50	1.70	0.85
A2	4.70	2.20	10.34	5.17
A3	4.70	1.50	7.05	3.53
A4	4.60	0.60	2.76	1.38
A5	5.60	2.90	16.24	8.12
A6	6.10	4.00	24.40	12.20
A7	5.60	0.80	4.48	9.20
小計				33.49
〔既設橋脚躯体控除〕				
控除	2.30	4.00		9.20
計	ΣA - 控除			24.29

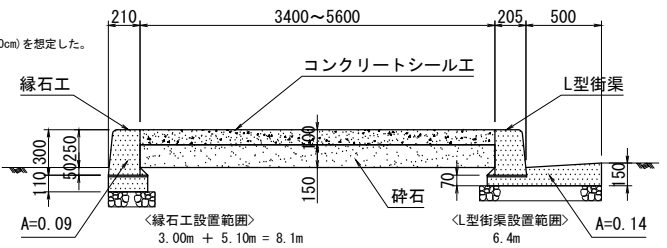
<コンクリートシール工>
24.29m² × 0.10m = 2.43m³
※現況コンクリートシール(t=10cm)を想定した。

<路盤撤去復旧工>
24.29m² × 0.15m = 3.64m³

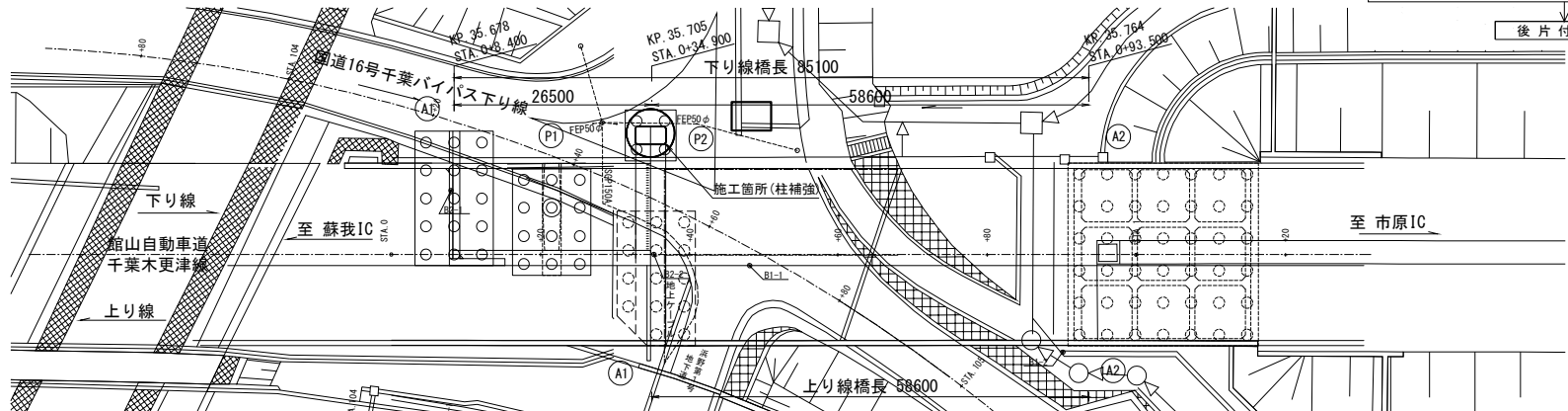
舗装構成表(復旧時)

名称	仕上厚	材名、規格
表層	3cm	細粒度アスファルト
路盤	10cm	再生クラッシャーラン RC40
計	13cm	

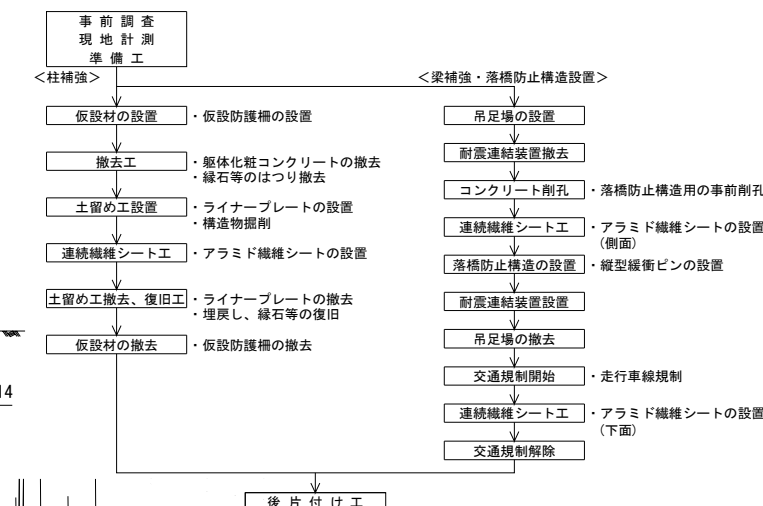
断面図 S=1:50



全体位置図 S=1:1000



全体施工フロー図



注記
・本図面は竣工図面および点群測量に基づき作成している。
・施工前には事前に現地計測等を行い、現況との整合確認を行うこと。

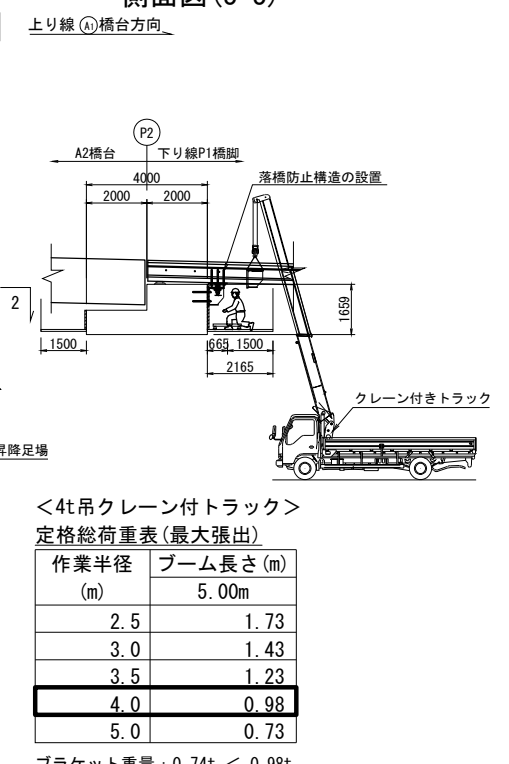
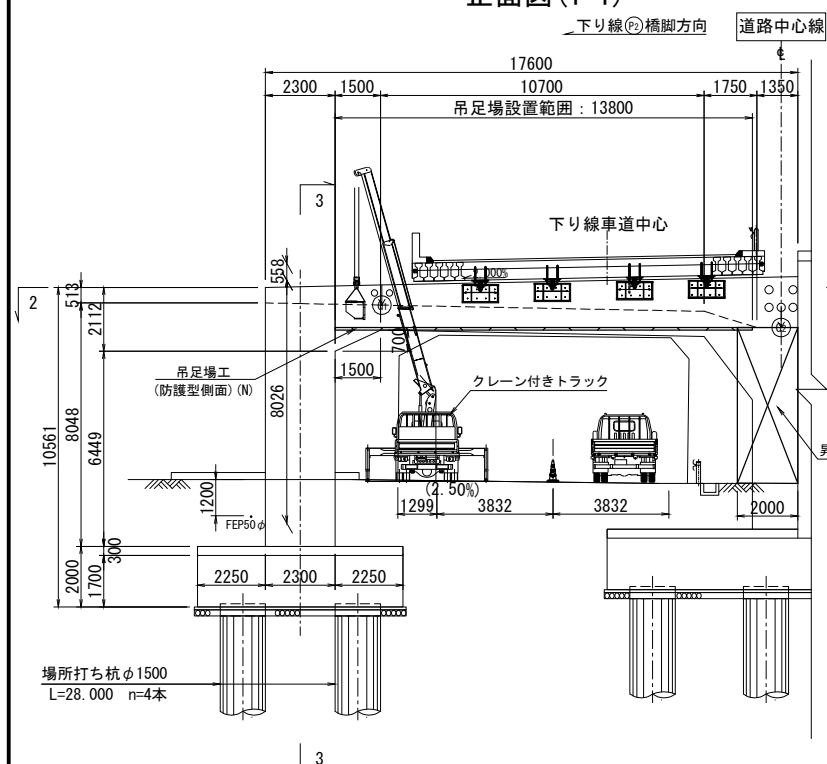
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浜野橋(下り線) P2橋脚 施工計画図(参考図)(その1)	縮尺	図示
設計会社名	NIX JAPAN 株式会社	図面番号	/
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社	事務所名	市原管理事務所

(梁補強・落橋防止構造施工時)

梁側面施工時

正面図(1-1)

側面図(3-3)



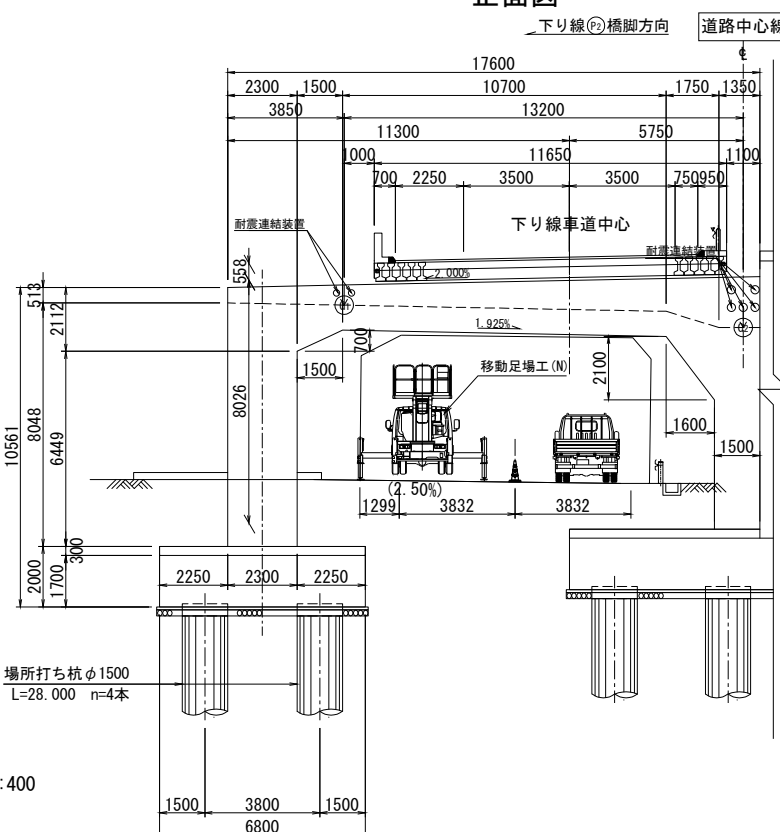
<4t吊クレーン付トラック>
定格総荷重表(最大張出)

作業半径 (m)	ブーム長さ(m)
2.5	1.73
3.0	1.43
3.5	1.23
4.0	0.98
5.0	0.73

ブラケット重量: 0.74t < 0.98t

梁下面施工時

正面図



STEP00: 現況

施工手順図 S=1:200

STEP01: アラミド繊維シートの設置(梁側面施工)

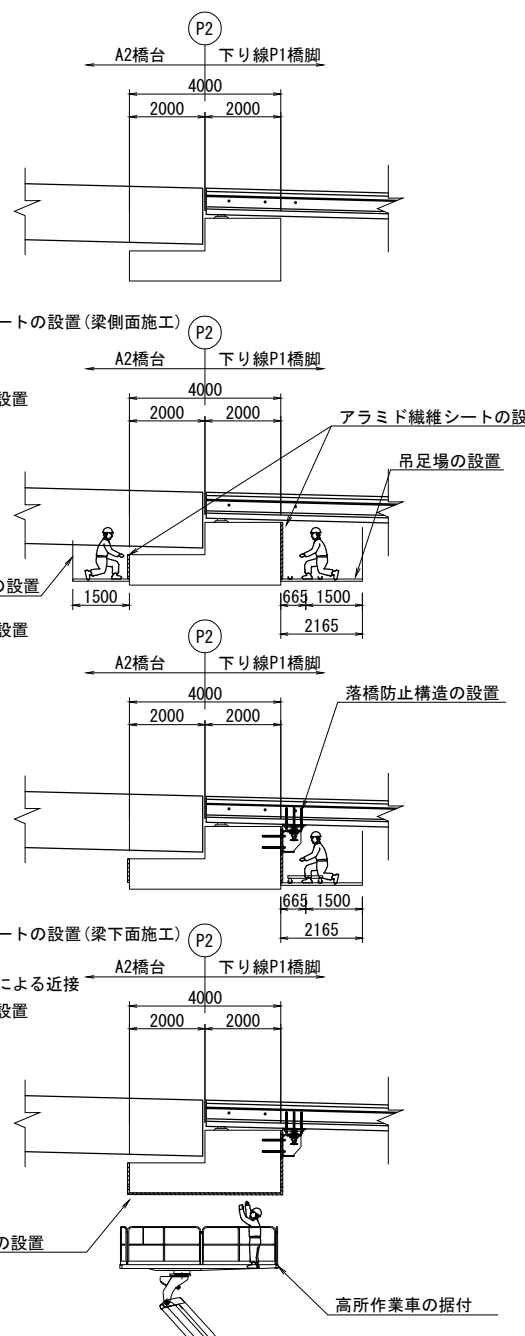
- ・吊足場の設置
- ・アンカー削孔
- ・アラミド繊維シートの設置

STEP02: 落橋防止構造の設置

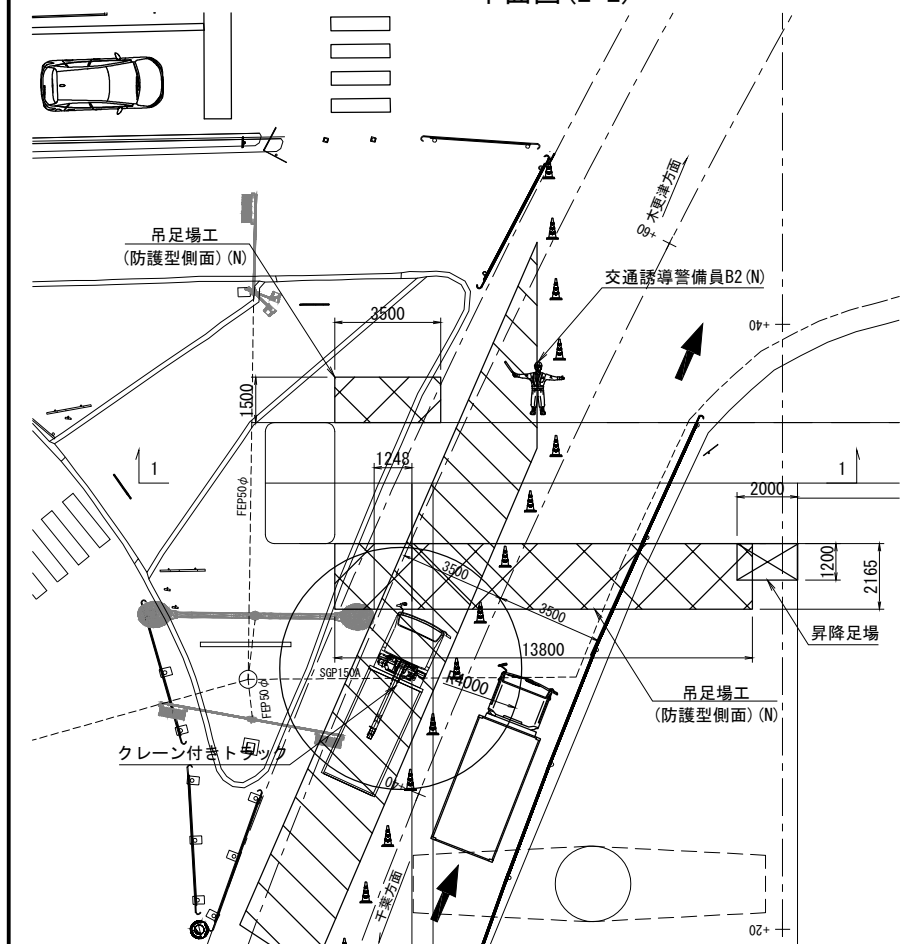
- ・落橋防止構造の設置

STEP03: アラミド繊維シートの設置(梁下面施工)

- ・吊足場の撤去
- ・移動足場(高所作業車)による近接
- ・アラミド繊維シートの設置

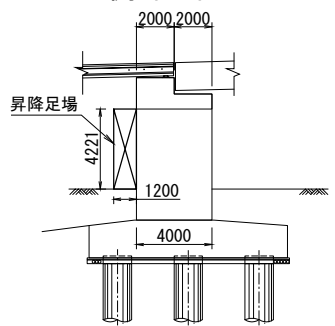


平面図(2-2)



昇降足場図 S=1:400

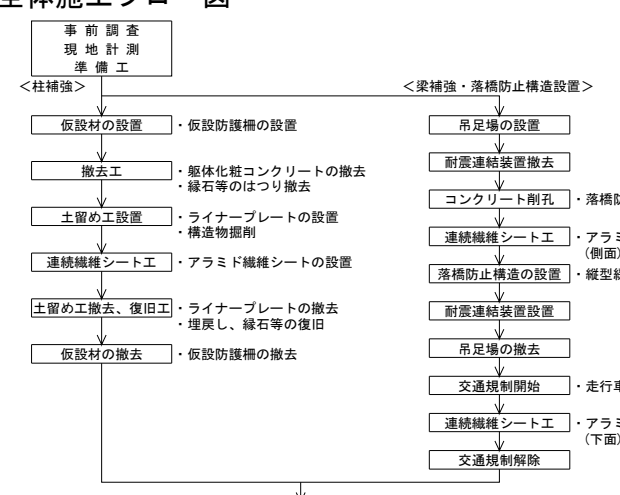
側面図



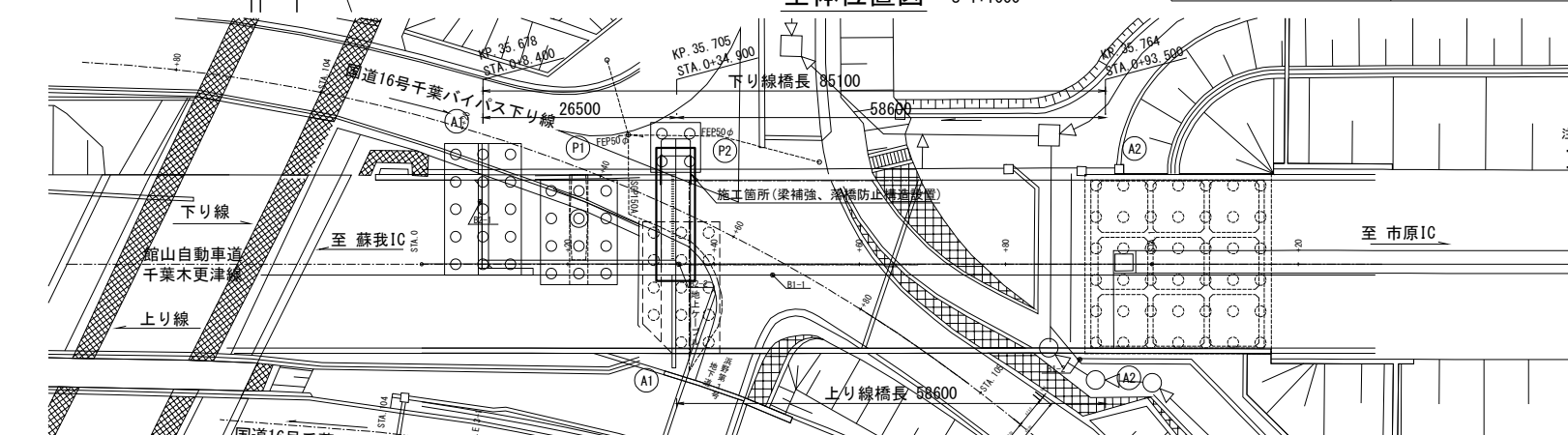
平面図



全体施工フロー図



全体位置図 S=1:1000



数量一覧表

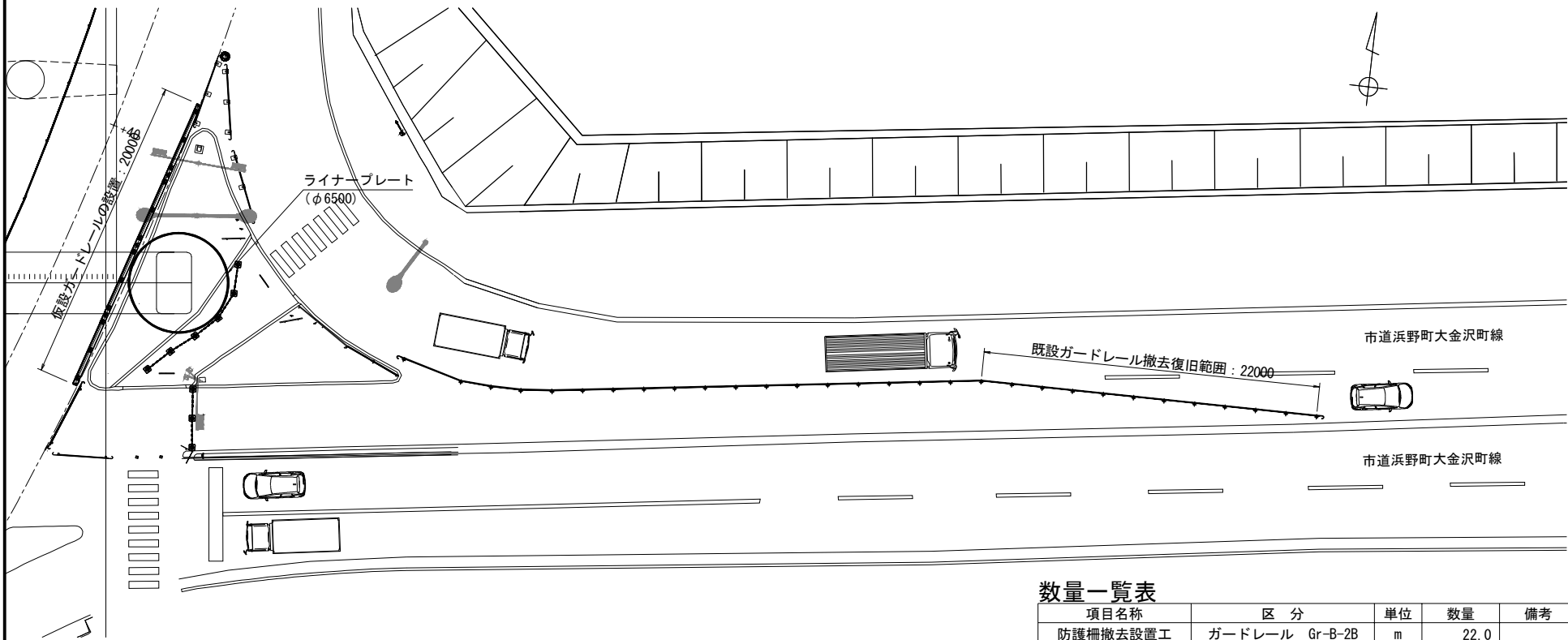
項目名称	区分	単位	数量	備考
吊足場工(防護型側面)(N)		m ²	35.1	
昇降足場	枠組足場	空m ³	10.1	

注記)
・本図面は竣工図面および点群測量に基づき作成している。
・施工前には事前に現地計測等を行い、現況との整合確認を行うこと。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事	浜野橋(下り線) P2橋脚 施工計画図(参考図)(その2)	縮尺 図示	図面番号 /
設計会社名 NIX JAPAN 株式会社	施工会社名 東日本高速道路株式会社 関東支社	事務所名 市原管理事務所	

(資機材の搬入搬出)

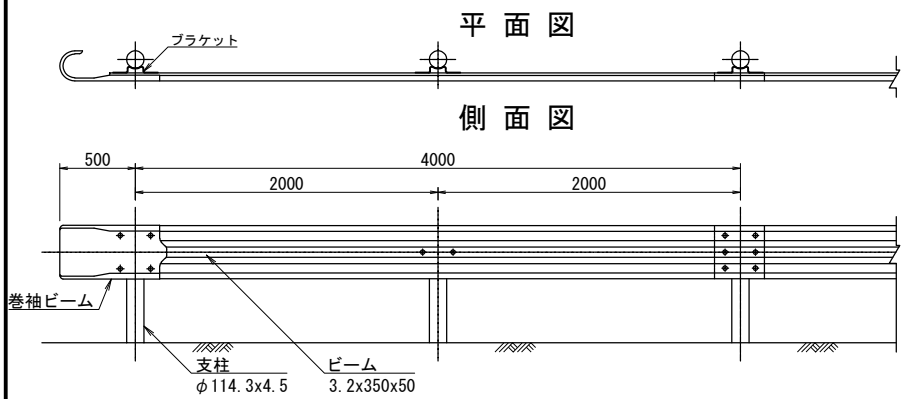
施工平面図 S=1:400



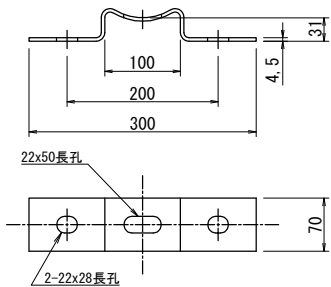
数量一覧表

項目名称	区 分	単位	数量	備考
防護柵撤去設置工	ガードレール Gr-B-2B	m	22.0	
仮設防護柵工	A	m	25.0	
敷き鉄板	3.0×1.5×22	枚	8	

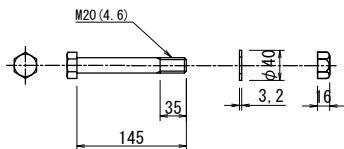
復旧ガードレール詳細図 S=1:50



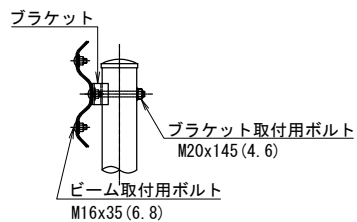
ブラケット S=1:10



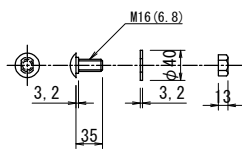
ブラケット取付用ボルト S=1:10



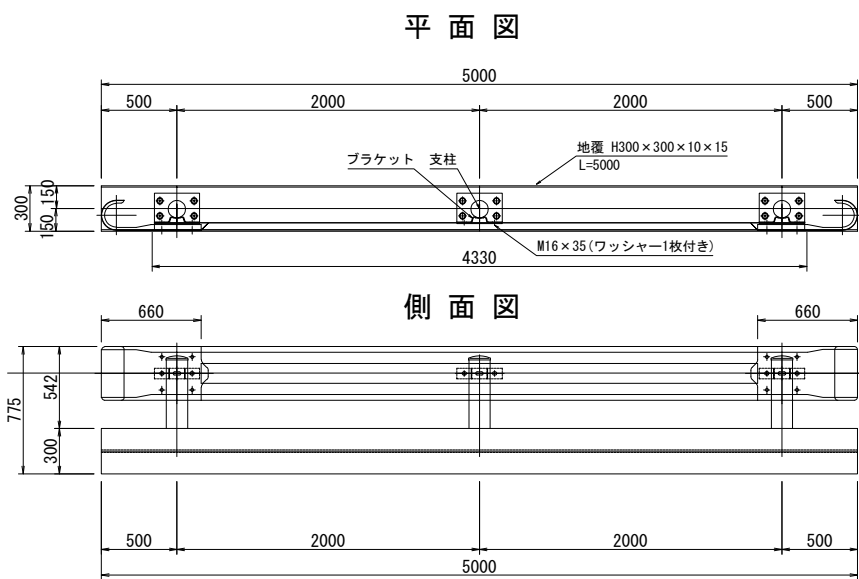
取付詳細図 S=1:25



ビーム取付用ボルト S=1:10



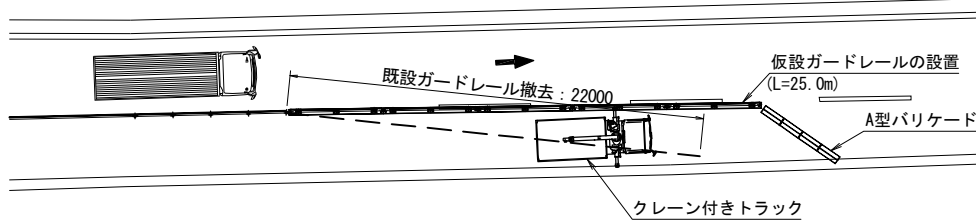
仮設ガードレール詳細図 S=1:50



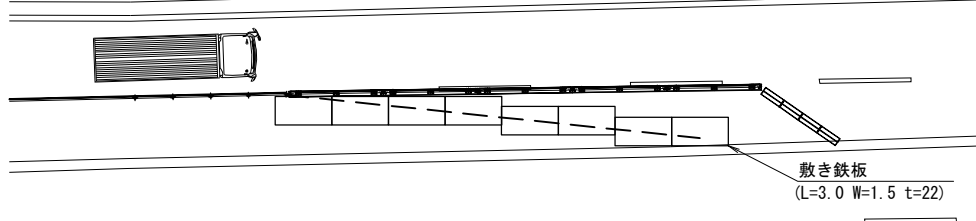
仮設ガードレール部材数量表

部材名	規格	長さ(mm)	員数	質量(kg)	1基数	質量(kg)
主材	H300×300×10×15	5000	1	500	1	500.00
主ビーム	Gr-B-2B	4330	1	45.5	1	45.50
袖ビーム	Gr-B-2B	660	1	6.56	2	13.12
支柱	φ114.3×4.5	600	1	7.6	3	22.80
ベースプレート	PL12×200×300		1	5.65	3	16.95
ブラケット	4.5×70×300		1	0.93	3	2.79
ブラケット取付ボルト	BN M20×145		1	0.53	3	1.59
ビーム取付ボルト	BN M16×35		1	0.12	14	1.68
支柱取付ボルト	BN M22×65		1	0.35	12	4.20
				合計		609.00

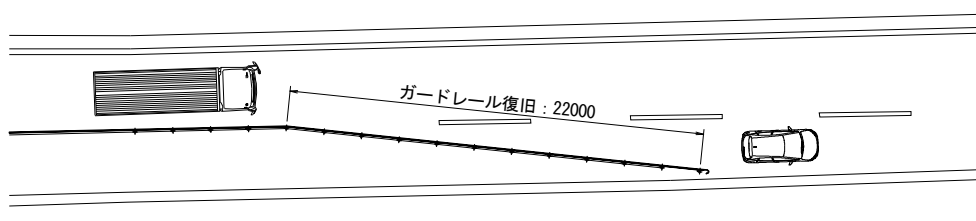
ステップ1：交通規制開始、仮設ガードレールの設置、既設ガードレールの撤去



ステップ2：資機材の搬入・搬出

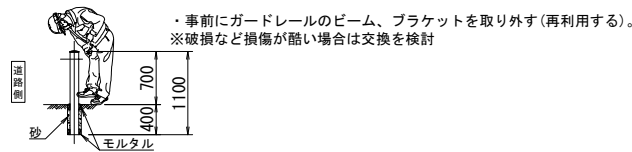


ステップ3：仮設ガードレールの撤去、ガードレールの復旧、交通規制解放

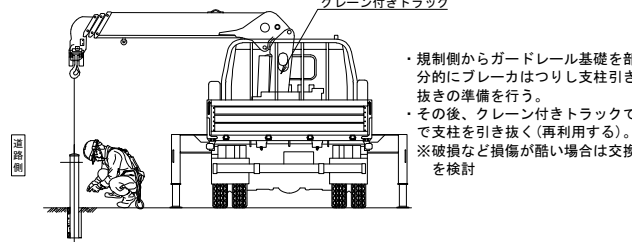


既設ガードレール撤去手順 S=1:100

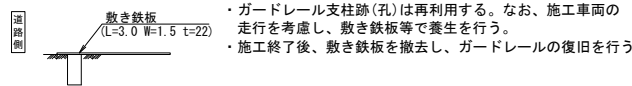
ステップ1：ガードレールのビーム、ブラケットの撤去



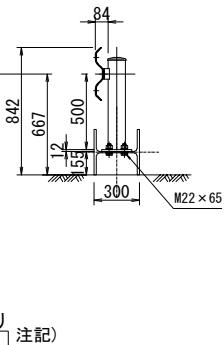
ステップ2：ガードレールの支柱引き抜き



ステップ3：ガードレール跡の養生



断面図



注記)

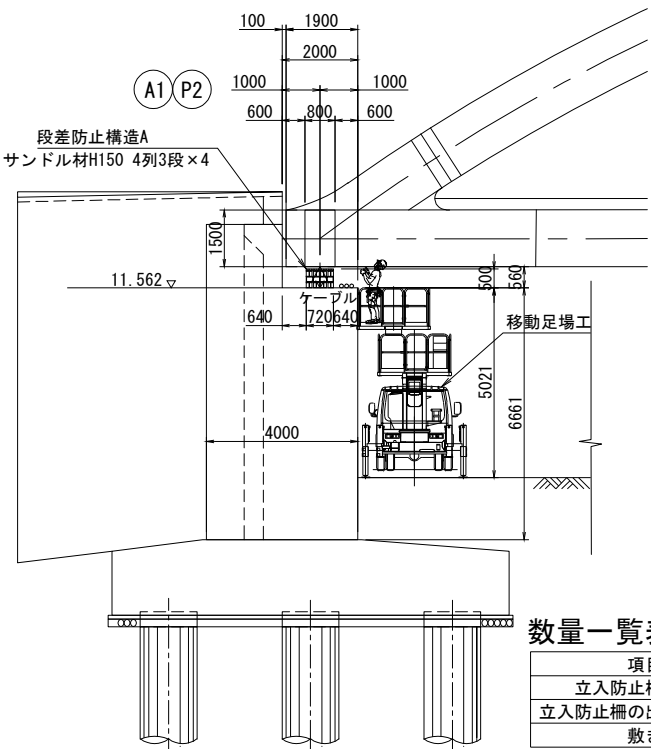
- 既設ガードレールの諸元は現地状況(路線や支柱間隔)から推定している。施工前には道路管理者と協議し、道路規格や設置するガードレール規格について確認すること。
- 仮設ガードレールの延長は下記より想定して算出している。現地状況を確認し調整を行うこと。
 - 既設ガードレール範囲(22m→5m×5=25m)
- 復旧するガードレールは、既設ガードレールと同等規格を想定している。
- 本図は既存の測量平面図を基本としているが、一部平面情報が不足する範囲については、航空写真より再現している。施工前には現地状況を確認すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浜野橋（下り線） P2橋脚 施工計画図(参考図)(その3)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NIX JAPAN 株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

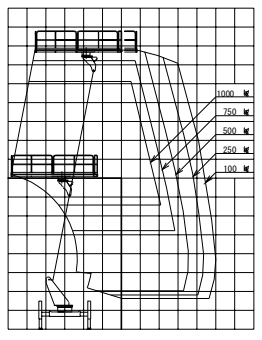
施工手順図 S=1:250
（終点側）

起点側施工計画図 S=1:200

（側面図）



アウトリガ中間1張出

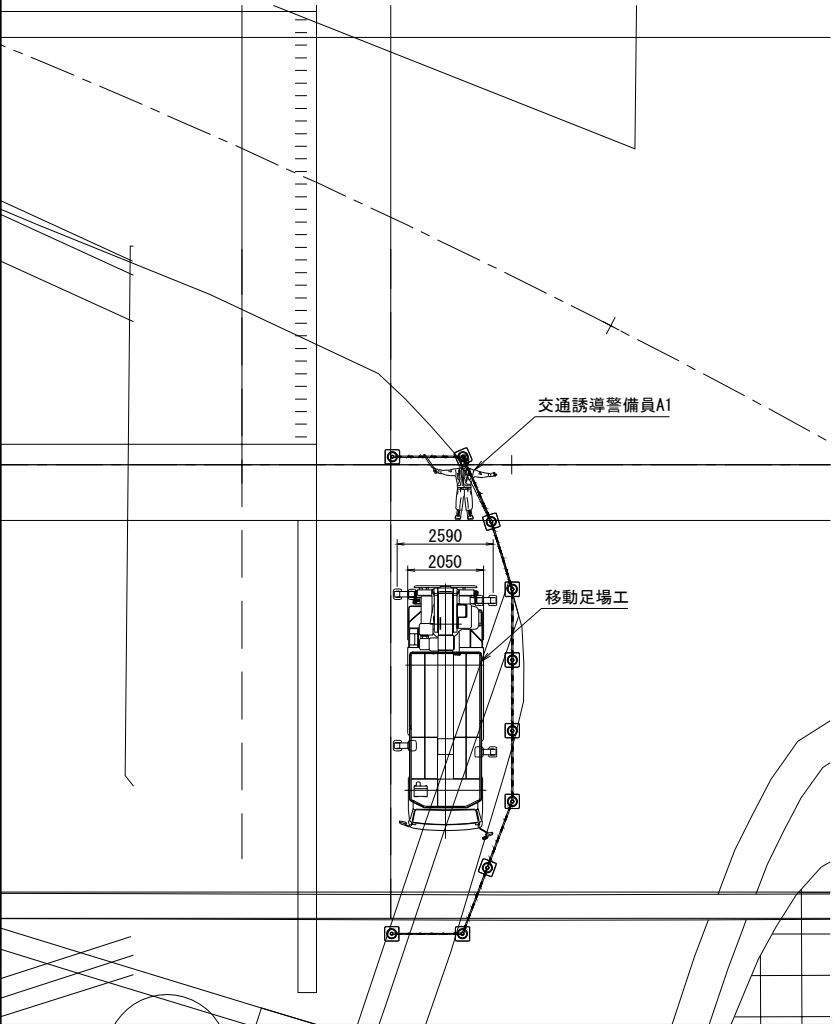


サンドル材 (8-サンドル 150x150x720)	232kg
作業員 (1人)	80kg
工具等 (仮定)	20kg
	1000kg > 332kg

数量一覧表

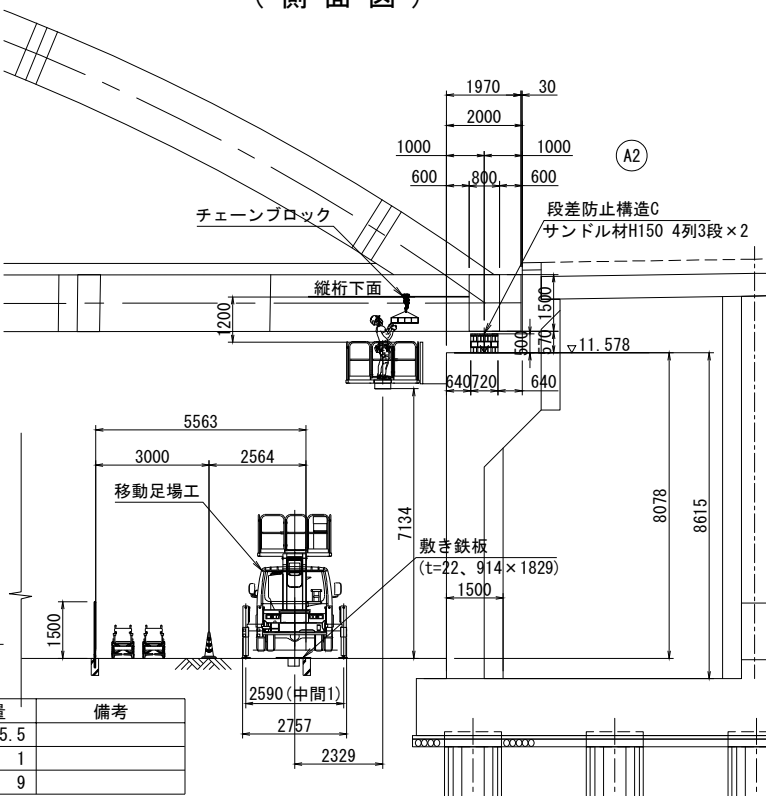
項目名称	区分	単位	数量	備考
立入防止柵撤去設置工	一般型非積雪地用	m	15.5	
立入防止柵の出入口撤去設置工	一般型非積雪地用	箇所	1	
敷き鉄板	0.9×1.8×22	枚	9	

（平面図）

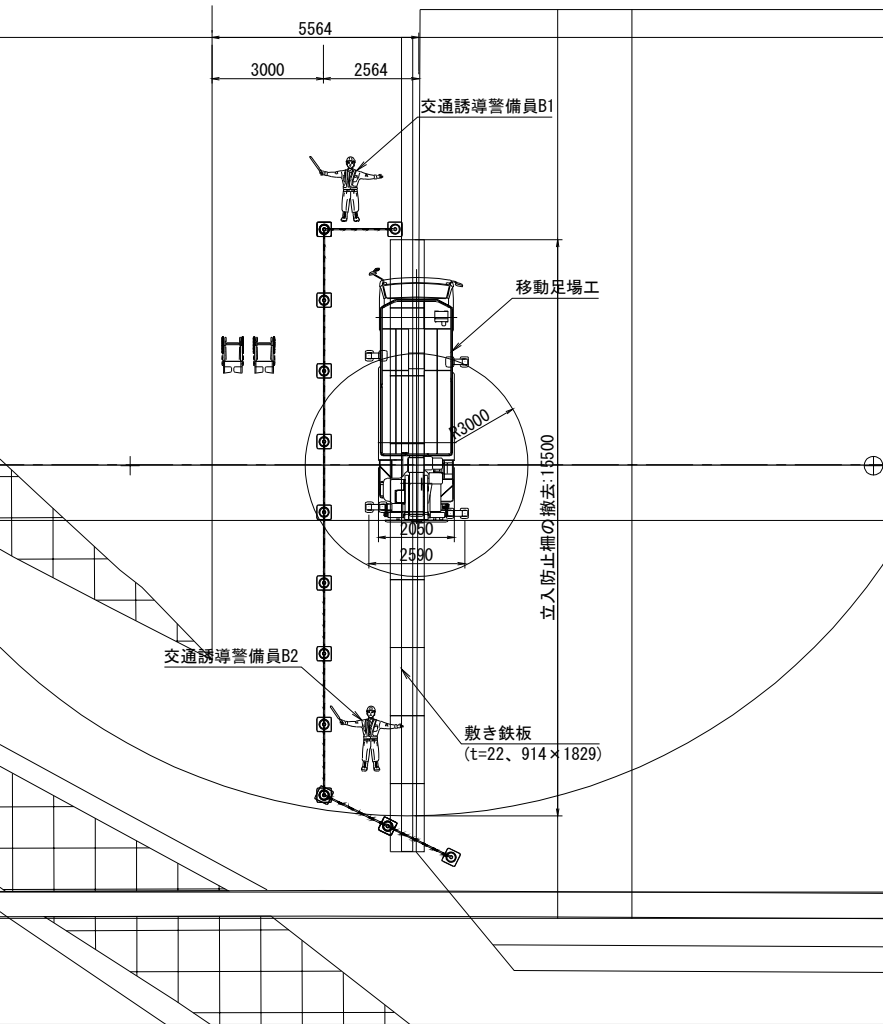


終点側施工計画図 S=1:200

（側面図）

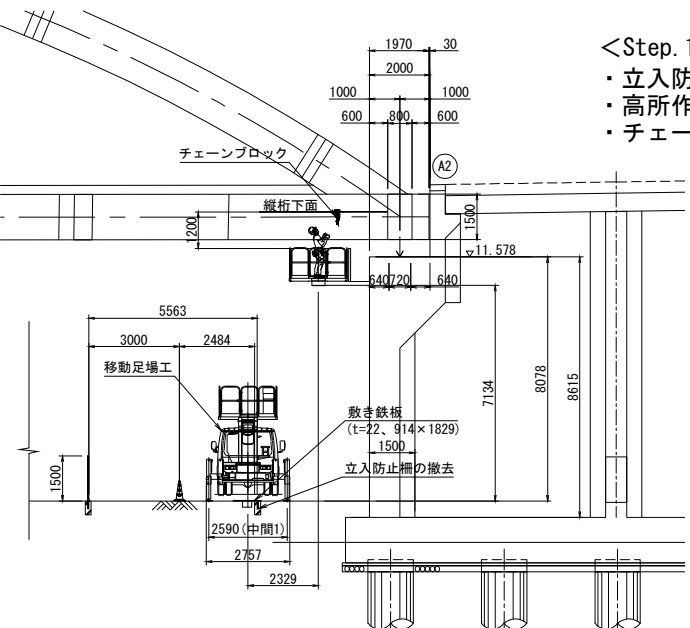


（平面図）



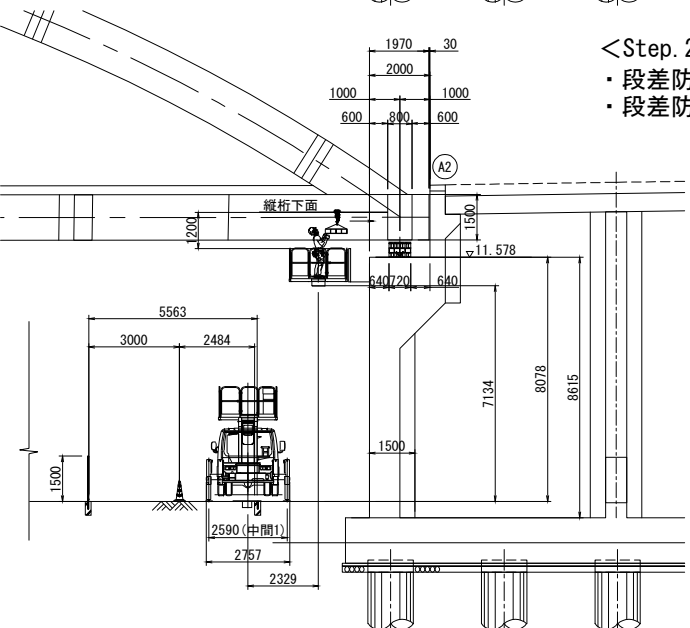
<Step. 1>

- ・立入防止柵の撤去
- ・高所作業車の据付け
- ・チェーンブロック、トロリの設置



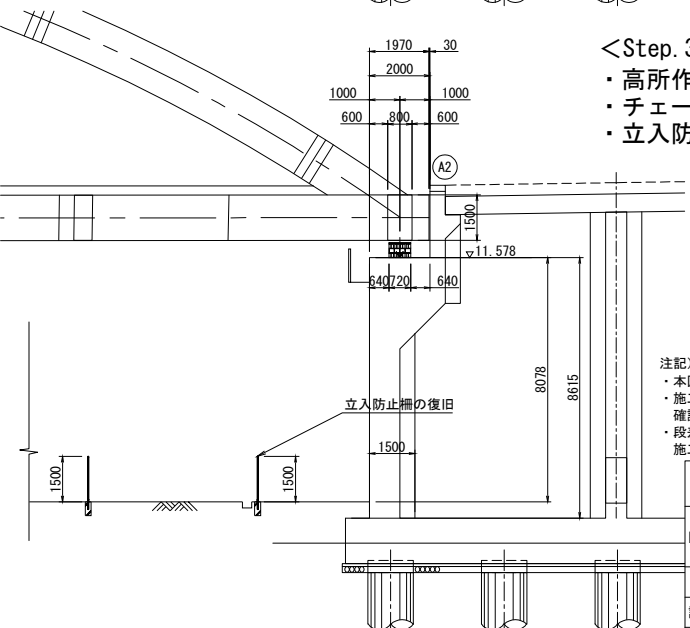
<Step. 2>

- ・段差防止構造部材の運搬
- ・段差防止構造の設置



<Step. 3>

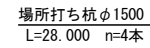
- ・高所作業車の撤去
- ・チェーンブロック、トロリの撤去
- ・立入防止柵の復旧



注記)
・本図面は竣工図面および点群測量に基づき作成している。
・施工前には事前に現地計測等を行い、現況との整合確認を行うこと。
・段差防止構造は標準図に基づいて作図しているため、施工前には必ず構造形状等を確認すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浜野橋（上下線） 段差防止構造施工計画図（参考図）		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	NIX JAPAN 株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

下り線 (P2) 橋脚方向 道路中心線 上り線 (A1)



S=1:25

-
- 55 125
- タップボルト設置
- 55 125
- カバー撤去
- 1-PL 230 × 6 (130 穴あり)
(完成図内に記載あり)
- 緩衝材撤去
支圧板撤去
ナット撤去

S=1:25

-

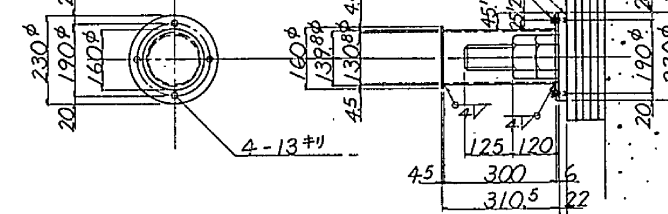
既設耐震連結装置図 S=1:20

支圧板② M10タッブ°

(4分)

4-Bolt M10 x 25

51 (バネ座金付)

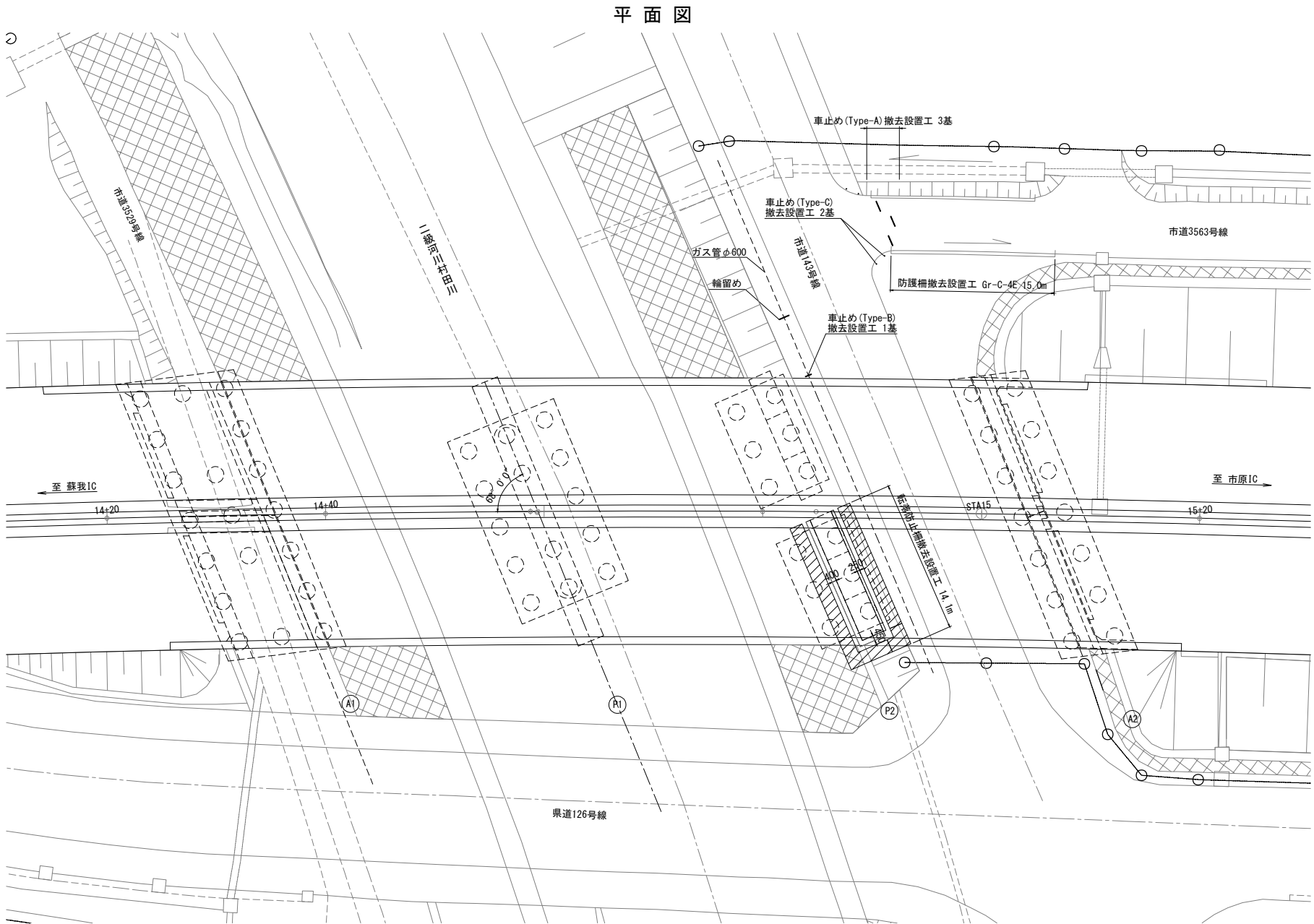


1 - Pipe 125A x 300 (SGP)
1 - 尺 230φ x 6 (130φ孔あり)
1 - 尺 160φ x 4.5
4 - Bolt. M10 x 25 (パネ座金付)

数量一覽表

項目名称	区 分	単位	数量	備考
撤去・設置工	耐震連結装置	基	2	

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	浜野橋（下り線） P2橋脚 耐震連結装置撤去・復旧図（参考図）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	NIX JAPAN 株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 市 原 管 理 事 務 所		関東支社



撤去・設置工数量表

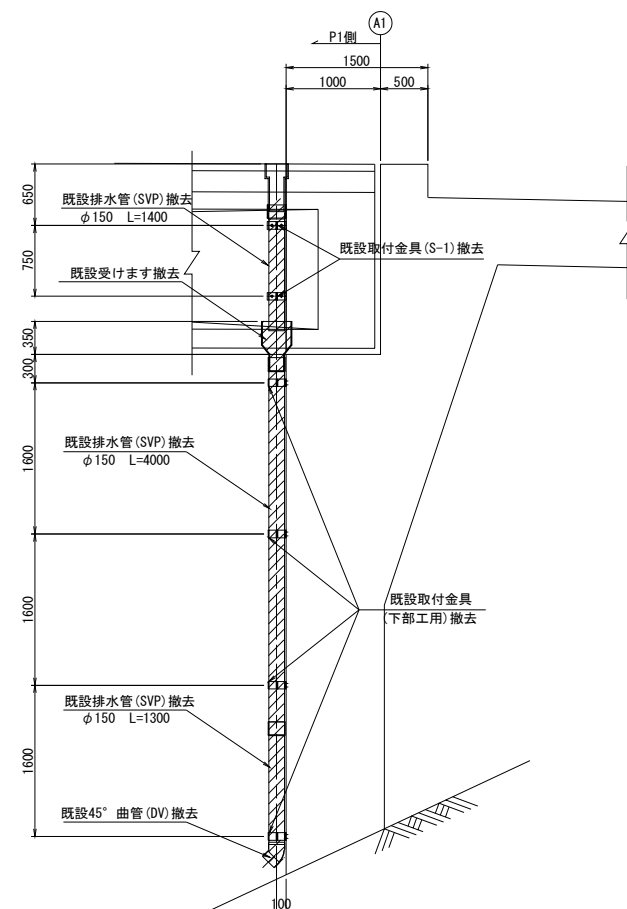
細 目	規格・仕様	単位	数量	備 考
防護柵	Gr-C-4E	m	15.0	
転落防止柵	〃	〃	14.1	
車止め	Type-A	基	3	
	Type-B	〃	1	
	Type-C	〃	2	

注記)
1. 転落防止柵撤去設置工は、既設の撤去を行い、新規に設置を行うものとする。

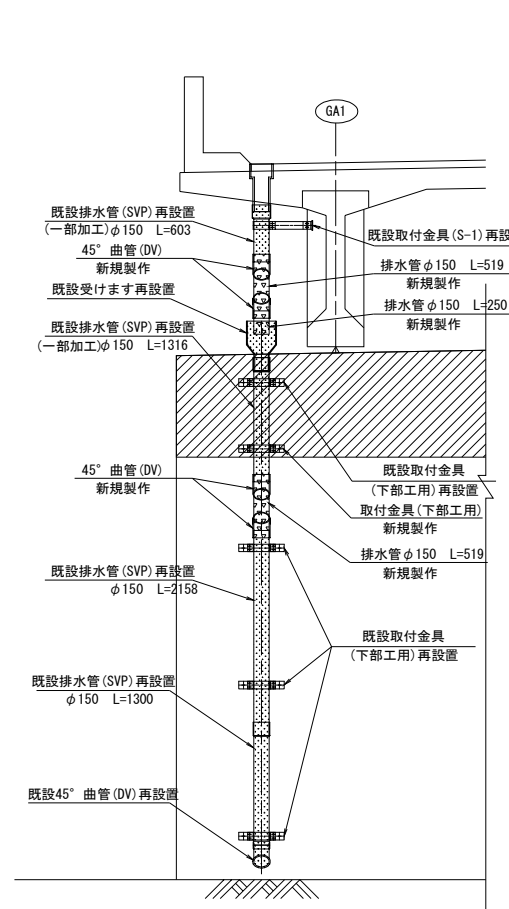
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	村田川橋（上り線） 防護柵・転落防止柵撤去設置工 平面図			
	縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

設置工

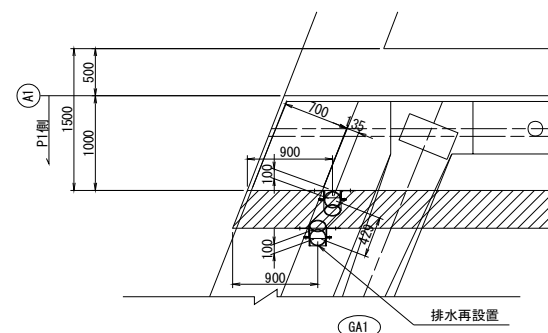
側面図



正面图



平面图



1-SVP φ150 L=1300	
受けます	1価
45° 曲管 (DV)	1価
取付金具 (S-1)	2価
取付金具 (下部工用)	4価

検査路改良後再設置数量	新規数量
直管	45° 曲管(DV) 4個
1-SVP φ150 L=603	直管
1-SVP φ150 L=1316	2-VP φ150 L=519
1- VP φ150 L=2158	1-VP φ150 L=250
1-SVP φ150 L=1300	取付金具(下部工用) 1個

受けます	1個
45° 曲管(DV)	1個
取付金具(S-1)	1個
取付金具(下部工用)	4個

Technical drawing of a 2-PL 80x6x280 plate. The drawing shows a side view and a top view. The side view dimensions are: 289 (total height), 249 (height to center), 70 (height to bottom), 100 (width), 151.5 (height to top of plate), 177 (height to center), 151.5 (height to bottom of plate), and 480 (total height). The top view dimensions are: 80 (width), 14 (hole diameter), 50 (hole spacing), 380 (total length), and 480 (total length). The plate is shown with a 2-PL 80x6x280 plate, a 2-PL 80x6x381 plate, a 4-BN M12x30 bolt, and a 2-コンクリートアンカー-M12.

2-PL 80x6x280
 2-PL 80x6x381
 4-BN M12x30
 2-コンクリートアンカー-M12

2-PL 80x6x280
2-PL 80x6x381
4-BN M12x30
2-コンクリートアンカーM12

Technical drawing of a pipe section with a total length of 4000mm. The drawing shows a cross-section of a pipe with a diameter of 105mm. The dimensions are as follows:

- 1-SVP $\phi 150 \times 1316$
- 切断撤去 (Cut and remove) - 526mm
- 1-VP $\phi 150 \times 2158$ (スリーブ無し)
- 105mm (End section)

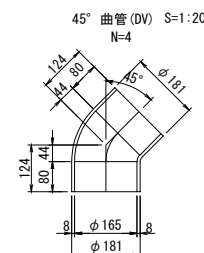
φ150 x 519(スリーブ無)

250

165

スリーブ無し

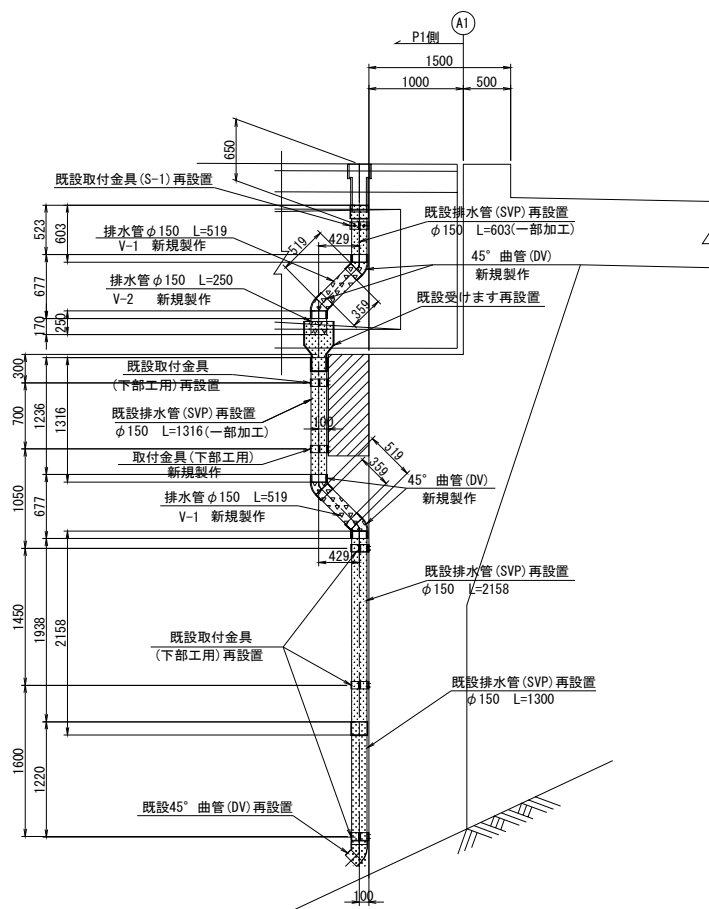
1-VP $\phi 150 \times 250$ (スリーブ無し)



- : 撤去
- : 既設再設置
- : 新規製作

C : 全て新規製作

側面図



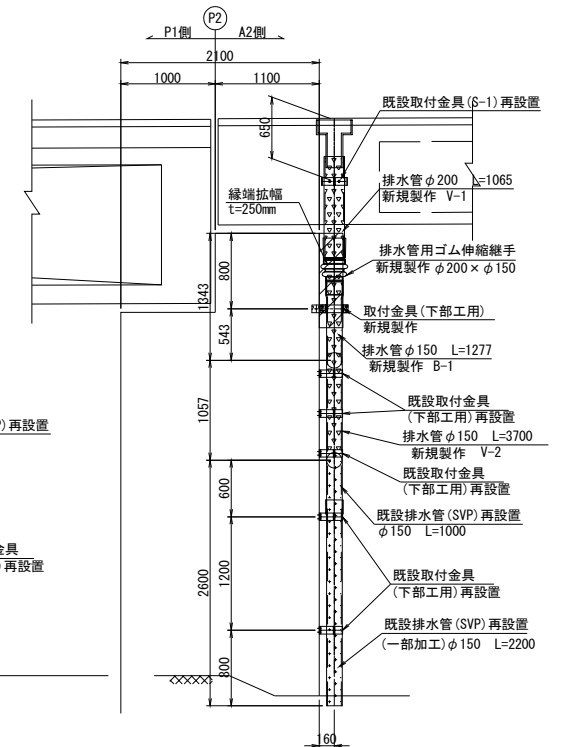
(注記)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

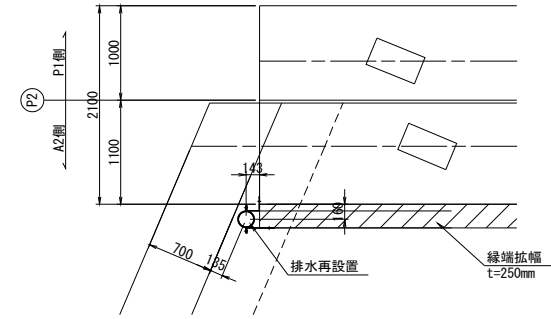
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	村田川橋（上り線）A1橋台 撤去・設置 排水管 A 詳細図		
縮 尺	図 面	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

設置工

側面図

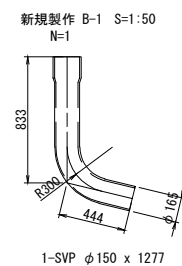


平面图

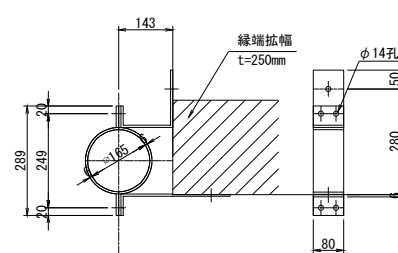


上部工: $L = 0.865 \text{ m}$
下部工: $L = 0.601 + 1.137 + 3.560 + 0.84 + 2.200 = 8.338 \text{ m}$

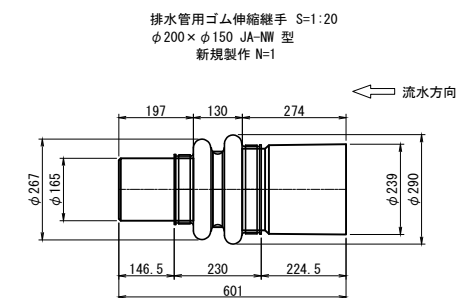
検査路改良後再設置数量	新規数量
直管	直管
1-SVP φ150 L=2200	1-VP φ200 L=1065
曲管	1-VP φ150 L=3700
1-SVP φ150 L=1000	曲管
取付金具(S-1)	1-SVP φ150 L=1277
取付金具(下部工用) 1個	取付金具(下部工用) 1個
取付金具(下部工用) 5個	排水管用ゴム伸縮継手 1個







取付金具(下部工用) S=1:20
新規製作 N=1



2-PL 80x6x323
2-PL 80x6x381
4-BN M12x30
2-コンクリートアンカーM12



凡例

	: 撤去
	: 既設再設置
	: 新規製作
	: 全て新規製作

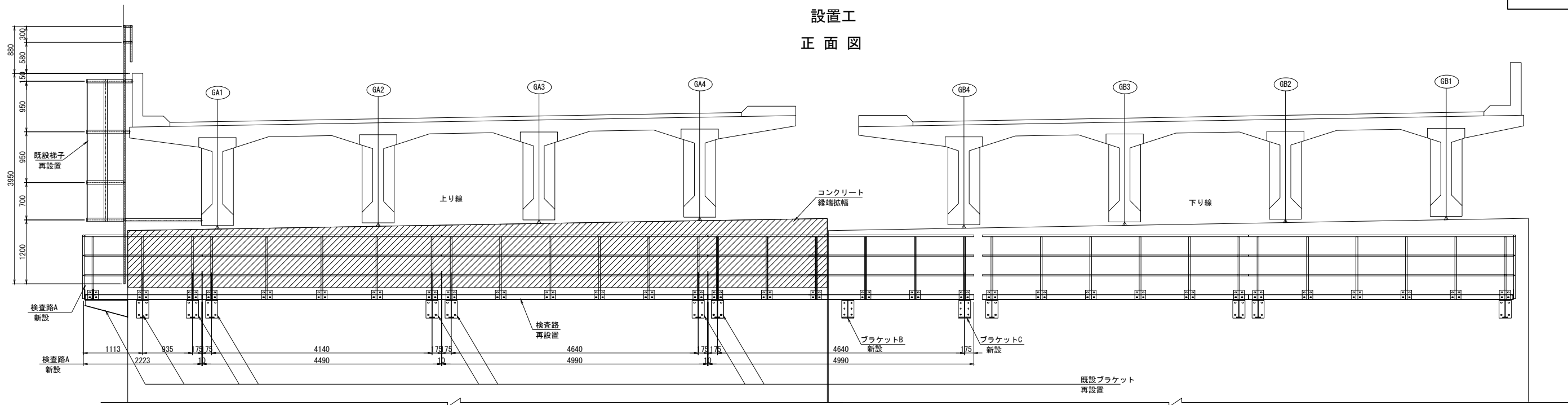
注記)

1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
2. 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
3. ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
4. 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、付着量は、JIS H 8641 HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

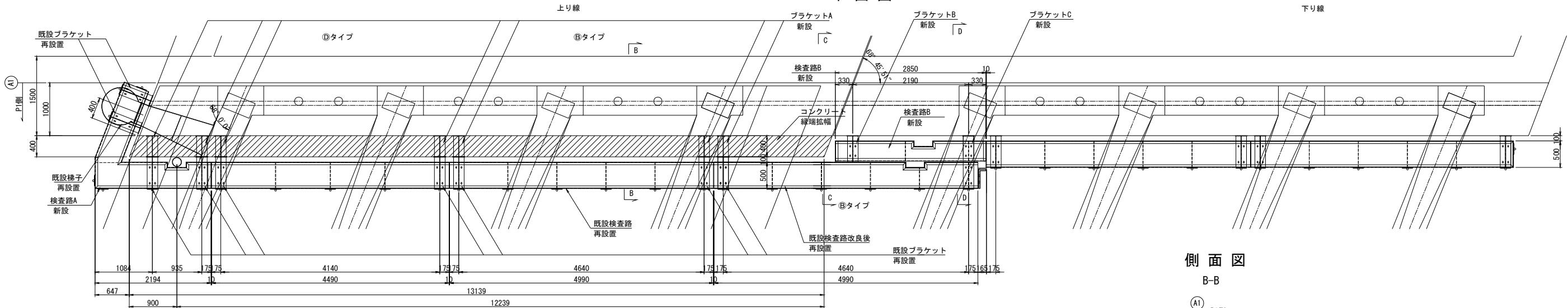
<p align="center">館山自動車道 豊成高梁橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	村田川橋（上り線）P2橋脚（A2側） 撤去・設置 排水管A 詳細図		
縮 尺	図 式	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

設置工

正面図

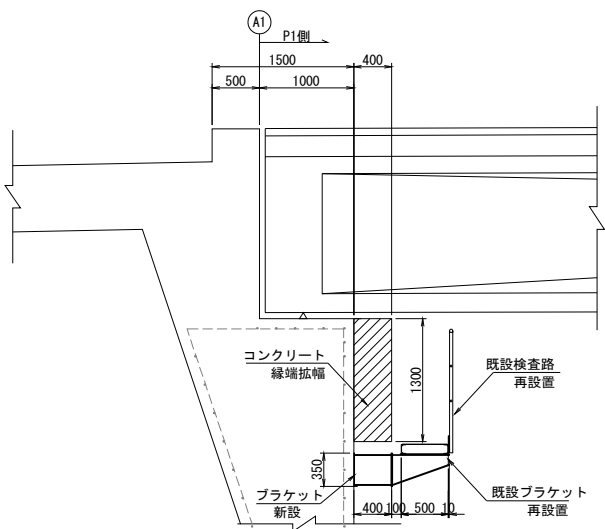


平面図



側面図

B-B



- 注記
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 - 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
垂鉛の付着料は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZT49とする。
 - ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
 - 床材に鉄鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けること。

検査路改良後再設置数量

⑧タイプ

- 2-Pipe 25A×4990 (SGP)
12-Pipe 25A×1180 (SGP)
20-Pipe 15A×902 (SGP)
8-Pipe 15A×162 (SGP)
4-L 100×50×5×7.5×4990
3-L 65×65×6×490
2-ChPL 480×3.2×4990
12-FB 50×6×490
84-BN M10×30
24-PL 170×6×200
48-BN M16×40
16-BN M16×40
1-FB 65×6×500
1-L 100×50×5×7.5×500

⑨タイプ

- 1-Pipe 25A×4490 (SGP)
5-Pipe 25A×1180 (SGP)
8-Pipe 15A×1009 (SGP)
4-Pipe 15A×162 (SGP)
2-L 100×50×5×7.5×4490
2-L 65×65×6×490
1-ChPL 480×3.2×4490
5-FB 50×6×490
38-BN M10×30
10-PL 170×6×200
20-BN M16×40
2-PL 200×8×520
8-BN M16×40

ブラケット

- 9-PL 200×8×602
9-PL 309×8×592
9-PL 90×8×637
9-PL 230×8×350
8-コンクリートアンカー M16×60
梯子
2-Pipe 25A×685 (SGP)
2-Pipe 25A×165 (SGP)
2-Pipe 15A×4847 (SGP)
14-RB 22Φ×422 (SR24)
2-FB 65×6×266
4-FB 65×6×218
4-FB 65×6×1784
3-FB 65×6×2665
6-コンクリートアンカー M16×60
2-FB 65×6×1440
1-FB 65×6×500
2-コンクリートアンカー M16×60

新設ブラケットA 箇所:N=7

- 2-PL 230×8×350
2-PL 200×8×384
1-PL 309×8×384
4-BN M16×60
6-コンクリートアンカー M16×120
新設ブラケットB
1-PL 230×8×350
2-PL 200×8×492
1-PL 309×8×492
4-BN M16×60 (18×40長孔)
6-コンクリートアンカー M16×120

新設ブラケットC

- 1-PL 230×8×350
2-PL 200×8×992
1-PL 309×8×992
4-BN M16×60 (18×40長孔)
6-コンクリートアンカー M16×120

新設検査路A

- 1-Pipe 25A×2240 (SGP)
3-Pipe 25A×1180 (SGP)
2-Pipe 15A×1009 (SGP)
2-Pipe 15A×808 (SGP)
2-Pipe 15A×162 (SGP)
2-Pipe 15A×177 (SGP)
1-L 100×50×5×7.5×2194
1-L 100×50×5×7.5×472
1-L 100×50×5×7.5×450
2-L 100×50×5×7.5×150
1-L 100×50×5×7.5×944
1-L 100×50×5×7.5×2114
1-L 100×50×5×7.5×1500
1-L 100×50×5×7.5×500
1-L 65×65×6×490
1-ChPL 480×3.2×2194
1-ChPL 480×3.2×1615
4-FB 50×6×490
30-BN M10×30
14-PL 170×6×200
28-BN M16×40
4-PL 200×8×520
16-BN M16×40
1-Pipe 25A×546 (SGP)
1-Pipe 25A×1180 (SGP)
2-Pipe 15A×376 (SGP)

- 1-Pipe 25A×637 (SGP)
1-Pipe 25A×1509 (SGP)
3-Pipe 25A×1180 (SGP)
2-Pipe 15A×524 (SGP)
2-Pipe 15A×398 (SGP)
2-Pipe 15A×810 (SGP)
4-Pipe 15A×177 (SGP)

新設検査路B

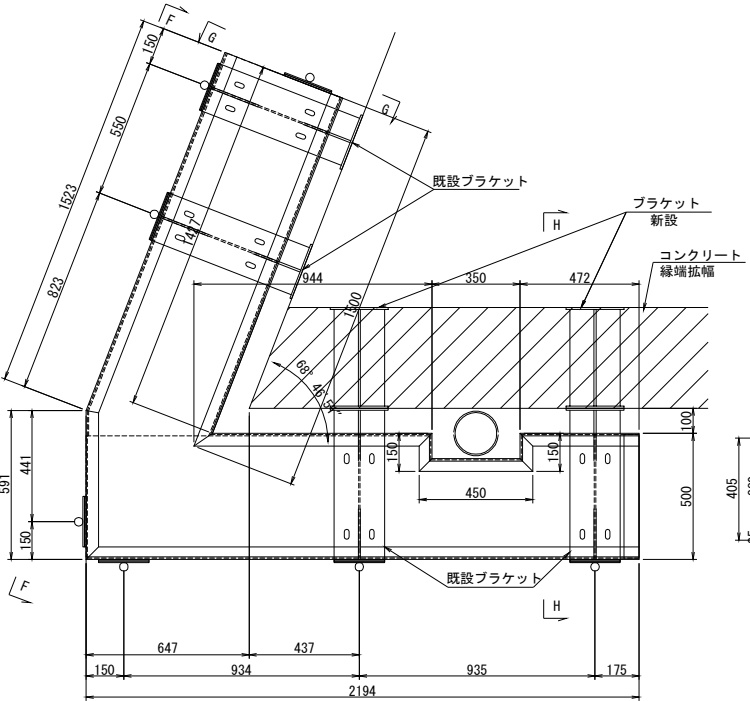
- 1-L 100×50×5×7.5×2850
1-L 100×50×5×7.5×1010
1-L 100×50×5×7.5×1490
1-L 100×50×5×7.5×450
2-L 100×50×5×7.5×150
2-L 65×65×6×380
1-ChPL 500×3.2×2850
3-FB 50×6×370
22-BN M10×30
2-PL 200×8×400
8-BN M16×40
新設手摺
1-Pipe 25A×370 (SGP)
1-Pipe 25A×140 (SGP)
2-Pipe 25A×1180 (SGP)
2-Pipe 15A×94 (SGP)
2-Pipe 15A×107 (SGP)
2-Pipe 15A×117 (SGP)
2-Pipe 15A×134 (SGP)
2-PL 170×6×320
6-BN M16×40

数量表

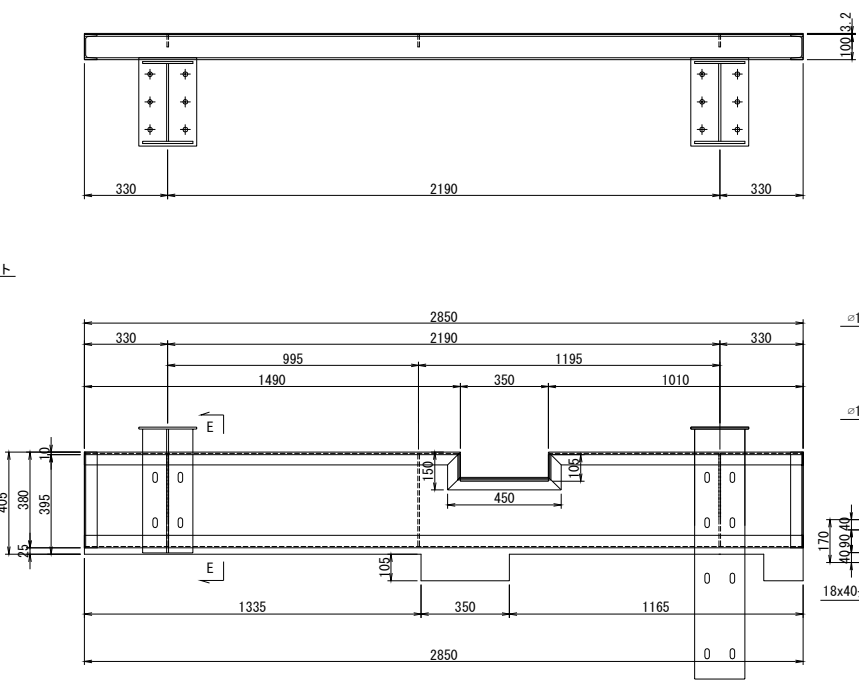
	撤去 (kg)	再設置 (kg)	新設工 (kg)	備考
A1	261	1054	690	検査路B

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	村田川橋（上り線）A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その2)			
縮 尺	図 示	図面番号	／	
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

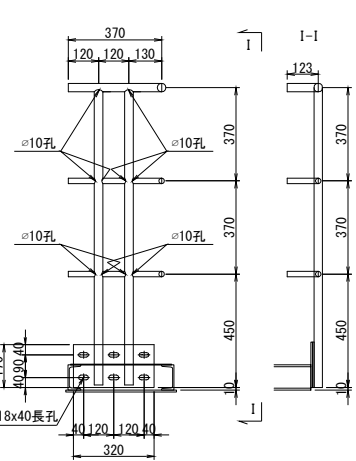
新設検査路A 詳細図



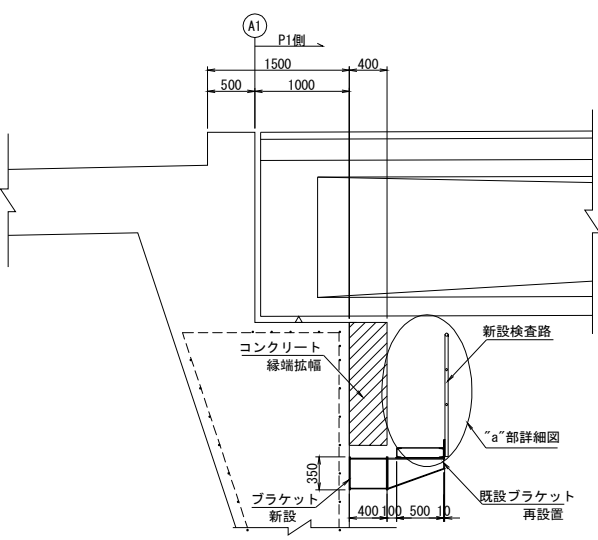
新設検査路B 詳細図



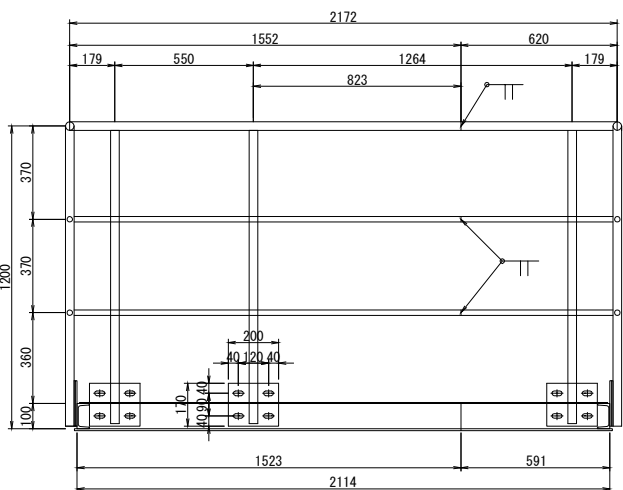
新設手摺 詳細図



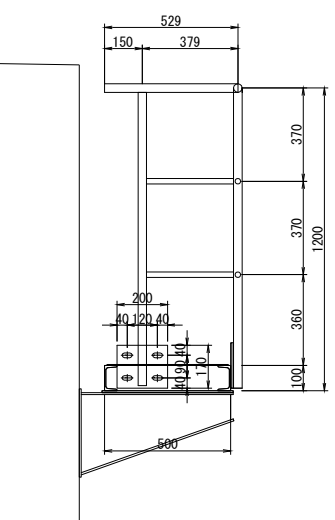
H-H S=1:80



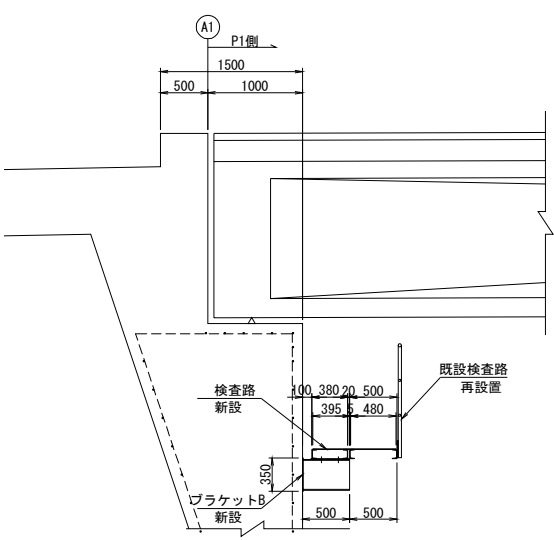
F-F



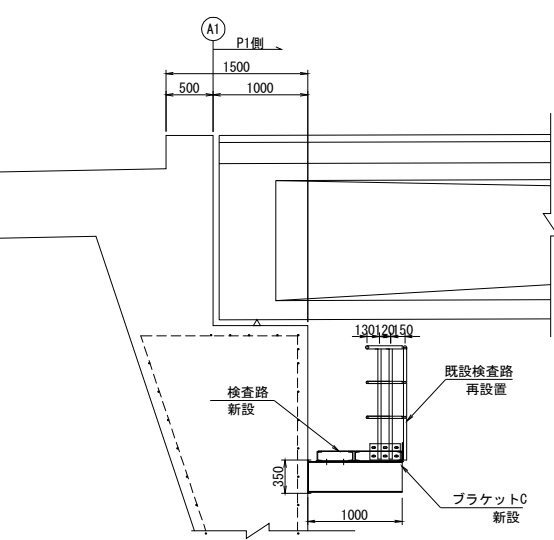
G-G



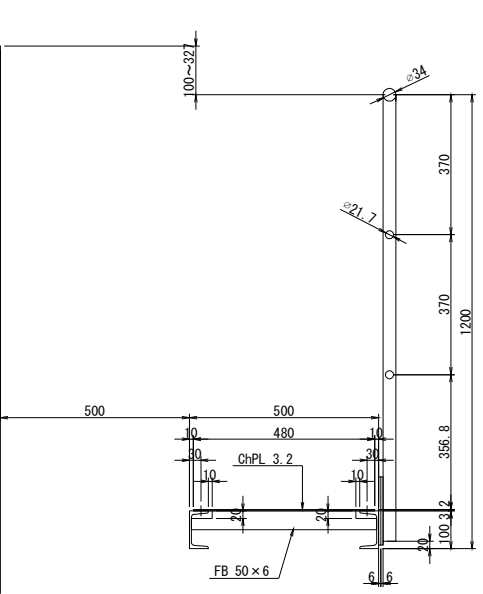
C-C S=1:80



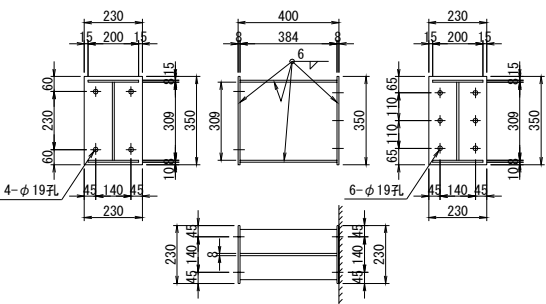
D-D S=1:80



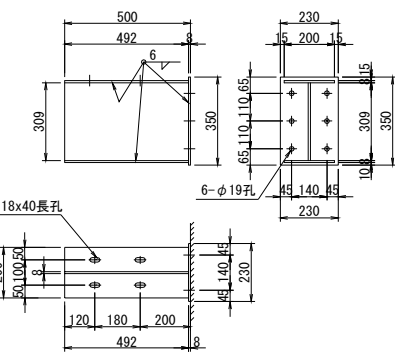
"a"部詳細図 S=1:20



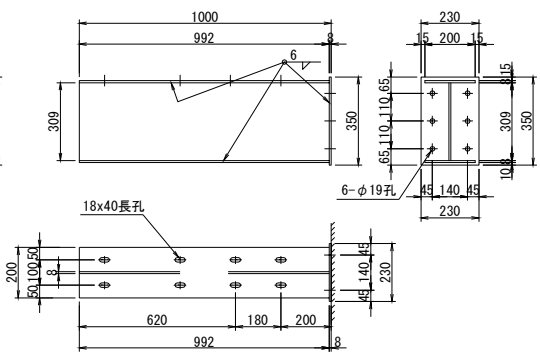
ブラケットA 詳細図



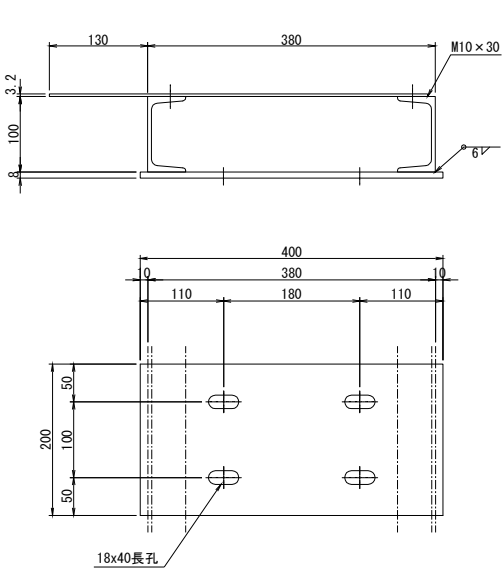
ブラケットB 詳細図



ブラケットC 詳細図



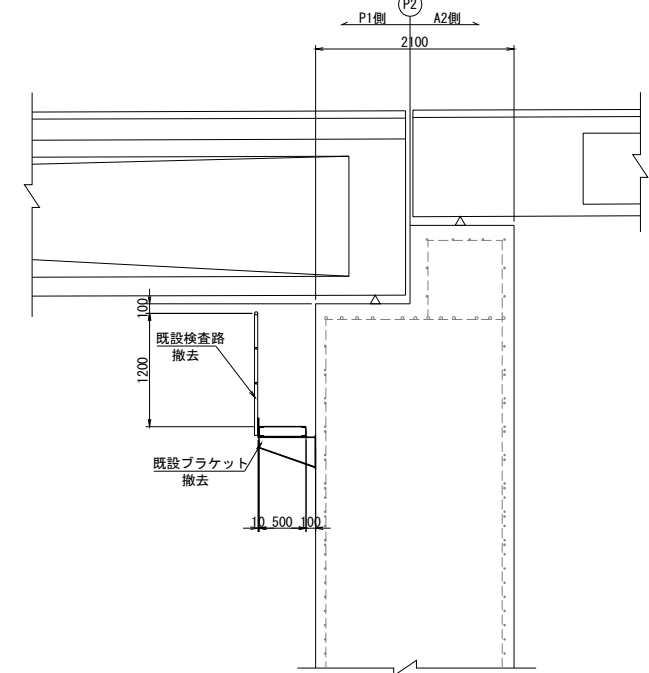
E-E S=1:10



- 注記)
1. 特記なき材質は、全てSS400とする。
 2. Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
 3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
垂鉛の付着料は、JIS H8641 HDZT49~HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZT49とする。
 4. ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、ボルト径+3mmを標準とする。
 5. 床材に鋼鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m²)程度に1箇所程度設けること。
 6. 手摺にはメッキ用空気孔φ10をあけること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	村田川橋（上り線）A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図（その3）	縮 尺	図 示 図面番号 /
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社	施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

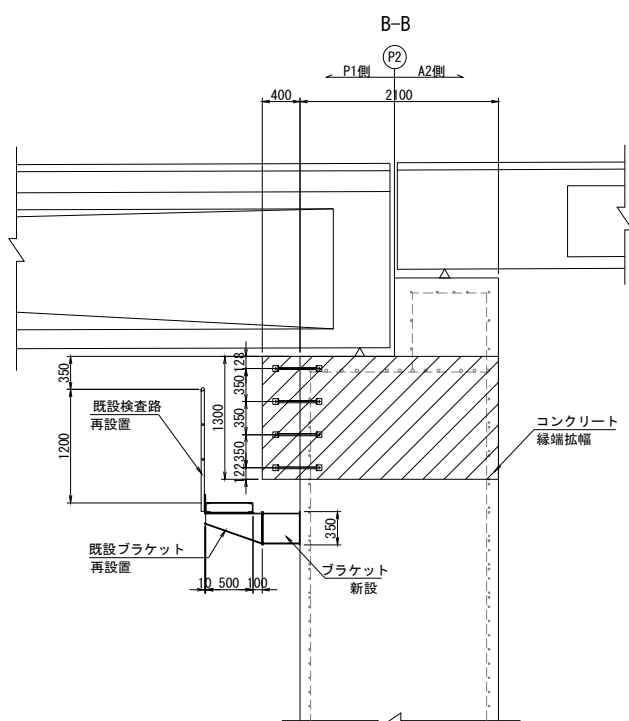
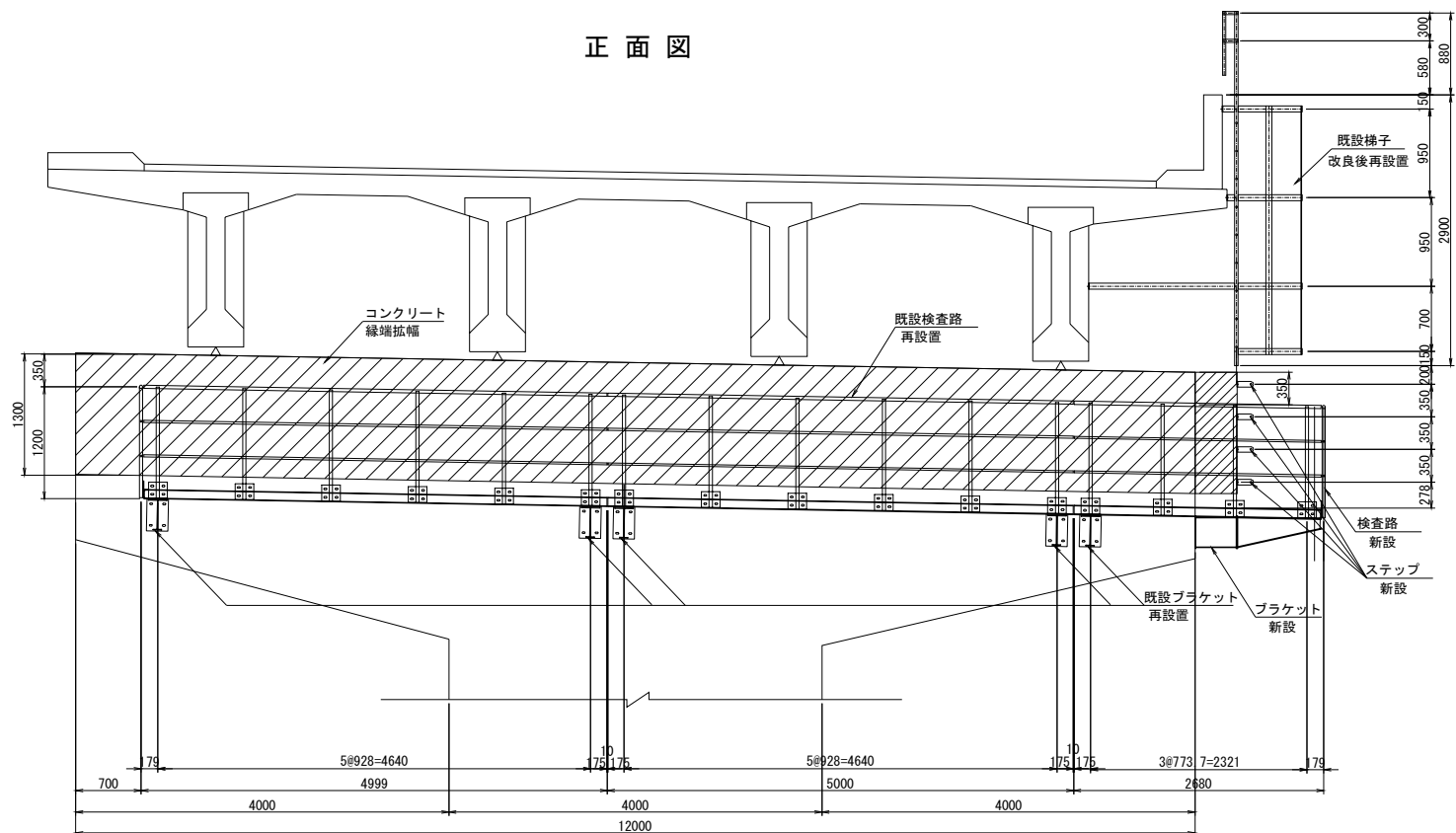
A-A



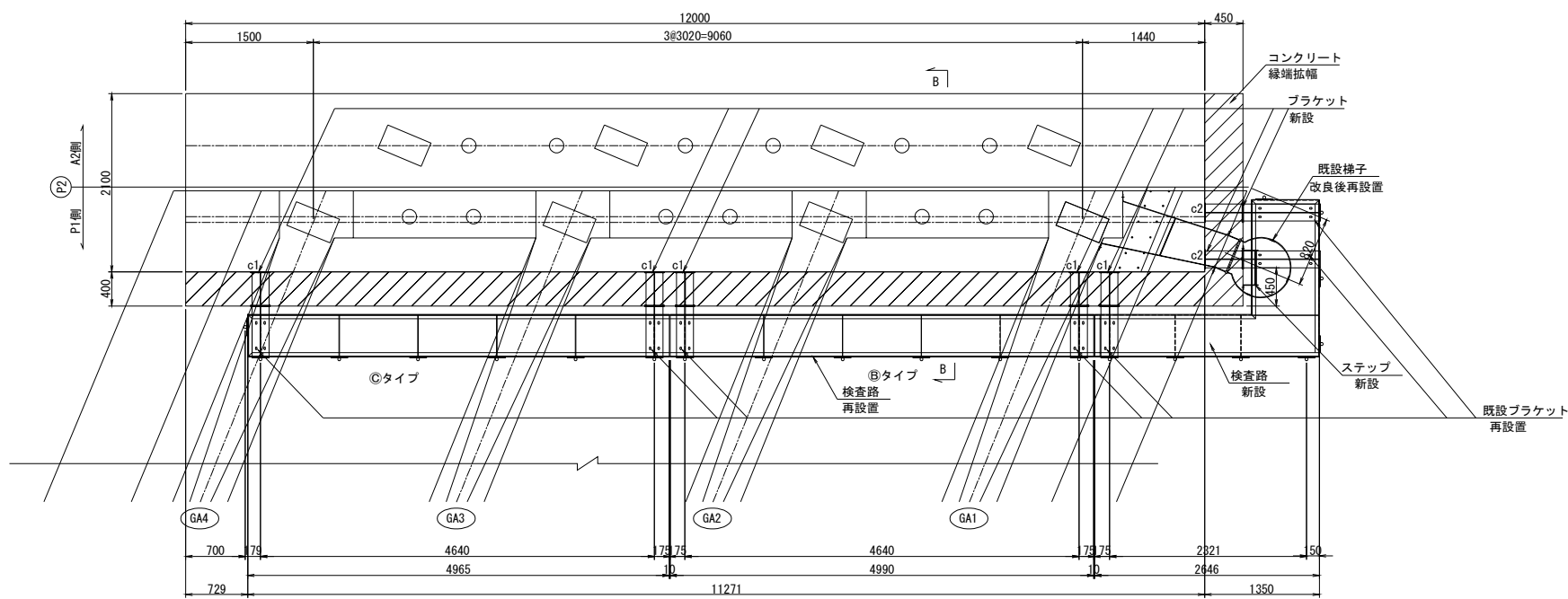
<p align="center">館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	村田川橋（上り線）2橋脚（P1側） 撤去・設置工 検査路B 詳細図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原 管理 事務所		

設置工

側面図



平面図



検査路改良後再設置数量

③タイプ

1-Pipe 25A×4990 (SGP)
6-Pipe 25A×1180 (SGP)
10-Pipe 15A×902 (SGP)
4-Pipe 15A×162 (SGP)
2-[100×50×5×7.5×4990
2-L 65×65×6×490
1-ChPL 480×3.2×4990
6-FB 50×6×490
42-BN M10×30
12-PL 170×6×200
24-BN M16×40
2-PL 200×8×520
8-BN M16×40

④タイプ

1-Pipe 25A×5011 (SGP)
6-Pipe 25A×1180 (SGP)
10-Pipe 15A×902 (SGP)
2-Pipe 15A×177 (SGP)
2-Pipe 15A×162 (SGP)
2-[100×50×5×7.5×4965
1-[100×50×5×7.5×500
1-L 65×65×6×490
1-ChPL 480×3.2×4965
6-FB 50×6×490
42-BN M10×30
14-PL 170×6×200
28-BN M16×40
2-PL 200×8×520
8-BN M16×40
1-Pipe 25A×546 (SGP)
1-Pipe 25A×1180 (SGP)
2-Pipe 15A×376 (SGP)

ブラケット

5-PL 200×8×602
5-PL 309×8×592
5-PL 90×8×637
2-PL 200×8×902
2-PL 309×8×892
2-PL 90×8×926
7-PL 230×8×350

梯子

2-Pipe 25A×685 (SGP)
2-Pipe 25A×165 (SGP)
2-Pipe 15A×3797 (SGP)
10-RB 22Φ×422 (SR24)
2-FB 65×6×266
4-FB 65×6×218
4-FB 65×6×1784
3-FB 65×6×2665
6-コンクリートアンカー M16×60
1-FB 65×6×1550
1-FB 65×6×1660
1-FB 65×6×500
2-コンクリートアンカー M16×60

新設検査路

1-Pipe 25A×2692 (SGP)
4-Pipe 25A×1180 (SGP)
6-Pipe 15A×749 (SGP)
2-Pipe 15A×162 (SGP)
2-Pipe 15A×177 (SGP)
1-Pipe 25A×1942 (SGP)
3-Pipe 25A×1180 (SGP)
4-Pipe 15A×749 (SGP)
4-Pipe 15A×177 (SGP)
1-Pipe 25A×846 (SGP)
1-Pipe 25A×1180 (SGP)
2-Pipe 15A×676 (SGP)

新設ブラケット

c1 箇所:N=5
2-PL 230×8×350
2-PL 200×8×384
1-PL 309×8×384
4-BN M16×60
6-コンクリートアンカー M16×120
c2 箇所:N=2
2-PL 230×8×350
2-PL 200×8×434
1-PL 309×8×434
4-BN M16×60
6-コンクリートアンカー M16×120

新設ステップ 箇所:N=4

2-BEND PL 60x6x240
1-RB φ22x400 (SR24)
2-BN M16
2-スリッパ打込み式アンカー M16x125

注記

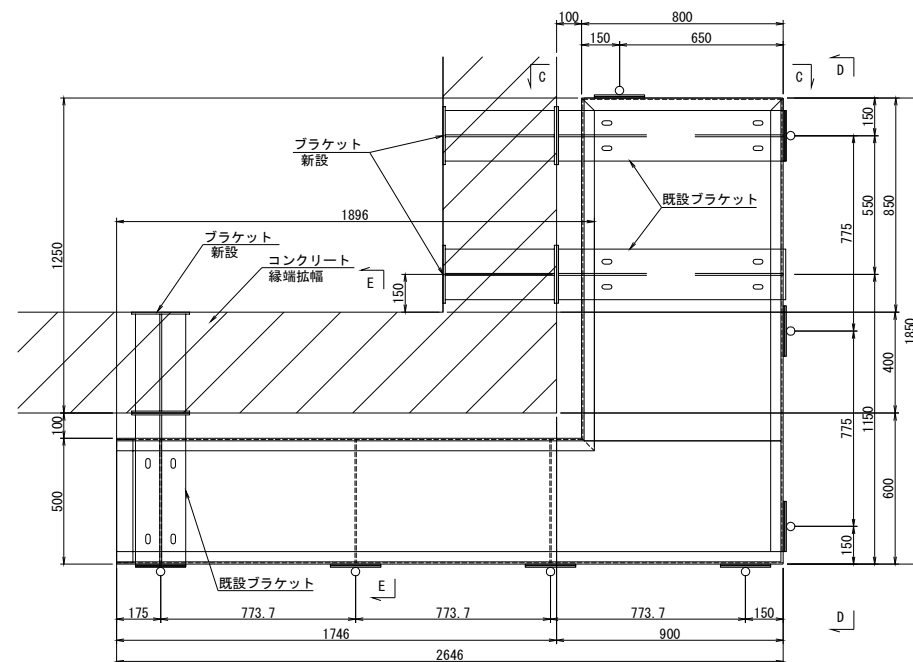
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- Uボルト付き以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
- 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49~HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZT49とする。
- ボルト孔は、メッキ付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。
- 床材に鋼鋼板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔1m(0.7m2)程度に1箇所程度設けること。

数量表

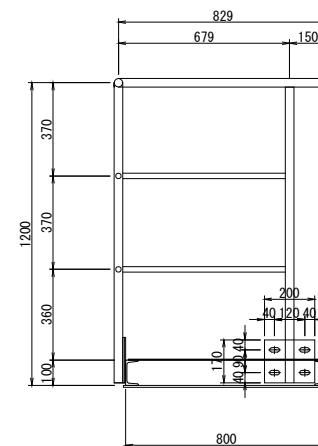
	撤去 (kg)	再設置 (kg)	新設工 (kg)	備考
P2 (P1)	263	806	514	検査路B

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	村田川橋（上り線）P2橋脚(P1側) 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その2)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

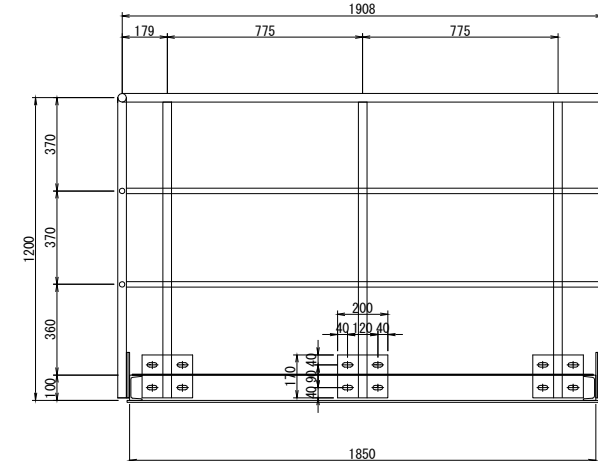
新設検査路 詳細図



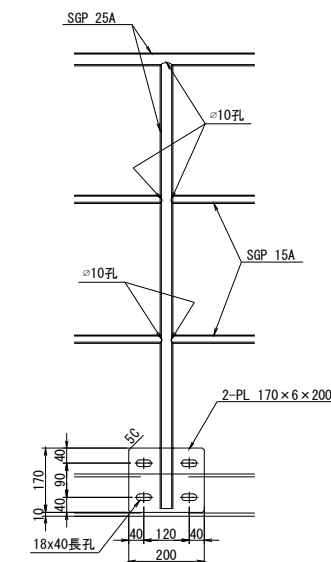
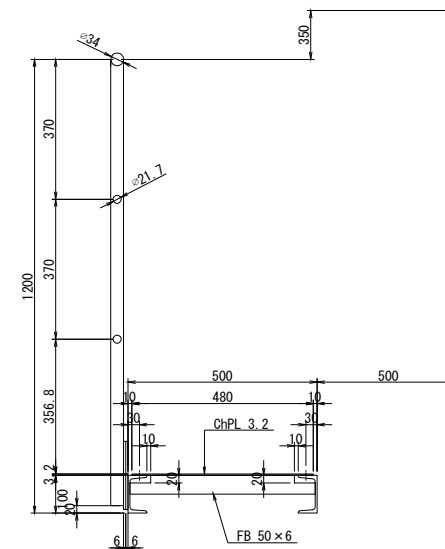
C-C



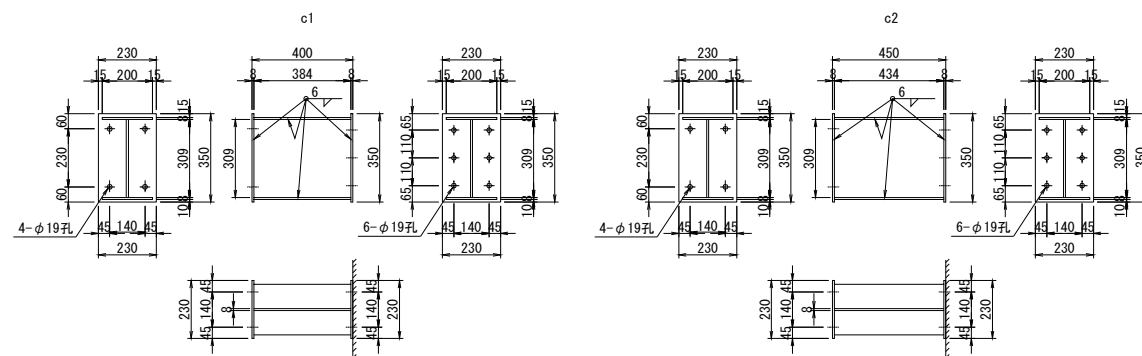
D-D



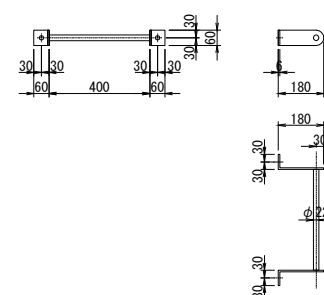
E-E S=1:20



ブラケット 詳細図



新設ステップ

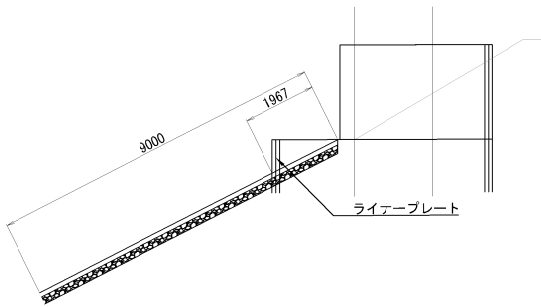


注記)

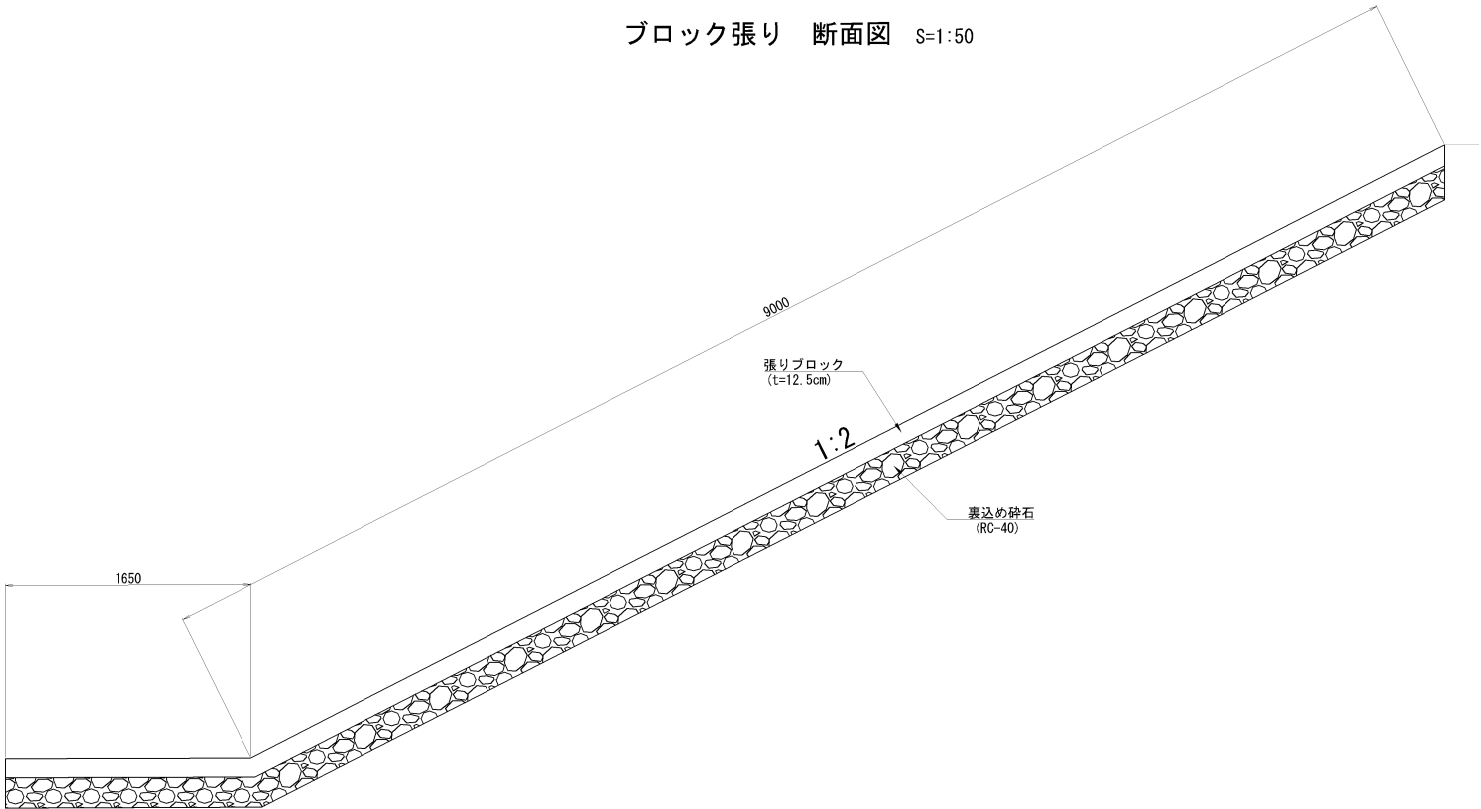
1. 特記なき材質は、全てSCS400とする。
2. Uボルト及び以外のナットは、全て緩み止めナットを使用すること。
3. 部材は、全て溶融亜鉛メッキとする。
4. 船舶の付着物は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類は、HDZT49とする。
5. ボルト孔は、メット付着量を考慮し、床材径+3mmを標準とする。
6. 床材に鋼線板を使用する場合は、直径10mmの排水孔を間隔10(0.7m)程度に1箇所程度設けること。
7. 手摺にはメッキ用空室孔10をあけること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事	
図面の種類	村田川橋（上り線）P2橋脚（P1側） 撤去 設置 検査路B 詳細図（その3）
縮 尺	図 示 図面番号 /
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社
施工会社名	
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所

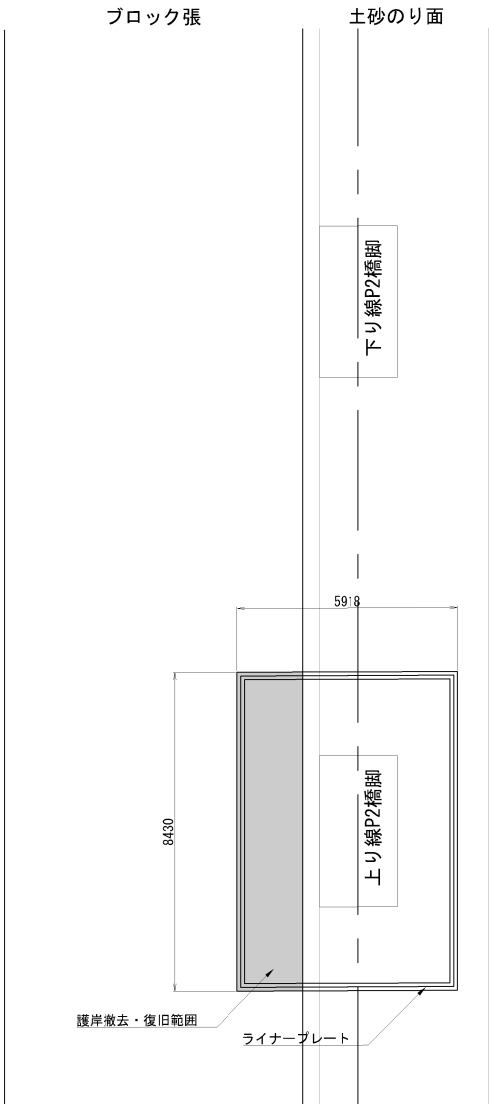
側面図 S=1:200



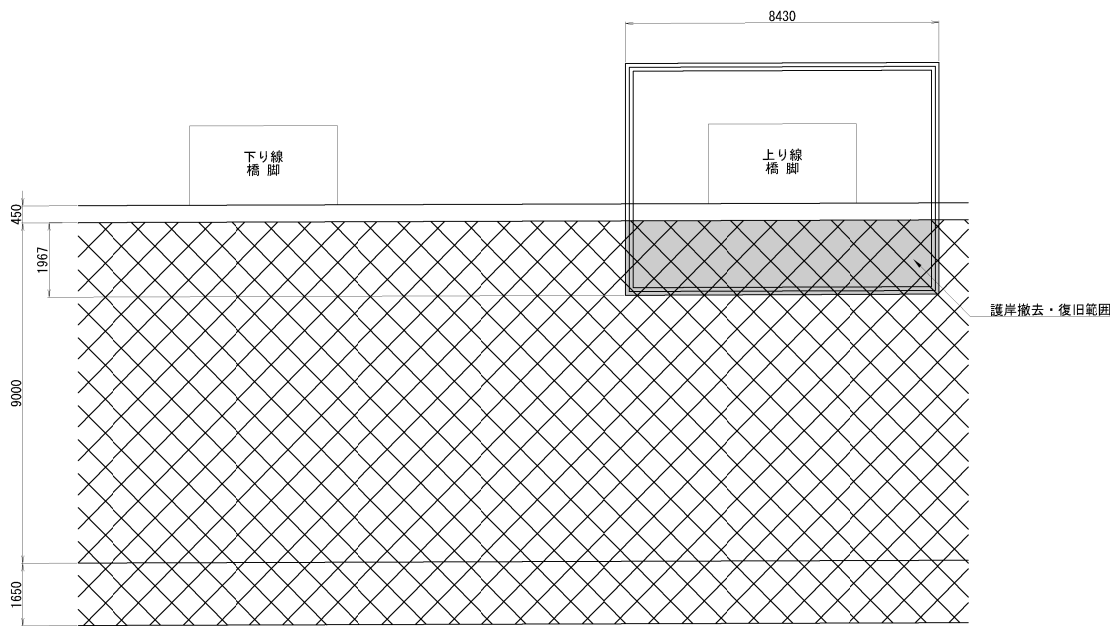
ブロック張り 断面図 S=1:50



平面図 S=1:200



護岸工展開図 S=1:200



護岸工撤去数量表

種 別	規格・寸法	単位	P2橋脚	摘 要
コンクリート構造物取壊し	TypeA	m3	2.073	ブレーカはつり(無筋)

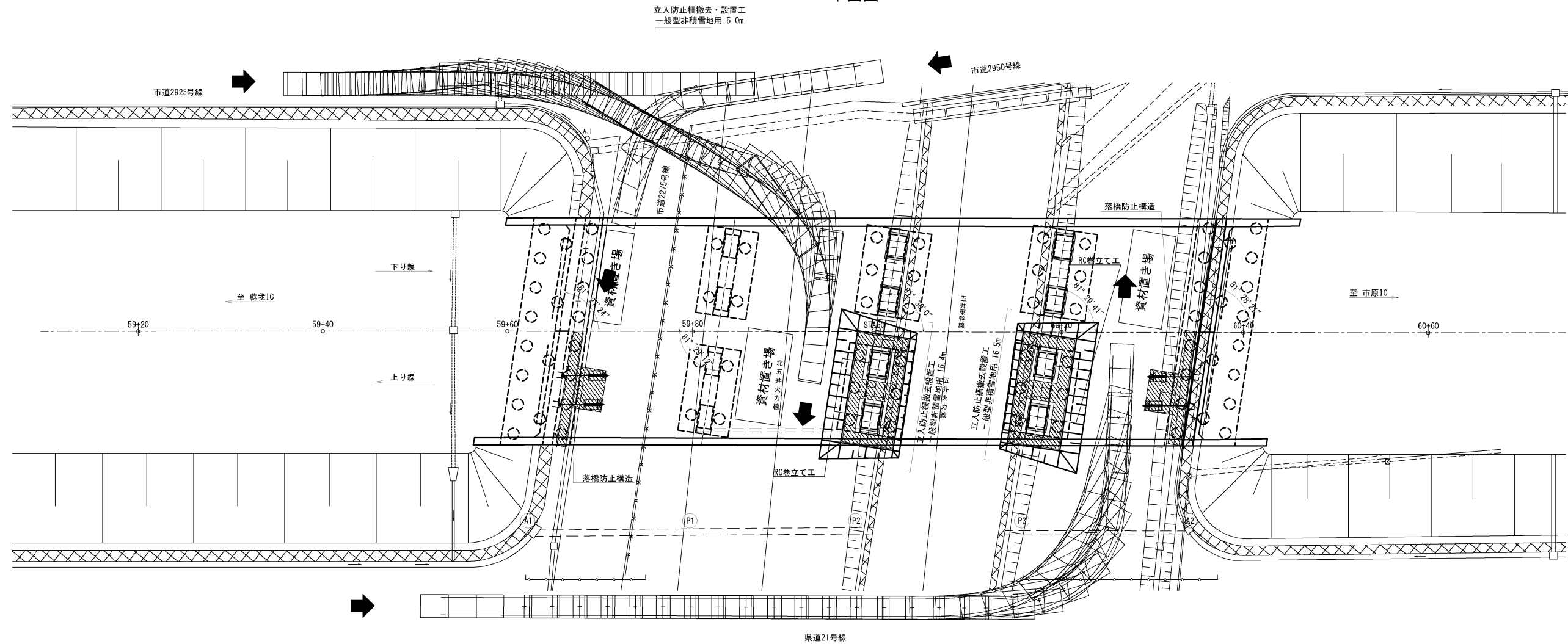
護岸工復旧数量表

種 別	規格・寸法	単位	P2橋脚	摘 要
ブロック張工	(空) 控12.5cm	m2	16.58	
裏込め砕石	切込砕石	m3	3.316	RC-40

注記)
1. 本図面は、完成図・管理用平面図・簡易計測から作成したものであり、平面位置関係等においては、現地測量を要する。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	村田川橋（上り線） 護岸撤去・復旧図		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面图



防護柵撤去・設置工
Gr-C-4B 12.5m

撤去・設置工数量表

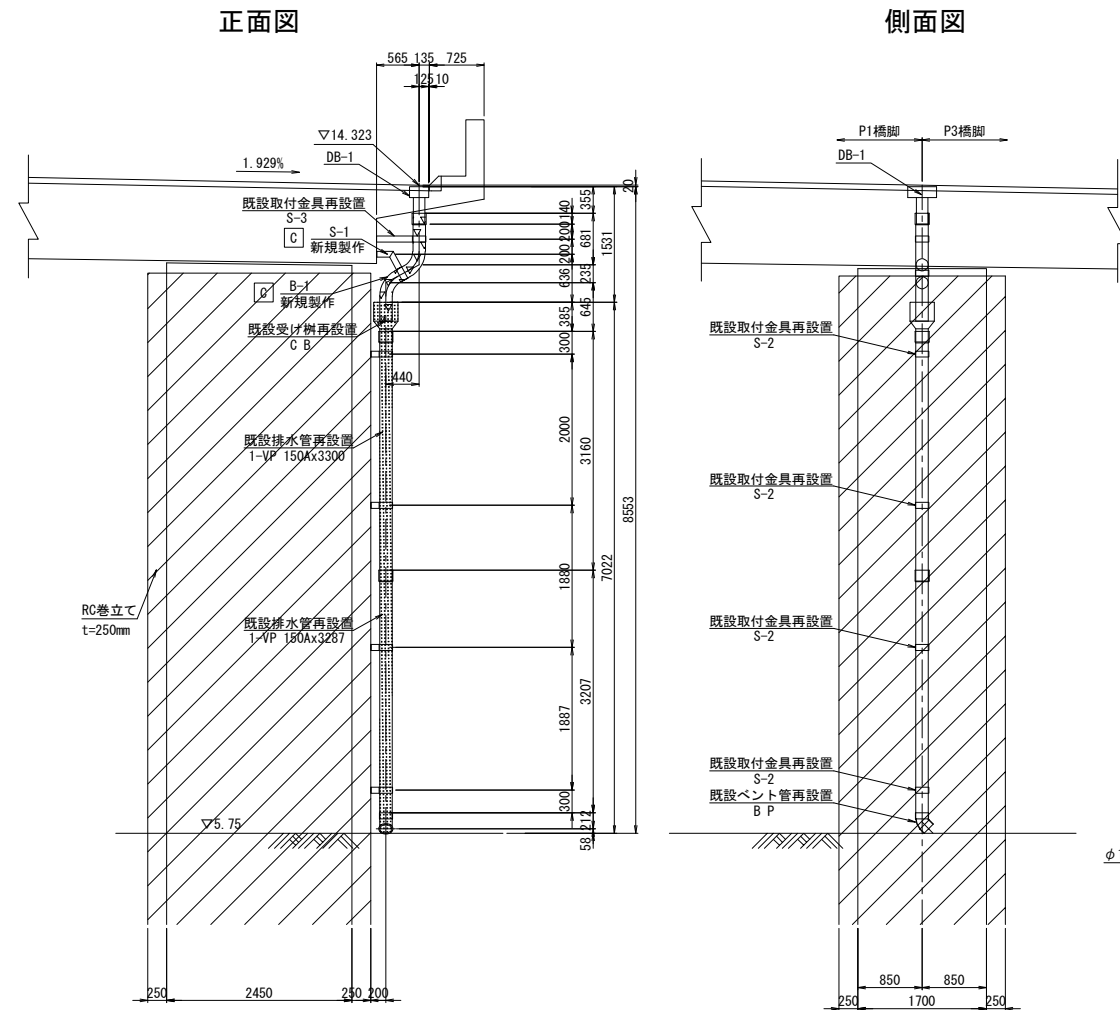
細 目	規格・仕様	単位	数量	備 考
防護柵	Gr-C-4B	m	12.5	
立入防止柵	一般型非積雪地用	"	37.9	

注記)

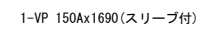
1. 本図面は、完成図・管理用平面図から作成したものであり、平面位置関係等においては、現地測量を要する。

<p>館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	<p>加茂橋（上り線） 防護柵・立入防止柵撤去設置工 平面図</p>		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 市 原 管 理 事 務 所		関東支社

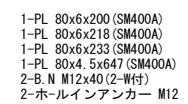
設置工



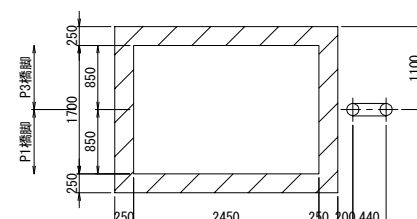
製作数:1



製作数:1



平面図







曲管
T-1 1個
ベント管
B P 1個
受け樹
C B 1個
金具
S-2 4個
S-3 1個
S-4 1個

ペント管
 B P 1個
 受け桎
 C B 1個
 金具
 S-2 4個
 S-3 1個

新規数量
曲管
B-1 1個
金具
S-1 1

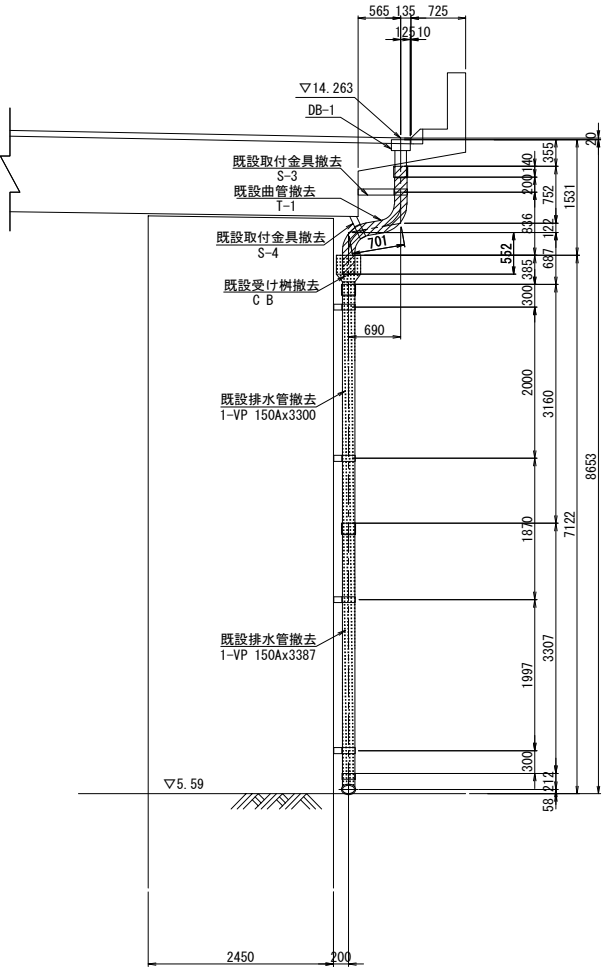
凡例

	: 撤去
	: 既設再設置
	: 新規製作
	: 全て新規製作

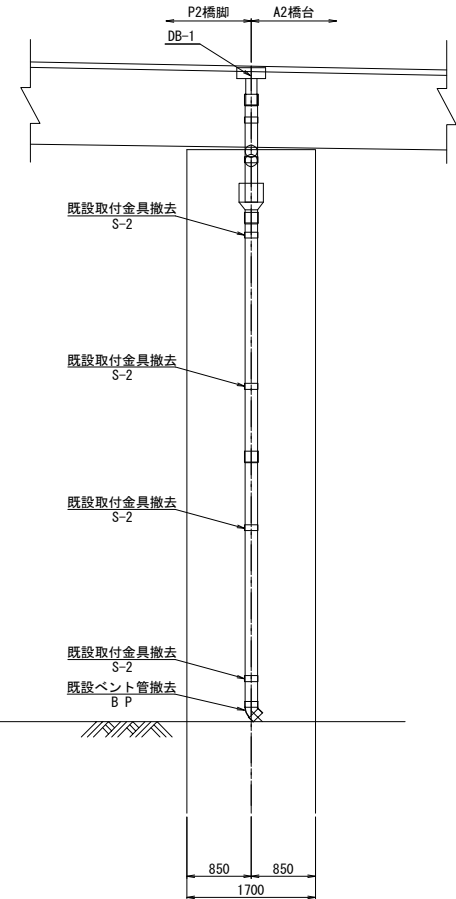
<p>館山自動車道 豊成高架構架補強排水工事</p>			
図面の種類	加茂橋（上り線）P2橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 市 原 管 理 事 務 所		関東支社

既設撤去図

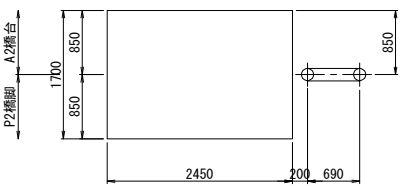
正面図



側面図



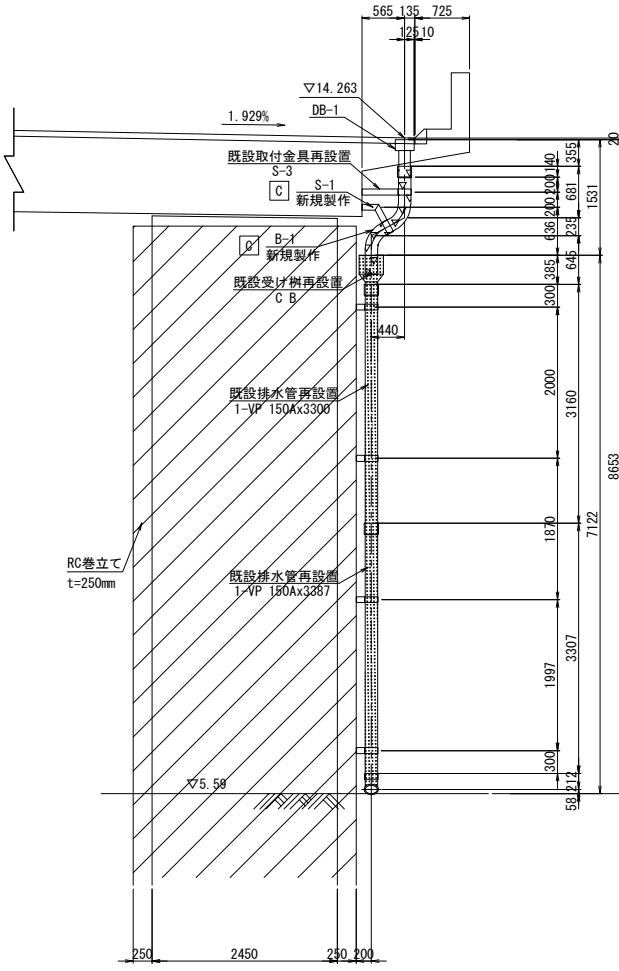
平面図



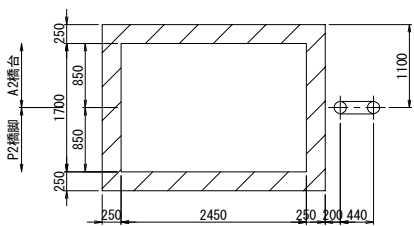
撤去流水線延長
上部工：L= 0.752+0.701+0.552= 2.005 m
下部工：L= 0.385+3.160+3.307+0.248= 7.100 m
撤去数量（既設図より）
直管
1-VP 150Ax3300（スリーブ付）
1-VP 150Ax3387（スリーブ付）
曲管
T-1 1個
ベント管
B P 1個
受け樹
C B 1個
金具
S-2 4個
S-3 1個
S-4 1個

設置工

正面図



平面図

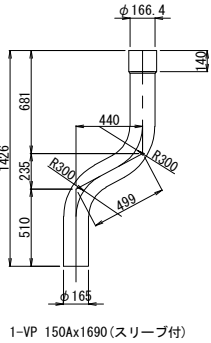


新規流水線延長
上部工：L= 0.681+0.499+0.510= 1.690 m
下部工：L= 0.385+3.160+3.307+0.248= 7.100 m
排水装置改良後再設置数量
直管
1-VP 150Ax3300（スリーブ付）
1-VP 150Ax3387（スリーブ付）
ベント管
B P 1個
受け樹
C B 1個
金具
S-2 4個
S-3 1個
新規数量
曲管
B-1 1個
金具
S-1 1個

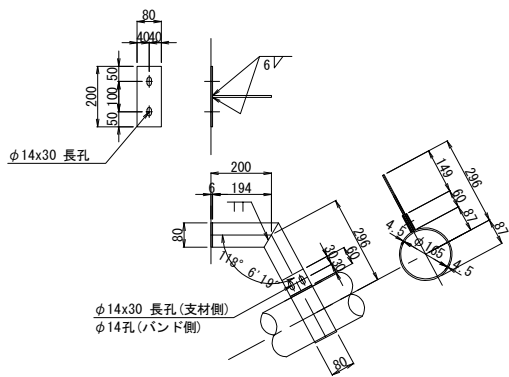
数量表	撤去 (m)	再設置 (m)	新設工 (m)	備考
P3	2.005	7.100	1.690	流水線延長

凡例
[斜線] : 撤去
[点線] : 既設再設置
[▽▽▽▽▽▽] : 新規製作
[C] : 全て新規製作

新規曲管B-1 S=1:50
製作数:1



新規金具S-1 S=1:25
製作数:1

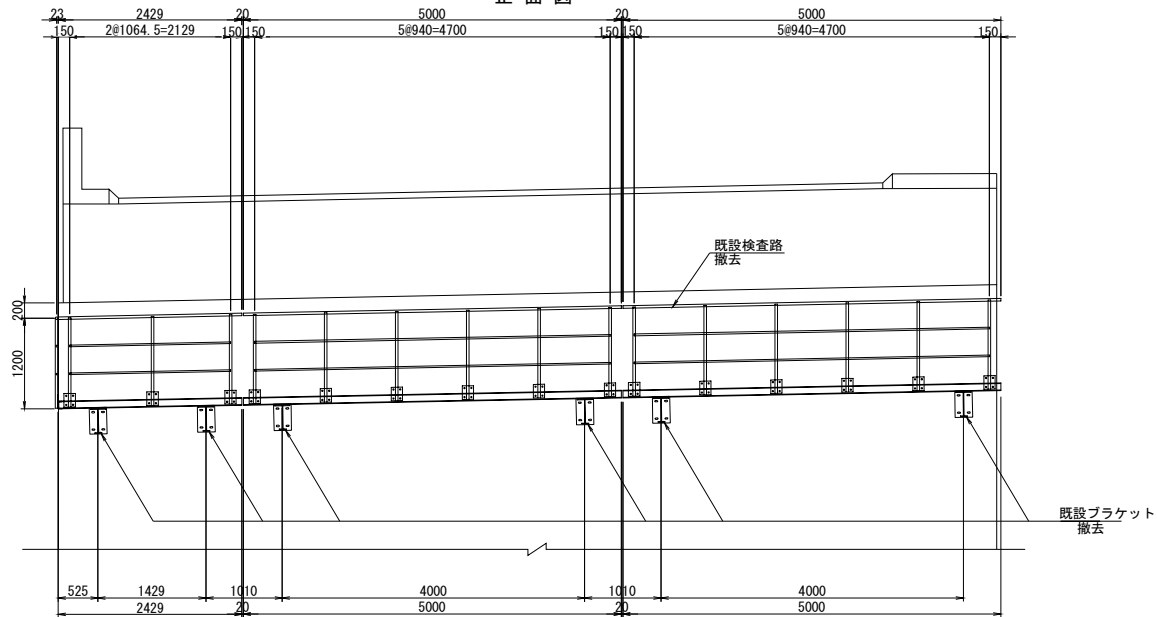


1-PL 80x6x200 (SM400A)
1-PL 80x6x218 (SM400A)
1-PL 80x6x233 (SM400A)
1-PL 80x4.5x647 (SM400A)
2-B.N M12x40 (2-W付)
2-ホルインアンカー M12

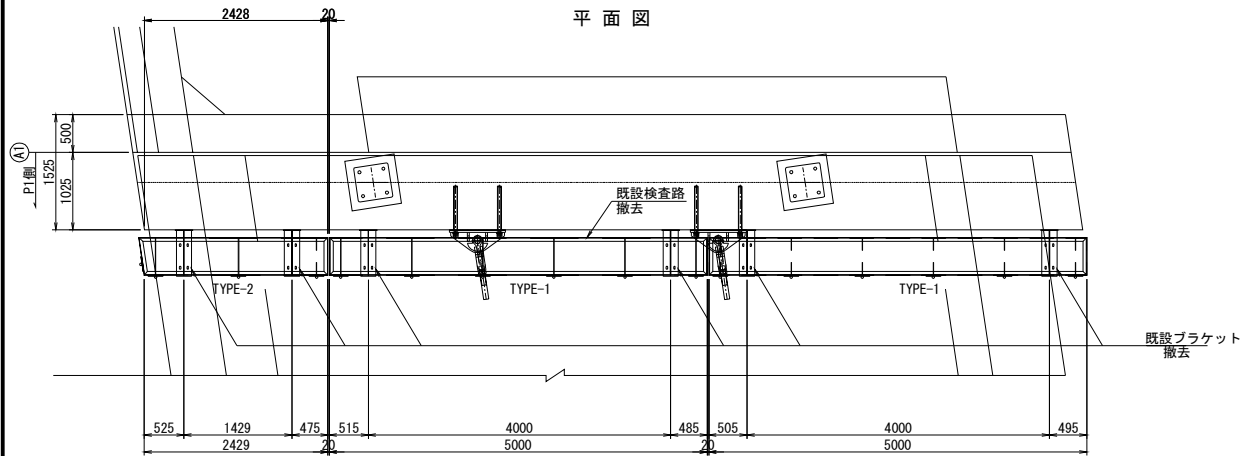
- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 工場製作は現場実測確認のうえ行うものとする。
 - ナットは全て緩み止めナットを使用すること。
 - 鋼材は溶融亜鉛めっき仕上げとし、膜厚は、JIS H 8641 HDZT77とする。但し、ボルト・ナット類はHDZT49とする。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	加茂橋（上り線）P3橋脚 撤去・設置工 排水管A 詳細図	図示	図面番号	/
縮尺				
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所			

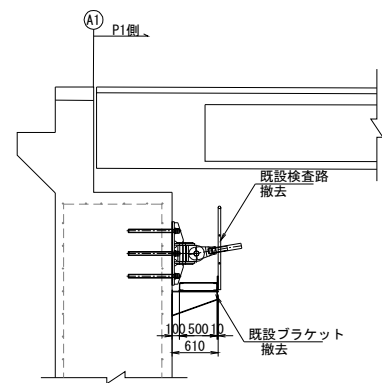
撤去工
正面図



平面図



側面図



撤去数量（既設図より）

TYPE-1 箇所:N=2

- 1-STK 34Φ×5004
- 6-STK 34Φ×1180
- 10-STK 21.7Φ×907
- 2-PL 45Φ×4.5
- 6-PL 150×6×186
- 24-BN M16×35
- 2-[100×50×5×7.5×5004
- 2-[100×50×5×7.5×500
- 1-ChPL 480×3.2×4984
- 6-FB 50×6×490
- 2-PL 180×8×520
- 8-BN M16×50
- 40-BN M10×30

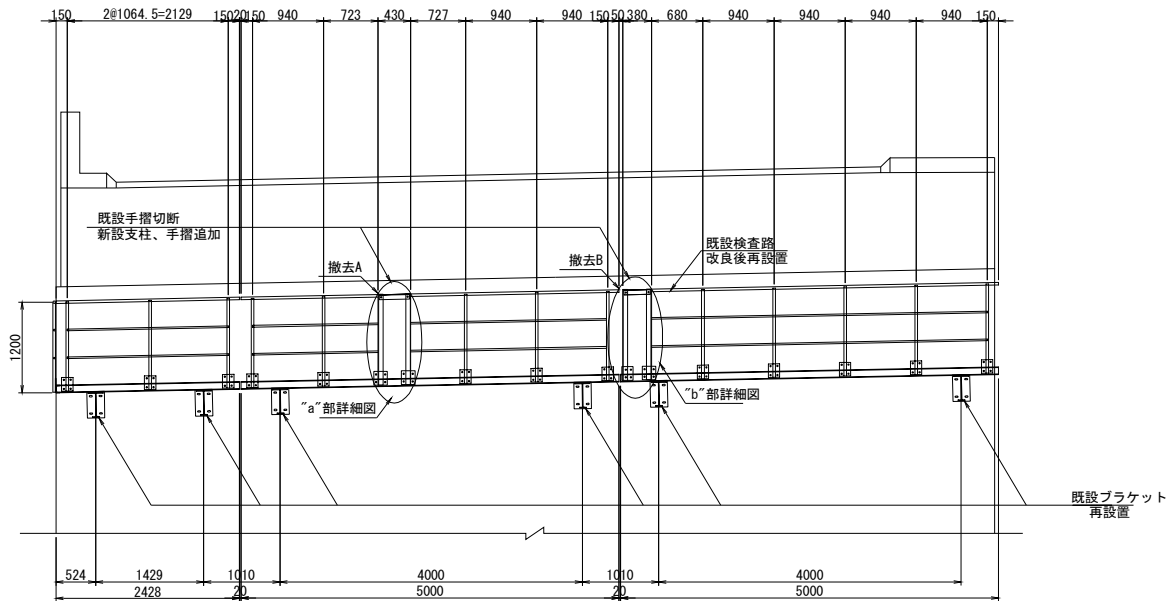
TYPE-2

- 1-STK 34Φ×2431
- 4-STK 34Φ×1180
- 4-STK 21.7Φ×1031
- 2-PL 45Φ×4.5
- 4-PL 150×6×186
- 12-BN M16×35
- 1-STK 34Φ×600
- 2-STK 21.7Φ×540
- 1-[100×50×5×7.5×2431
- 1-[100×50×5×7.5×1378
- 1-[100×50×5×7.5×927
- 2-[100×50×5×7.5×200
- 1-[100×50×5×7.5×300
- 1-[100×50×5×7.5×500
- 1-[100×50×5×7.5×506
- 1-ChPL 480×3.2×2485
- 3-FB 50×6×490
- 2-PL 180×8×520
- 8-BN M16×50
- 20-BN M10×30

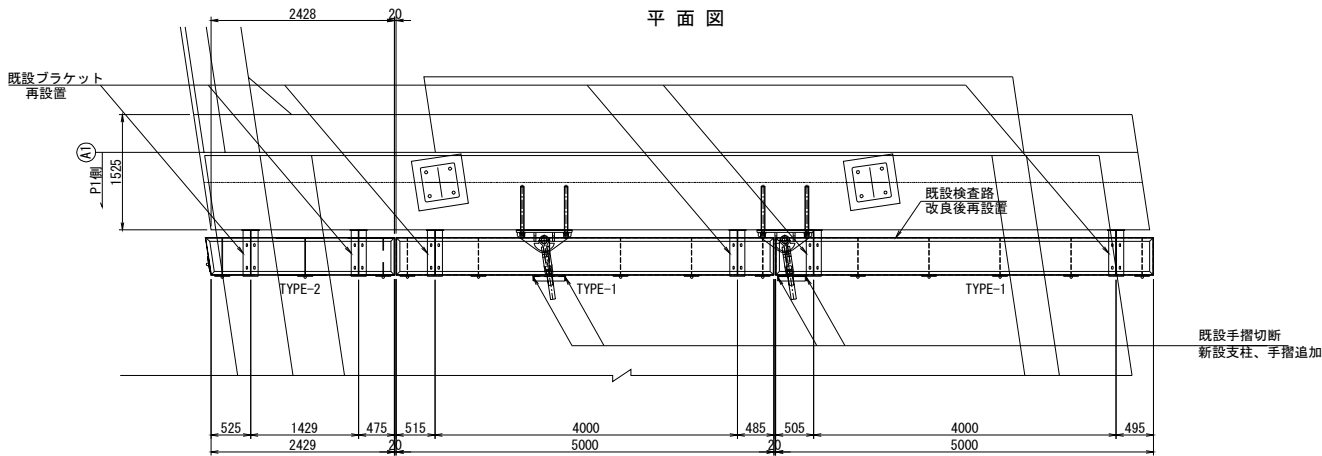
プレート 箇所:N=6

- 1-PL 230×8×354
- 1-PL 200×8×602
- 1-PL 309×8×592
- 1-PL 90×8×637
- 4-ボールインアンカー M16×60

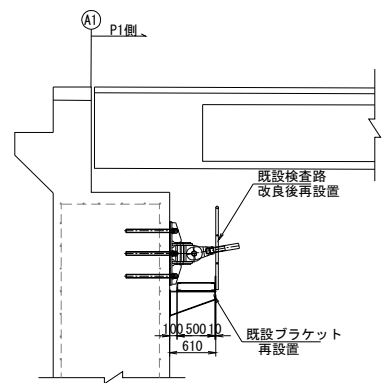
設置工
正面図



平面図



側面図



検査路改良後再設置数量

TYPE-1

- 1-STK 34Φ×1815
- 1-STK 34Φ×2759
- 1-STK 34Φ×4593
- 10-STK 34Φ×1180
- 14-STK 21.7Φ×907
- 2-STK 21.7Φ×707
- 2-STK 21.7Φ×711
- 2-STK 21.7Φ×664
- 4-PL 45Φ×4.5
- 10-PL 150×6×186
- 40-BN M16×35
- 4-[100×50×5×7.5×5004
- 4-[100×50×5×7.5×500
- 2-ChPL 480×3.2×4984
- 12-FB 50×6×490
- 4-PL 180×8×520
- 16-BN M16×50
- 80-BN M10×30

TYPE-2

- 1-STK 34Φ×2431
- 4-STK 34Φ×1180
- 4-STK 21.7Φ×1031
- 2-PL 45Φ×4.5
- 4-PL 150×6×186
- 12-BN M16×35
- 1-STK 34Φ×600
- 2-STK 21.7Φ×540
- 1-[100×50×5×7.5×2431
- 1-[100×50×5×7.5×1378
- 1-[100×50×5×7.5×927
- 2-[100×50×5×7.5×200
- 1-[100×50×5×7.5×300
- 1-[100×50×5×7.5×500
- 1-[100×50×5×7.5×506
- 1-ChPL 480×3.2×2485
- 3-FB 50×6×490
- 2-PL 180×8×520
- 8-BN M16×50
- 20-BN M10×30

プレート 箇所:N=6

- 1-PL 230×8×354
- 1-PL 200×8×602
- 1-PL 309×8×592
- 1-PL 90×8×637
- 4-ボールインアンカー M16×60

新設支柱

- 4-L 65×65×6×1200
- 3-PL 180×6×180
- 1-PL 150×6×180
- 16-BN M16×35

新設手摺

- 1-L 65×65×6×400
- 1-L 65×65×6×350
- 4-BN M16×35

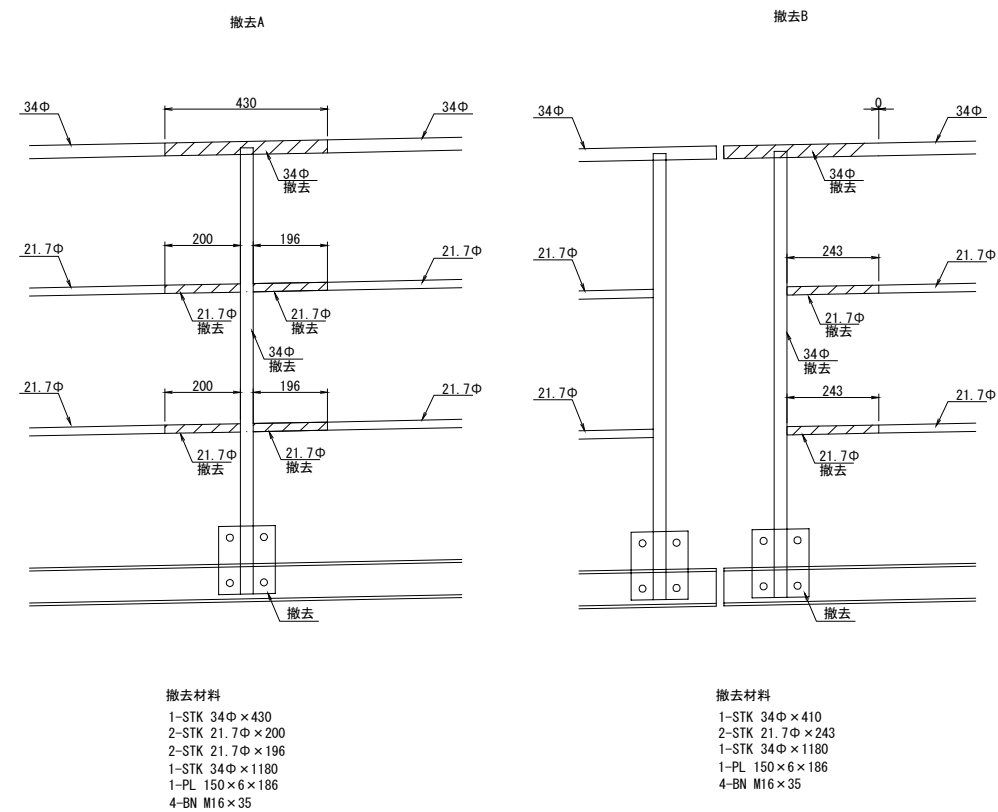
注記)

- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49~HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZT49とする。
- ボルト孔はめっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

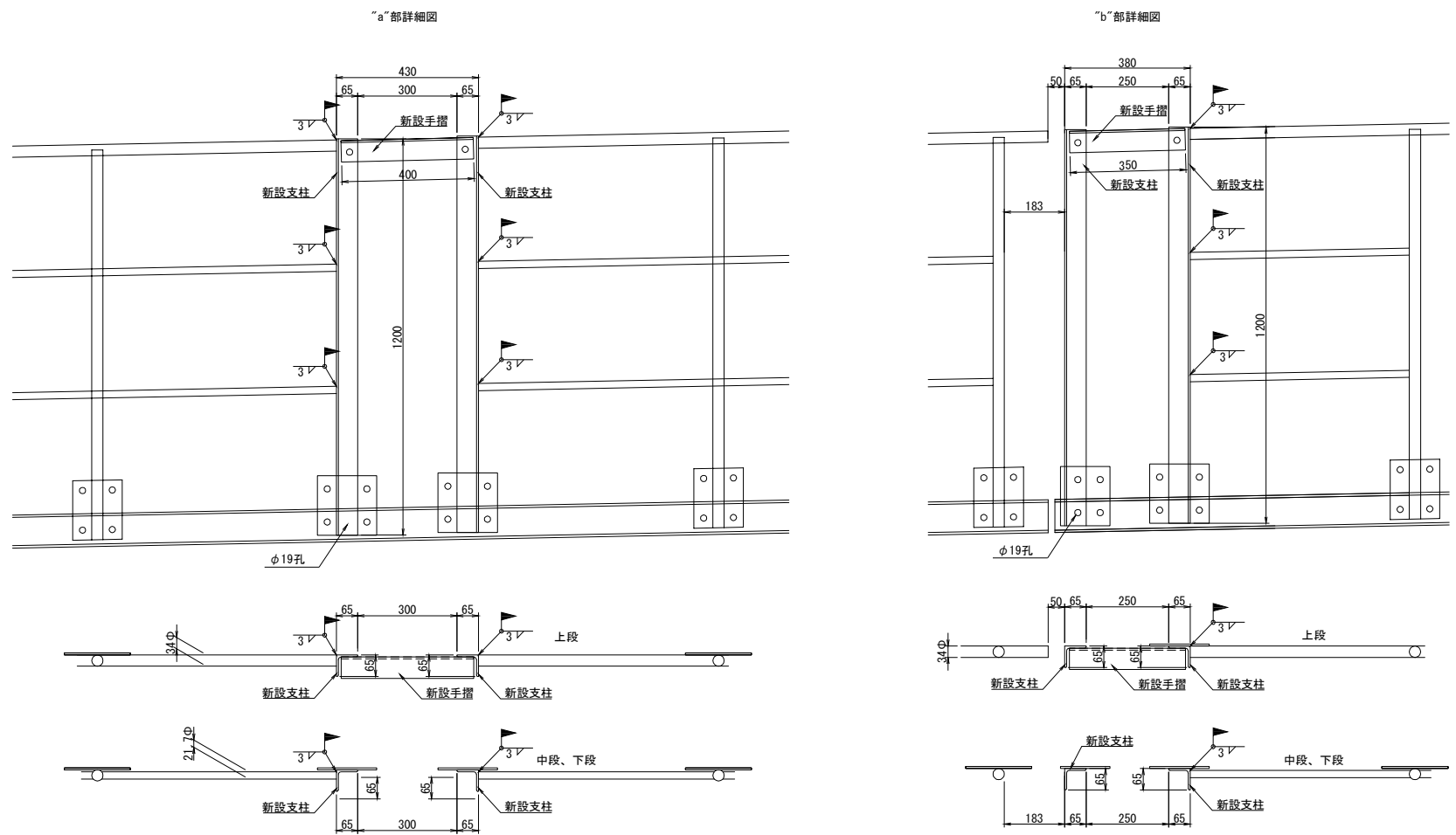
数量表				
	撤去 (kg)	再設置 (kg)	新設工 (kg)	備考
A1	14	788	41	検査路B

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	加茂橋（上り線）A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図（その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

手摺撤去詳細図

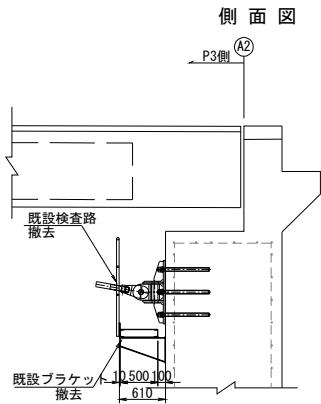
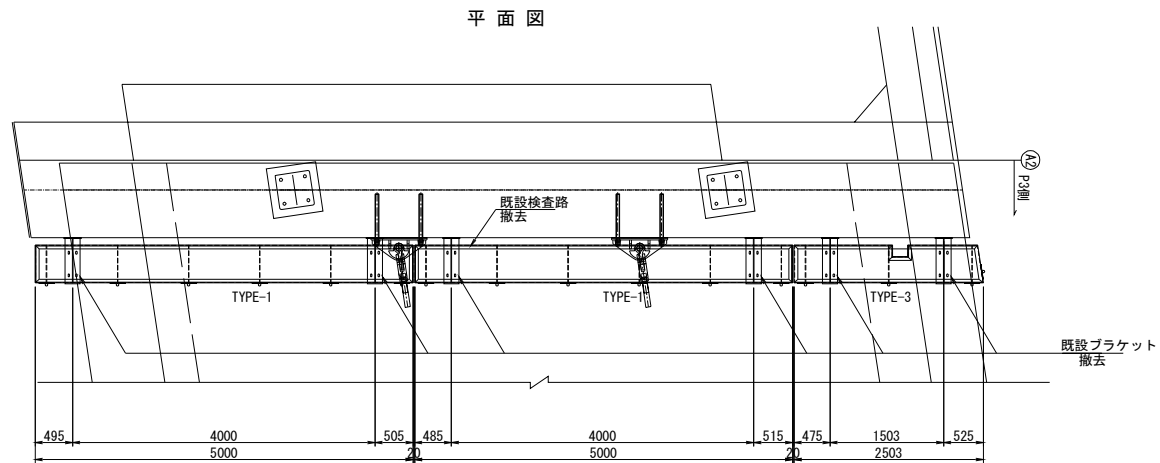
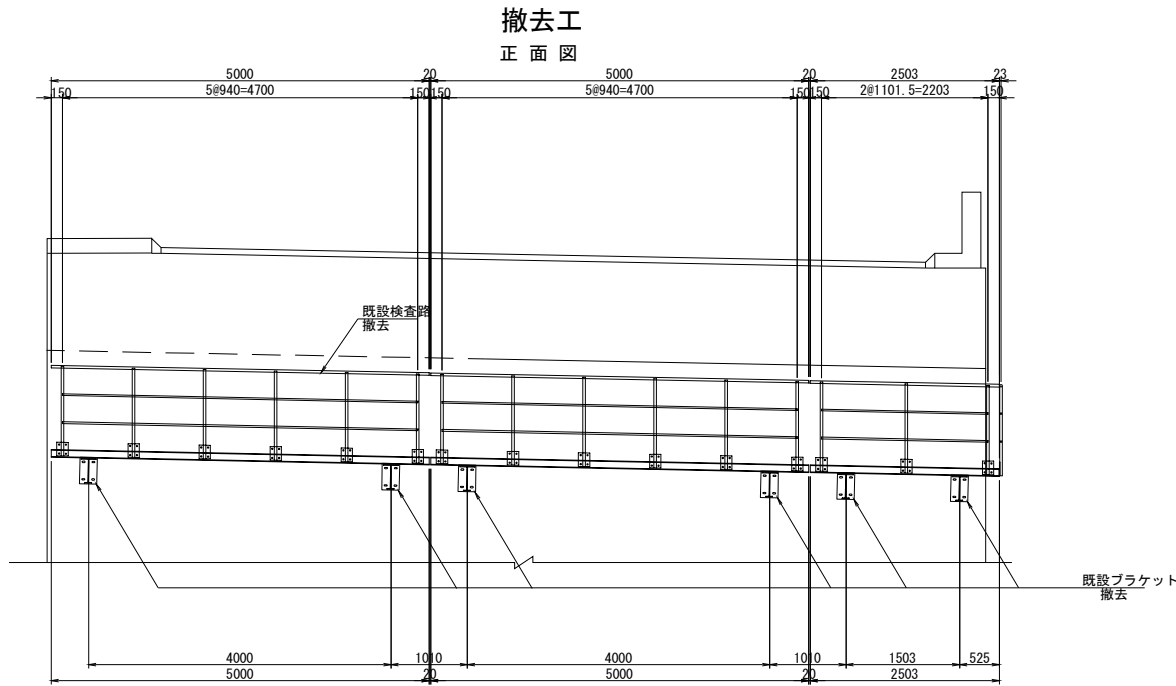


新設支柱、手摺追加詳細図



- 注記)
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
 - 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
垂鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49～HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZT49とする。
 - ボルト孔はめっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	加茂橋（上り線）A1橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図（その2）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



撤去数量（既設図より）

TYPE-1 箇所:N=2

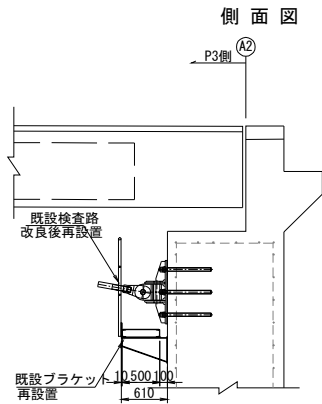
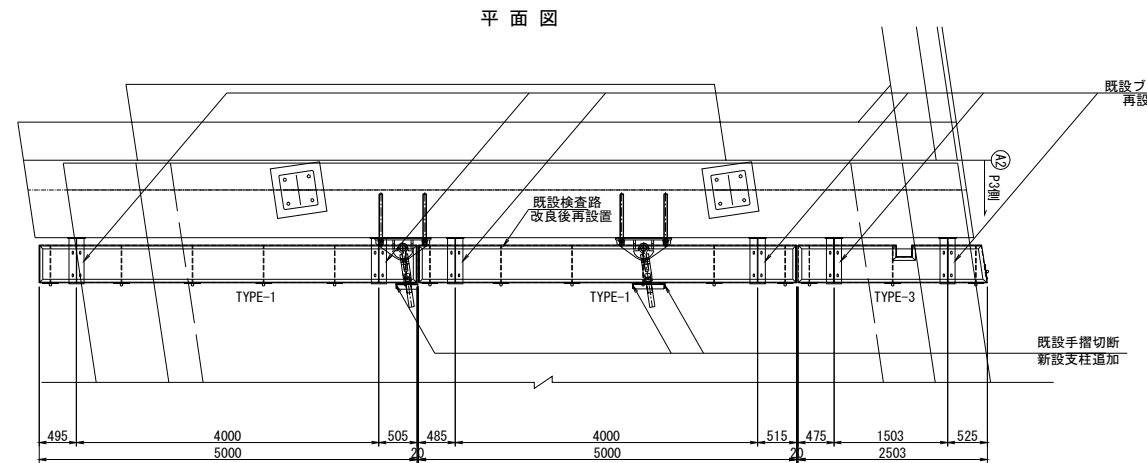
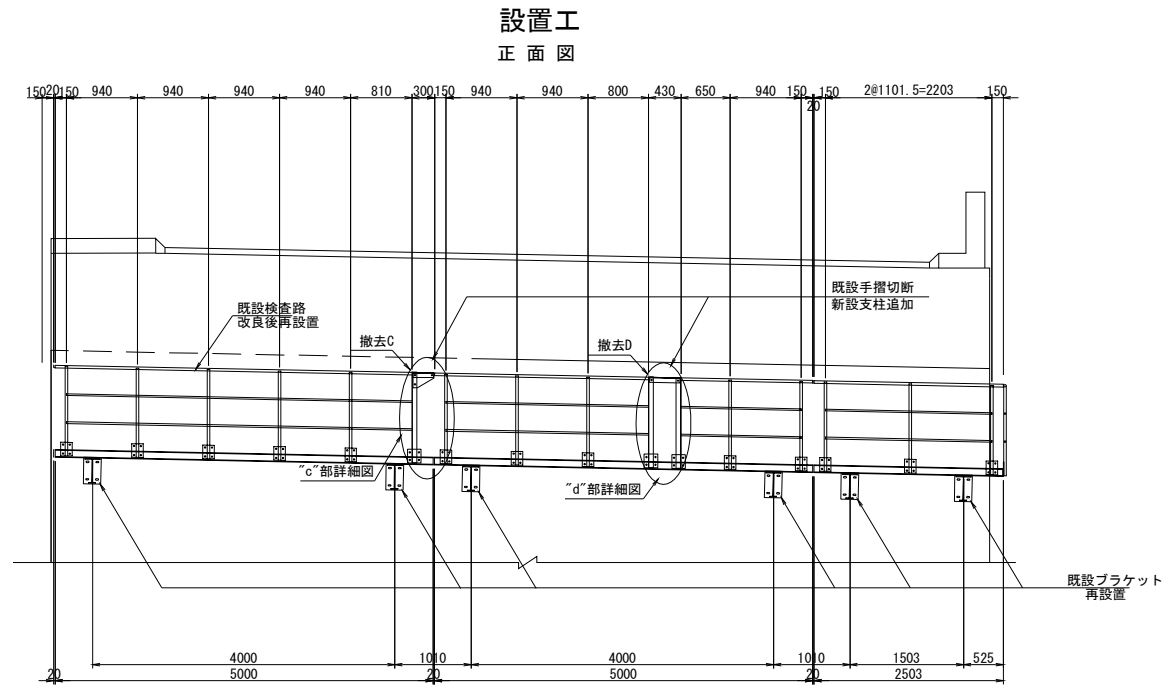
1-STK 34Φ×5004
6-STK 34Φ×1180
10-STK 21.7Φ×907
2-PL 45Φ×4.5
6-PL 150×6×186
24-BN M16×35
2-[100×50×5×7.5×5004
2-[100×50×5×7.5×500
1-ChPL 480×3.2×4984
6-FB 50×6×490
2-PL 180×8×520
8-BN M16×50
40-BN M10×30

TYPE-3

1-STK 34Φ×2505
4-STK 34Φ×1180
4-STK 21.7Φ×1068
2-PL 45Φ×4.5
4-PL 150×6×186
12-BN M16×35
1-STK 34Φ×600
2-STK 21.7Φ×540
1-[100×50×5×7.5×2505
1-[100×50×5×7.5×1304
1-[100×50×5×7.5×927
2-[100×50×5×7.5×200
1-[100×50×5×7.5×300
1-[100×50×5×7.5×500
1-[100×50×5×7.5×506
1-ChPL 480×3.2×2485
3-FB 50×6×490
2-PL 180×8×520
8-BN M16×50
20-BN M10×30

ブラケット 箇所:N=6

1-PL 230×8×354
1-PL 200×8×602
1-PL 309×8×592
1-PL 90×8×637
4-ボールインアンカー M16×60



検査路改良後再設置数量

TYPE-1

1-STK 34Φ×4722
1-STK 34Φ×2832
1-STK 34Φ×1742
10-STK 34Φ×1180
14-STK 21.7Φ×907
2-STK 21.7Φ×794
2-STK 21.7Φ×784
2-STK 21.7Φ×634
4-PL 45Φ×4.5
10-PL 150×6×186
40-BN M16×35
4-[100×50×5×7.5×5004
4-[100×50×5×7.5×500
2-ChPL 480×3.2×4984
12-FB 50×6×490
4-PL 180×8×520
16-BN M16×50
80-BN M10×30

TYPE-3

1-STK 34Φ×2505
4-STK 34Φ×1180
4-STK 21.7Φ×1068
2-PL 45Φ×4.5
4-PL 150×6×186
12-BN M16×35
1-STK 34Φ×600
2-STK 21.7Φ×540
1-[100×50×5×7.5×2505
1-[100×50×5×7.5×1304
1-[100×50×5×7.5×927
2-[100×50×5×7.5×200
1-[100×50×5×7.5×300
1-[100×50×5×7.5×500
1-[100×50×5×7.5×506
1-ChPL 480×3.2×2485
3-FB 50×6×490
2-PL 180×8×520
8-BN M16×50
20-BN M10×30

ブラケット 箇所:N=6

1-PL 230×8×354
1-PL 200×8×602
1-PL 309×8×592
1-PL 90×8×637
4-ボールインアンカー M16×60

新設支柱

3-L 65×65×6×1200
3-PL 180×6×180
12-BN M16×35

新設手摺

1-L 65×65×6×275
1-L 65×65×6×400
1-PL 275×6×200
5-BN M16×35

注記)

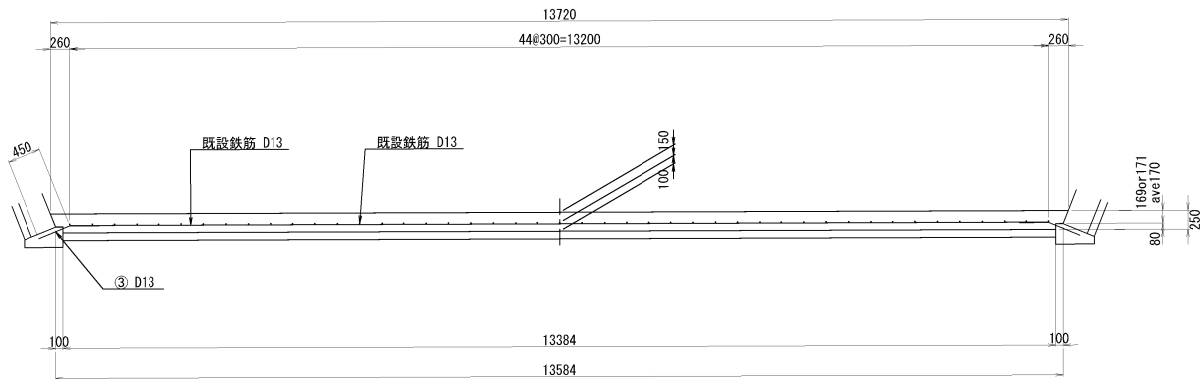
- 特記なき材質は、全てSS400とする。
- 部材は、全て溶融亜鉛めっきとする。
亜鉛の付着量は、JIS H8641 HDZT49~HDZT77とする。
但し、ボルト・ナット類は、HDZT49とする。
- ボルト孔はめっき付着量を考慮し、
ボルト径+3mmを標準とする。

数量表				
	撤去 (kg)	再設置 (kg)	新設工 (kg)	備考
A2	14	788	31	検査路B

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	加茂橋（上り線）A2橋台 撤去・設置工 検査路B 詳細図(その1)		
縮 尺	図 示	図面番号	/
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	加茂橋（より線） 下水路撤去・復旧図（参考図、その1）		
縮 尺	図 示	図面番号	／
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 市 原 管 理 事 務 所		関東支社

河床コンクリート工断面図



護岸工撤去数量表

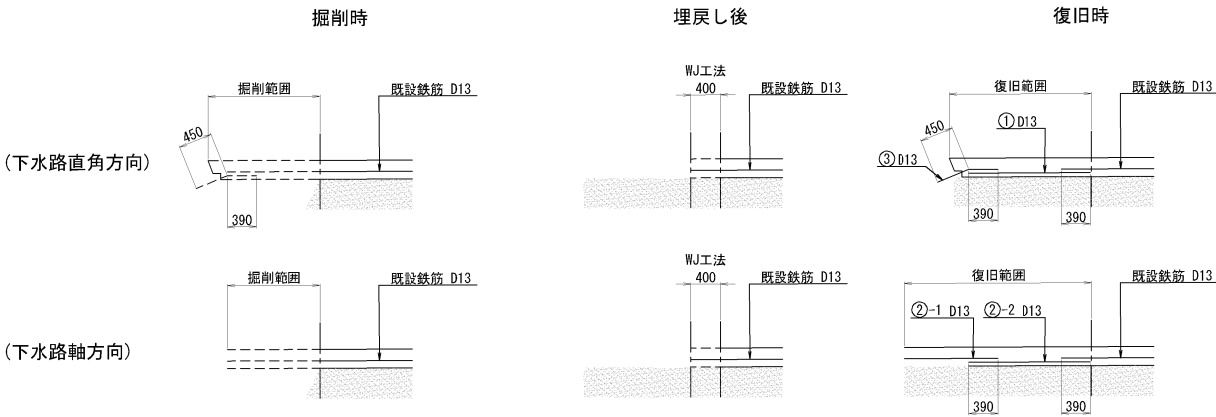
種 別	規格・寸法	単位	P2橋脚	P3橋脚	計	摘 要
コンクリート構造物取壊し	TypeB	m3	5.2	5.3	10.5	
コンクリートはつりEA	WJ工法	m3	2.179	2.194	4.373	

河床コンクリート工数量表

種 別	規格・寸法	単位	P2橋脚	P3橋脚	計	摘 要
コンクリート	C1-1	m3	5.3	5.4	10.7	底盤
	C1-1	"	2.1	2.1	4.2	捨コン
鉄 筋	D13	kg	144	144	288	

鉄筋数量表

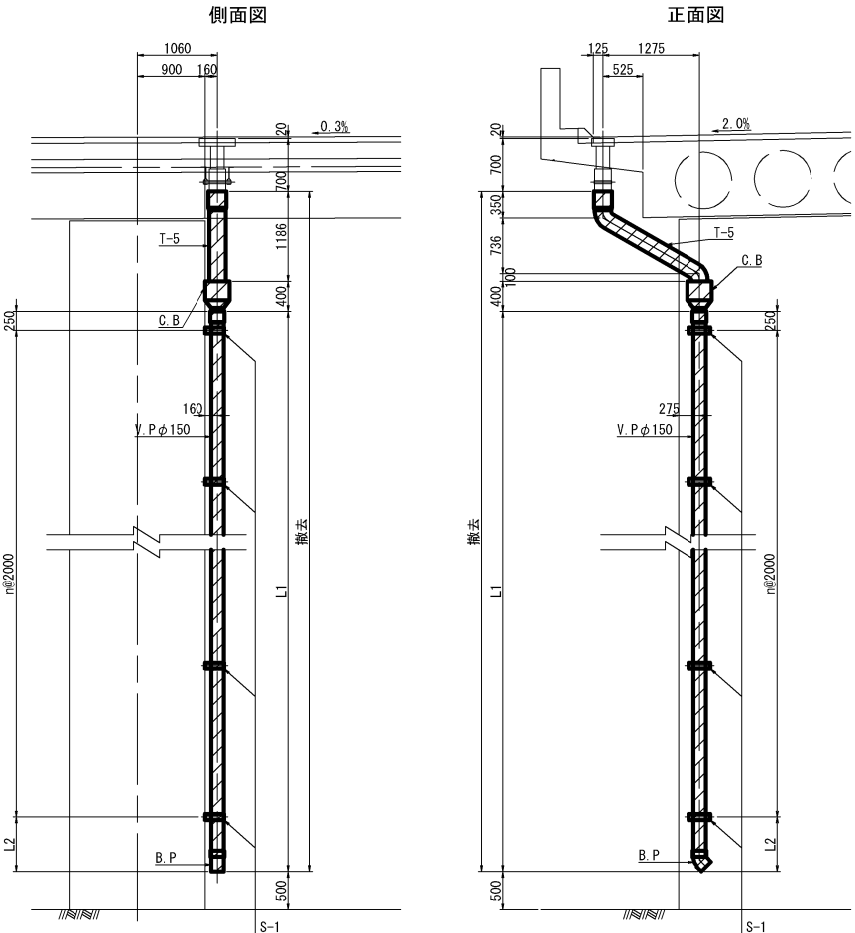
箇所	番号	径	長さ	本数	単位重量	1本当り重量	重量	摘 要
P2橋脚側	①	D13	1440	44	0.995	1.43	63	
	②-1	"	7465	3	"	7.43	22	
	②-2	"	7465	3	"	7.43	22	
	③	"	840	44	"	0.836	37	
P3橋脚側	①	D13	1440	44	0.995	1.43	63	
	②-1	"	7490	3	"	7.45	22	
	②-2	"	7490	3	"	7.45	22	
	③	"	840	44	"	0.836	37	
P2橋脚側							144 kg	
P3橋脚側							144 kg	



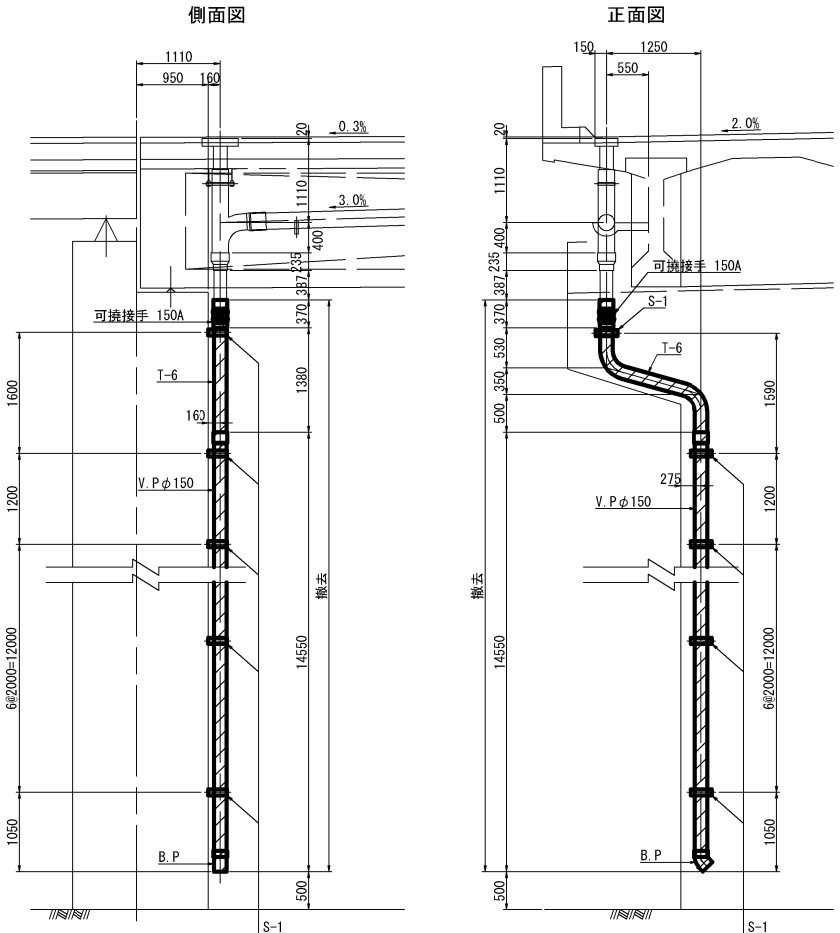
注記)
1. 本図面は、完成図・管理用平面図・簡易計測から作成したものであり、平面位置関係等においては、現地測量を要する。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	加茂橋（上り線） 下水路撤去・復旧図(参考図)(その2)		
	縮 尺	図 示	図面番号 /
設計会社名	大成エンジニアリング株式会社		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

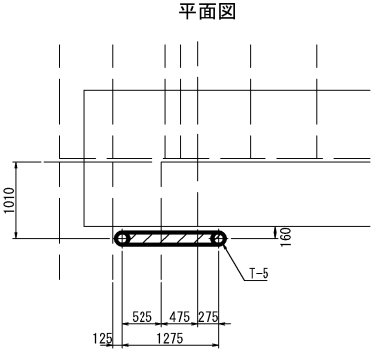
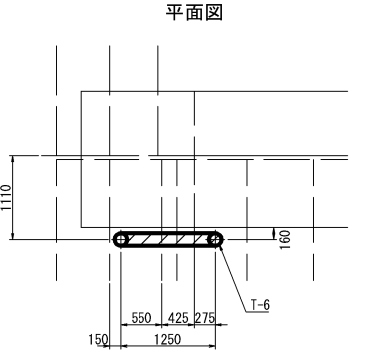
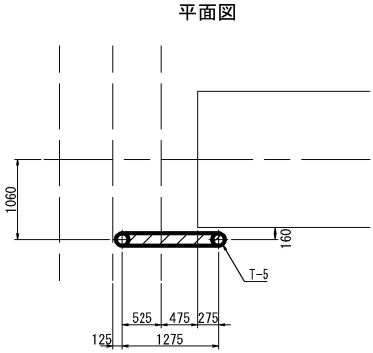
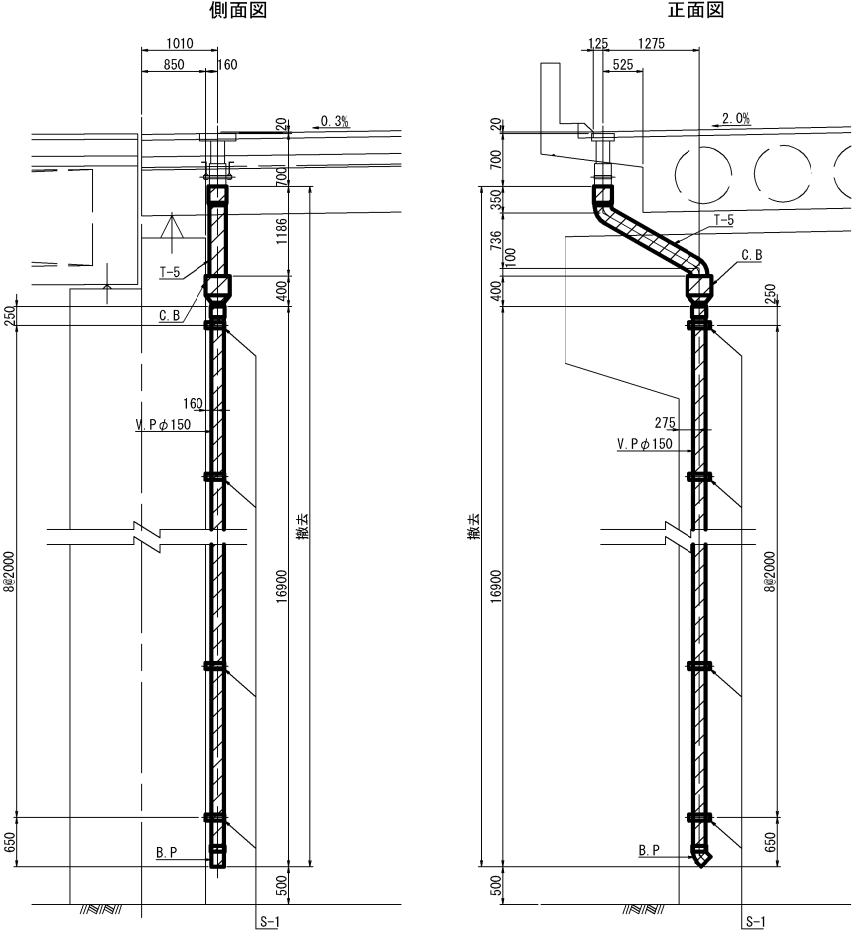
P1, P2, P5~P13橋脚



P3橋脚

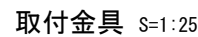


P4橋脚



館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋 (上り線) 排水装置撤去図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

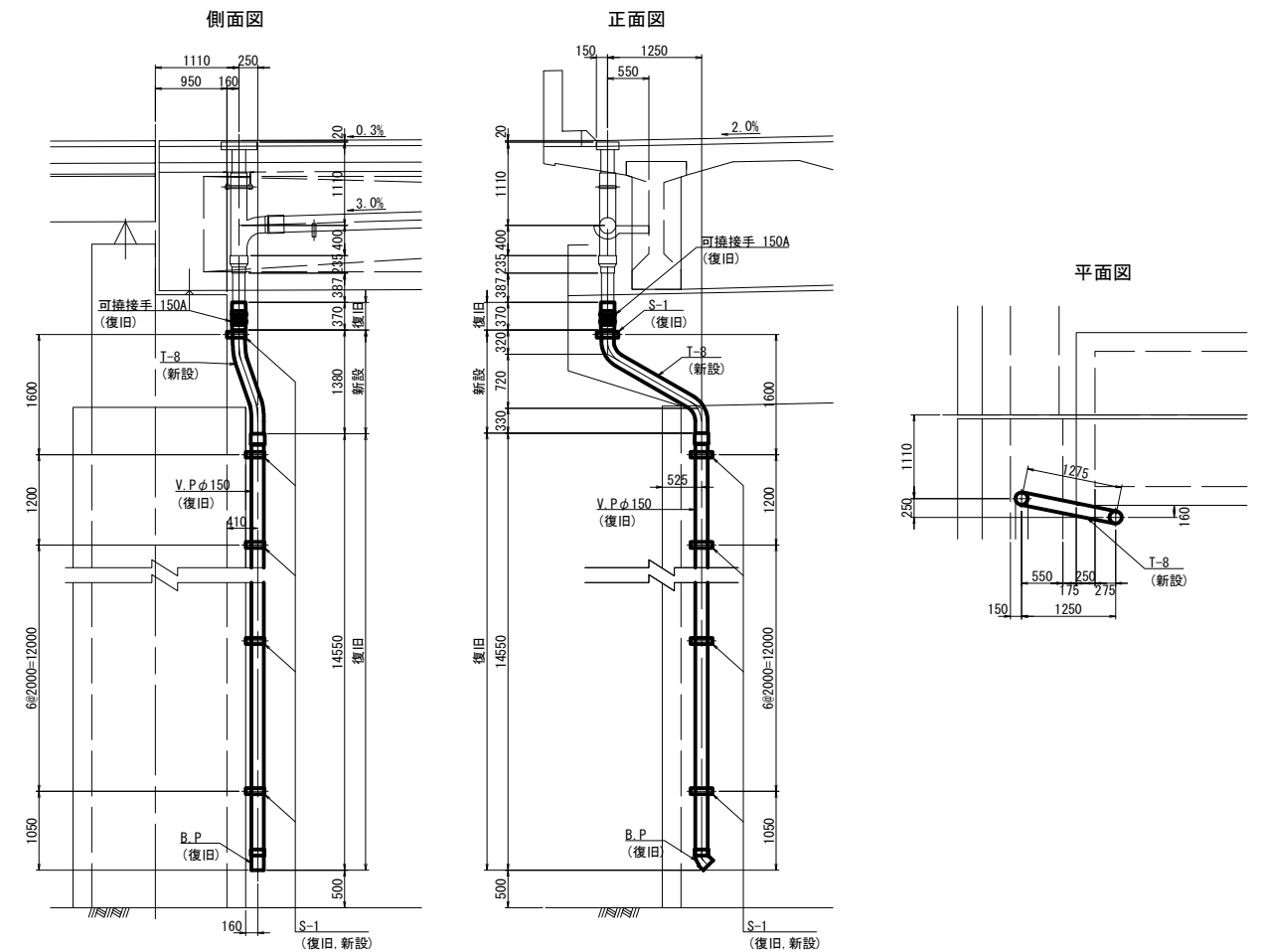
可撓接手

[illegible]

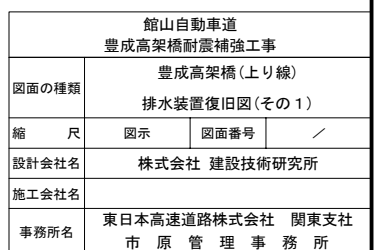
*当該工事対象外

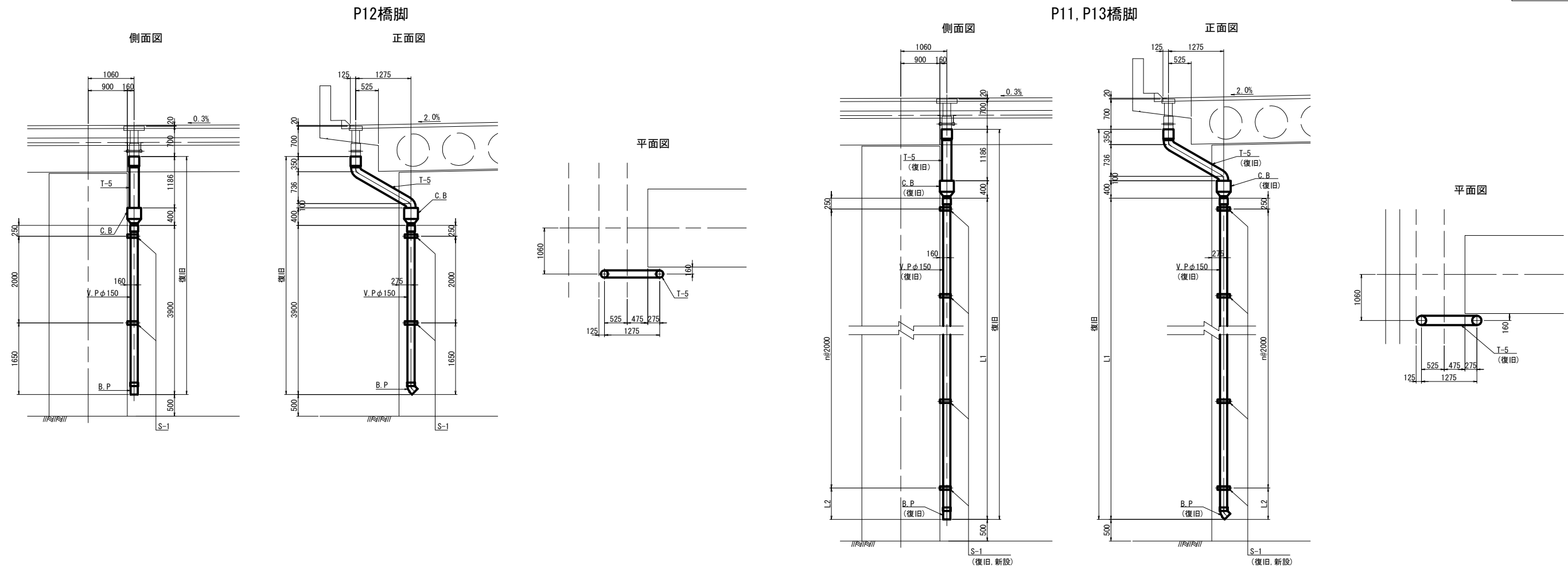
<p align="center">館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事</p>		
図面の種類	<p align="center">豊成高架橋 (上り線) 排水装置撤去図 (その2)</p>	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所	

P3橋脚

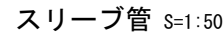
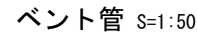
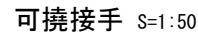
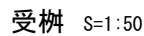
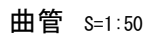
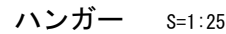


正面图





館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	排水装置復旧図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



※流水線延長(m)

- *当該工事対象外

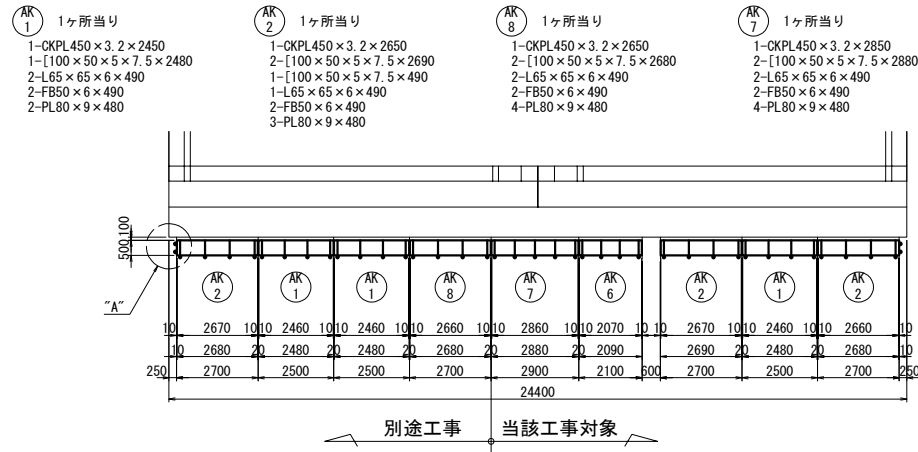
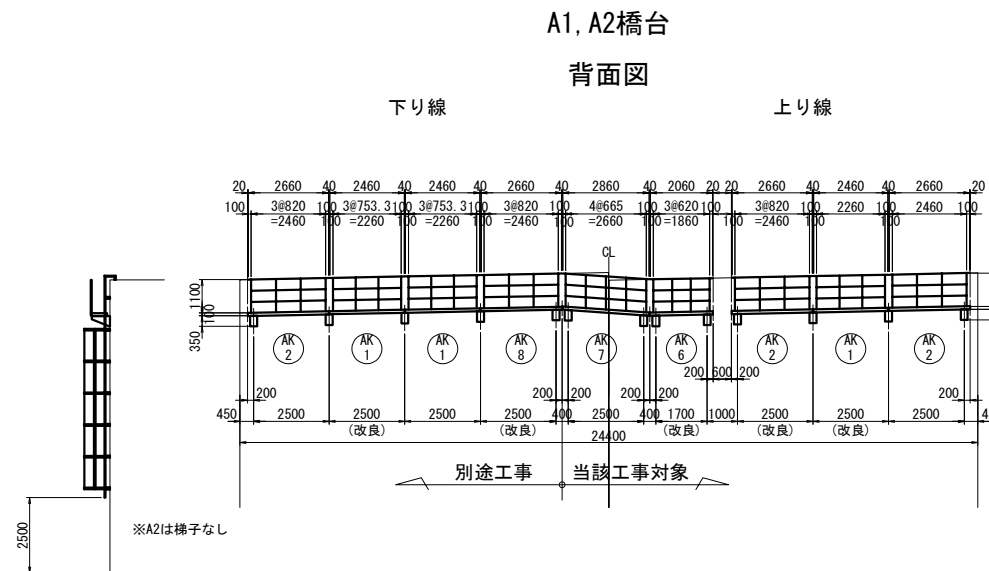
[illegible]

名称	形状	単位	数 量													摘要
			P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12	P13	
スリーブ管	V.Pφ150	個	1	1	-	-	1	1	1	1	1	-	-	-	8	

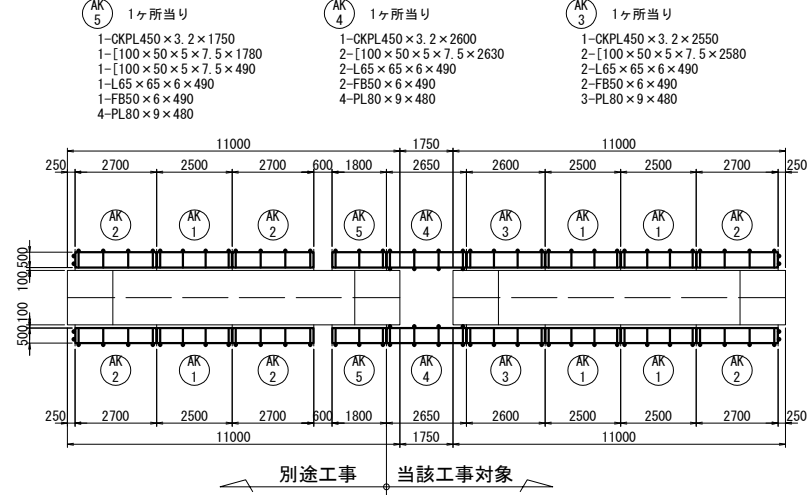
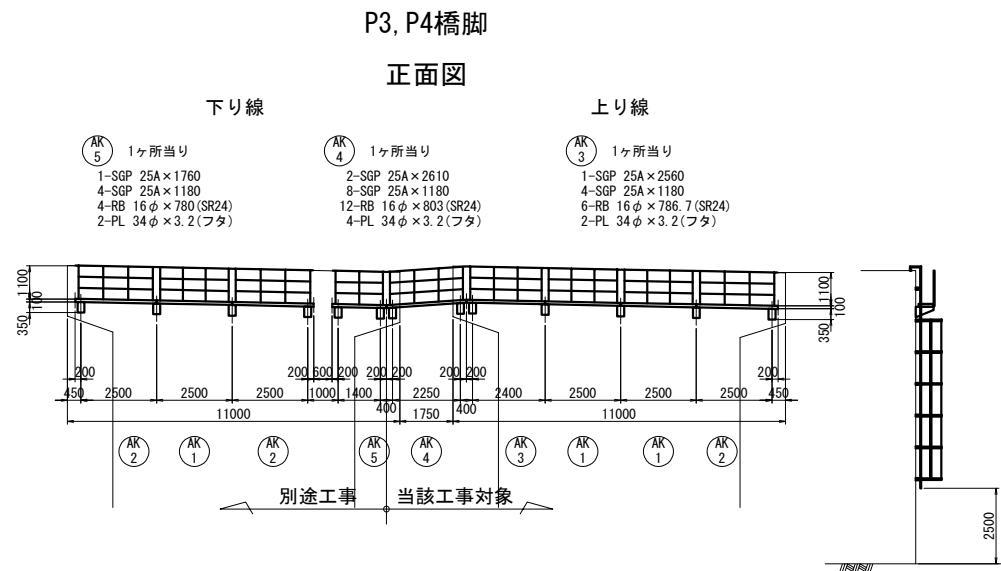
名称	形状	単位	数 量													合計	摘要
			P1	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P12	P13		
曲管	T-7	個	1	1	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	8	流水線延長 0.891m
	T-8	〃	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	流水線延長 2.278m
	T-9	〃	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	流水線延長 1.058m
	T-10	〃	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	流水線延長 2.049m
取付金具	S-2	〃	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
ハンガー	H-1	〃	1	1	-	-	1	1	1	1	1	1	-	-	-	8	
	H-2	〃	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	
フナカゑト	M12×100	〃	10	16	16	18	16	16	16	16	16	14	12	6	4	142	S-1, S-2 1個当り2個
コクリッドフナカ	M12×50	〃	2	2	-	2	2	2	2	2	2	2	-	-	-	18	H-1, H-2 1個当り2個

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 取付金具は全て溶融亜鉛メッキとし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 49
3. ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
4. 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。
5. スリーブ管における加工は、既設のスリーブ管を切断する。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類		豊成高架橋(上り線) 排水装置復旧図(その3)		
縮	尺	図示	図面番号	／
設計会社名		株式会社 建設技術研究所		
施工会社名				
事務所名		東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		



- AK1 1ヶ所当り
1-SGP 25A×2460
4-SGP 25A×1180
6-RB 16φ×753(SR24)
2-PL 34φ×3.2(フタ)
- AK2 1ヶ所当り
1-SGP 25A×2660
4-SGP 25A×1180
6-RB 16φ×820(SR24)
2-PL 34φ×3.2(フタ)
- AK8 1ヶ所当り
1-SGP 25A×2660
4-SGP 25A×1180
6-RB 16φ×820(SR24)
2-PL 34φ×3.2(フタ)
- AK7 1ヶ所当り
1-SGP 25A×2860
5-SGP 25A×1180
6-RB 16φ×820(SR24)
2-PL 34φ×3.2(フタ)
- AK6 1ヶ所当り
1-SGP 25A×2060
4-SGP 25A×1180
6-RB 16φ×620(SR24)
2-PL 34φ×3.2(フタ)



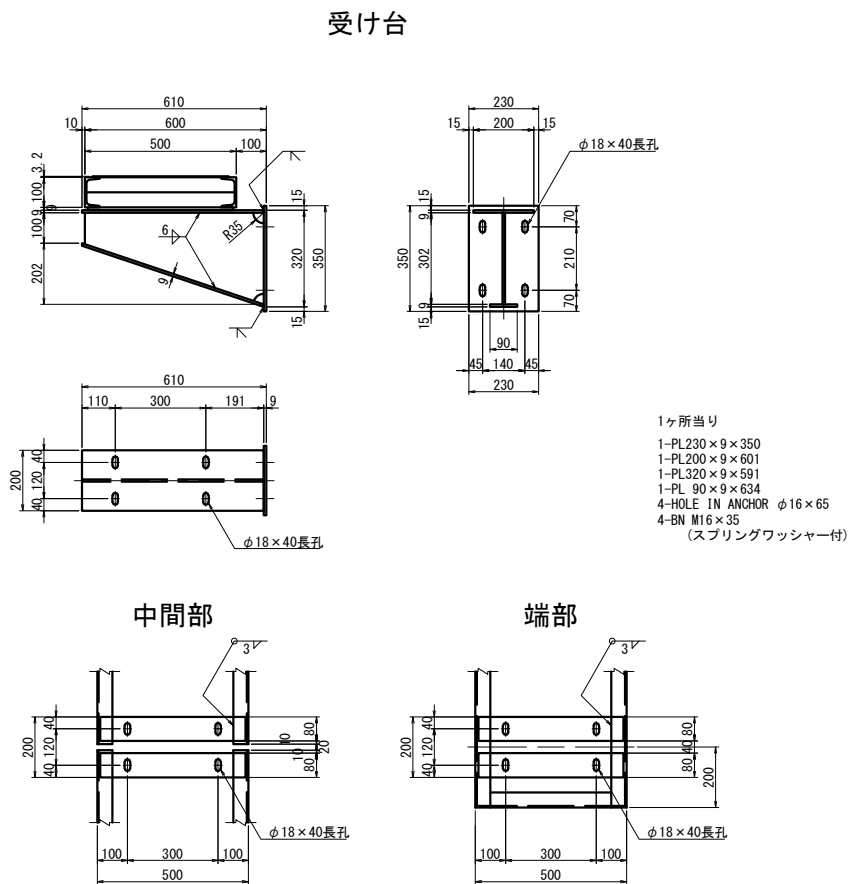
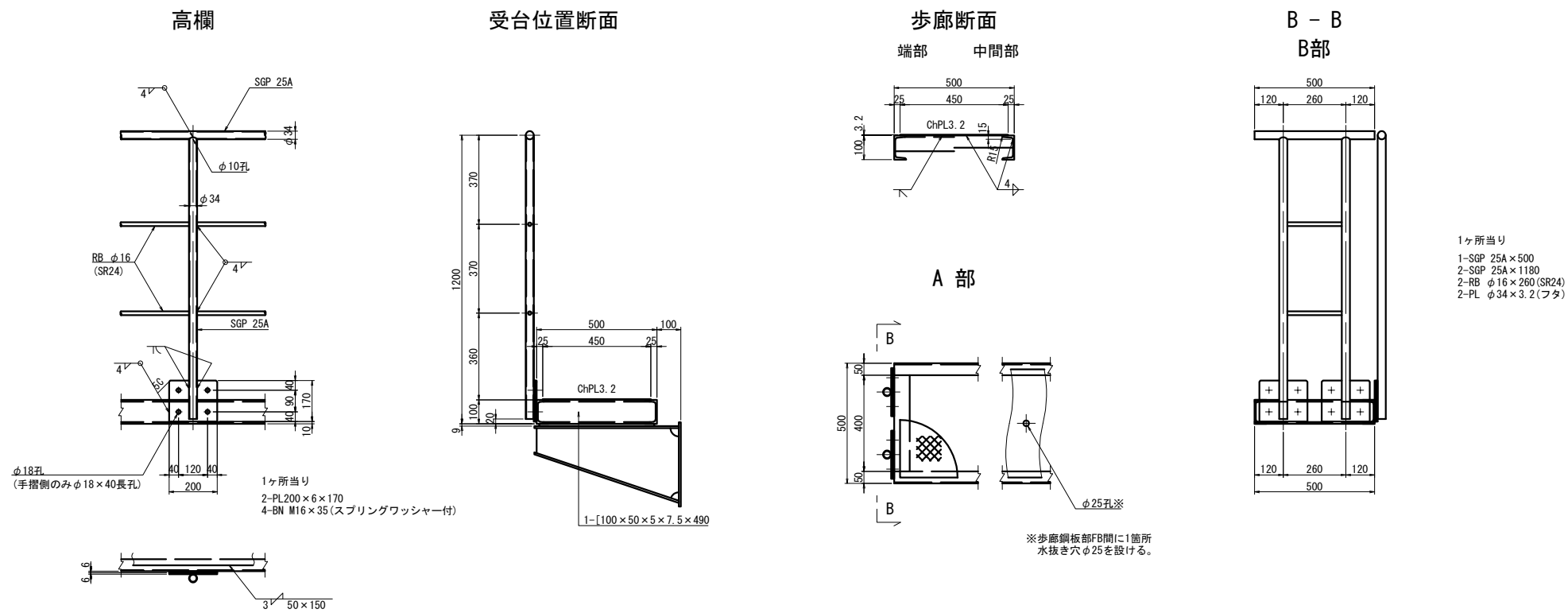
箇所数

	A1	P3	P4	A2	合計
AK1	3 (2)	6 (6)	6 (6)	3 (2)	18 (16)
AK2	3 (1)	6 (6)	6 (6)	3 (1)	18 (14)
AK3	-	2 (2)	2 (2)	-	4 (4)
AK4	-	2 (1)	2 (1)	-	4 (2)
AK5	-	2 (2)	2 (2)	-	4 (4)
AK6	1 (1)	-	-	1 (1)	2 (2)
AK7	1 (0)	-	-	1 (0)	2 (0)
AK8	1 (1)	-	-	1 (1)	2 (2)
合計	9 (5)	18 (17)	18 (17)	9 (5)	54 (44)

※()内は撤去対象数を示す。

注記
1. 特記なき材質は全てSS41とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。(JIS H8641)
付着量は、HDZ55、ボルト・ナットはHDZ35とする。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路撤去図(その1)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

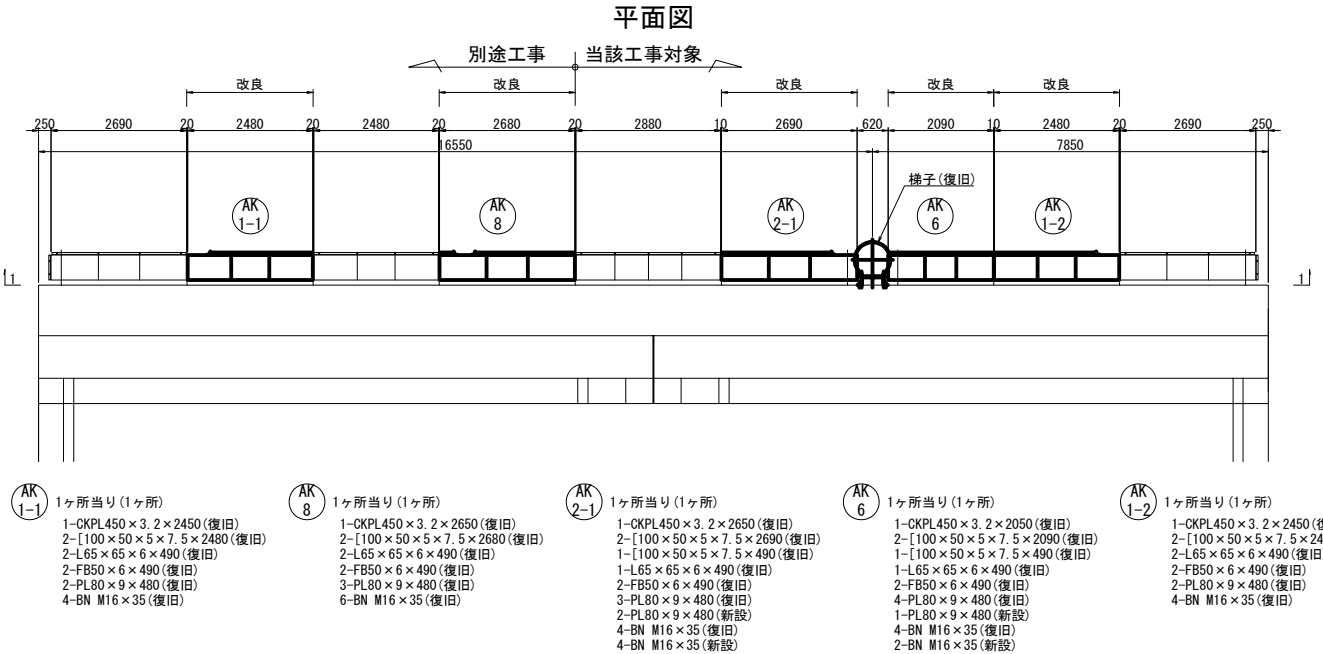
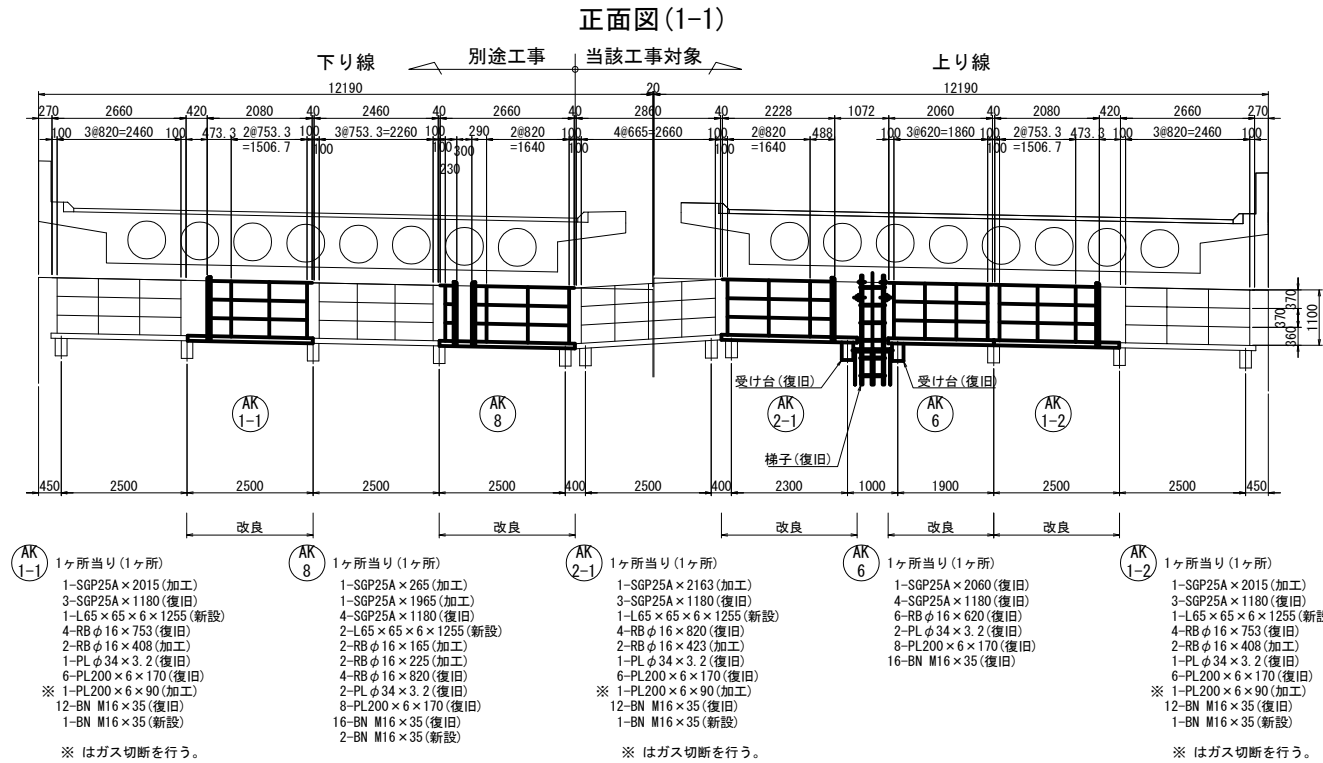


箇所数	(A1)	(P3)	(P4)	(A2)	合計
高欄	37	70	70	37	214
B部高欄	2	4	4	2	12
受け台	13	26	26	13	78

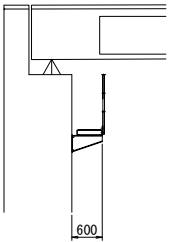
注記
1. 特記なき材質は全てSS41とする。
2. 部材は全て溶融亜鉛メッキとする。(JIS H8641)
付着量は、HDZ55、ボルト・ナットはHDZ35とする。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路撤去図(その2)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

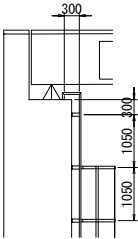
A1橋台



側面図



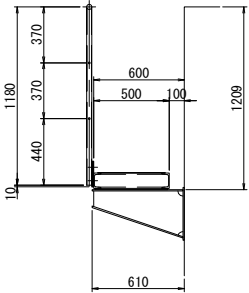
梯子取付図



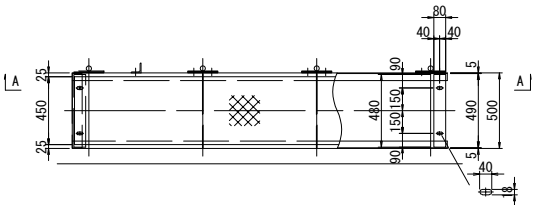
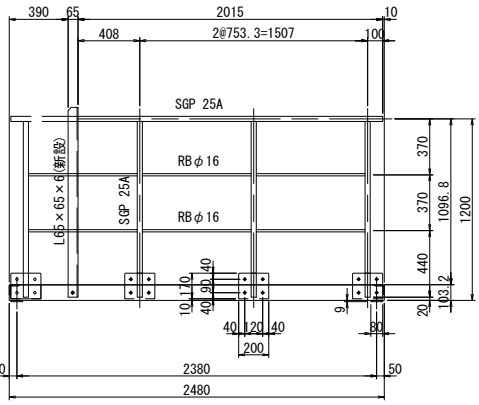
※寸法詳細は梯子復旧図を参照のこと。

AK 1-1 詳細図 S=1:50

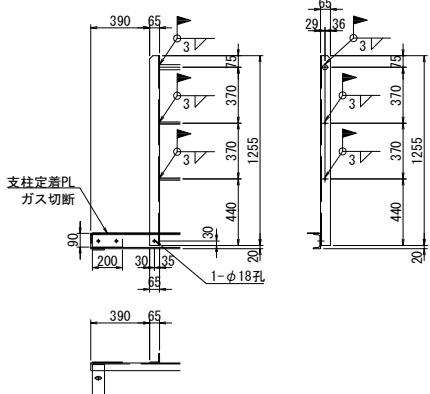
受け台位置断面



A-A断面

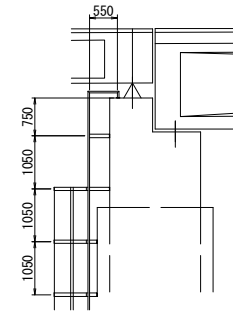
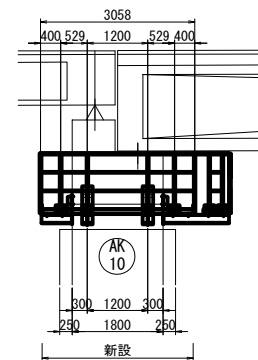
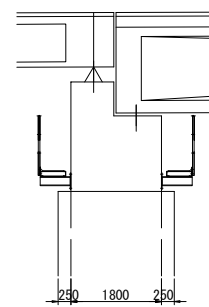
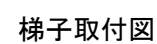
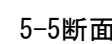
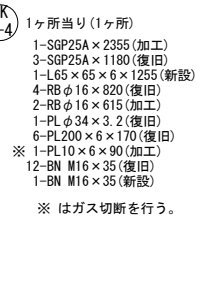
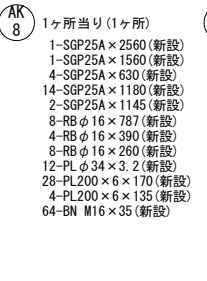
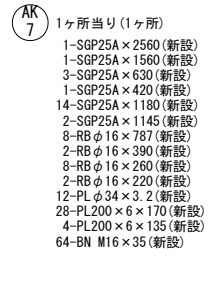
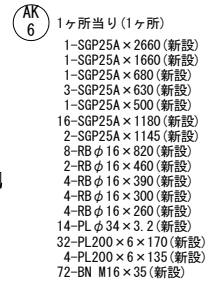
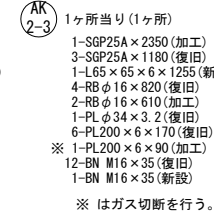
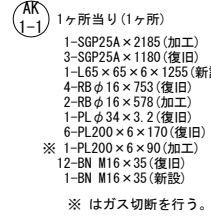
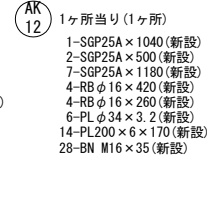
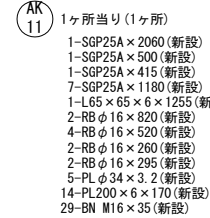
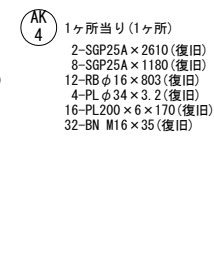
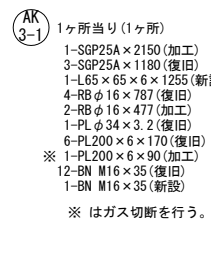
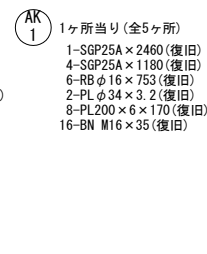
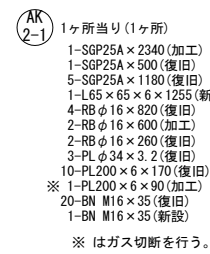


AK1-1加工詳細図 S=1:50

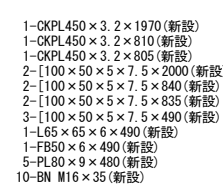
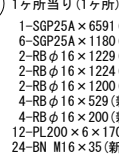


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー剛孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



※寸法詳細は梯子復旧図を参照のこと。



注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカラープはR35とする。
3. アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。

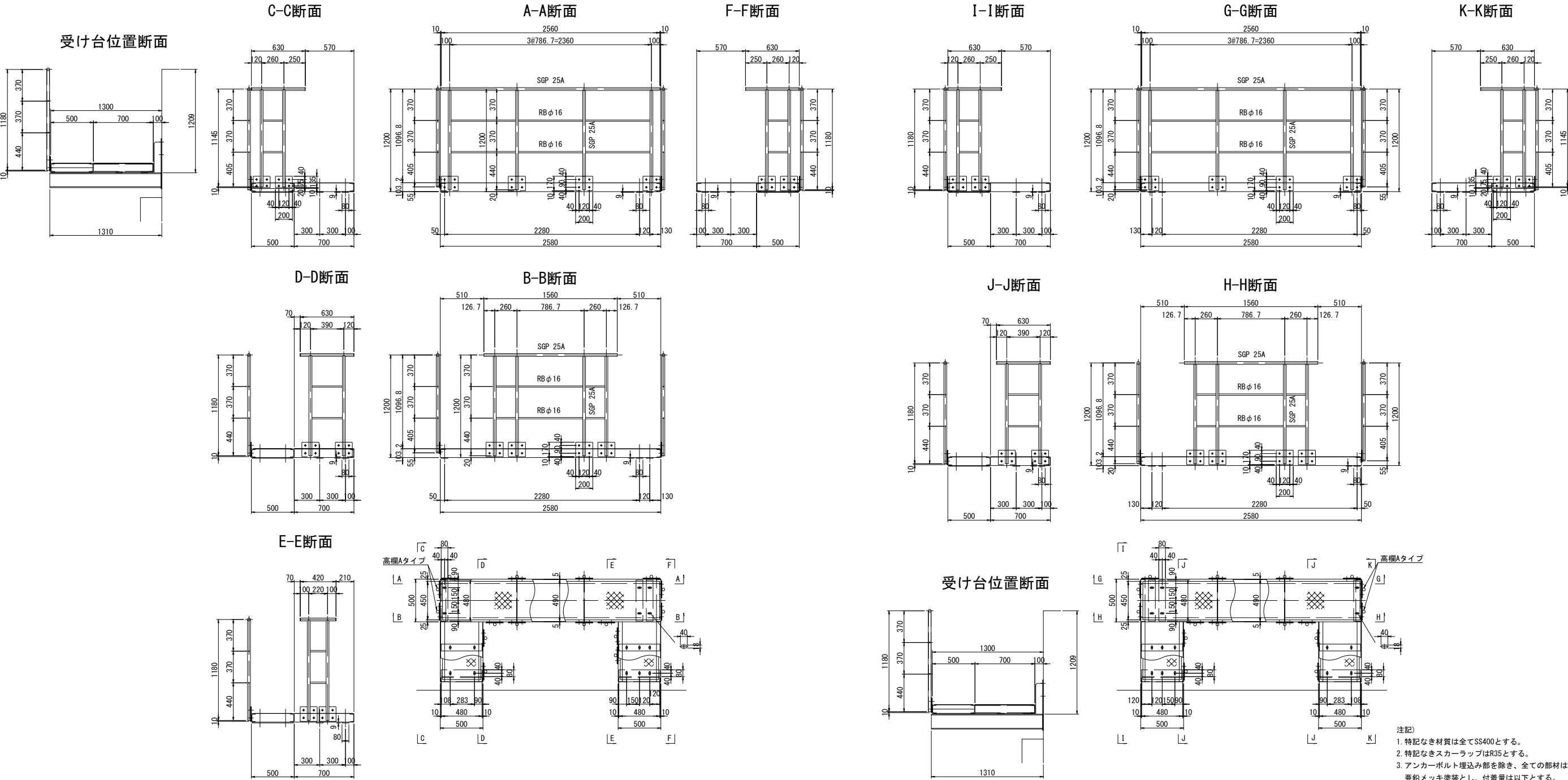
JIS H 8641 HDZT 77	鋼板 (板厚5mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63	鋼板 (板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49	アンカーボルト、ナット、ワッシャー
4. アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類		豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その③)	
縮	尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P3橋脚

AK7 詳細図

AK8 詳細図

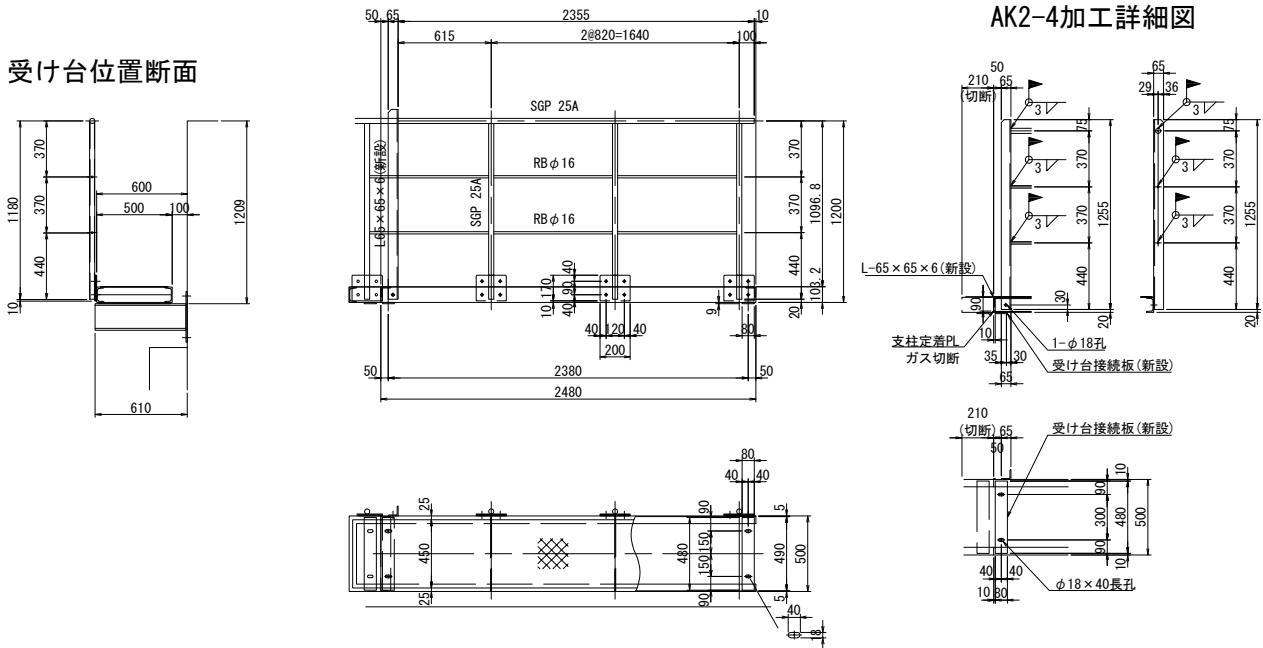


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

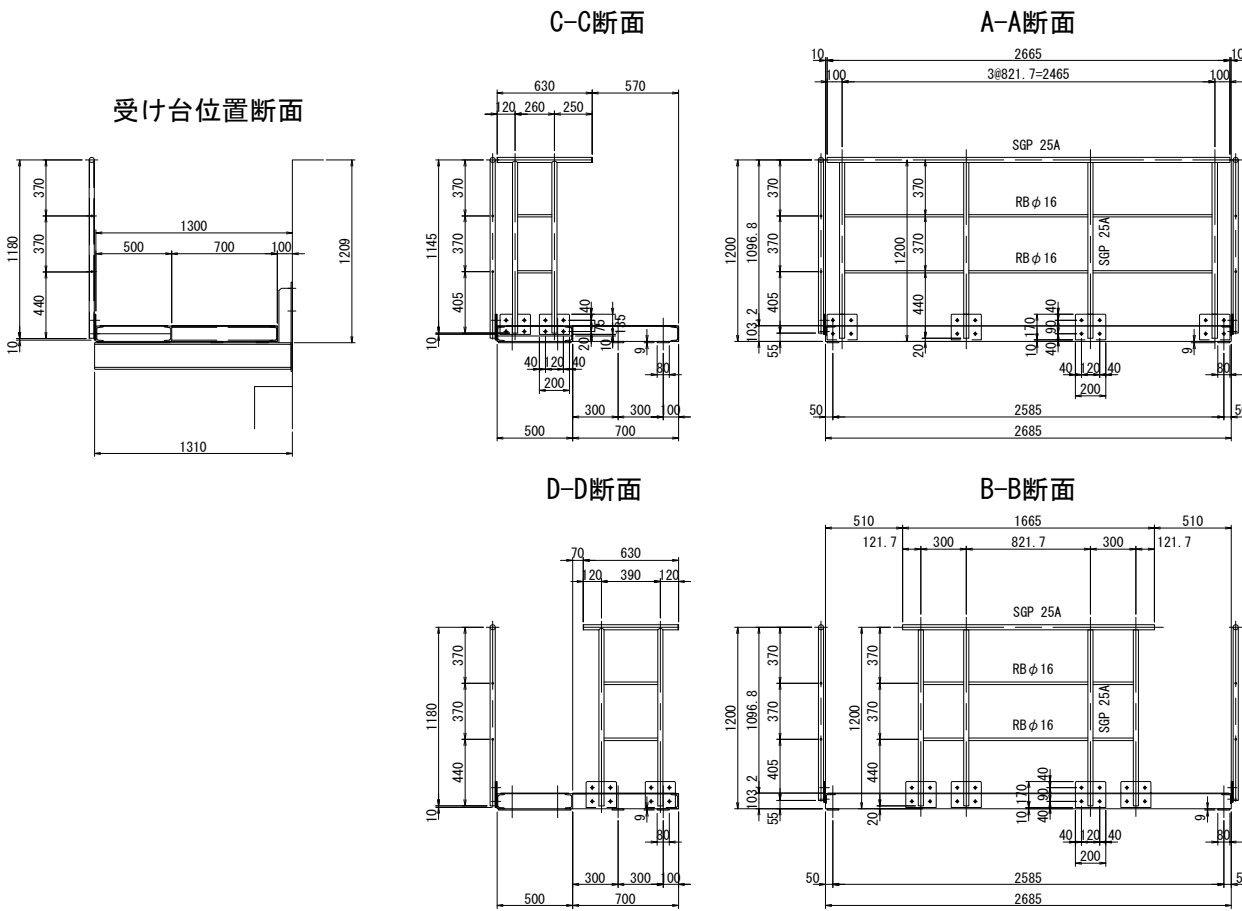
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その4)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P3橋脚

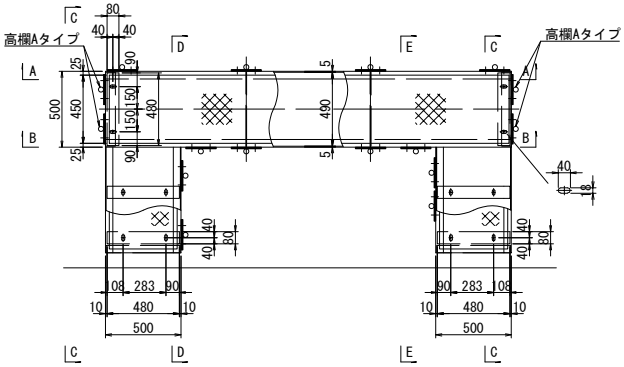
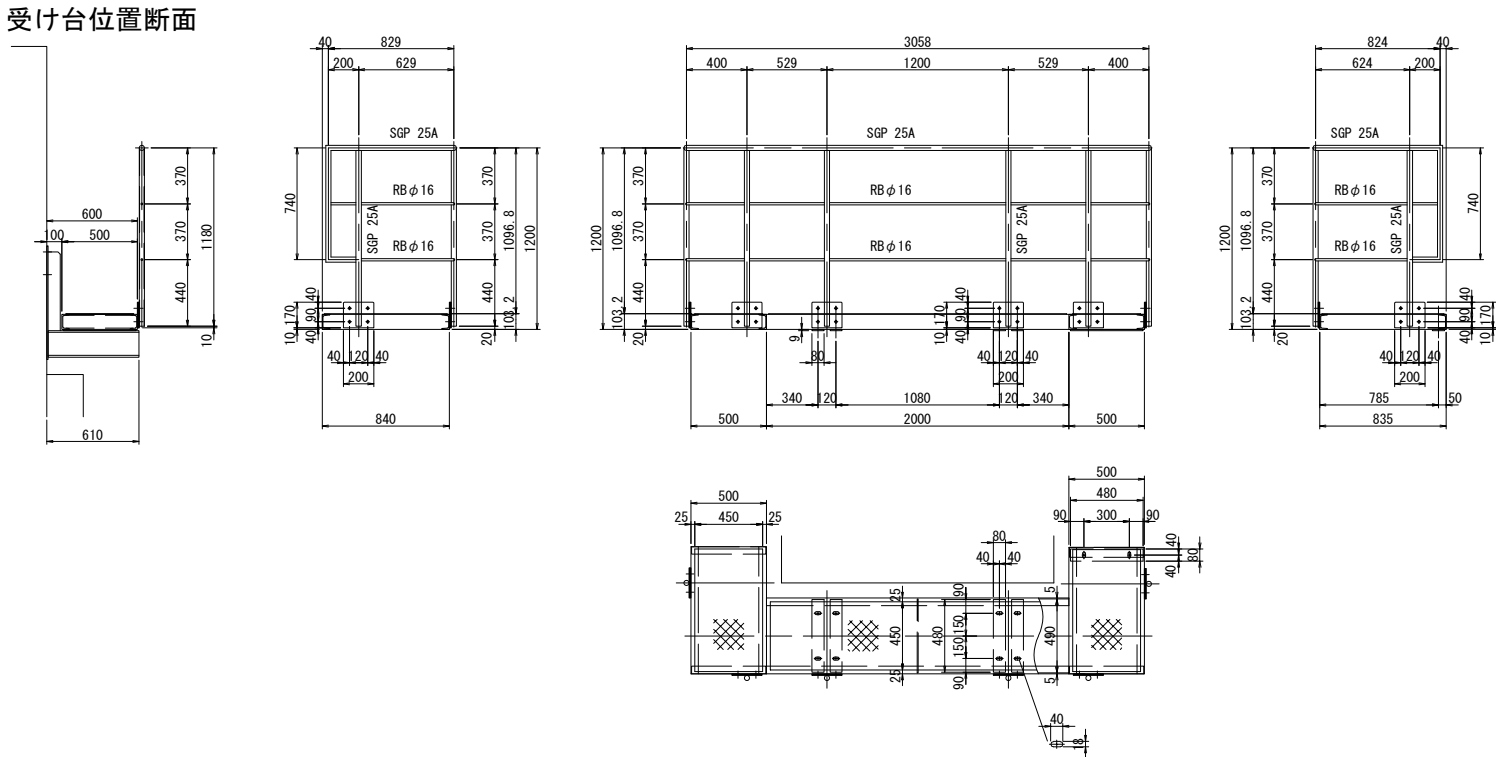
AK
2-4 詳細図



AK
9 詳細図



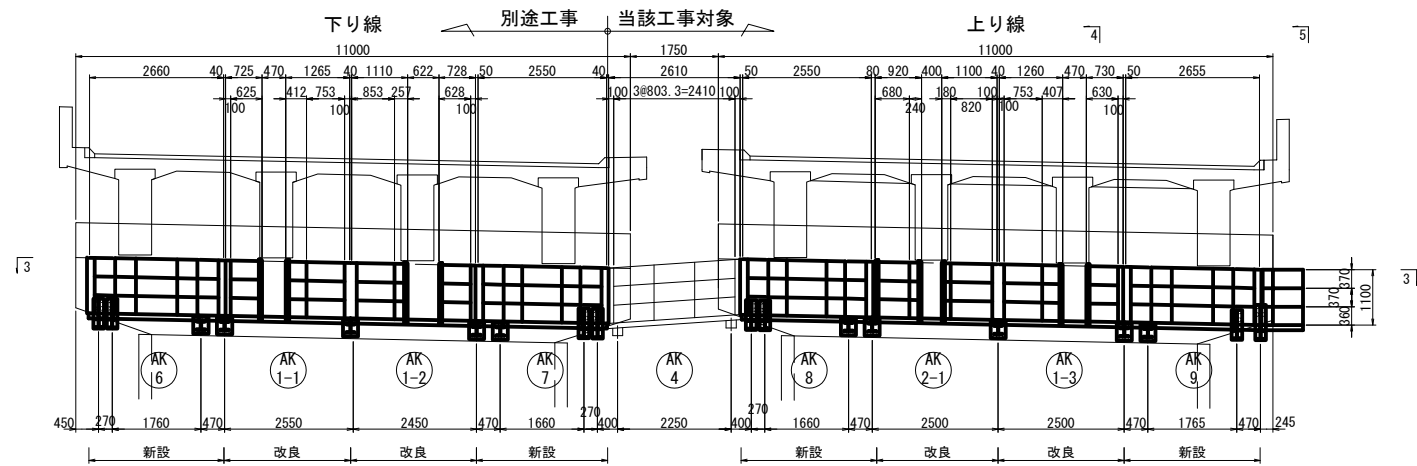
AK
10 詳細図



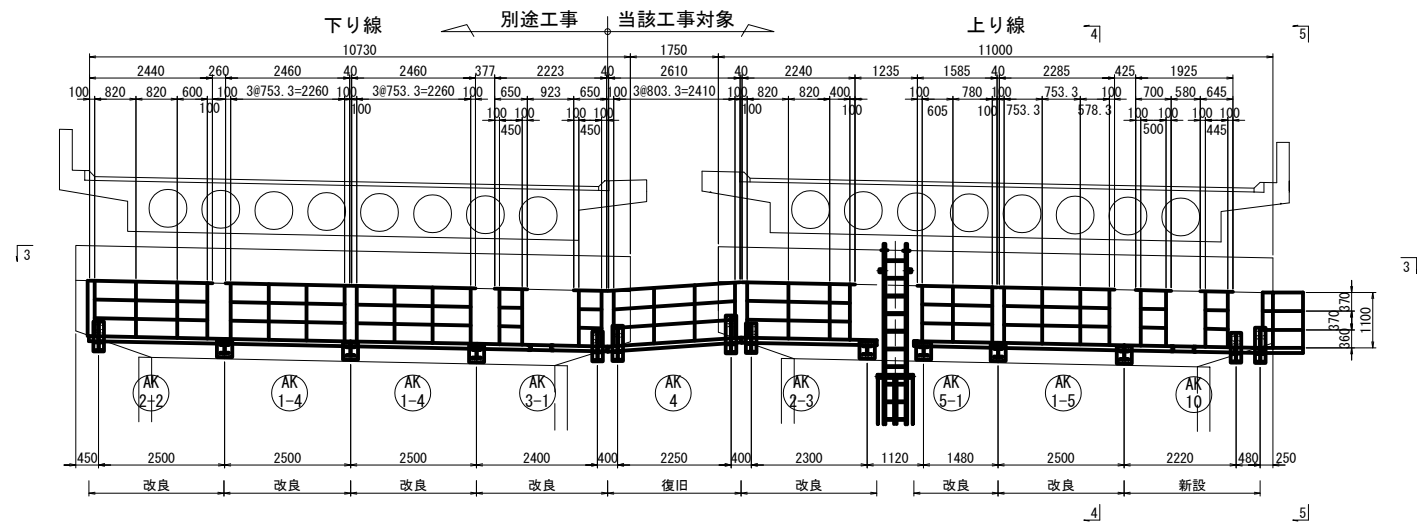
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その7)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

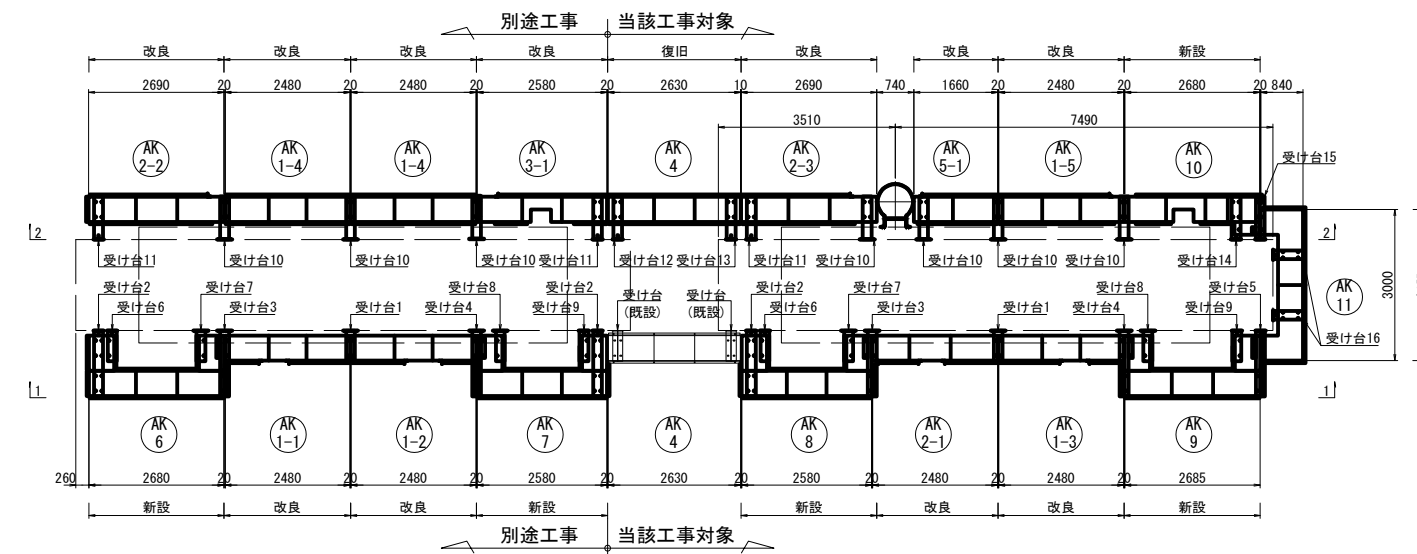
1-1断面



2-2断面



3-3断面



- | AK
6 | 1ヶ所当り(1ヶ所) | AK
1-1 | 1ヶ所当り(1ヶ所) | AK
1-2 | 1ヶ所当り(1ヶ所) | AK
7 | 1ヶ所当り(1ヶ所) |
|--|--|---|---|------------|------------|---------|------------|
| 1-SGP25A×2660(新設)
1-SGP25A×1660(新設)
1-SGP25A×680(新設)
3-SGP25A×630(新設)
1-SGP25A×500(新設)
2-SGP25A×1180(新設)
2-SGP25A×1145(新設)
8-RBφ16×820(新設)
2-RBφ16×460(新設)
4-RBφ16×390(新設)
4-RBφ16×300(新設)
4-RBφ16×260(新設)
14-PLφ34×3.2(新設)
32-PL200×6×170(新設)
4-PL200×6×135(新設)
72-BN M16×35(新設) | 1-SGP25A×1200(加工)
1-SGP25A×790(加工)
3-SGP25A×1180(復旧)
2-L65×65×6×1215(新設)
2-RBφ16×753(復旧)
2-RBφ16×560(加工)
2-RBφ16×347(加工)
2-PLφ34×3.2(復旧)
6-PL200×6×170(復旧)
※ 1-PL200×6×90(加工)
12-BN M16×35(新設)
2-BN M16×35(新設) | 1-SGP25A×1045(加工)
1-SGP25A×663(加工)
3-SGP25A×1180(復旧)
2-L65×65×6×1215(新設)
2-RBφ16×753(復旧)
2-RBφ16×560(加工)
2-RBφ16×192(加工)
2-PLφ34×3.2(復旧)
6-PL200×6×170(復旧)
※ 1-PL200×6×90(加工)
12-BN M16×35(新設)
2-BN M16×35(新設) | 1-SGP25A×2560(新設)
1-SGP25A×1560(新設)
3-SGP25A×630(新設)
1-SGP25A×420(新設)
14-SGP25A×1180(新設)
2-SGP25A×1145(新設)
8-RBφ16×787(新設)
2-RBφ16×390(新設)
8-RBφ16×260(新設)
2-RBφ16×220(新設)
12-PLφ34×3.2(新設)
28-PL200×6×170(新設)
4-PL200×6×135(新設)
64-BN M16×35(新設) | | | | |
| | ※ | ※ | ※ | ※はガス切断を行う。 | | | |
| AK
8 | 1ヶ所当り(1ヶ所) | AK
2-1 | 1ヶ所当り(1ヶ所) | AK
1-3 | 1ヶ所当り(1ヶ所) | AK
9 | 1ヶ所当り(1ヶ所) |
| 1-SGP25A×2560(新設)
1-SGP25A×1560(新設)
4-SGP25A×630(新設)
14-SGP25A×1180(新設)
2-SGP25A×1145(新設)
8-RBφ16×787(新設)
8-RBφ16×390(新設)
8-RBφ16×260(新設)
12-PLφ34×3.2(新設)
28-PL200×6×170(新設)
4-PL200×6×135(新設)
64-BN M16×35(新設) | 1-SGP25A×1035(加工)
1-SGP25A×790(加工)
3-SGP25A×1180(復旧)
3-L65×65×6×1215(新設)
2-RBφ16×820(復旧)
2-RBφ16×815(加工)
2-RBφ16×175(加工)
2-RBφ16×115(加工)
1-PLφ34×3.2(復旧)
6-PL200×6×90(加工)
※ 1-PL10×6×90(加工)
12-BN M16×35(復旧)
3-BN M16×35(新設) | 1-SGP25A×1195(加工)
1-SGP25A×665(加工)
3-SGP25A×1180(復旧)
2-L65×65×6×1215(新設)
2-RBφ16×753(復旧)
2-RBφ16×565(加工)
2-RBφ16×342(加工)
2-PLφ34×3.2(復旧)
6-PL200×6×170(復旧)
※ 1-PL200×6×90(加工)
12-BN M16×35(新設)
2-BN M16×35(新設) | 1-SGP25A×2665(新設)
1-SGP25A×1665(新設)
3-SGP25A×630(新設)
1-SGP25A×420(新設)
14-SGP25A×1180(新設)
2-SGP25A×1145(新設)
8-RBφ16×822(新設)
8-RBφ16×390(新設)
4-RBφ16×300(新設)
4-RBφ16×260(新設)
2-RBφ16×220(新設)
12-PLφ34×3.2(新設)
28-PL200×6×170(新設)
8-PL200×6×135(新設)
64-BN M16×35(新設) | | | | |
| | ※ | ※ | ※ | ※はガス切断を行う。 | | | |

- | <div>AK
2-2</div> 1ヶ所当り(1ヶ所) | <div>AK
1-4</div> 1ヶ所当り(全2ヶ所) | <div>AK
3-1</div> 1ヶ所当り(1ヶ所) | <div>AK
4</div> 1ヶ所当り(1ヶ所) |
|---|---|---|---|
| 1-SGP25A×2440(新設)
1-SGP25A×2340(加工)
1-SGP25A×500(復旧)
4-SGP25A×1180(復旧)
4-SGP25A×1180(新設)
1-L65×65×6×1255(新設)
4-RBφ16×820(新設)
4-RBφ16×820(新設)
2-RBφ16×600(加工)
2-RBφ16×600(新設)
2-RBφ16×260(復旧)
3-PLφ34×3.2(復旧)
2-PLφ34×3.2(新設)
10-PL200×6×170(復旧)
8-PL200×6×170(新設)
※ 1-PL200×6×90(加工)
20-BN M16×35(復旧)
17-BN M16×35(新設) | 1-SGP25A×2460(復旧)
1-SGP25A×2460(新設)
4-SGP25A×1180(復旧)
4-SGP25A×1180(新設)
6-RBφ16×753(復旧)
6-RBφ16×753(新設)
2-PLφ34×3.2(復旧)
2-PLφ34×3.2(新設)
8-PL200×6×170(復旧)
8-PL200×6×170(新設)
16-BN M16×35(復旧)
16-BN M16×35(新設) | 1-SGP25A×2150(加工)
2-SGP25A×650(新設)
3-SGP25A×1180(復旧)
4-SGP25A×1180(新設)
1-L65×65×6×1255(新設)
4-RBφ16×787(復旧)
2-RBφ16×477(加工)
4-RBφ16×450(新設)
1-PLφ34×3.2(復旧)
4-PLφ34×3.2(新設)
6-PL200×6×170(復旧)
8-PL200×6×170(新設)
※ 1-PL200×6×90(加工)
12-BN M16×35(復旧)
17-BN M16×35(新設) | 2-SGP25A×2610(復旧)
8-SGP25A×1180(復旧)
12-RBφ16×803(復旧)
4-PLφ34×3.2(新設)
16-PL200×6×170(復旧)
32-BN M16×35(新設) |
| ※ はガス切断を行う。 | | ※ はガス切断を行う。 | |
| <div>AK
2-3</div> 1ヶ所当り(1ヶ所) | <div>AK
5-1</div> 1ヶ所当り(1ヶ所) | <div>AK
1-5</div> 1ヶ所当り(1ヶ所) | <div>AK
10</div> 1ヶ所当り(1ヶ所) |
| 1-SGP25A×2240(新設)
1-SGP25A×2140(加工)
3-SGP25A×1180(復旧)
4-SGP25A×1180(新設)
1-L65×65×6×1255(新設)
4-RBφ16×820(復旧)
4-RBφ16×820(新設)
4-RBφ16×400(加工)
2-RBφ16×400(新設)
1-PLφ34×3.2(復旧)
2-PLφ34×3.2(新設)
6-PL200×6×170(復旧)
8-PL200×6×170(新設)
※ 1-PL200×6×90(加工)
18-BN M16×35(復旧)
17-BN M16×35(新設) | 1-SGP25A×1585(新設)
1-SGP25A×1485(加工)
2-SGP25A×1180(復旧)
4-SGP25A×1180(新設)
1-L65×65×6×1255(新設)
2-RBφ16×780(復旧)
2-RBφ16×780(新設)
2-RBφ16×605(加工)
2-RBφ16×605(新設)
1-PLφ34×3.2(復旧)
2-PLφ34×3.2(新設)
4-PL200×6×170(復旧)
6-PL200×6×170(新設)
※ 1-PL90×6×90(加工)
8-BN M16×35(復旧)
13-BN M16×35(新設) | 1-SGP25A×2285(新設)
1-SGP25A×2185(加工)
3-SGP25A×1180(復旧)
4-SGP25A×1180(新設)
1-L65×65×6×1255(新設)
4-RBφ16×753(復旧)
4-RBφ16×753(新設)
2-RBφ16×578(加工)
2-RBφ16×578(新設)
1-PLφ34×3.2(復旧)
2-PLφ34×3.2(新設)
6-PL200×6×170(復旧)
8-PL200×6×170(新設)
※ 1-PL200×6×90(加工)
12-BN M16×35(復旧)
17-BN M16×35(新設) | 1-SGP25A×2639(新設)
1-SGP25A×1180(復旧)
1-SGP25A×645(新設)
9-SGP25A×1180(新設)
1-SGP25A×1145(新設)
2-RBφ16×780(新設)
2-RBφ16×525(新設)
4-RBφ16×500(新設)
4-RBφ16×445(新設)
2-RBφ16×289(新設)
5-PLφ34×3.2(新設)
18-PL200×6×170(新設)
2-PL200×6×135(新設)
40-BN M16×35(新設) |
| ※ はガス切断を行う。 | ※ はガス切断を行う。 | ※ はガス切断を行う。 | |

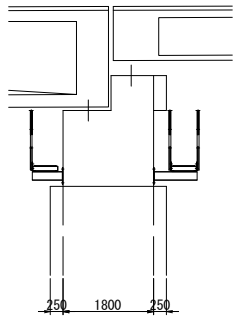
- | | | | | |
|---|---|---|---|--|
| <p>AK 2-1</p> <p>1ヶ所当り(1ヶ所)</p> <p>1-CKPL450×3.2×2465(加工)</p> <p>2-[100×50×5×7.5×2480(加工)</p> <p>1-L65×65×6×490(復旧)</p> <p>1-L65×65×6×490(新設)</p> <p>2-FB50×6×490(復旧)</p> <p>2-PL80×9×480(復旧)</p> <p>4-BN M16×35(復旧)</p> | <p>AK 1-3</p> <p>1ヶ所当り(1ヶ所)</p> <p>1-CKPL450×3.2×2450(復旧)</p> <p>2-[100×50×5×7.5×2480(復旧)</p> <p>2-L65×65×6×490(復旧)</p> <p>2-FB50×6×490(復旧)</p> <p>2-PL80×9×480(復旧)</p> <p>4-BN M16×35(復旧)</p> | <p>AK 9</p> <p>1ヶ所当り(1ヶ所)</p> <p>1-CKPL450×3.2×2655(新設)</p> <p>2-CKPL450×3.2×685(新設)</p> <p>2-[100×50×5×7.5×2685(新設)</p> <p>4-[100×50×5×7.5×700(新設)</p> <p>2-[100×50×5×7.5×490(新設)</p> <p>2-L65×65×6×490(新設)</p> <p>2-FB50×6×490(新設)</p> <p>6-PL80×9×480(新設)</p> <p>12-BN M16×35(新設)</p> | <p>AK 2-2</p> <p>1ヶ所当り(1ヶ所)</p> <p>1-CKPL450×3.2×2650(復旧)</p> <p>2-[100×50×5×7.5×2690(復旧)</p> <p>1-[100×50×5×7.5×490(復旧)</p> <p>1-L65×65×6×490(復旧)</p> <p>2-FB50×6×490(復旧)</p> <p>3-PL80×9×480(復旧)</p> <p>6-BN M16×35(復旧)</p> | <p>1. 特
2. 特
3. ア
面
J
J
4. ア
確</p> |
| <p>AK 1-4</p> <p>1ヶ所当り(全2ヶ所)</p> <p>1-CKPL450×3.2×2450(復旧)</p> <p>2-[100×50×5×7.5×2480(復旧)</p> <p>2-L65×65×6×490(復旧)</p> <p>2-FB50×6×490(復旧)</p> <p>2-PL80×9×480(復旧)</p> <p>4-BN M16×35(復旧)</p> | <p>AK 3-1</p> <p>1ヶ所当り(1ヶ所)</p> <p>1-CKPL450×3.2×2550(加工)</p> <p>1-[100×50×5×7.5×2580(復旧)</p> <p>1-[100×50×5×7.5×1115(加工)</p> <p>1-[100×50×5×7.5×1065(加工)</p> <p>1-[100×50×5×7.5×1000(新設)</p> <p>2-L65×65×6×490(復旧)</p> <p>2-FB50×6×490(復旧)</p> <p>3-PL80×9×480(復旧)</p> <p>6-BN M16×35(復旧)</p> | <p>AK 4</p> <p>1ヶ所当り(1ヶ所)</p> <p>1-CKPL450×3.2×2600(復旧)</p> <p>2-[100×50×5×7.5×2630(復旧)</p> <p>2-L65×65×6×490(復旧)</p> <p>2-FB50×6×490(復旧)</p> <p>4-PL80×9×480(復旧)</p> <p>8-BN M16×35(復旧)</p> | <p>AK 2-3</p> <p>1ヶ所当り(1ヶ所)</p> <p>1-CKPL450×3.2×2650(新設)</p> <p>1-CKPL450×3.2×235(新設)</p> <p>1-[100×50×5×7.5×3180(新設)</p> <p>1-[100×50×5×7.5×2680(新設)</p> <p>1-[100×50×5×7.5×490(新設)</p> <p>2-[100×50×5×7.5×250(新設)</p> <p>2-L65×65×6×490(新設)</p> <p>2-FB50×6×490(新設)</p> <p>5-PL80×9×480(新設)</p> <p>10-BN M16×35(新設)</p> | <p>1. 特
2. 特
3. ア
面
J
J
4. ア
確</p> |

- 注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 特記なきスカラーップはR35とする。
 3. アンカーボルトは埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板 (板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板 (板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 4. アンカーボルトには鉄研検査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

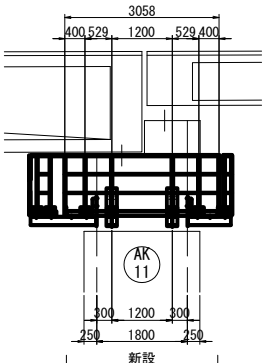
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その8)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 市 原 管 理 事 務 所		関東支社

P4橋脚

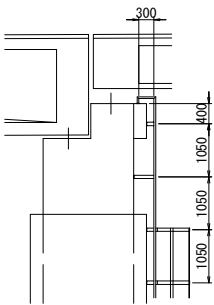
4-4断面



5-5断面



梯子取付図



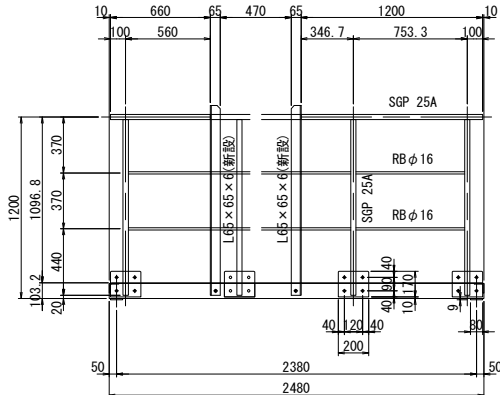
※寸法詳細は梯子復旧図を参照のこと。

AK 11

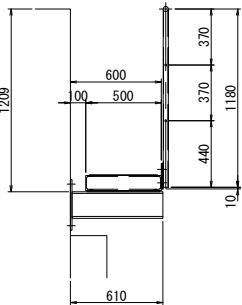
- 1ヶ所当り(1ヶ所)
- 1-SGP25A×6591(新設)
 - 6-SGP25A×1180(新設)
 - 2-RBφ16×1229(新設)
 - 2-RBφ16×1224(新設)
 - 2-RBφ16×1200(新設)
 - 4-RBφ16×529(新設)
 - 2-RBφ16×200(新設)
 - 12-PL200×6×170(新設)
 - 24-BN M16×35(新設)
 - 1-CKPL450×3.2×1970(新設)
 - 1-CKPL450×3.2×810(新設)
 - 1-CKPL450×3.2×805(新設)
 - 2-[100×50×5×7.5×2000(新設)
 - 2-[100×50×5×7.5×840(新設)
 - 2-[100×50×5×7.5×835(新設)
 - 2-[100×50×5×7.5×490(新設)
 - 2-L65×65×6×490(新設)
 - 1-FB50×6×490(新設)
 - 6-PL90×9×480(新設)
 - 12-BN M16×35(新設)

AK 1-1

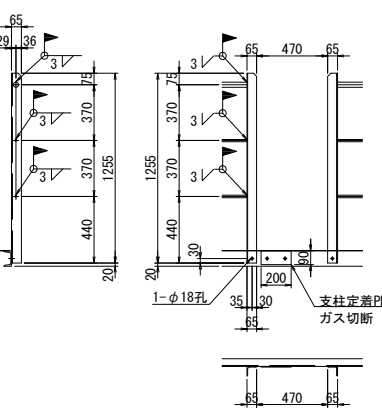
詳細図 S=1:50



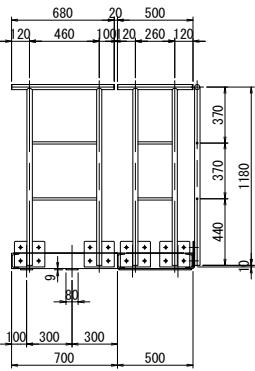
受け台位置断面



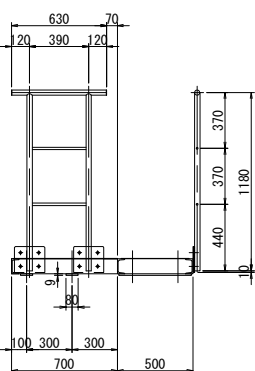
AK1-1加工詳細図



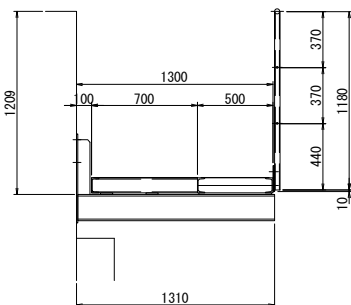
C-C断面



D-D断面



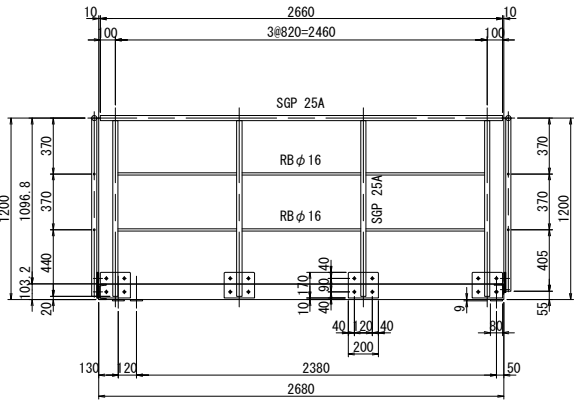
受け台位置断面



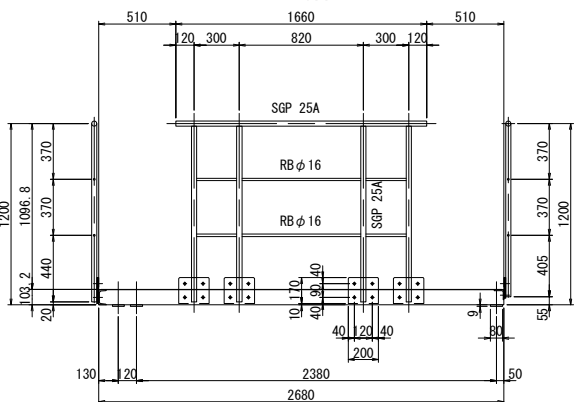
AK 6

詳細図 S=1:50

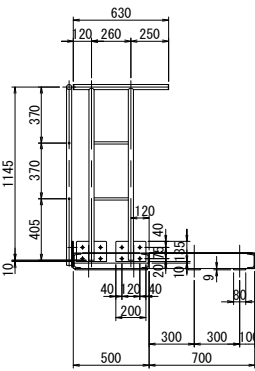
A-A断面



B-B断面



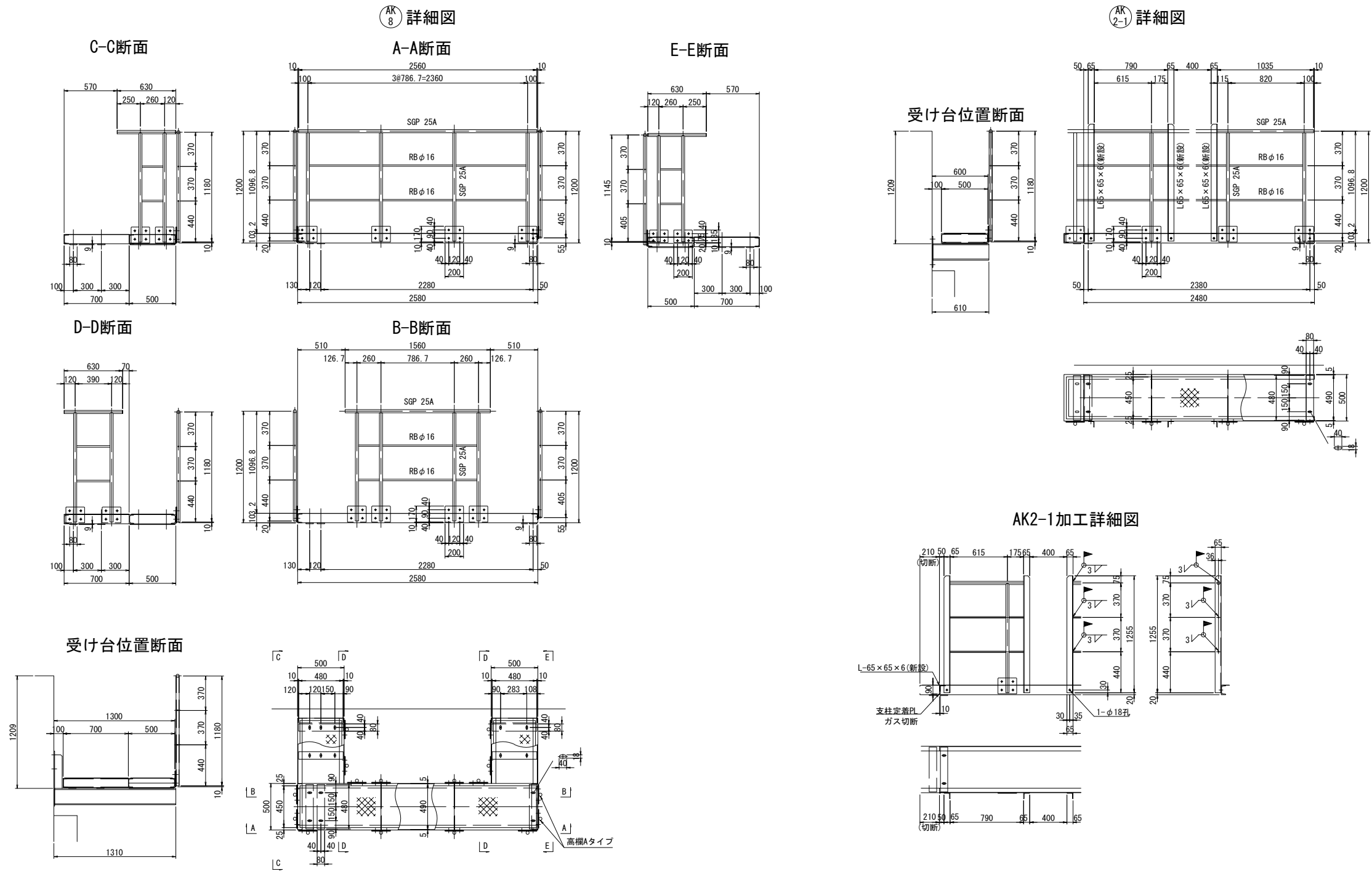
E-E断面



- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その9)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P4橋脚

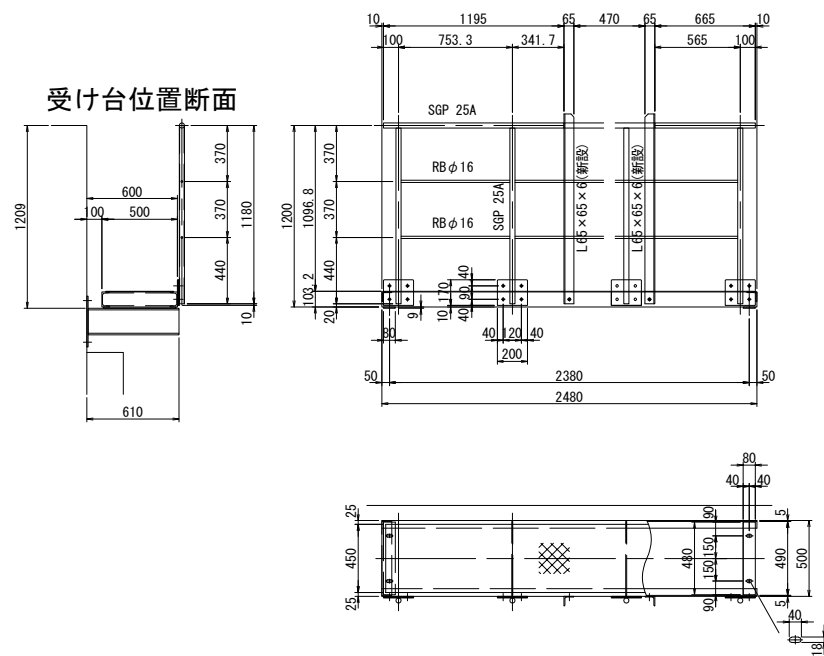


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

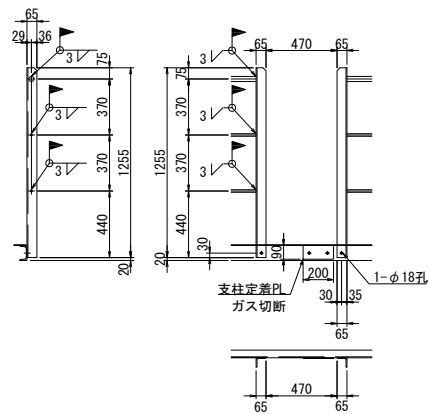
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その11)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P4橋脚

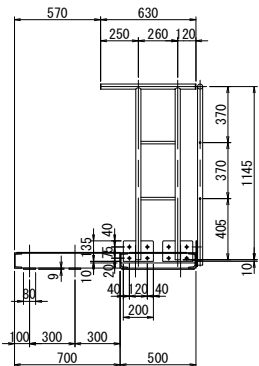
AK1-3 詳細図



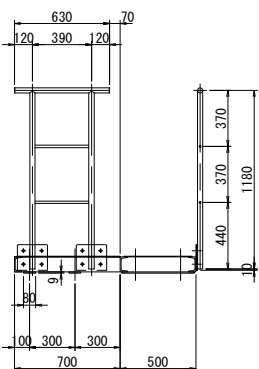
AK1-3加工詳細図



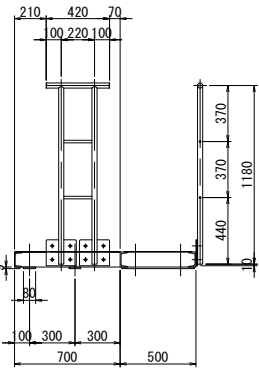
C-C断面



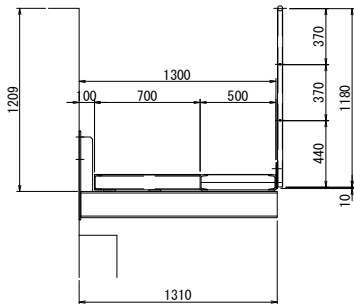
D-D断面



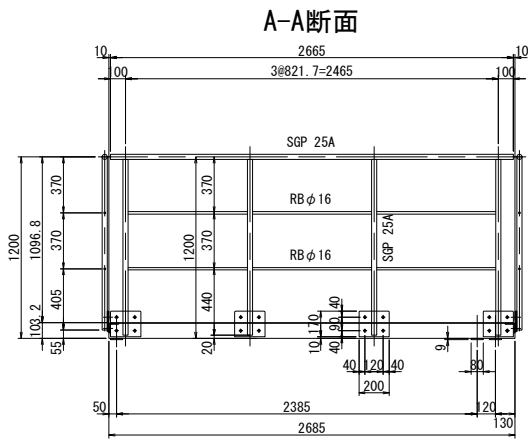
E-E断面



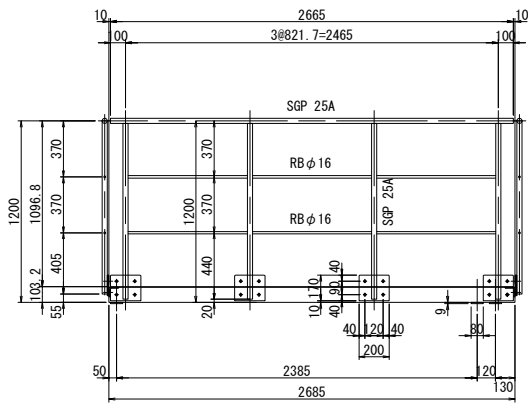
受け台位置断面



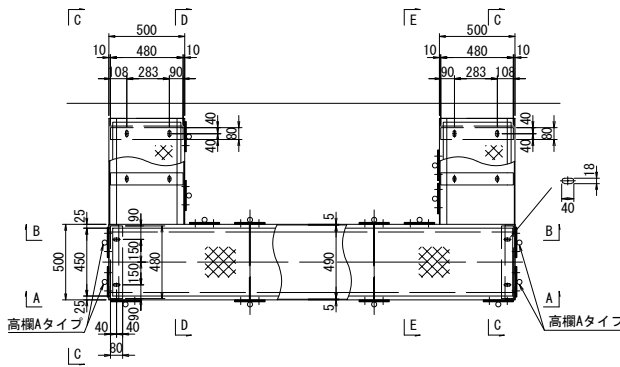
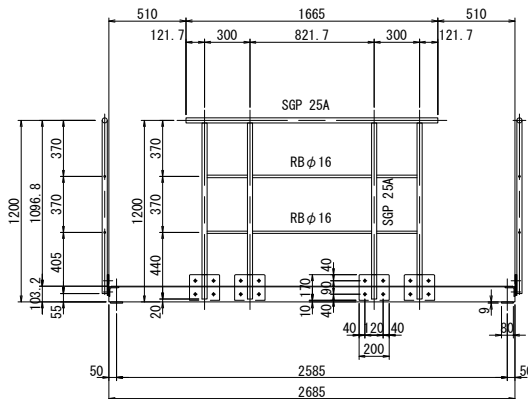
AK9 詳細図



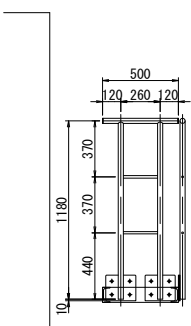
A-A断面



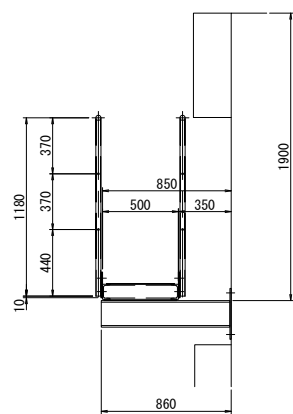
B-B断面



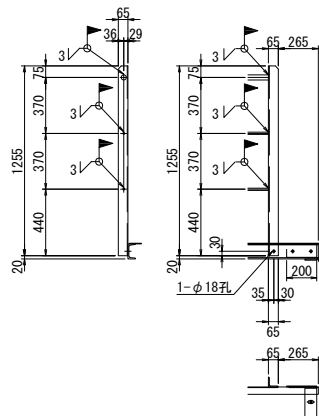
H-H断面



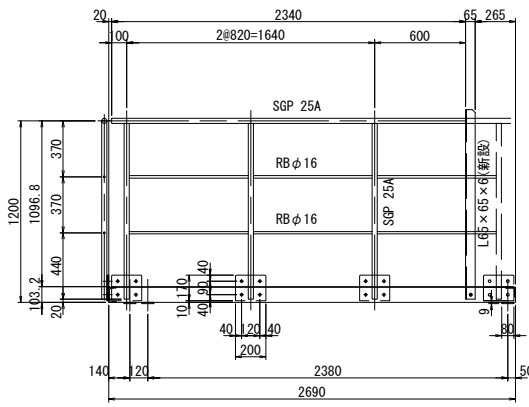
受け台位置断面



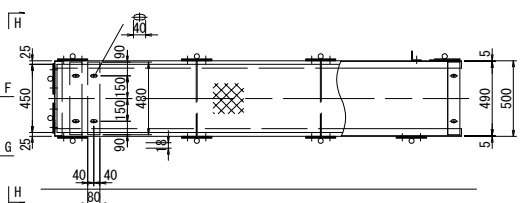
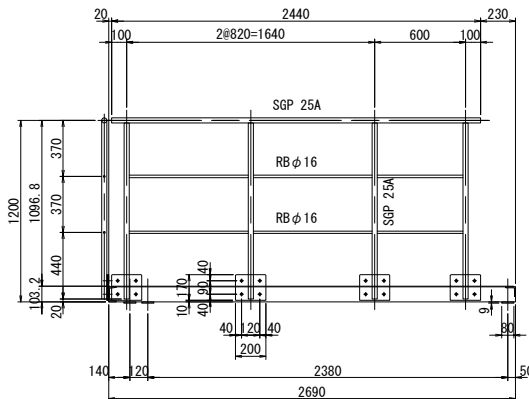
AK2-2加工詳細図



F-F断面



G-G断面

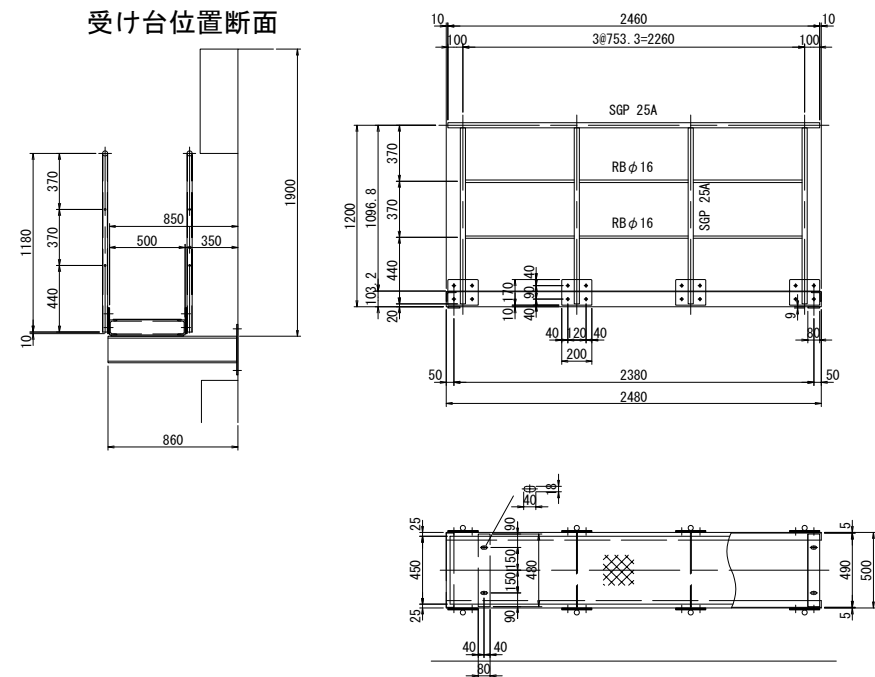


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

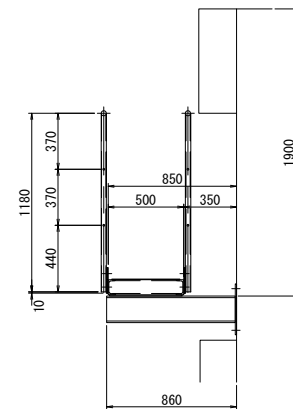
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その12)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P4橋脚

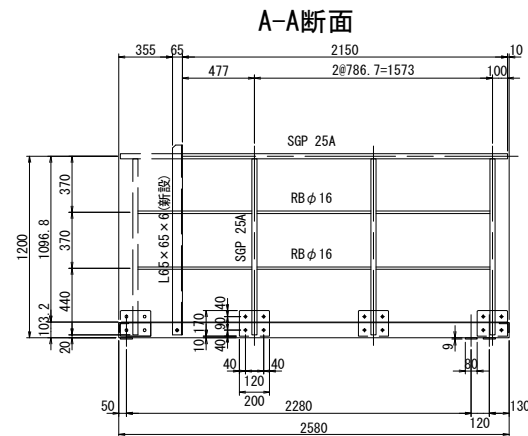
AK
1-4 詳細図



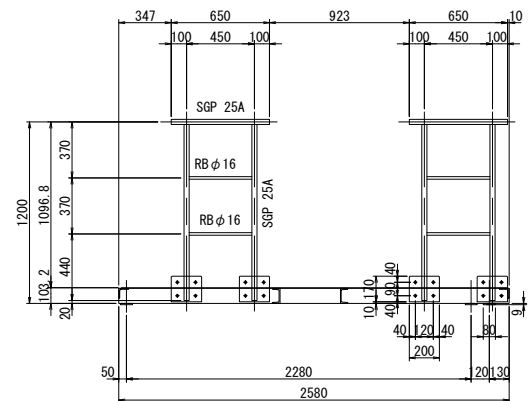
受け台位置断面



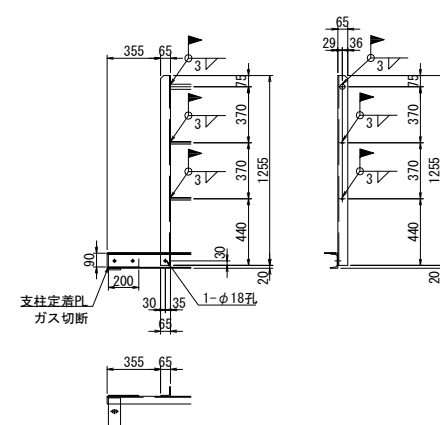
AK
3-1 詳細図



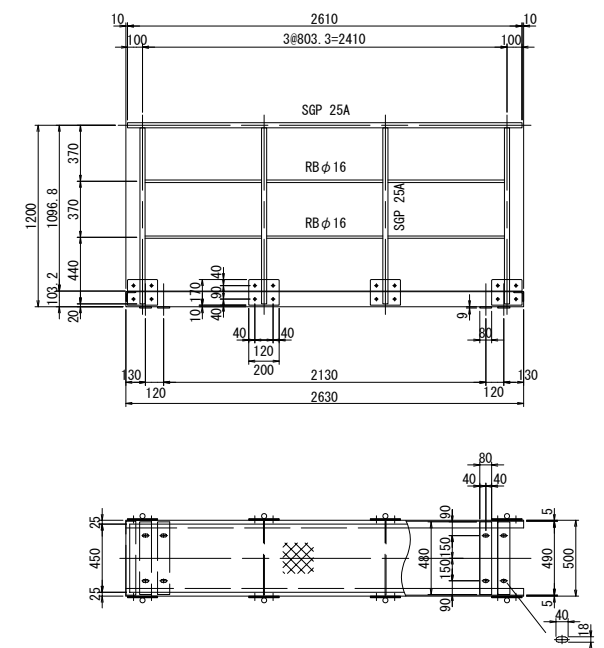
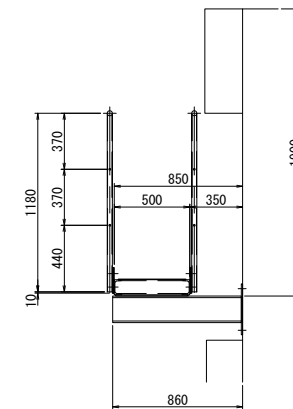
B-B断面



AK3-1加工詳細図



受け台位置断面



注記)

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 特記なきスカラーップはR35とする。
3. アンカーボルト増込み部と骨格、全ての部材は溶融亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板 (板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼 板 (板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
4. アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

<p align="center">館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事</p>			
図面の種類	<p align="center">豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その13)</p>		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P4橋脚

AK2-3 詳細図

AK5-1 詳細図

AK1-5 詳細図

受け台位置断面

A-A断面

受け台位置断面

C-C断面

受け台位置断面

E-E断面

AK2-3加工詳細図

B-B断面

D-D断面

AK1-5加工詳細図

F-F断面

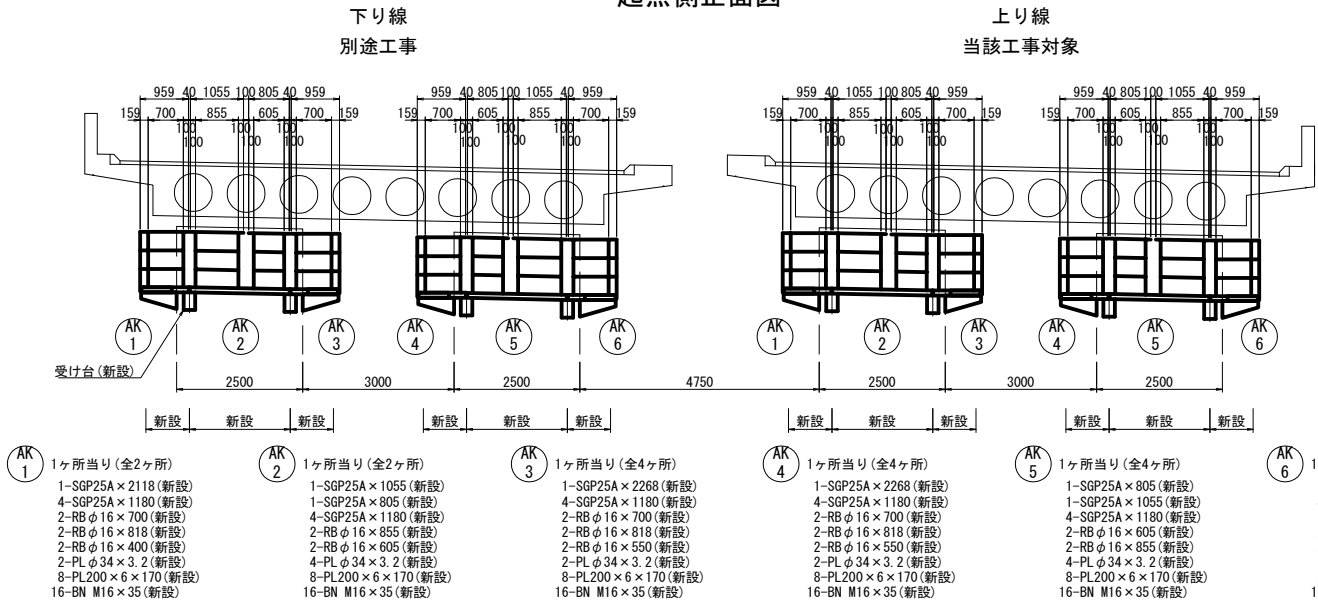
AK5-1加工詳細図

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

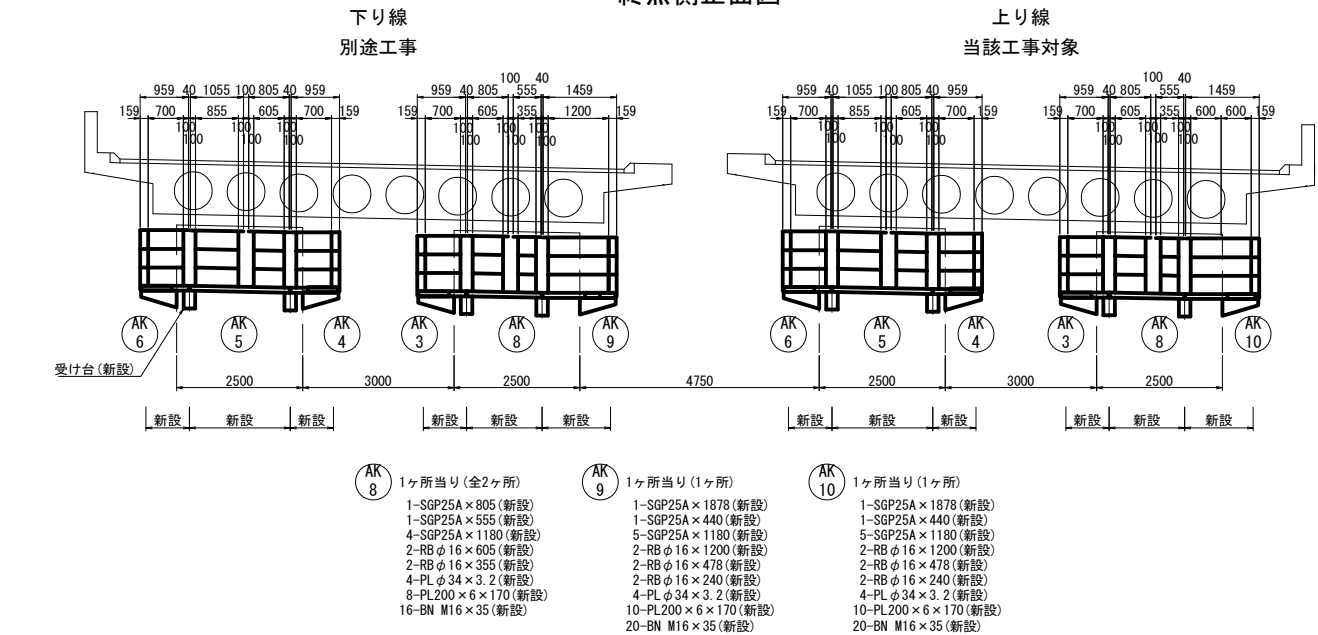
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その14)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P12橋脚

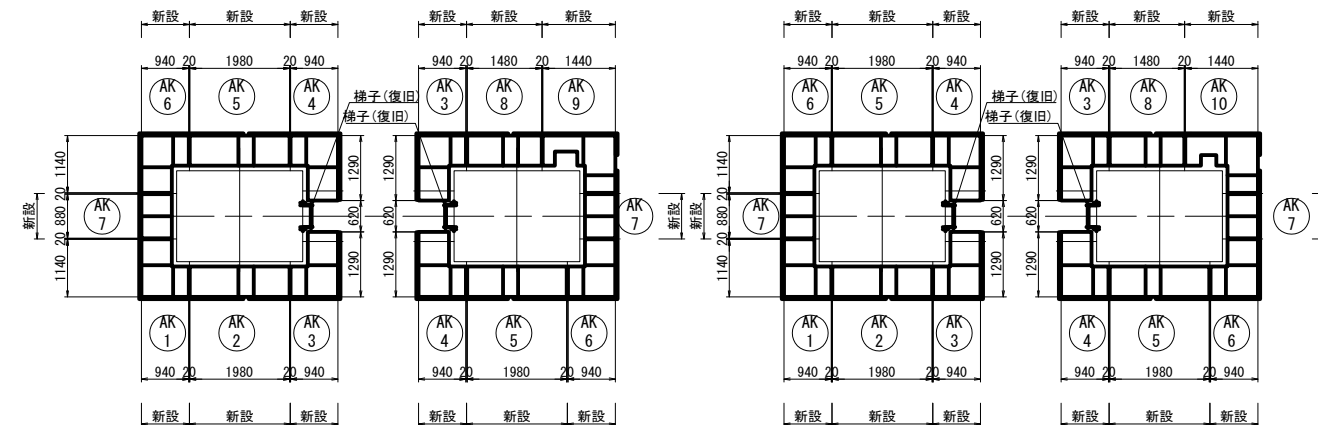
起点側正面図



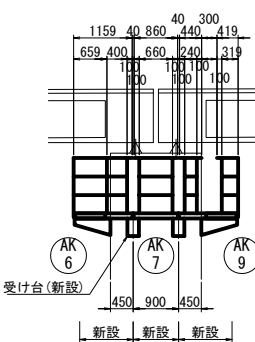
終点側正面図



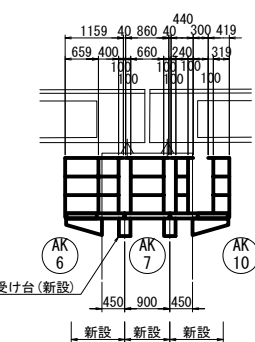
平面図



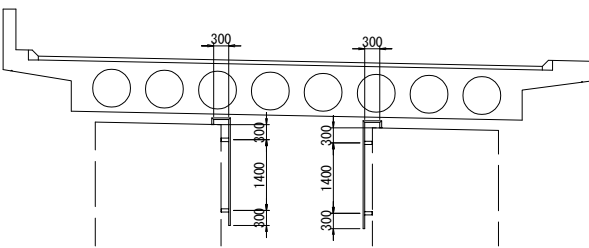
下り線側面図



上り線側面図

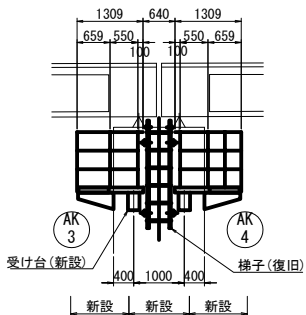


梯子取付図



※寸法詳細は梯子復旧図を参照のこと。

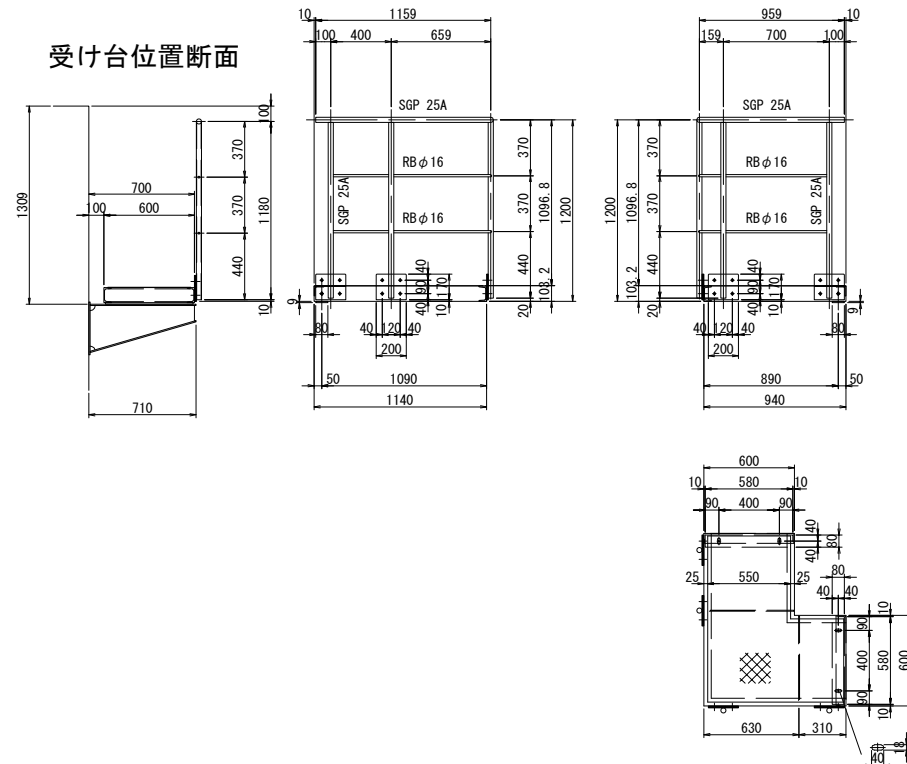
梯子取付部



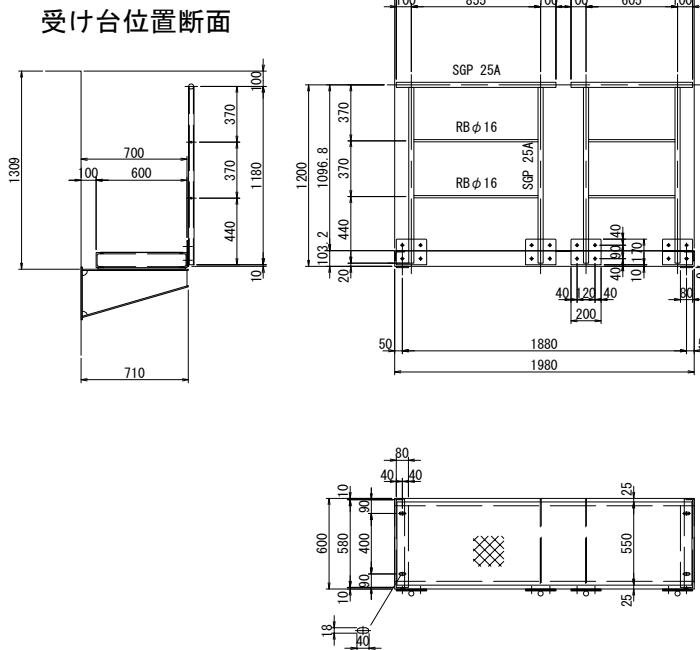
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー削孔前には鉄筋探索を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その16)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

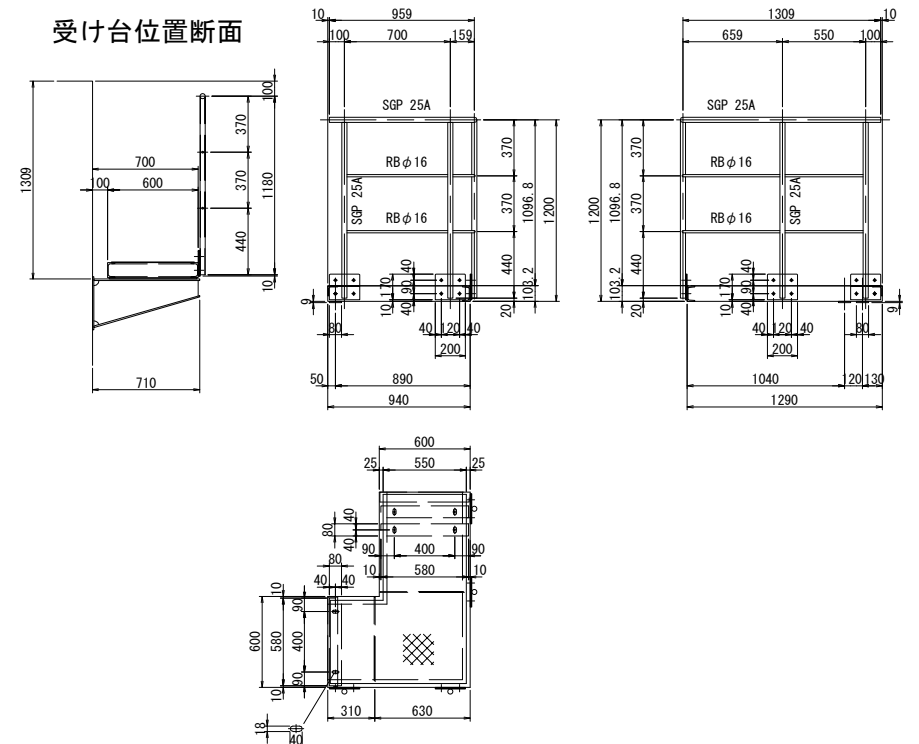
① AK 詳細図



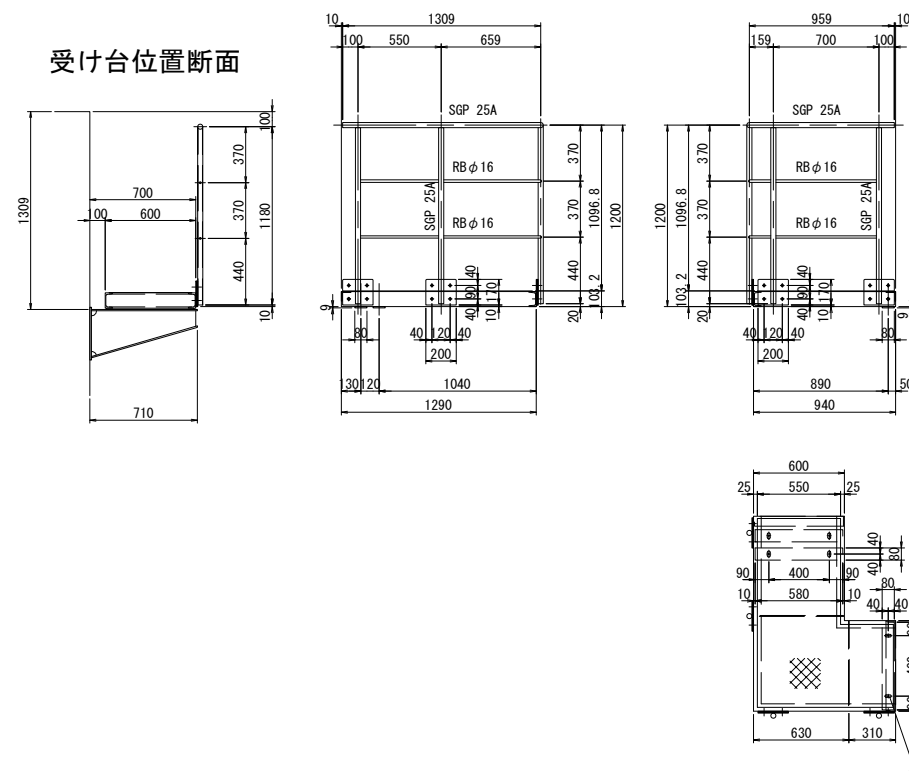
② 詳細図



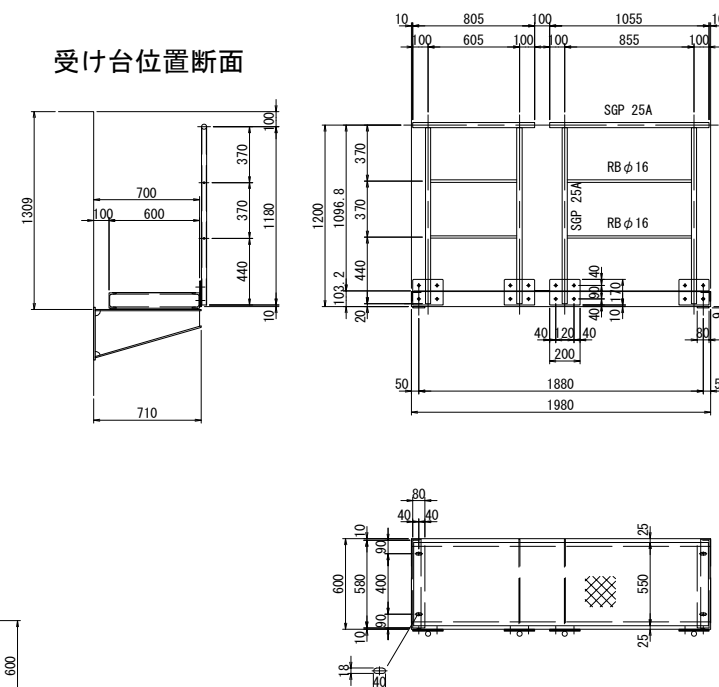
③ 詳細図



AK
4 詳細図



AK
5 詳細図

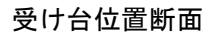


- (注記)
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
 2. 特記なきスカラーアップはR35とする。
 3. アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融亜鉛めっき塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 4. アンカー一削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

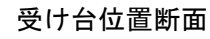
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事		
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査復旧図(その17)	
縮 尺	図示	図面番号 〃
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所	

P12橋脚

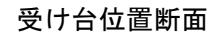
AK
6 詳細図



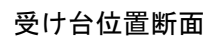
AK
7 詳細図



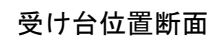
AK
8 詳細図



AK
9 詳細図



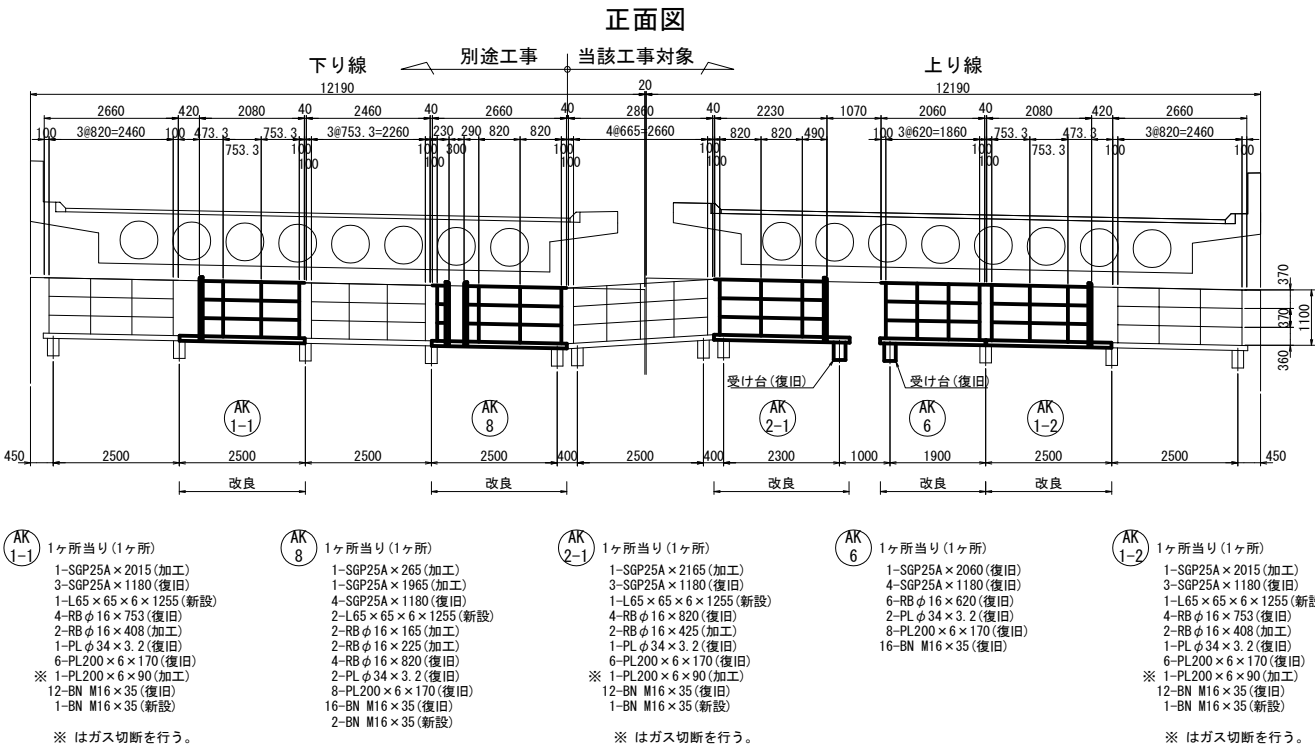
AK
10 詳細図



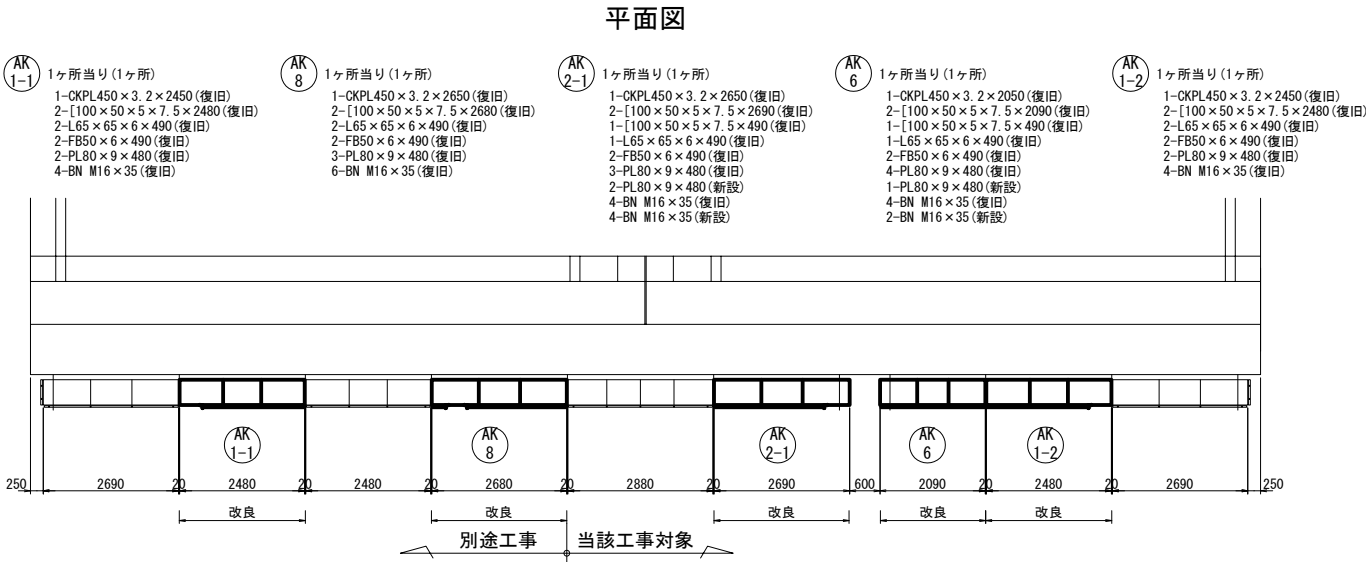
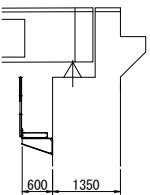
- 注記)

<p align="center">館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事</p>			
<p>図面の種類</p>		<p align="center">豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その18)</p>	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 本 原 監 理 事 務 所		

A2橋台

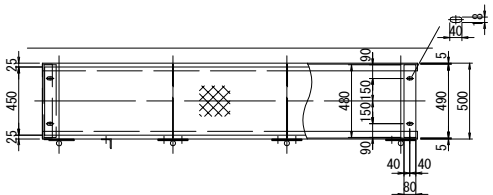
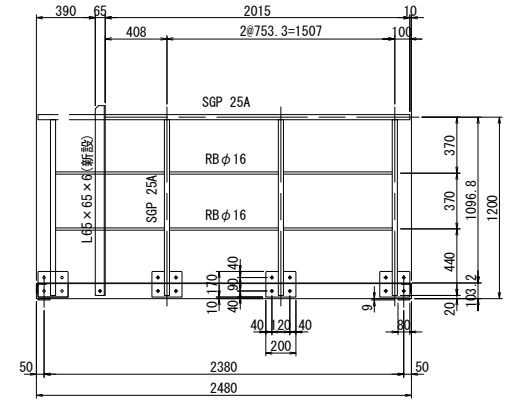
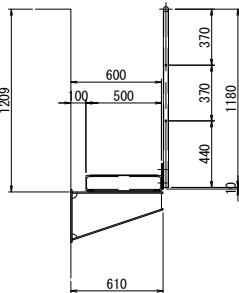


側面図

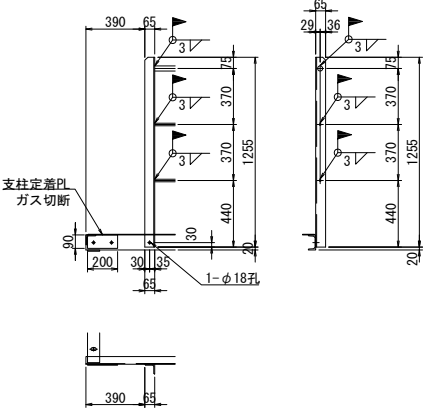


AK 1-1 詳細図 S=1:50

受け台位置断面



AK1-1加工詳細図 S=1:50

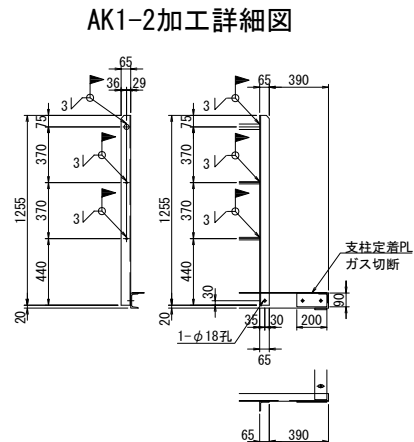
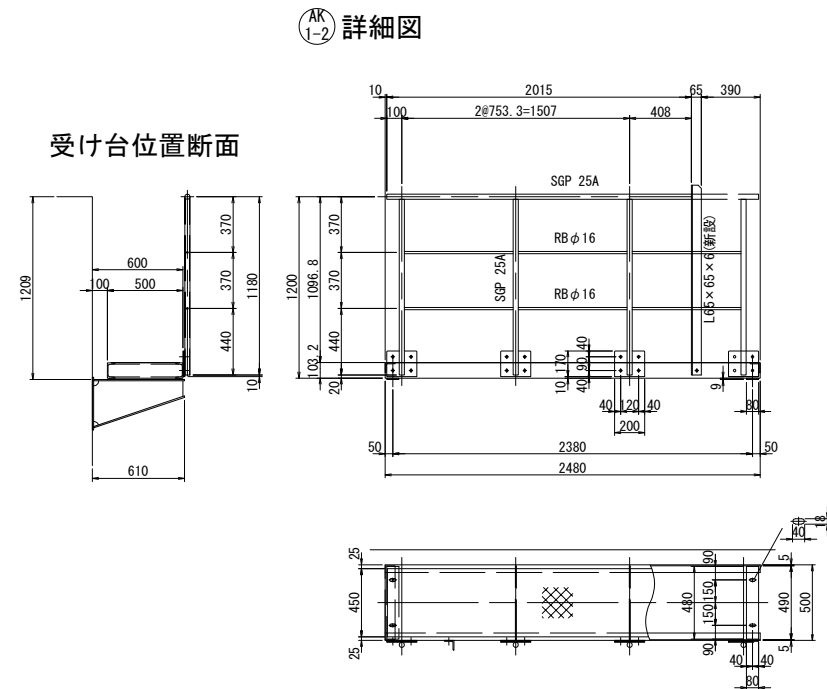
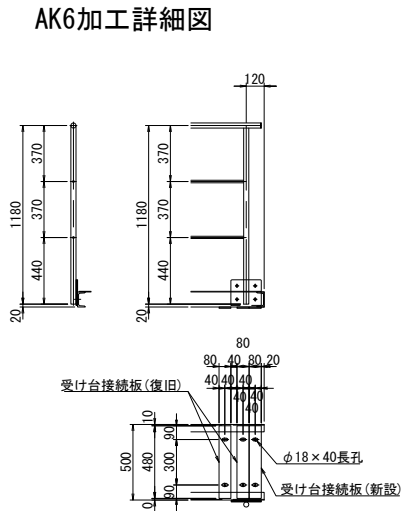
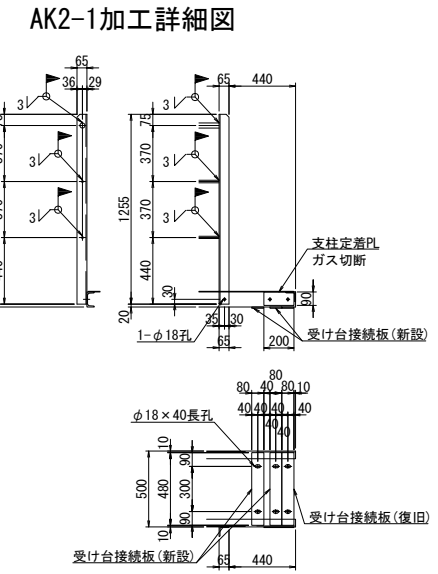
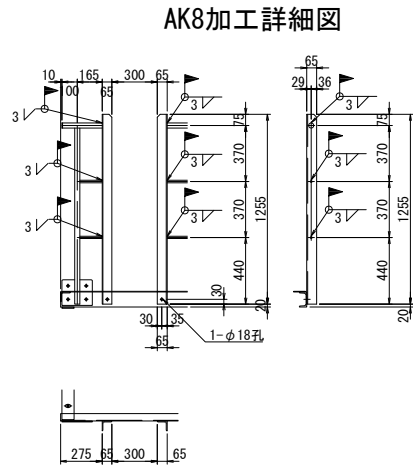
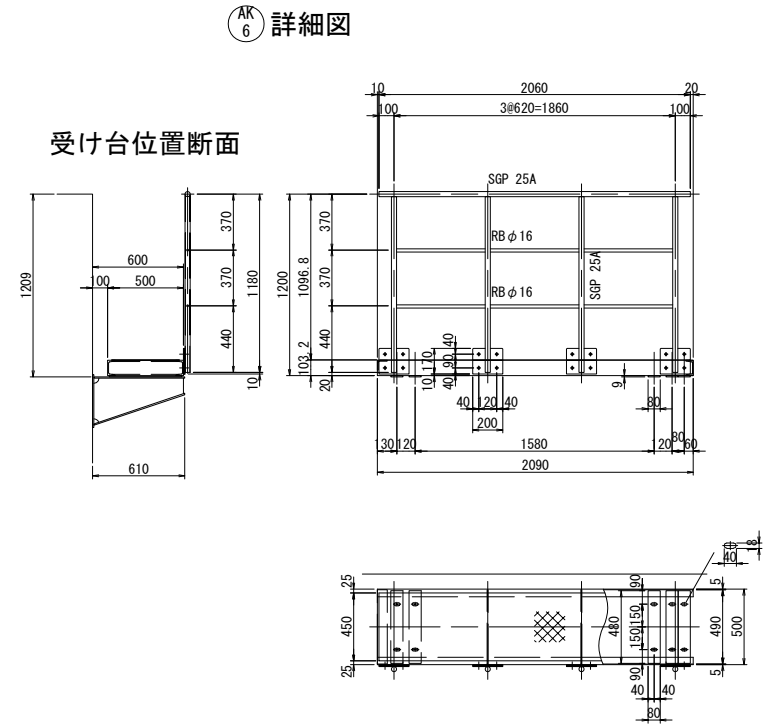
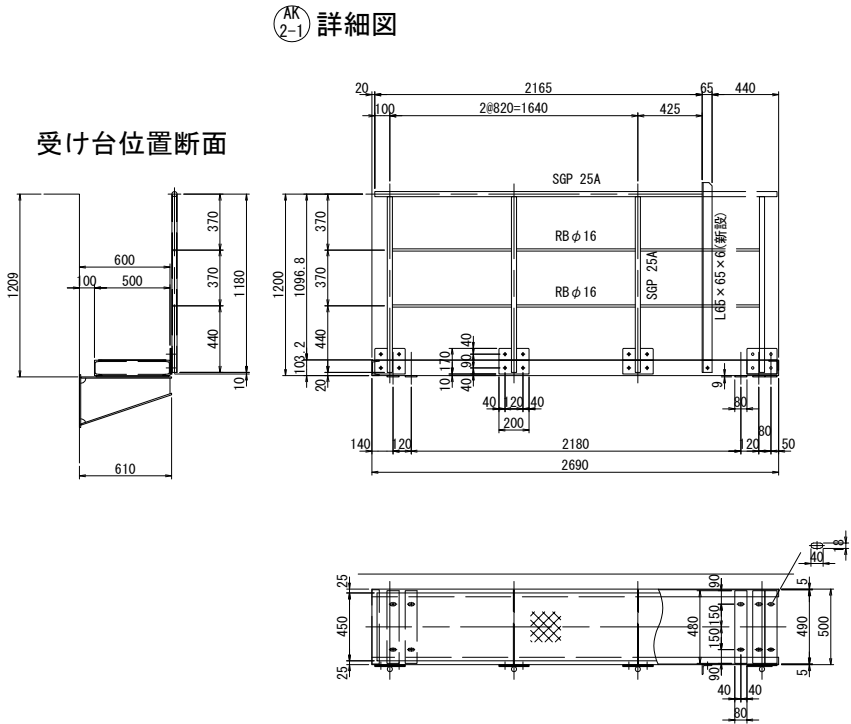
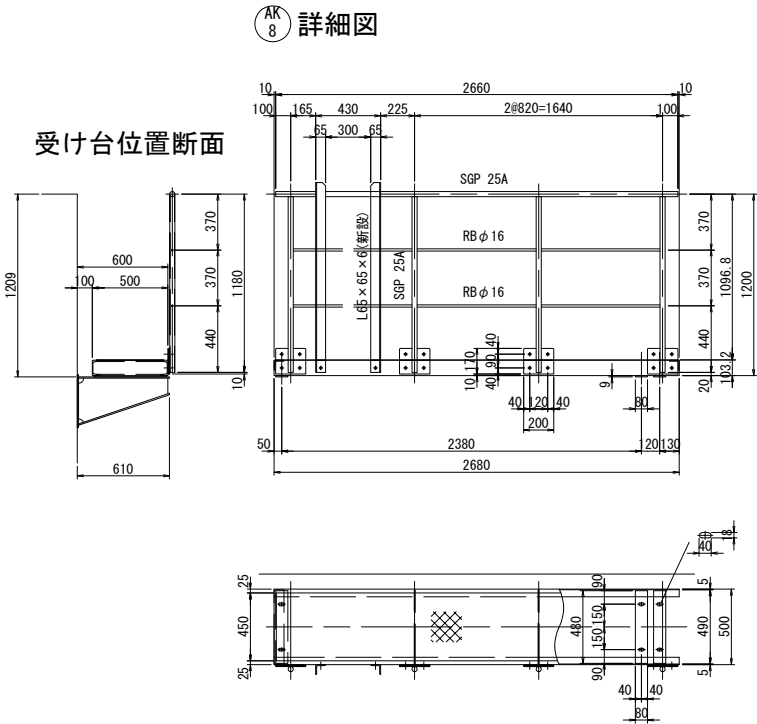


注記)

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカーラップはR35とする。
- アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
- アンカー剛孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

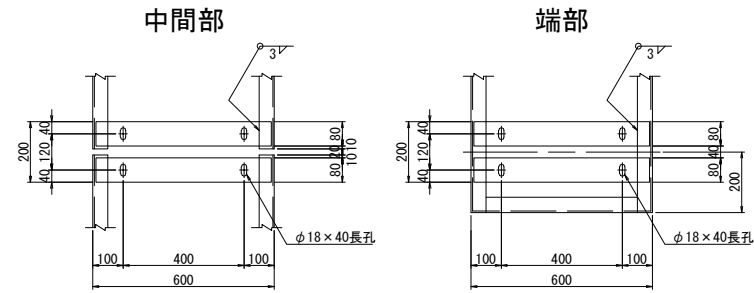
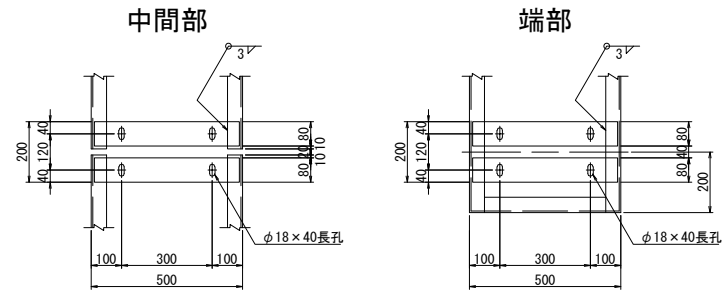
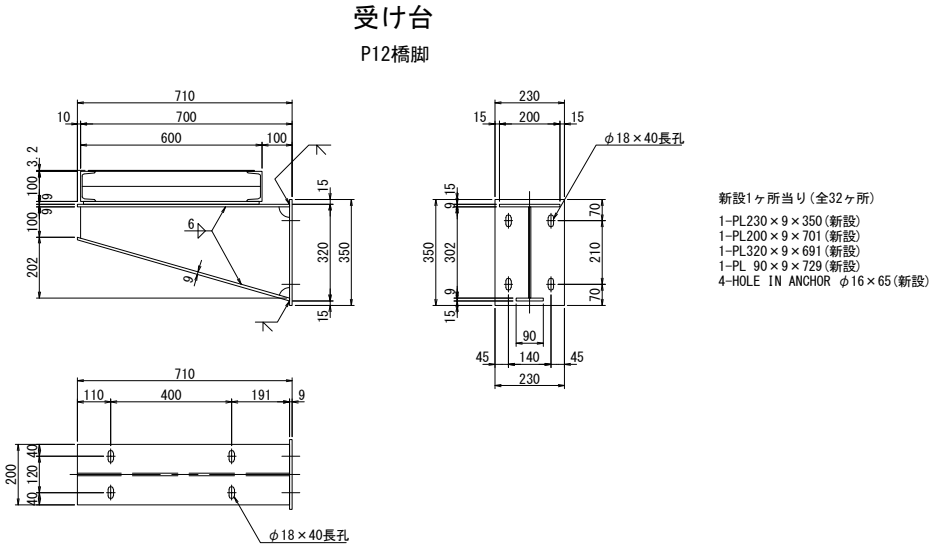
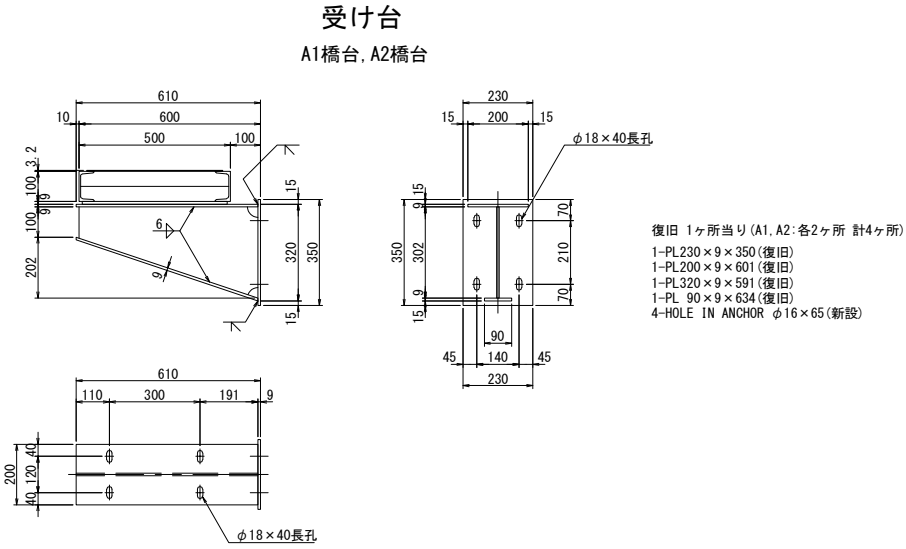
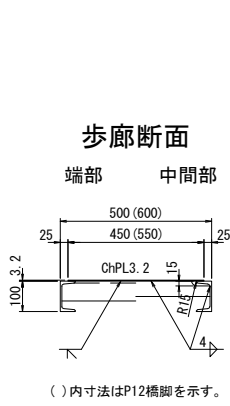
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 下部工検査路復旧図(その19)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

A2橋台



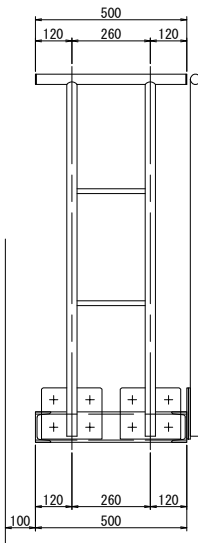
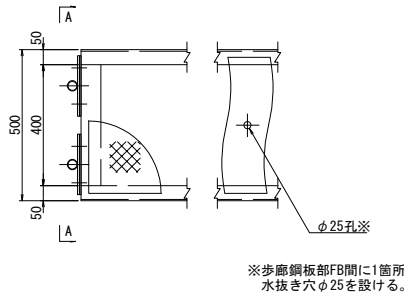
- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー剛孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その20)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		



A-A断面

端部手摺詳細図

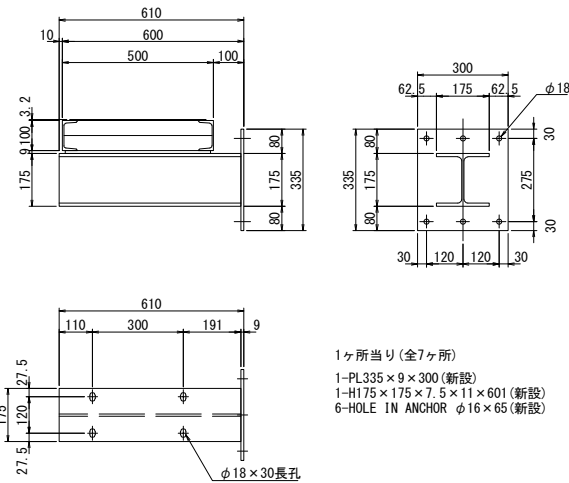


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融
亜鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板 (板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板 (板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を
確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

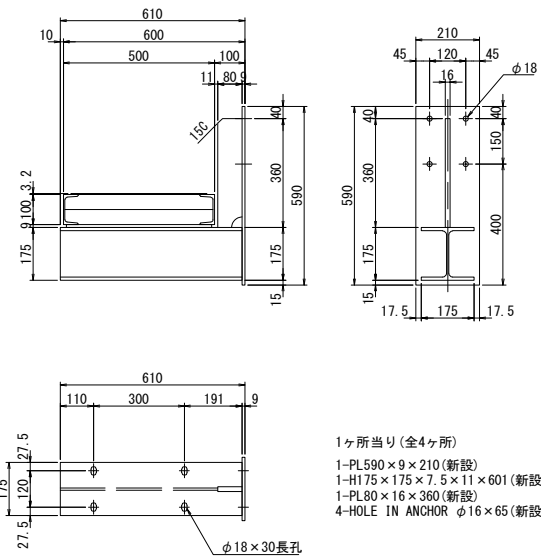
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その21)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P3橋脚

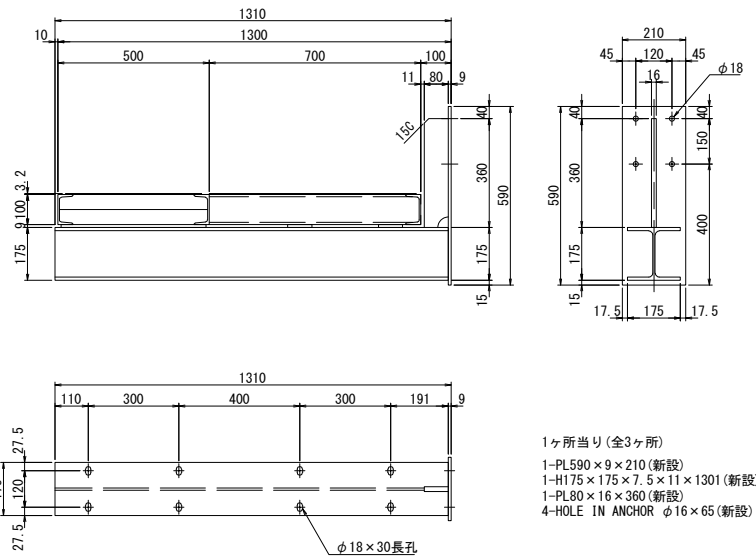
受け台1



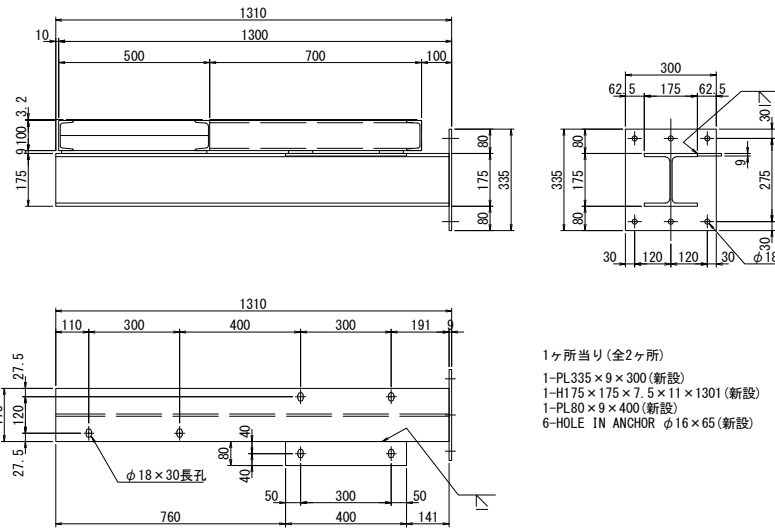
受け台2



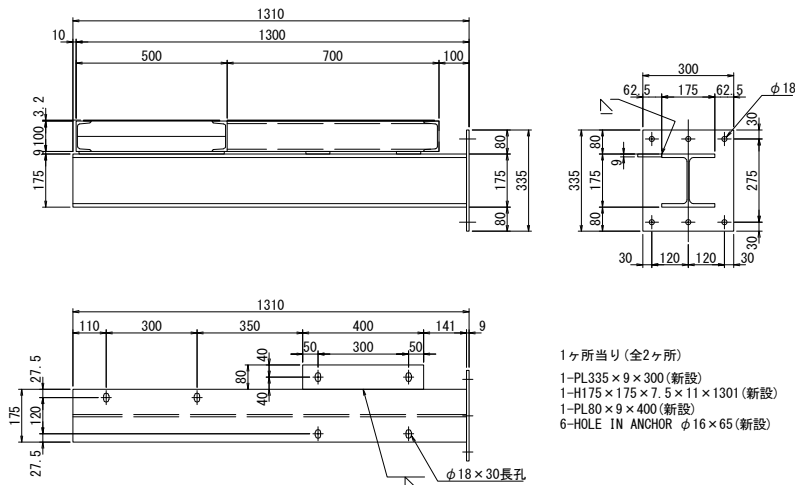
受け台3



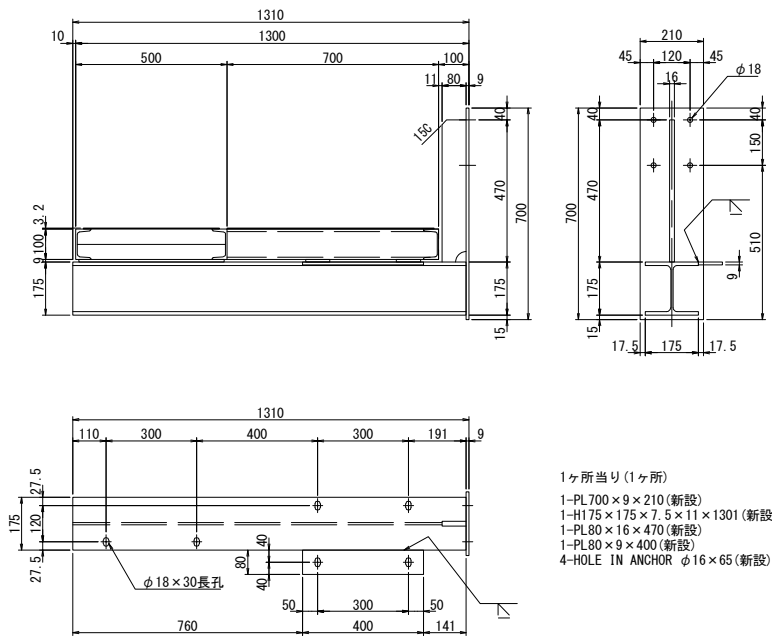
受け台4



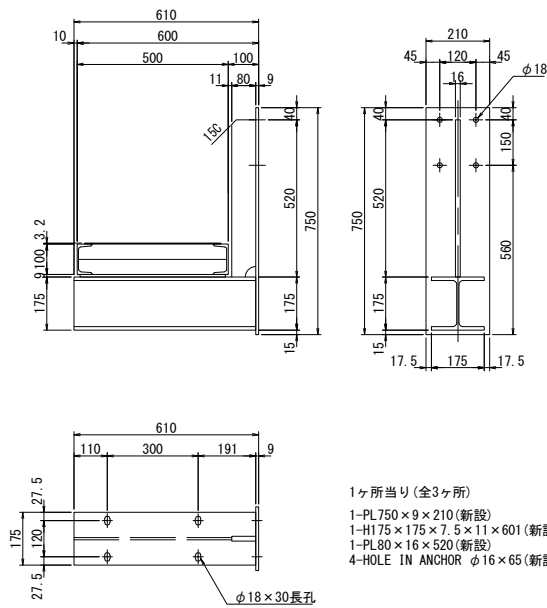
受け台5



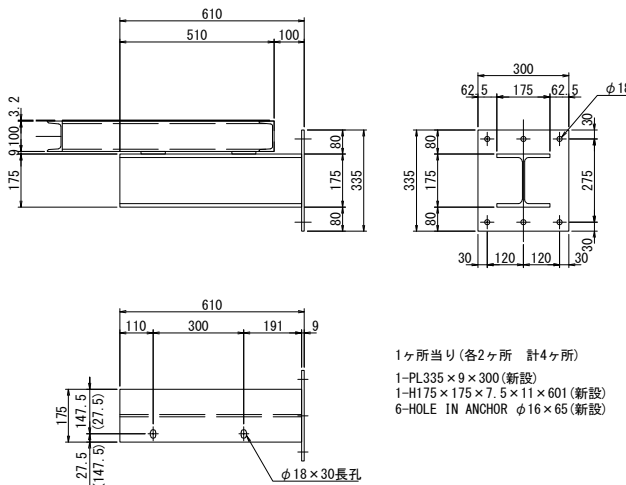
受け台6



受け台7



受け台8(受け台11)



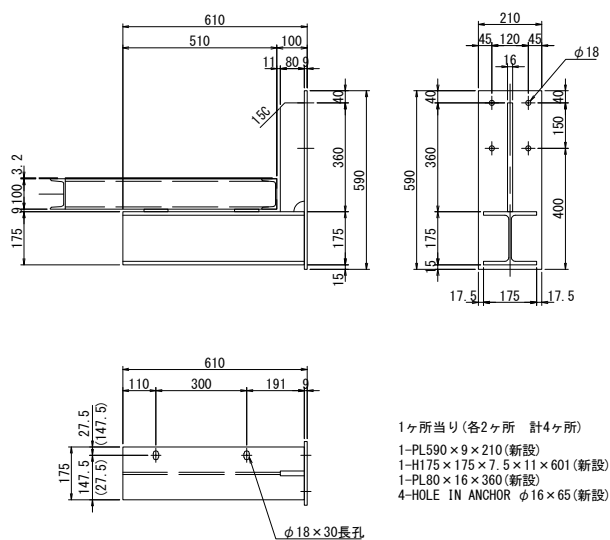
※()内寸法は、受け台11の寸法を示す。

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー削孔前には鉄筋探索を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その22)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

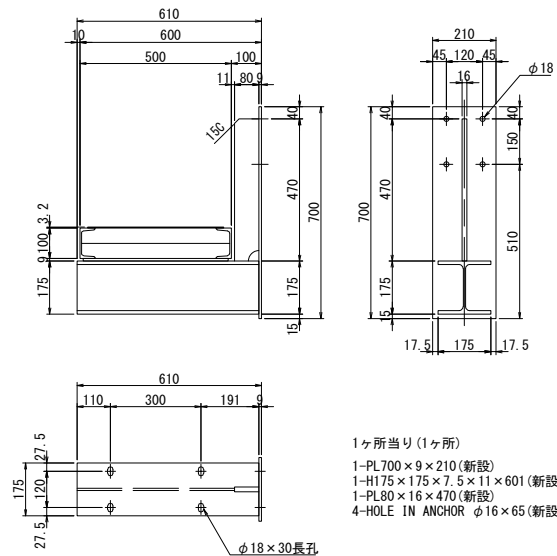
P3橋脚

受け台9 (受け台10)

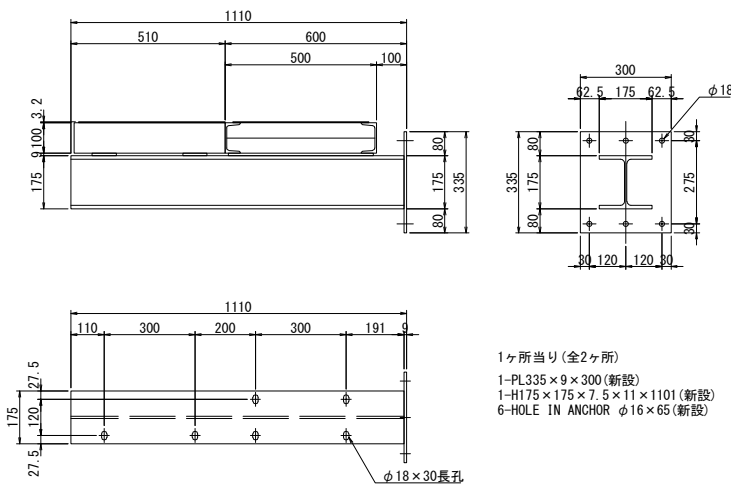


※ () 内寸法は、受け台10の寸法を示す。

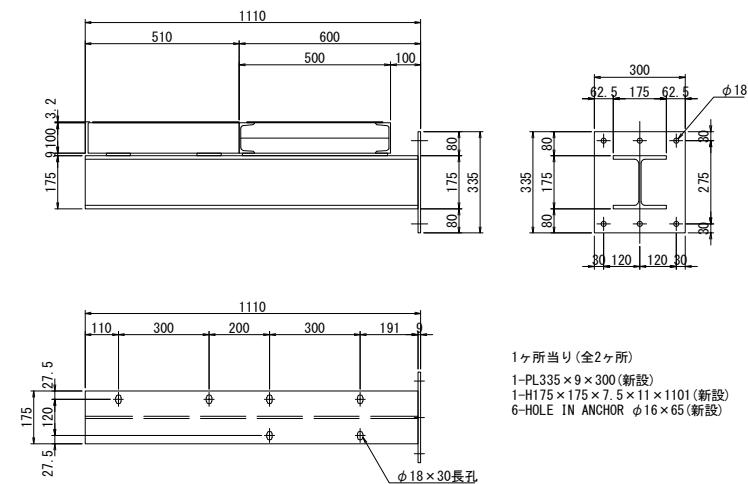
受け台12



受け台13



受け台14

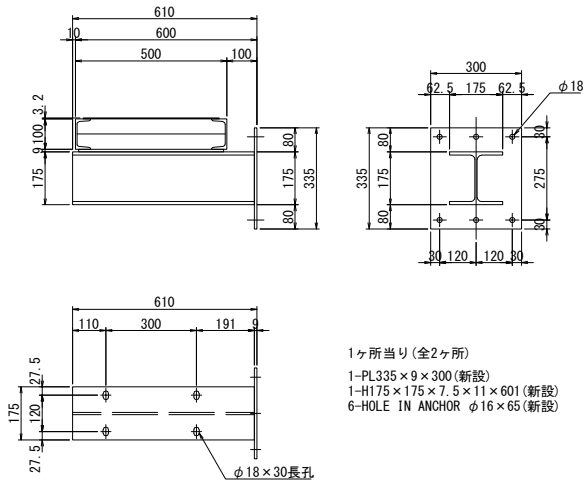


- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板 (板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板 (板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

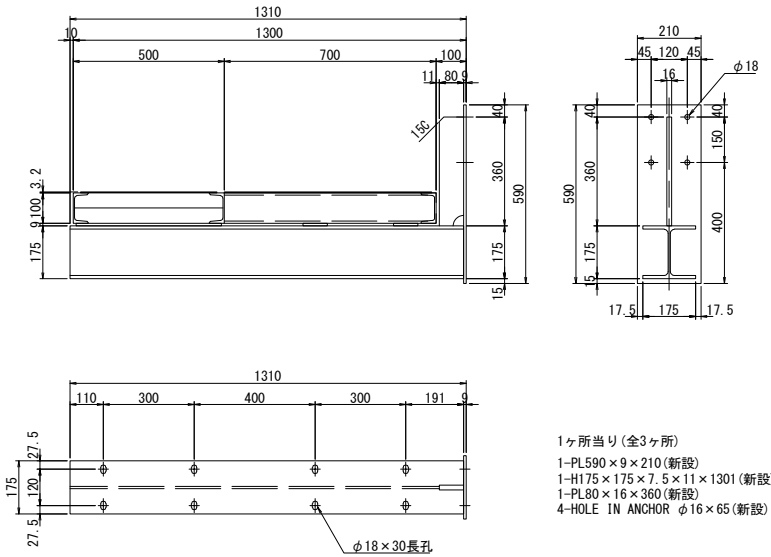
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋 (上り線)		
	下部工検査路復旧図 (その23)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P4橋脚

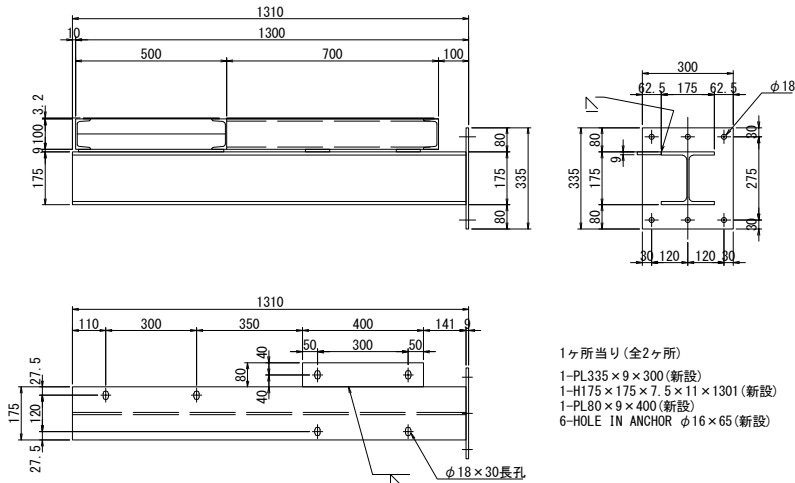
受け台1



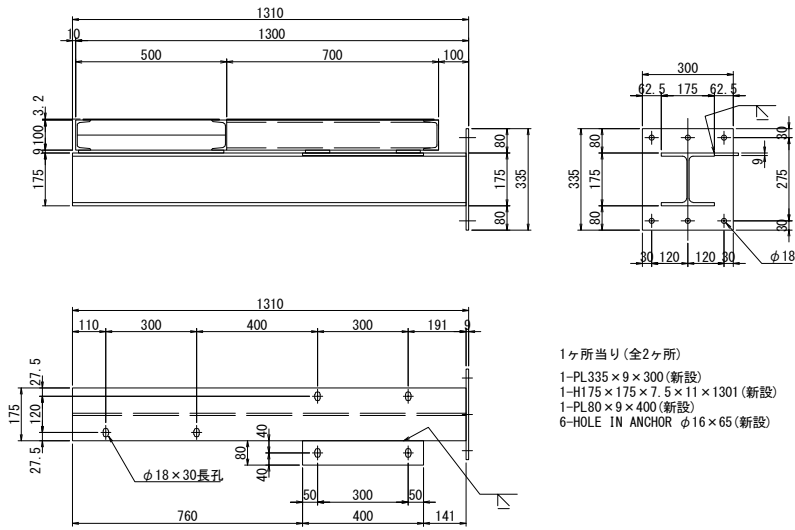
受け台2



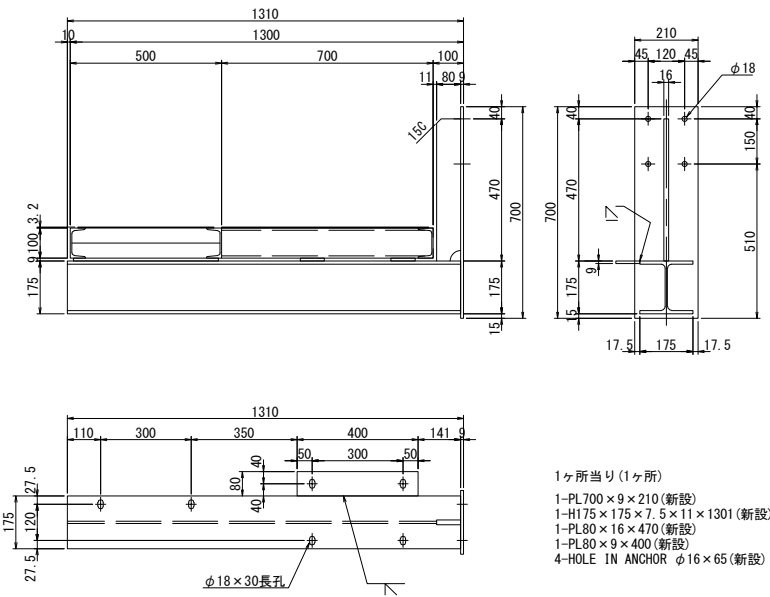
受け台3



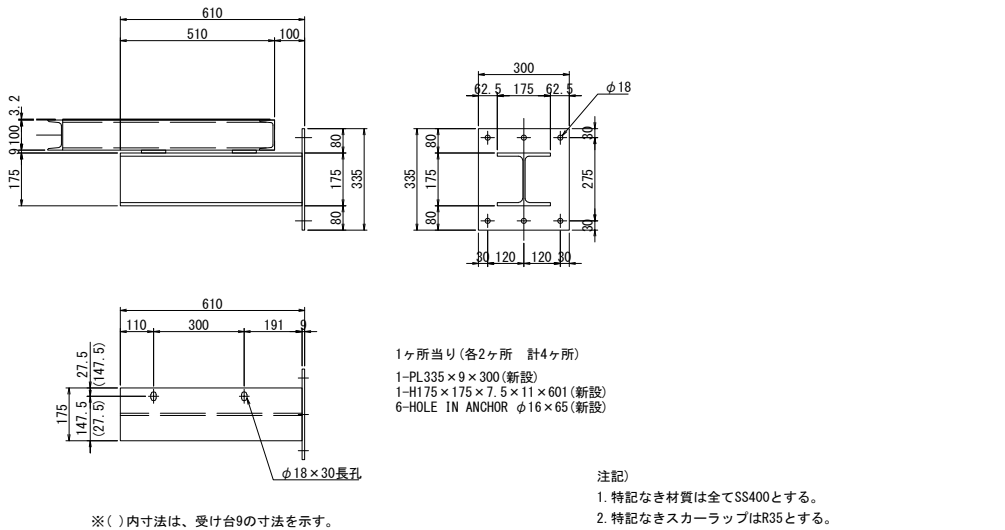
受け台4



受け台5



受け台6 (受け台9)



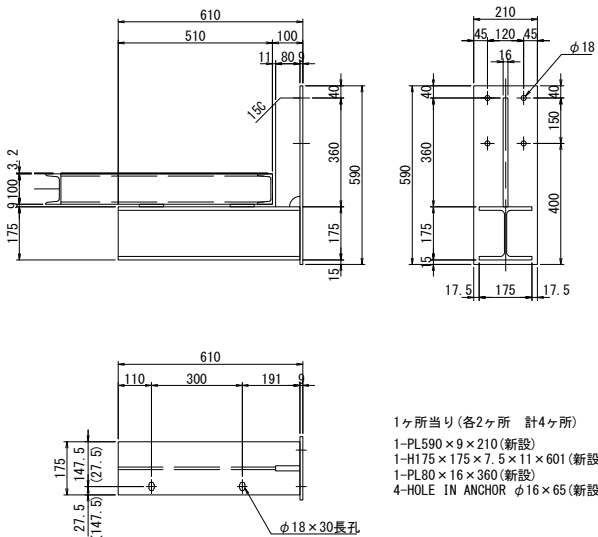
※()内寸法は、受け台9の寸法を示す。

- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - 特記なきスカーラップはR35とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その24)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

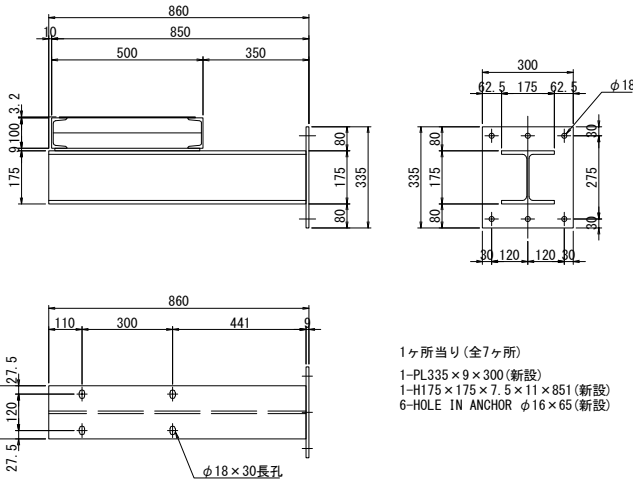
P4橋脚

受け台7 (受け台8)

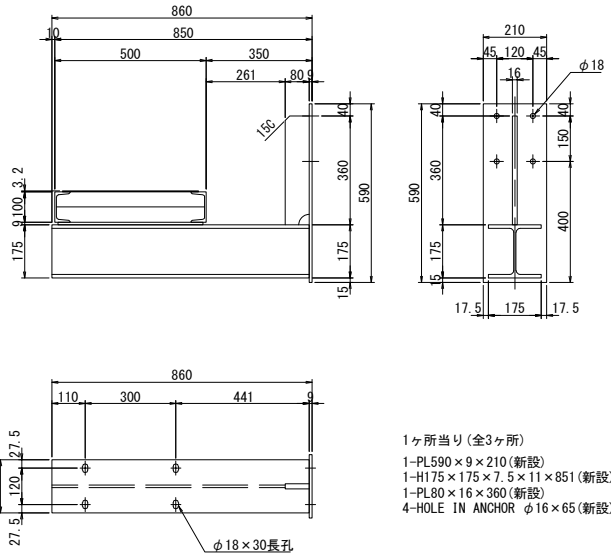


※()内寸法は、受け台8の寸法を示す。

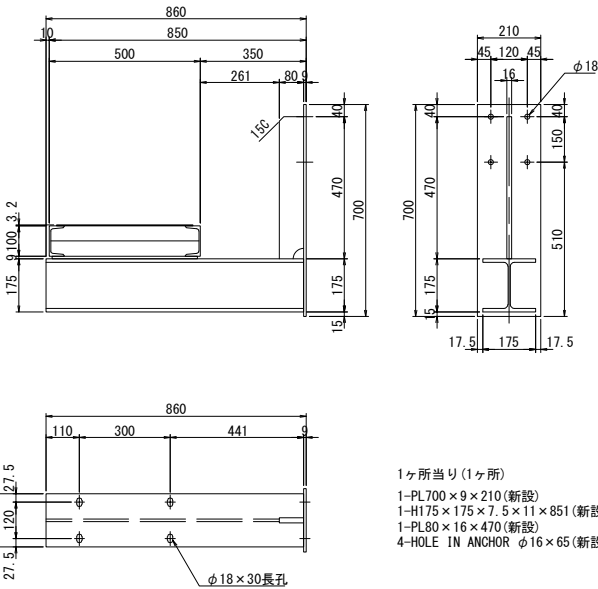
受け台10



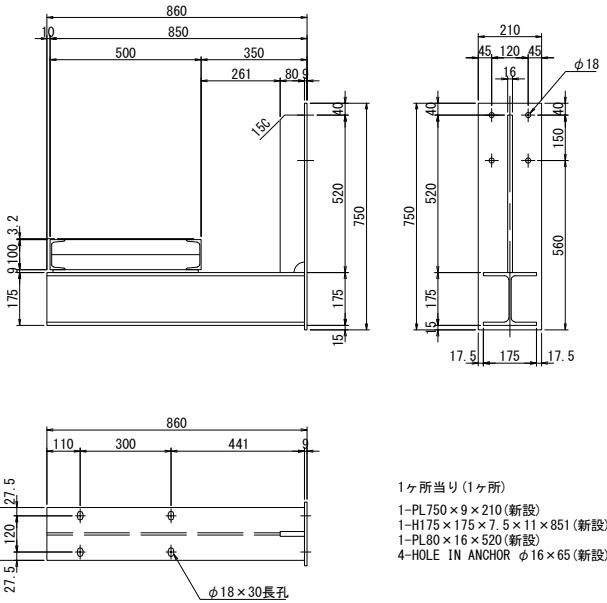
受け台11



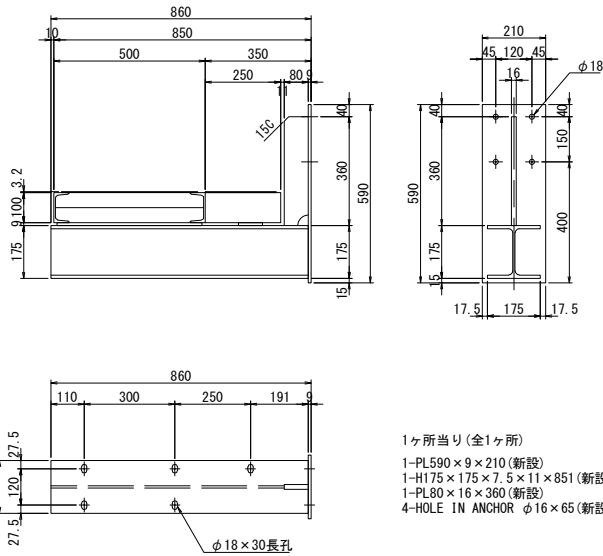
受け台12



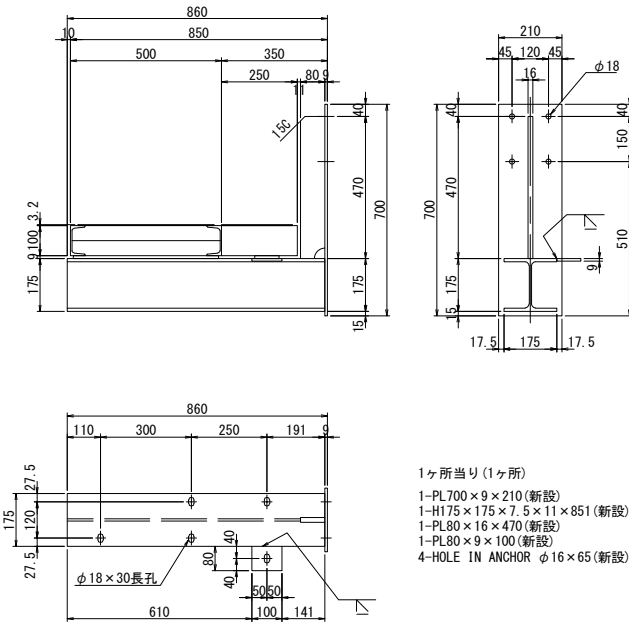
受け台13



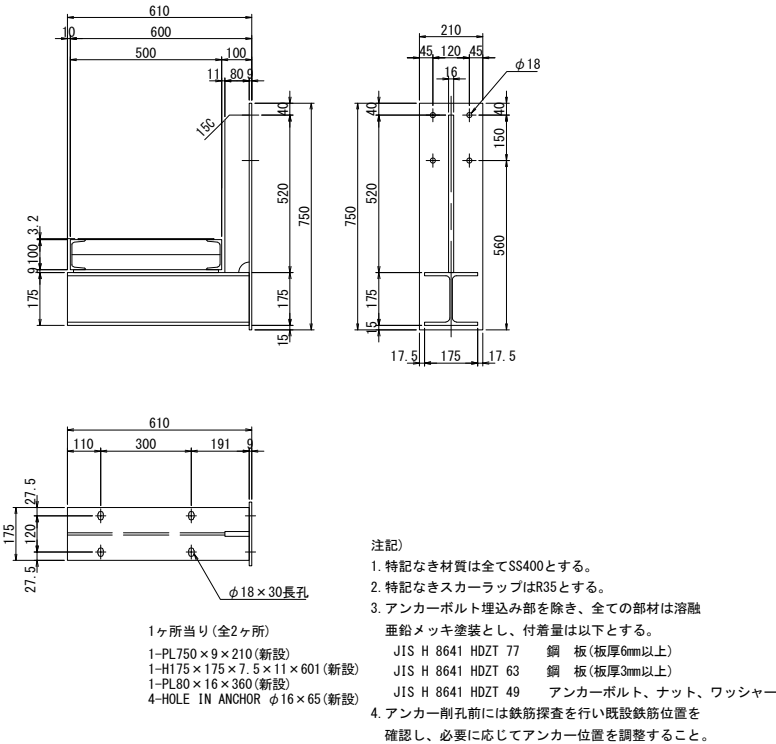
受け台14



受け台15

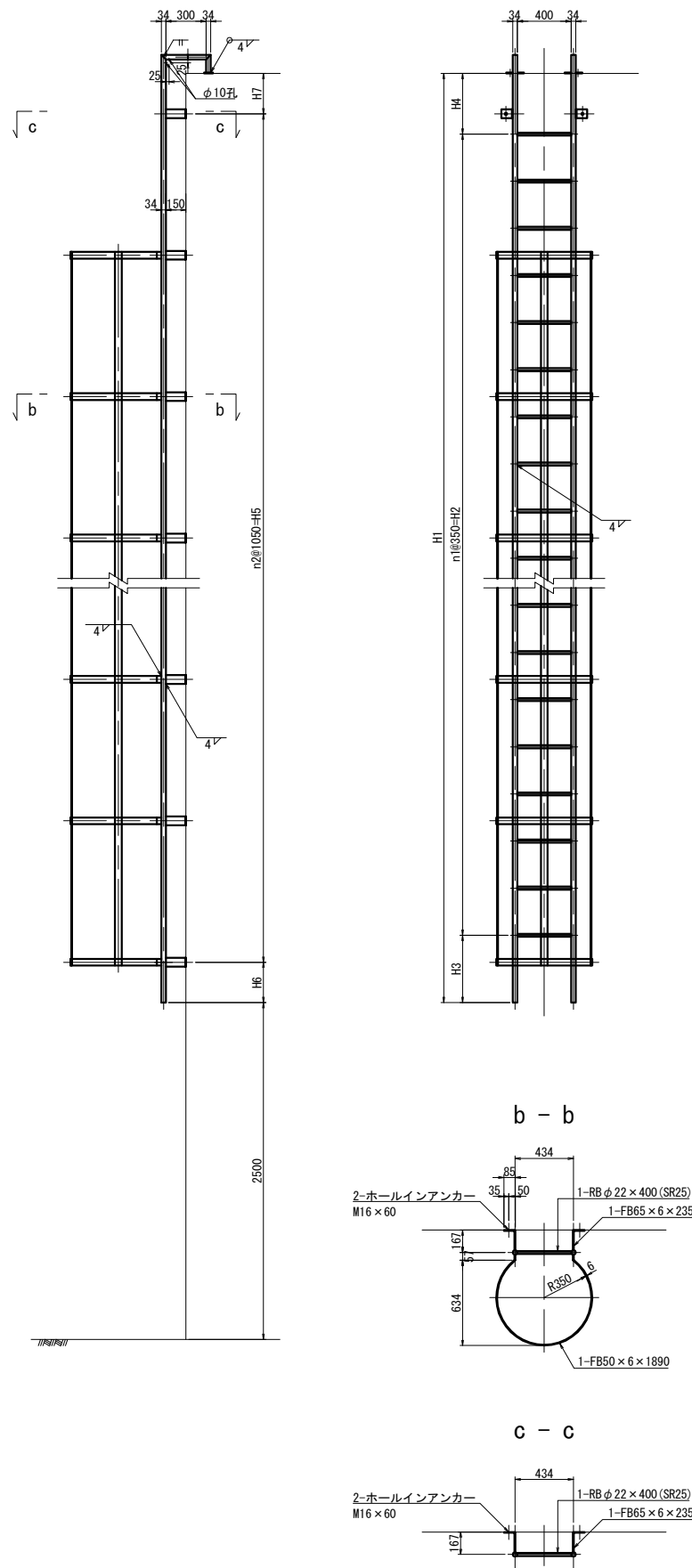


受け台16



館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その25)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

梯子



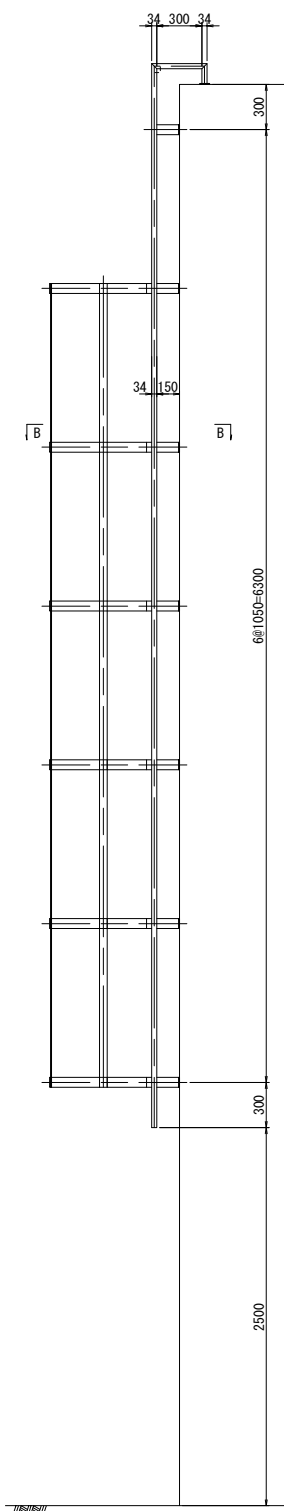
- 1ヶ所当り
2-SGP 25A×L1
N1-RB 22φ×400 (SR25)
N2-FB 65×6×1890
N3-FB 65×6×235
3-FB 65×6×L2
2-FB 65×6×130
N4-ホールインアンカー M16×60

寸法表

	(A1)	(P3)	(P4)	(P12)	
	上	上	上	上	下
H1	6900	13900	15500	2000	2000
H2	6650	13650	15050	1750	1750
H3	150	150	250	150	150
H4	100	100	200	100	100
H5	6300	12600	14700	-	-
H6	300	550	400	-	-
H7	300	750	400	-	-
n1	19	39	43	5	5
n2	6	12	14	-	-
L1	7468	14468	16068	2568	2568
L2	5315	11615	13715	-	-
N1	20	40	44	6	6
N2	6	12	14	-	-
N3	14	26	30	4	4
N4	16	28	32	6	6

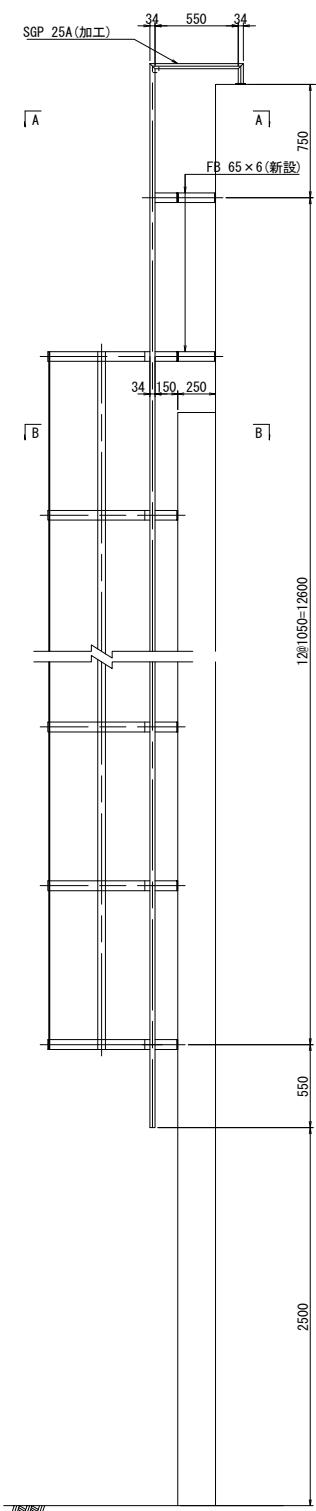
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 昇降梯子撤去図			
	縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

A1橋台



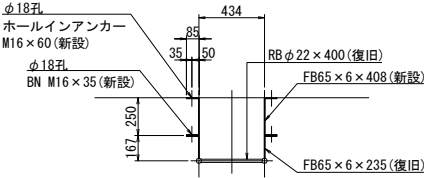
- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 2-SGP 25A×7468 (復旧)
 - 20-RB 22φ×400 (復旧)
 - 6-FB 65×6×1890 (復旧)
 - 14-FB 65×6×235 (復旧)
 - 3-FB 65×6×5315 (復旧)
 - 2-FB 65×6×130 (復旧)
 - 16-ホールインアンカー M16×60 (新設)

P3橋脚

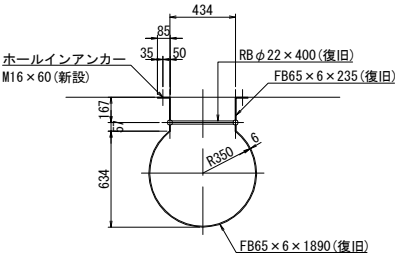


- 1ヶ所当り (1ヶ所)
- 2-SGP 25A×14718 (加工)
 - 40-RB 22φ×400 (復旧)
 - 12-FB 65×6×1890 (復旧)
 - 26-FB 65×6×235 (新設)
 - 4-FB 65×6×408 (新設)
 - 3-FB 65×6×11615 (復旧)
 - 2-FB 65×6×130 (復旧)
 - 4-BN M16×35 (新設)
 - 28-ホールインアンカー M16×60 (新設)

A-A断面



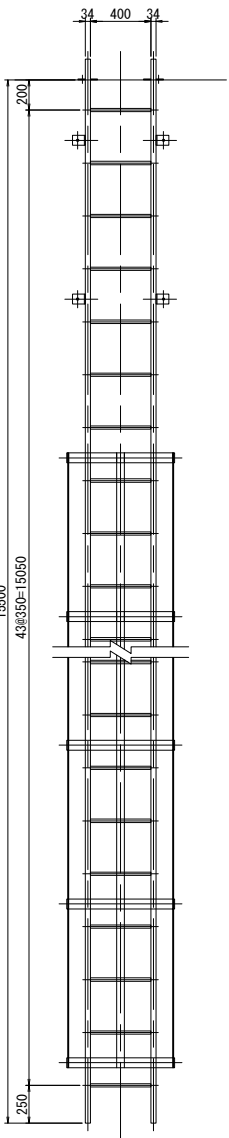
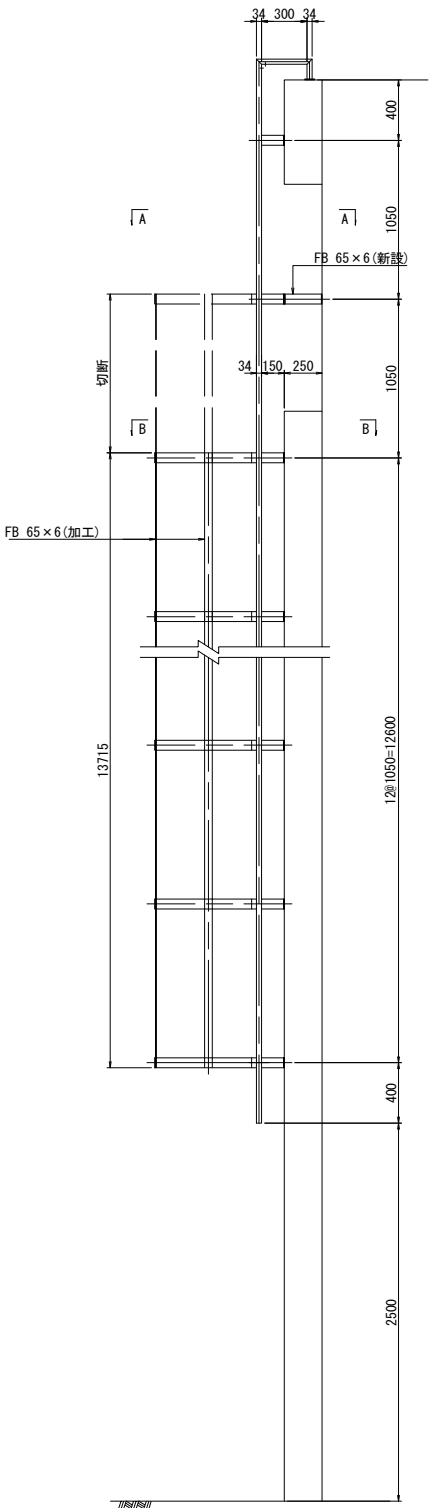
B-B断面



- 注記)
- 特記なき材質は全てSS400とする。
 - アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
 - アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

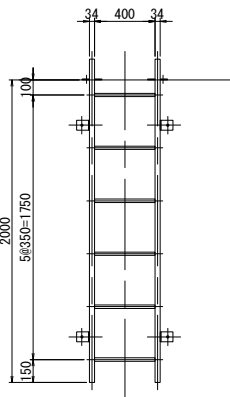
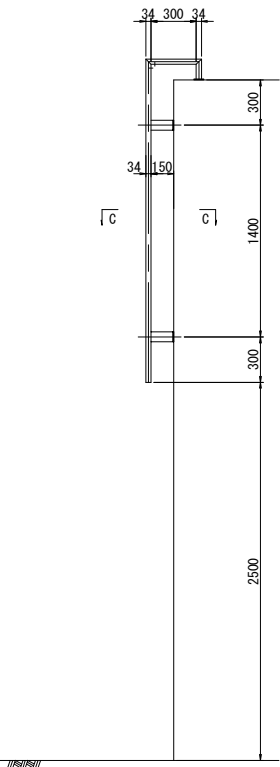
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	昇降梯子復旧図(その1)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

P4橋脚



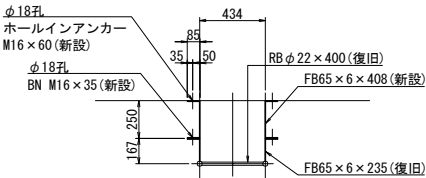
1ヶ所当り (1ヶ所)
2-SGP 25A x 16068 (復旧)
44-RB 22 φ x 400 (復旧)
13-FB 65 x 6 x 1890 (復旧)
30-FB 65 x 6 x 235 (復旧)
2-FB 65 x 6 x 408 (新設)
3-FB 65 x 6 x 12665 (加工)
2-FB 65 x 6 x 130 (復旧)
2-BN M16 x 35 (新設)
32-ホールインアンカー M16 x 60 (新設)

P12橋脚

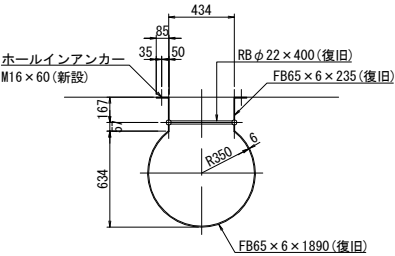


1ヶ所当り (全4ヶ所)
2-SGP 25A x 2568 (復旧)
6-RB 22 φ x 400 (復旧)
4-FB 65 x 6 x 235 (復旧)
2-FB 65 x 6 x 130 (復旧)
6-ホールインアンカー M16 x 60 (新設)

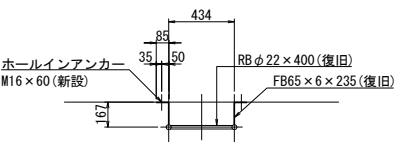
A-A断面



B-B断面



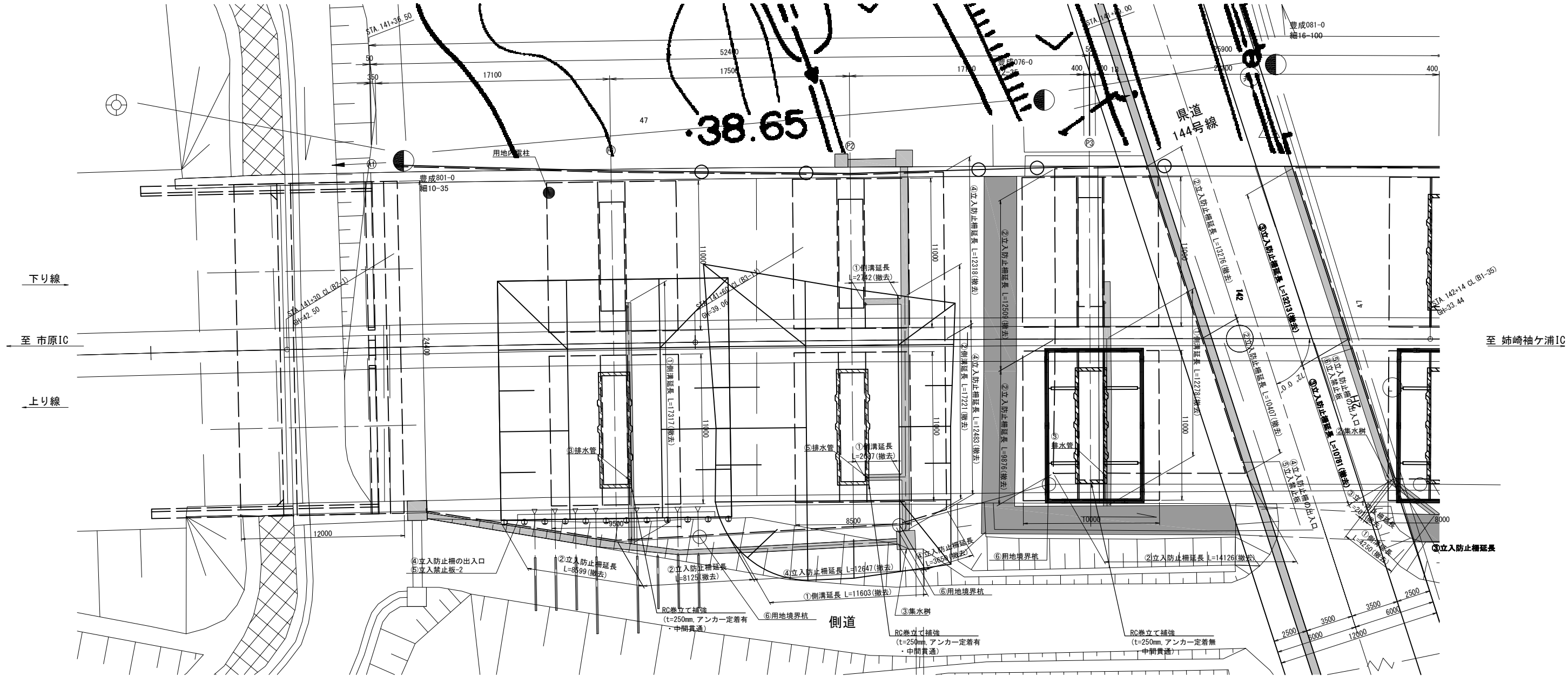
C-C断面



注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融
垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼 板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト
3. アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を
確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	昇降梯子復旧図(その2)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P1橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	17.3	撤去
②	立入防止柵		m	16.7	撤去
③	排水管		m	12.1	撤去
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	2	撤去
⑥	用地境界杭		本	1	撤去

P3橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.3	撤去
②	立入防止柵		m	60.2	撤去
③	排水管		m	17.1	撤去
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	1	撤去
⑥	用地境界杭		本	1	撤去

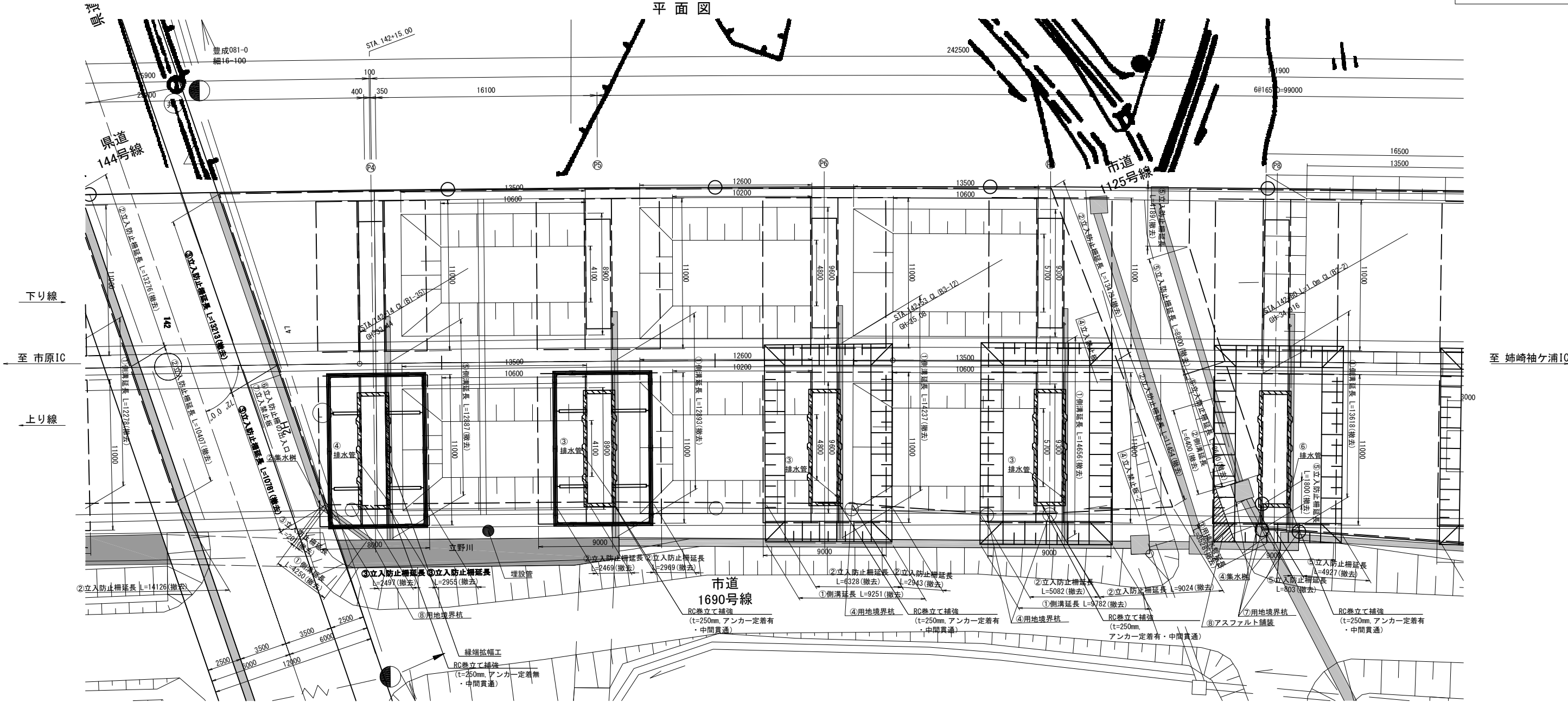
P2橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	17.0	撤去
②	側溝	Ds-PuL・0.60・0.60	m	17.2	撤去
③	集水樹	Dc~0.80・0.80・0.80	基	1	撤去
④	立入防止柵		m	41.1	撤去
⑤	排水管		m	17.6	撤去
⑥	用地境界杭		本	1	撤去

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	付帯工 撤去図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P4橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL (CH1) ・ 0.40 ・ 0.40	m	4.3	撤去
②	集水樹	Dc [~] (G) -0.50 ・ 0.80 ・ 0.80	基	1	撤去
③	立入防止柵		m	29.6	撤去
④	排水管		m	19.2	撤去
⑤	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	12.9	撤去
⑥	立入防止柵の出入口		箇所	1	撤去
⑦	立入禁止板		枚	1	撤去
⑧	用地境界杭		本	1	撤去

P5橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	12.9	撤去
②	立入防止柵		m	5.4	撤去
③	排水管		m	17.9	撤去

P6橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	23.5	撤去
②	立入防止柵		m	9.3	撤去
③	排水管		m	17.7	撤去
④	用地境界杭		本	1	撤去

P7橋脚側
撤去数量表

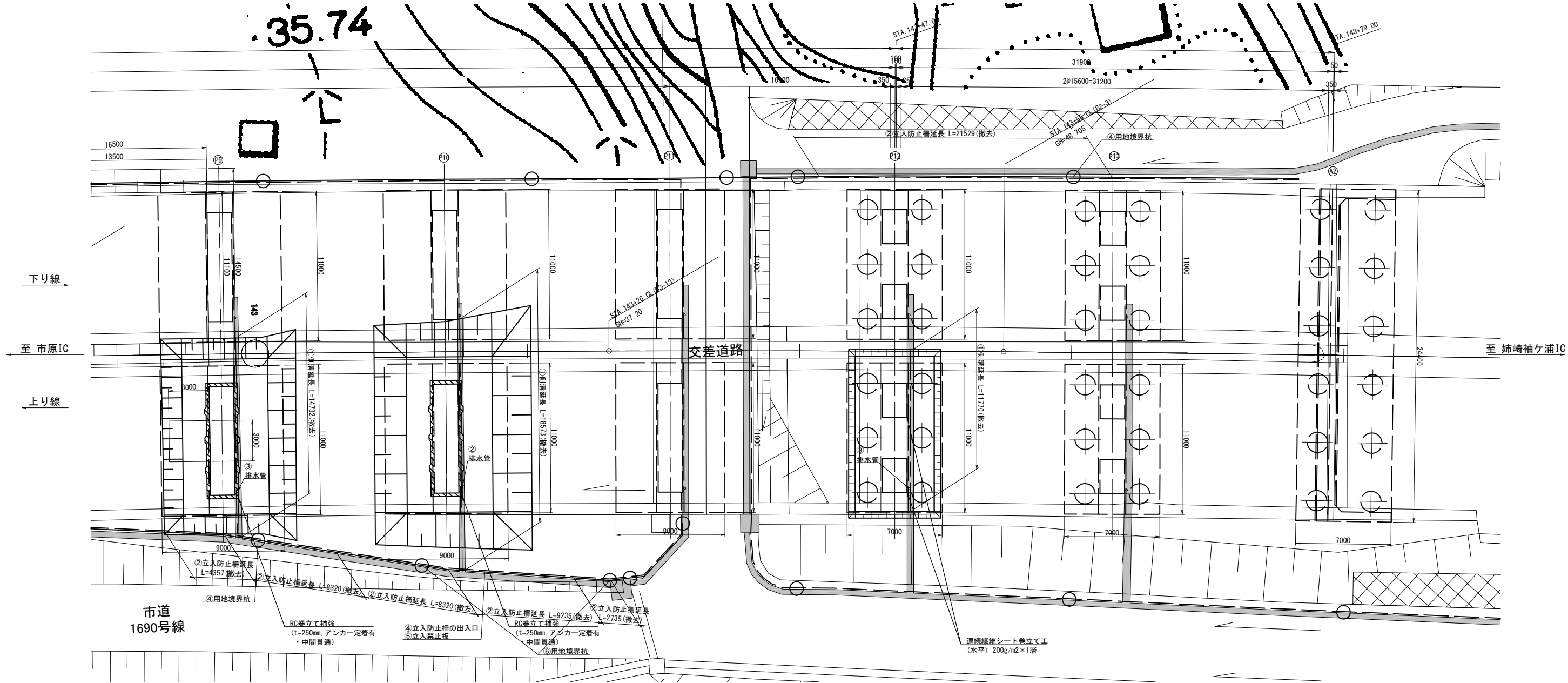
No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	24.4	撤去
②	立入防止柵		m	39.0	撤去
③	排水管		m	17.6	撤去
④	立入禁止板		枚	3	撤去
⑤	用地境界杭		本	2	撤去

P8橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	13.6	撤去
②	側溝	Ds-PuL ・ 0.45 ・ 0.45	m	6.4	撤去
③	用排水管	P (H) ・ 2 ・ φ0.40 (Sd-B)	m	3.5	撤去
④	集水樹	Dc [~] -0.80 ・ 0.80 ・ 1.20	基	1	撤去
⑤	立入防止柵		m	29.2	撤去
⑥	排水管		m	17.9	撤去
⑦	用地境界杭		本	3	撤去
⑧	アスファルト舗装		m ²	3.3	撤去

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 付帯工 撤去図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P9橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	14.7	撤去
②	立入防止柵		m	12.7	撤去
③	排水管		m	17.9	撤去
④	用地境界杭		本	1	撤去

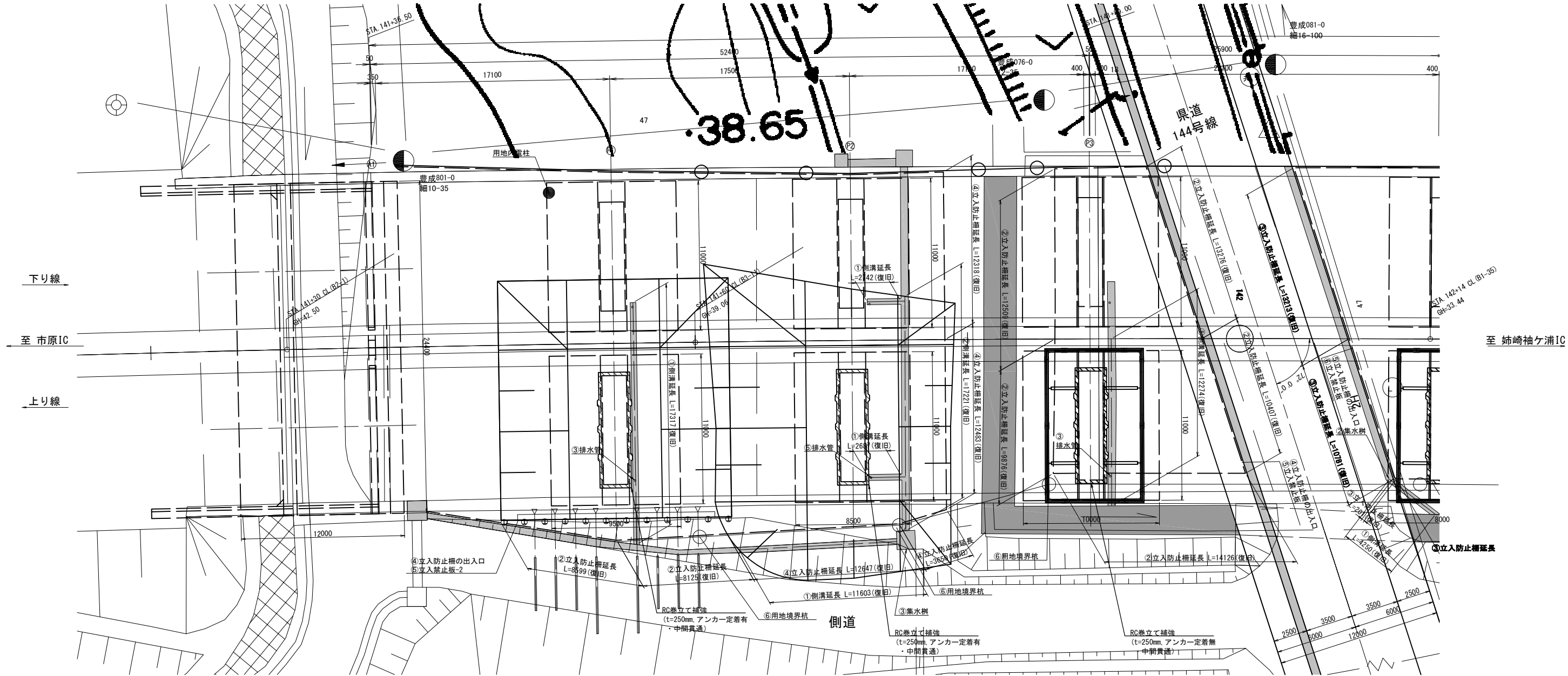
P12橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	11.8	撤去
②	立入防止柵		m	21.5	撤去
③	排水管		m	6.2	撤去
④	用地境界杭		本	1	撤去

P10橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	18.6	撤去
②	立入防止柵		m	20.3	撤去
③	排水管		m	15.7	撤去
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	1	撤去
⑥	用地境界杭		本	2	撤去

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 付帯工 撤去図 (その3)		
	縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



P1橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	17.3	復旧
②	立入防止柵		m	16.7	復旧
③	排水管		m	12.2	復旧
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	2	復旧
⑥	用地境界杭		本	1	復旧

P3橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.3	復旧
②	立入防止柵		m	60.2	復旧
③	排水管		m	16.9	復旧
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	1	復旧
⑥	用地境界杭		本	1	復旧

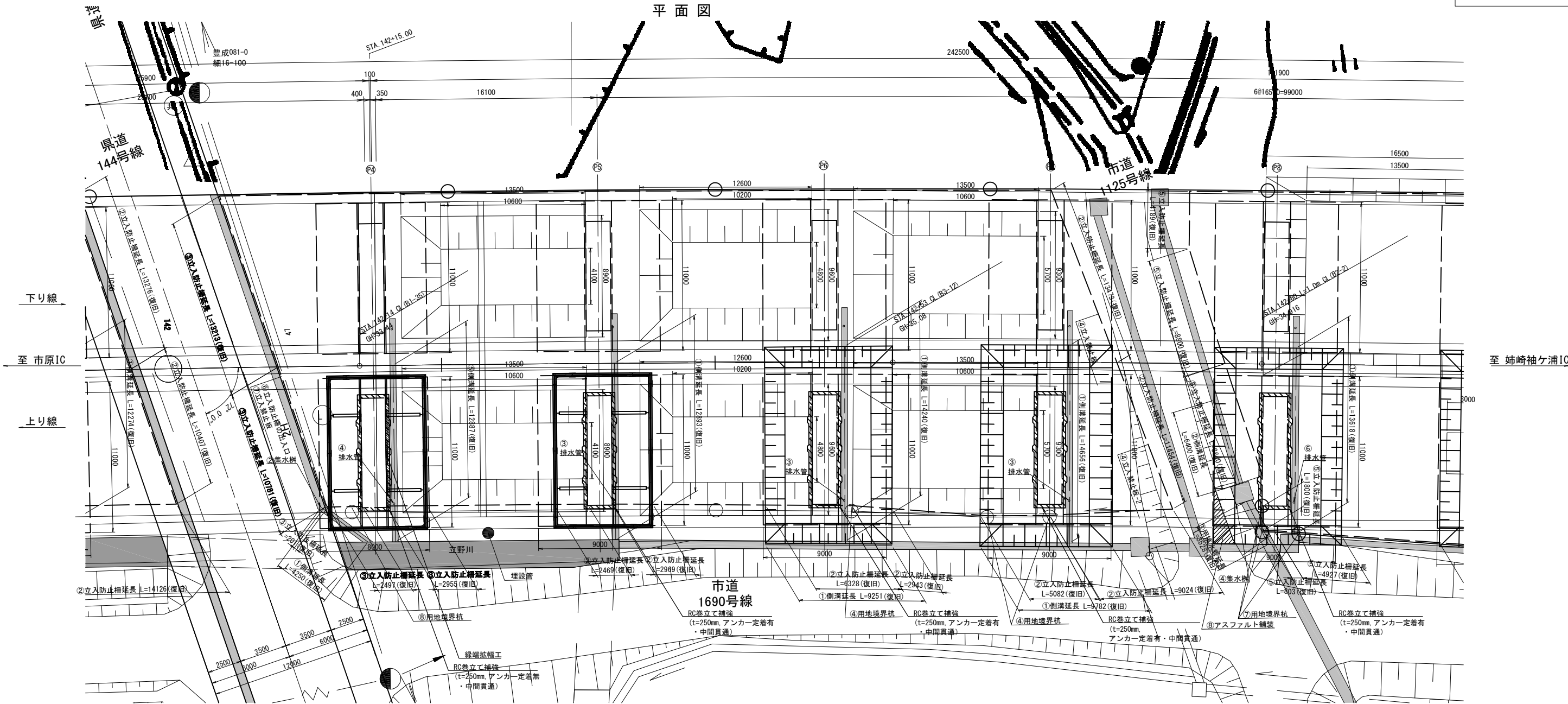
P2橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	17.0	復旧
②	側溝	Ds-PuL・0.60・0.60	m	17.2	復旧
③	集水樹	Dc~0.80・0.80・0.80	基	1	復旧
④	立入防止柵		m	41.1	復旧
⑤	排水管		m	17.7	復旧
⑥	用地境界杭		本	1	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P4橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL (CH1) ・ 0.40 ・ 0.40	m	4.3	復旧
②	集水樹	Dc [~] (G) -0.50 ・ 0.80 ・ 0.80	基	1	復旧
③	立入防止柵		m	29.6	復旧
④	排水管		m	19.9	復旧
⑤	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	12.9	復旧
⑥	立入防止柵の出入口		箇所	1	復旧
⑦	立入禁止板		枚	1	復旧
⑧	用地境界杭		本	1	復旧

P5橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	12.9	復旧
②	立入防止柵		m	5.4	復旧
③	排水管		m	18.0	復旧

P6橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	23.5	復旧
②	立入防止柵		m	9.3	復旧
③	排水管		m	17.8	復旧
④	用地境界杭		本	1	復旧

P7橋脚側
復旧数量表

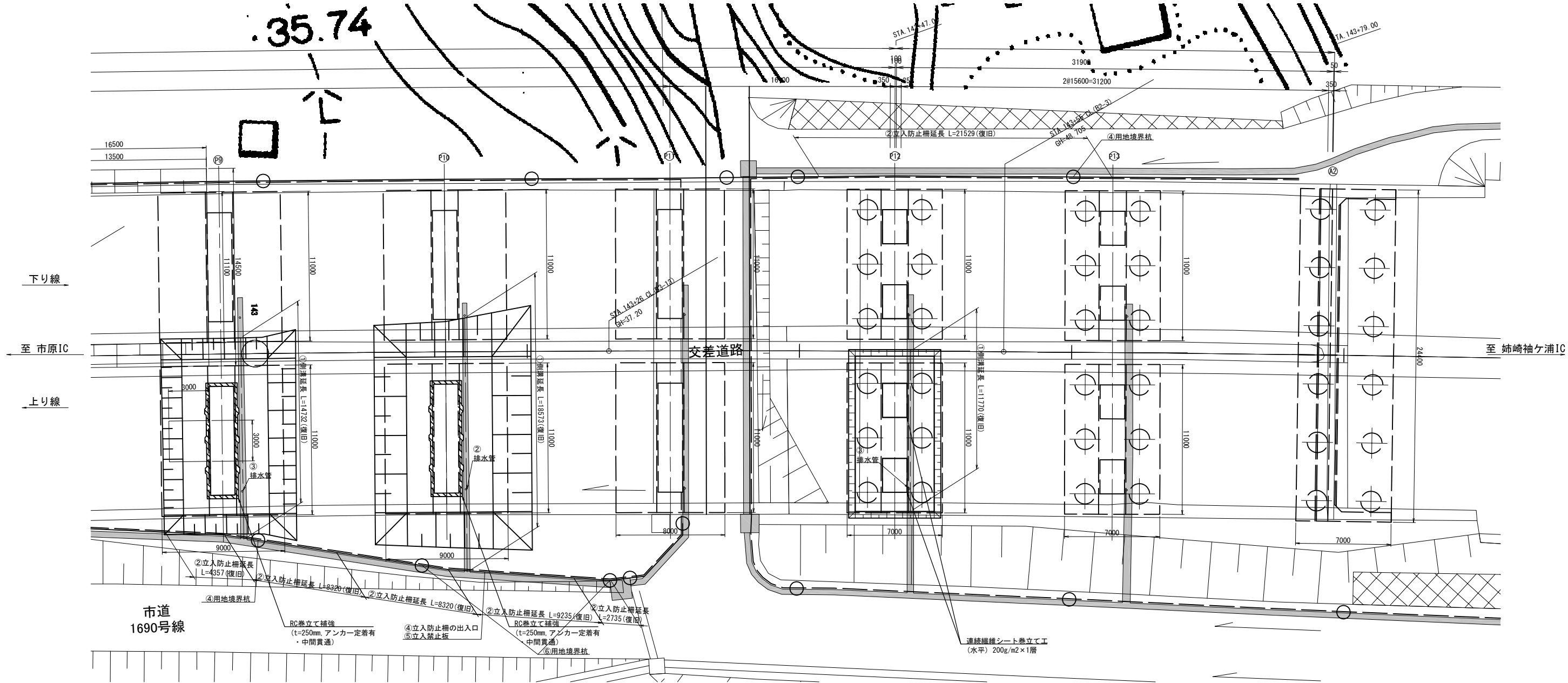
No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	24.4	復旧
②	立入防止柵		m	39.0	復旧
③	排水管		m	17.7	復旧
④	立入禁止板		枚	3	復旧
⑤	用地境界杭		本	2	復旧

P8橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL ・ 0.30 ・ 0.30	m	13.6	復旧
②	側溝	Ds-PuL ・ 0.45 ・ 0.45	m	6.4	復旧
③	用排水管	P (H) ・ 2 ・ φ 0.40 (Sd-B)	m	3.5	復旧
④	集水樹	Dc [~] -0.80 ・ 0.80 ・ 1.20	基	1	復旧
⑤	立入防止柵		m	29.2	復旧
⑥	排水管		m	18.0	復旧
⑦	用地境界杭		本	3	復旧
⑧	アスファルト舗装		m ²	3.3	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P9橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	14.7	復旧
②	立入防止柵		m	12.7	復旧
③	排水管		m	18.0	復旧
④	用地境界杭		本	1	復旧

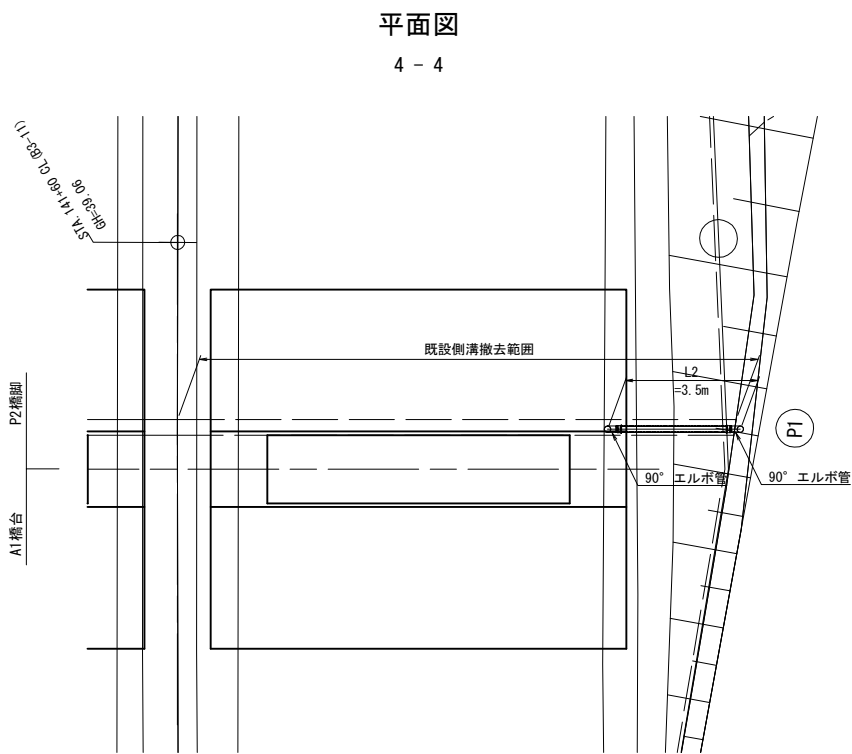
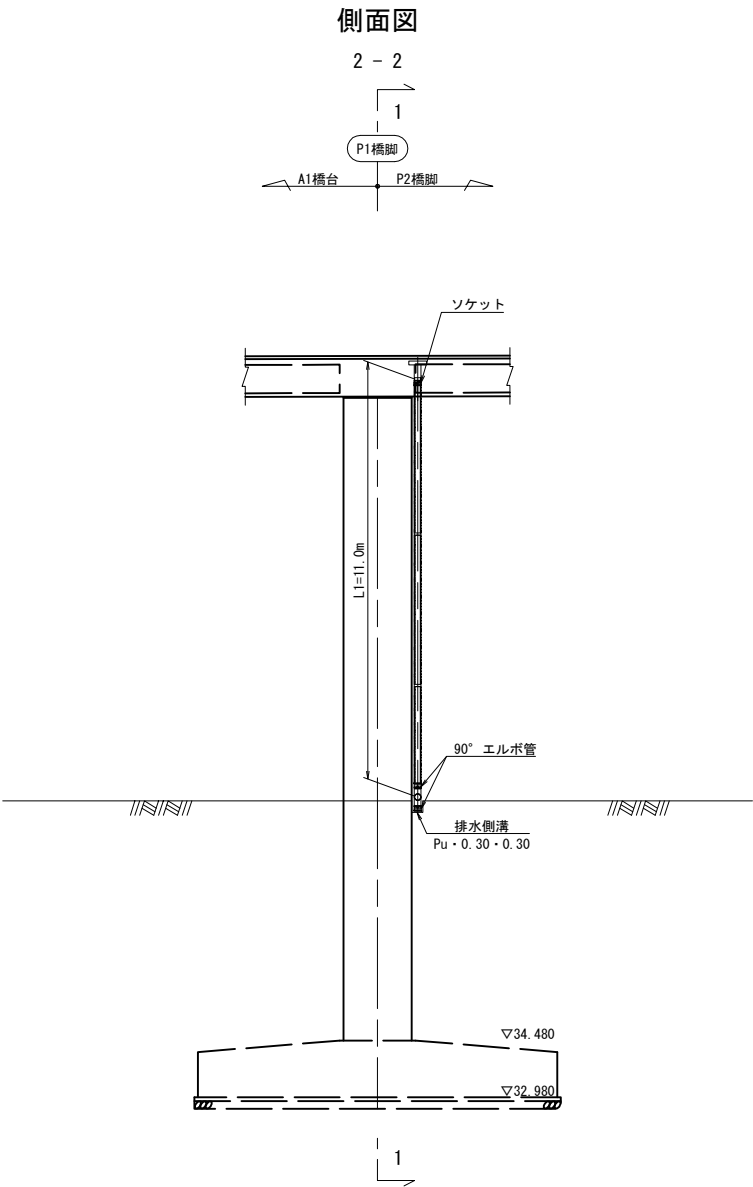
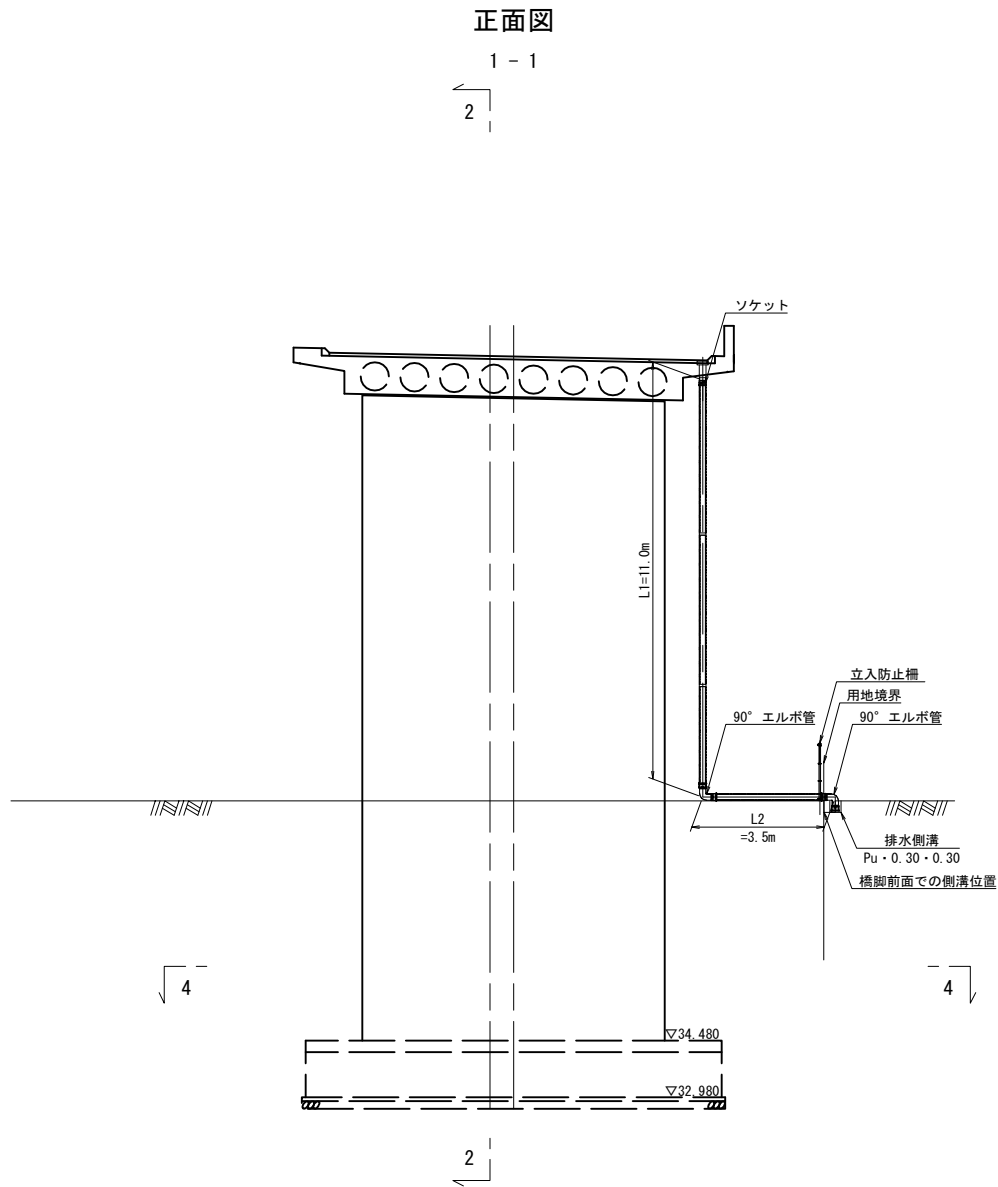
P12橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	11.8	復旧
②	立入防止柵		m	21.5	復旧
③	排水管		m	6.2	復旧
④	用地境界杭		本	1	復旧

P10橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	18.6	復旧
②	立入防止柵		m	20.3	復旧
③	排水管		m	15.8	復旧
④	立入防止柵の出入口		箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	1	復旧
⑥	用地境界杭		本	2	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

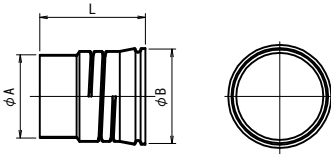


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
11.0	3.5	14.5	2	1

仮設排水管詳細図

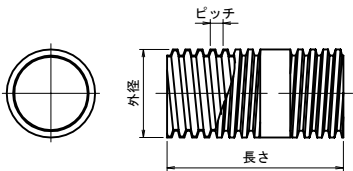
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

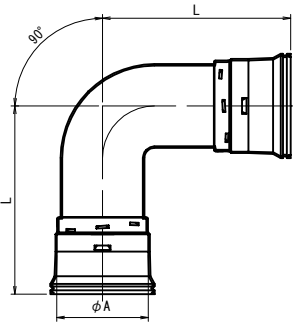
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼び径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

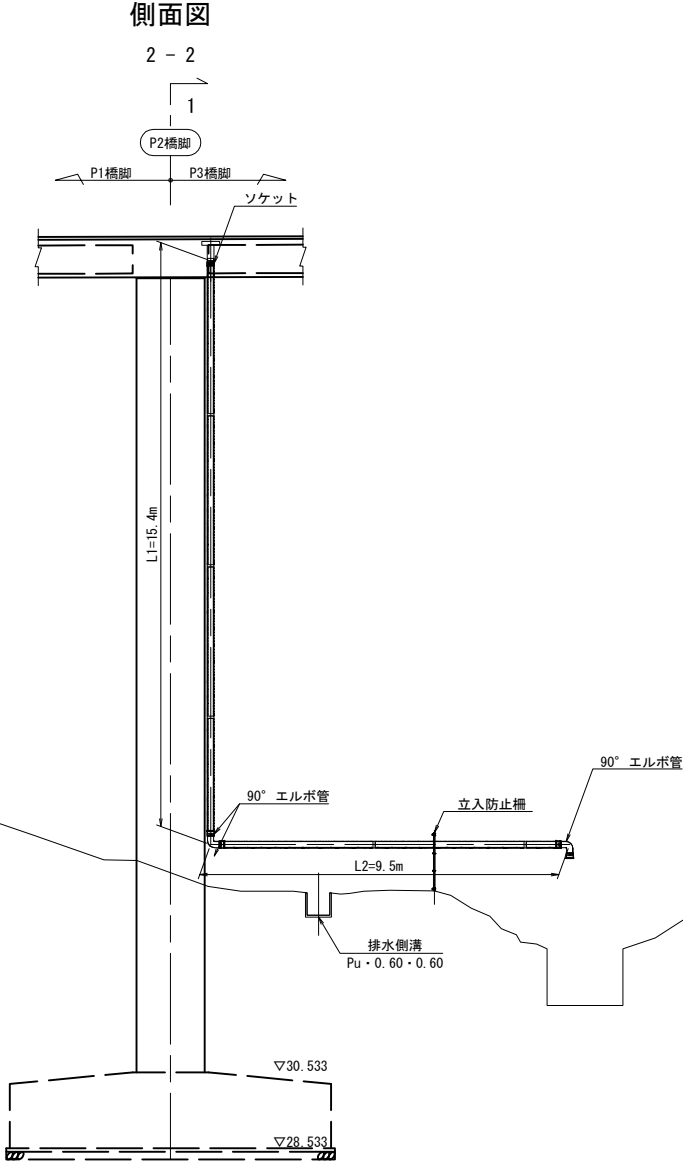
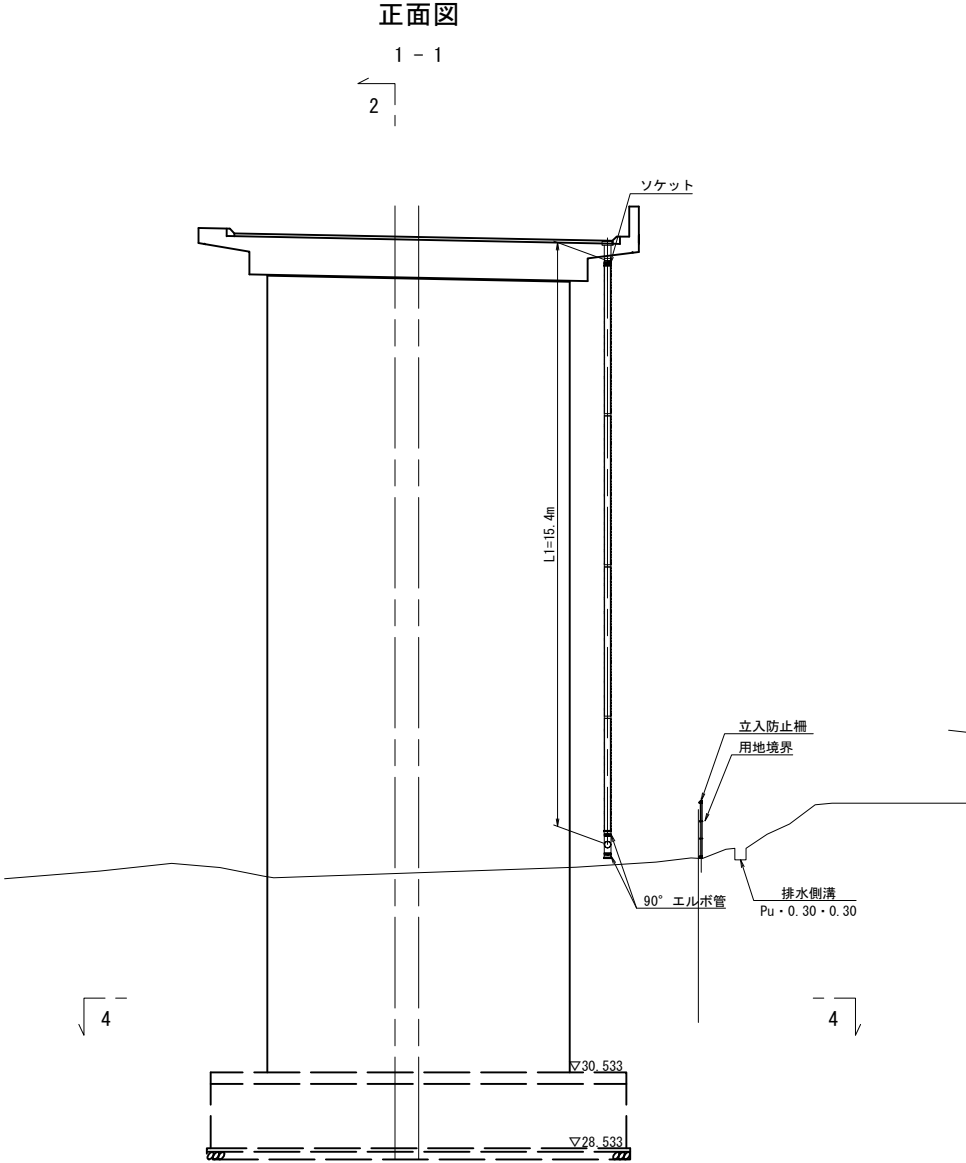
90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

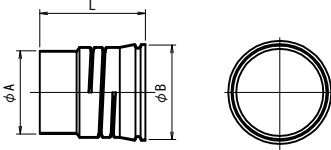
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	豊成高架橋(上り線) P1橋脚 仮排水管設置図(参考図)			
	縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所			



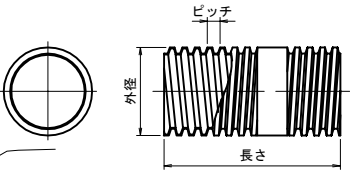
仮設排水管詳細図

DV用ソケット



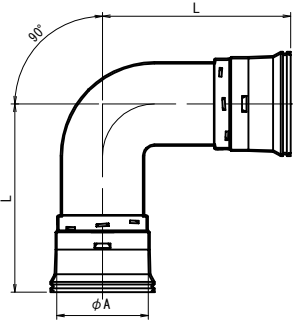
規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183
(mm)			

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

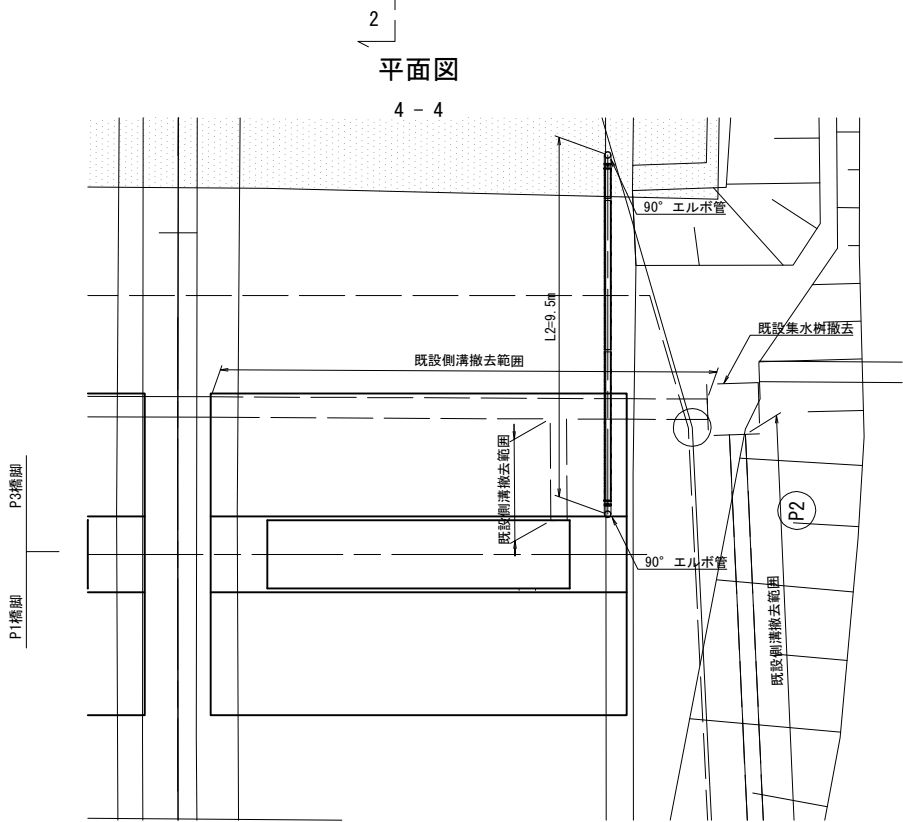
90° エルボ管



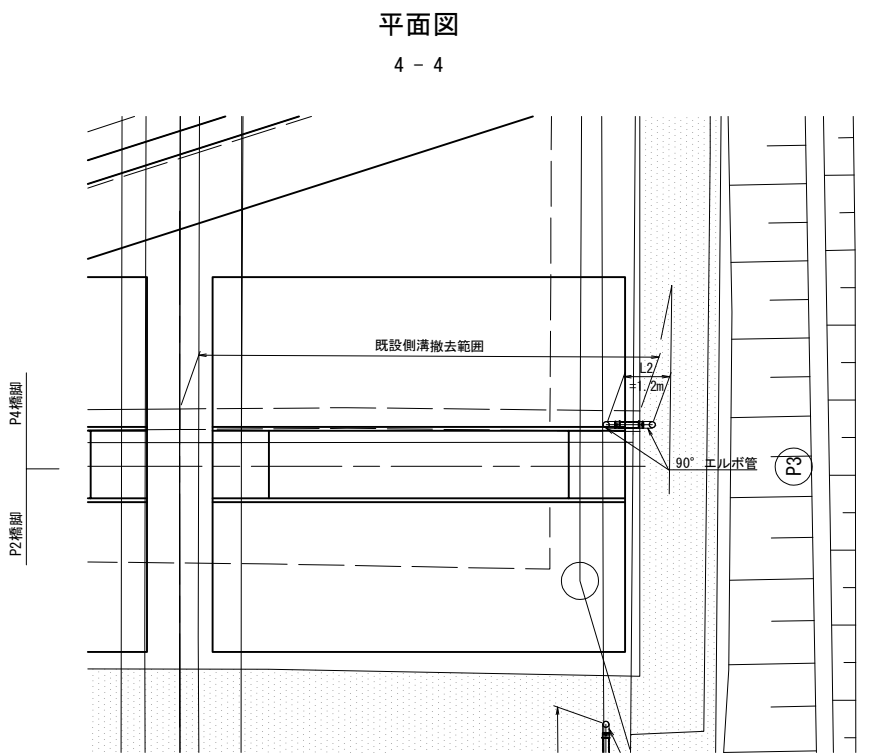
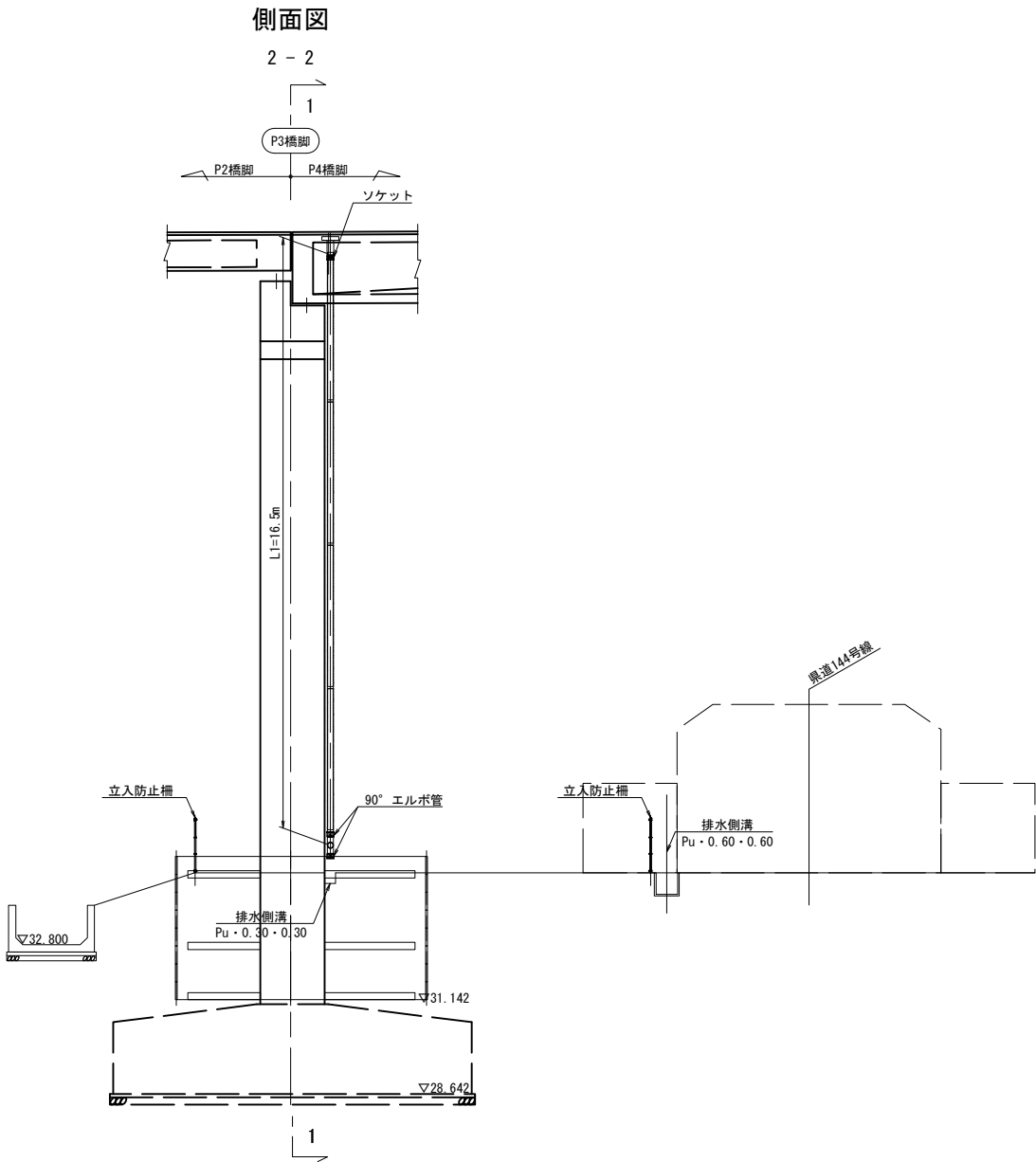
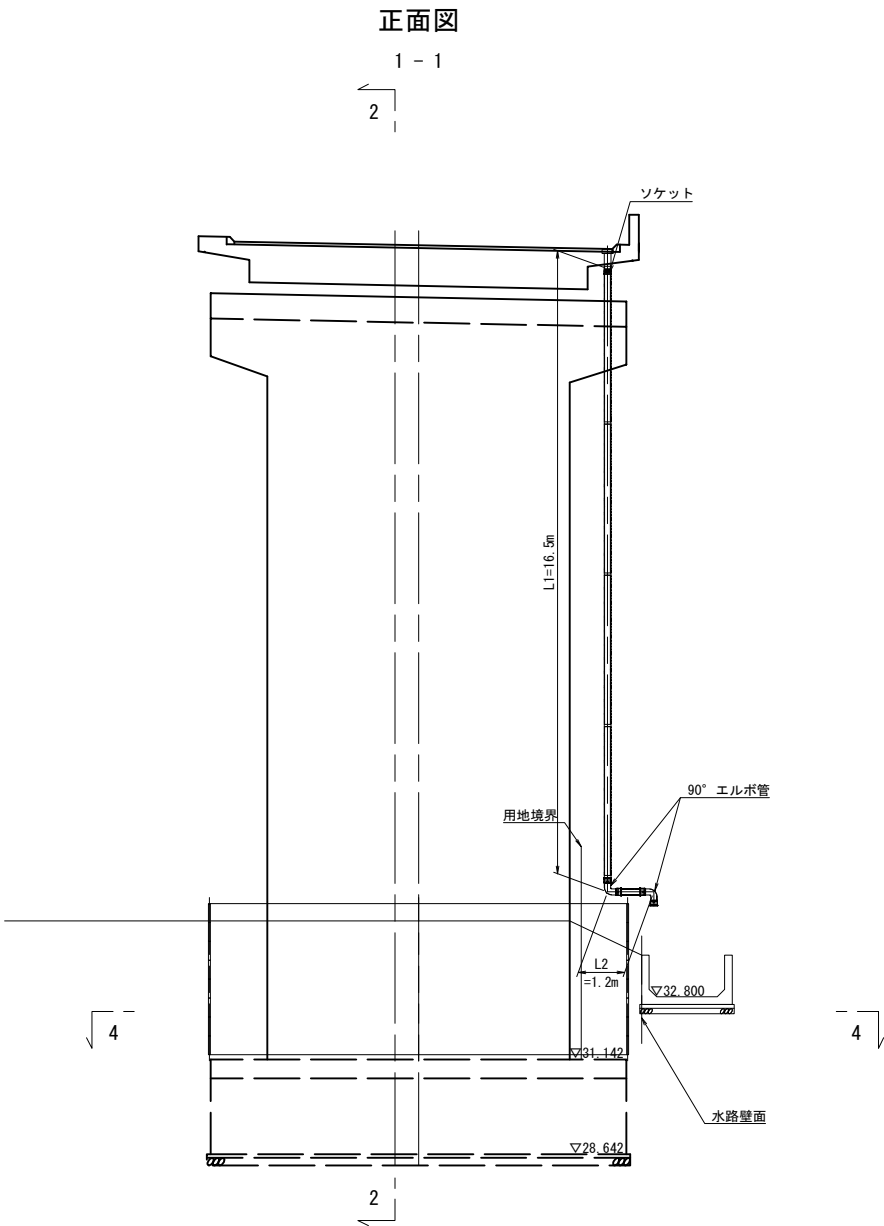
規格	φA	L
φ150	181	373
(mm)		

仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
15.4	9.5	24.9	2	1



館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	豊成高架橋(上り線) P2橋脚 仮排水管設置図(参考図)			
	縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所			

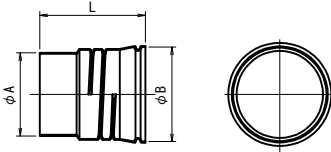


仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
16.5	1.2	17.7	2	1

仮設排水管詳細図

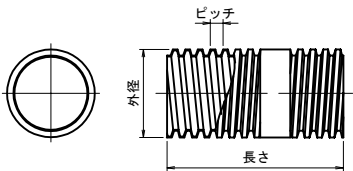
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

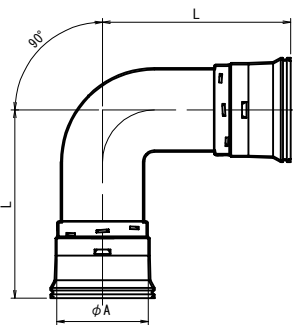
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

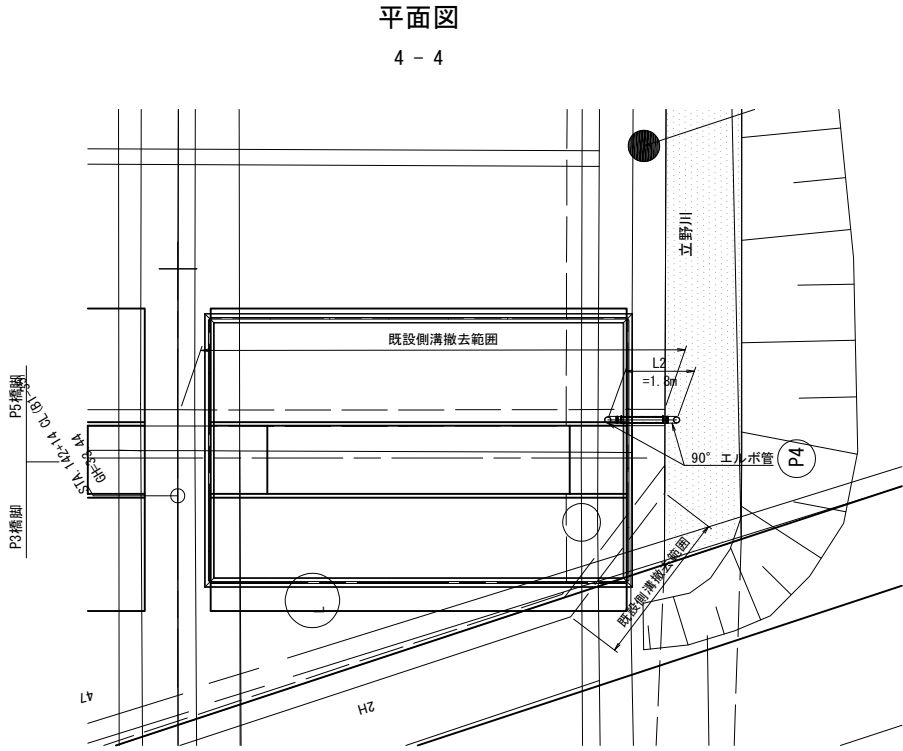
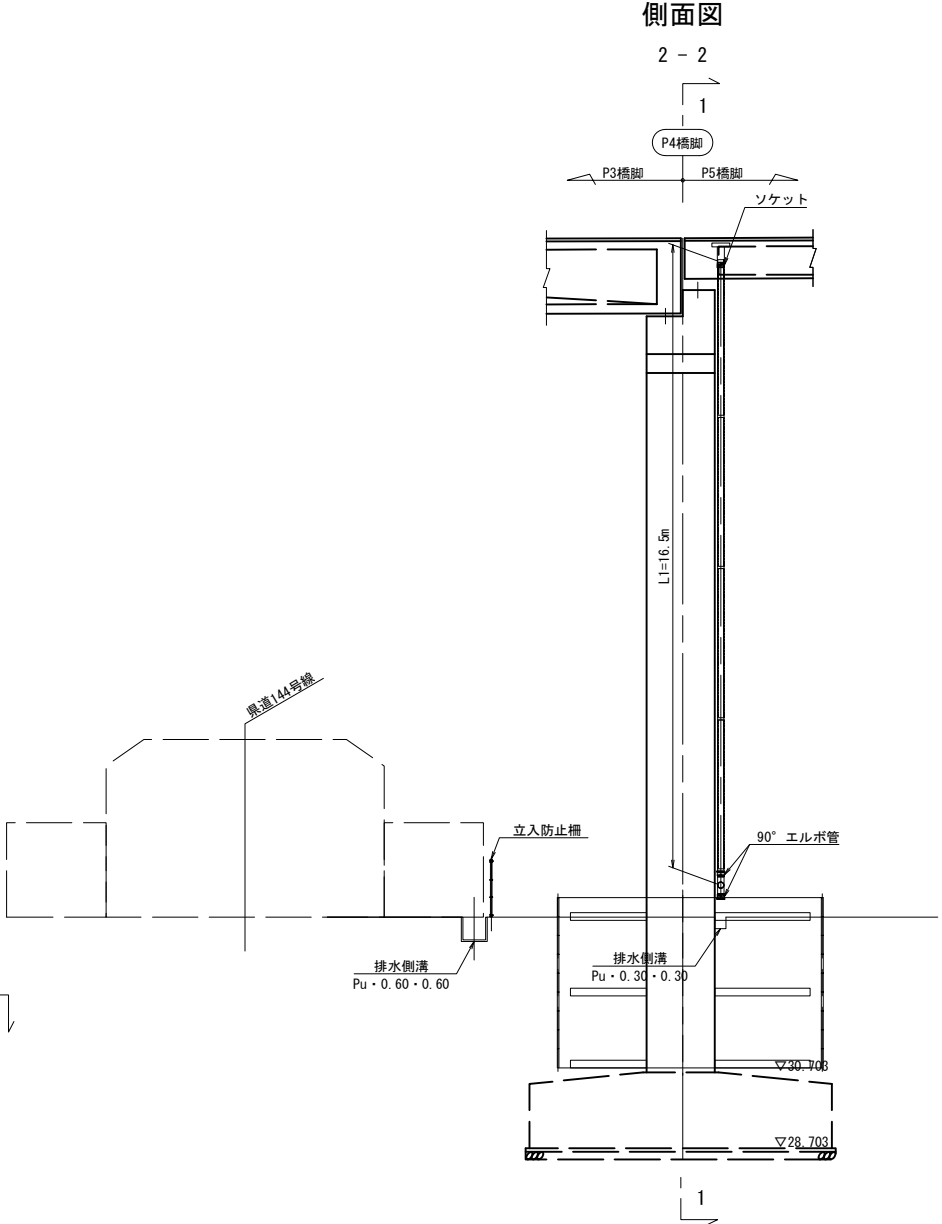
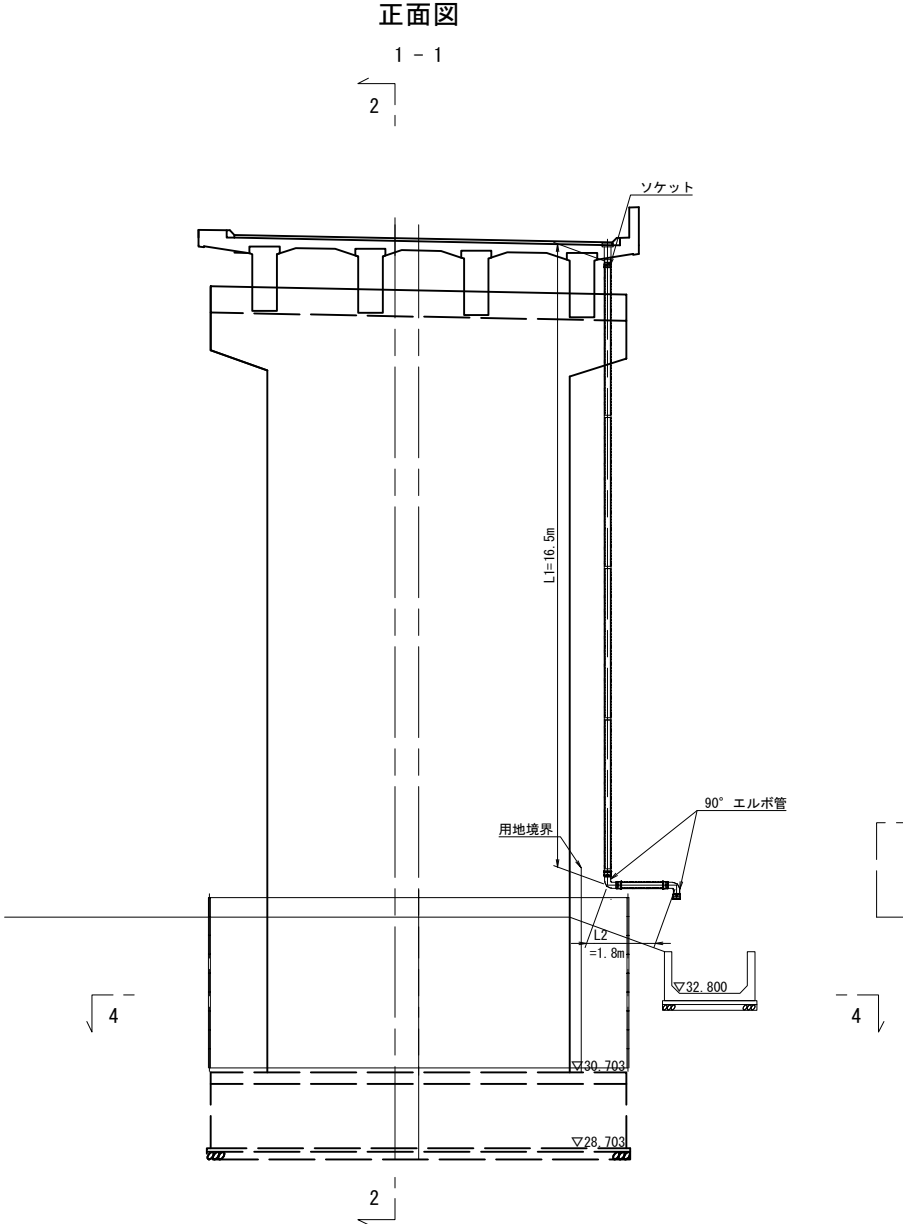
90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

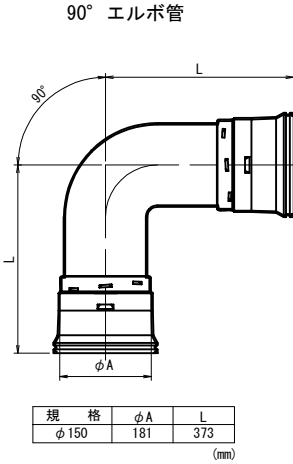
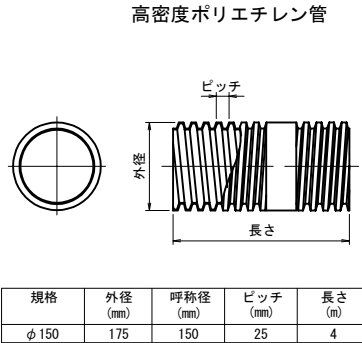
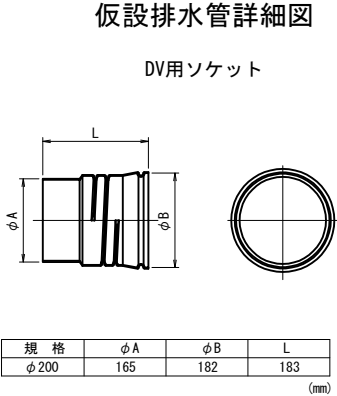
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) P3橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	市原管理事務所		

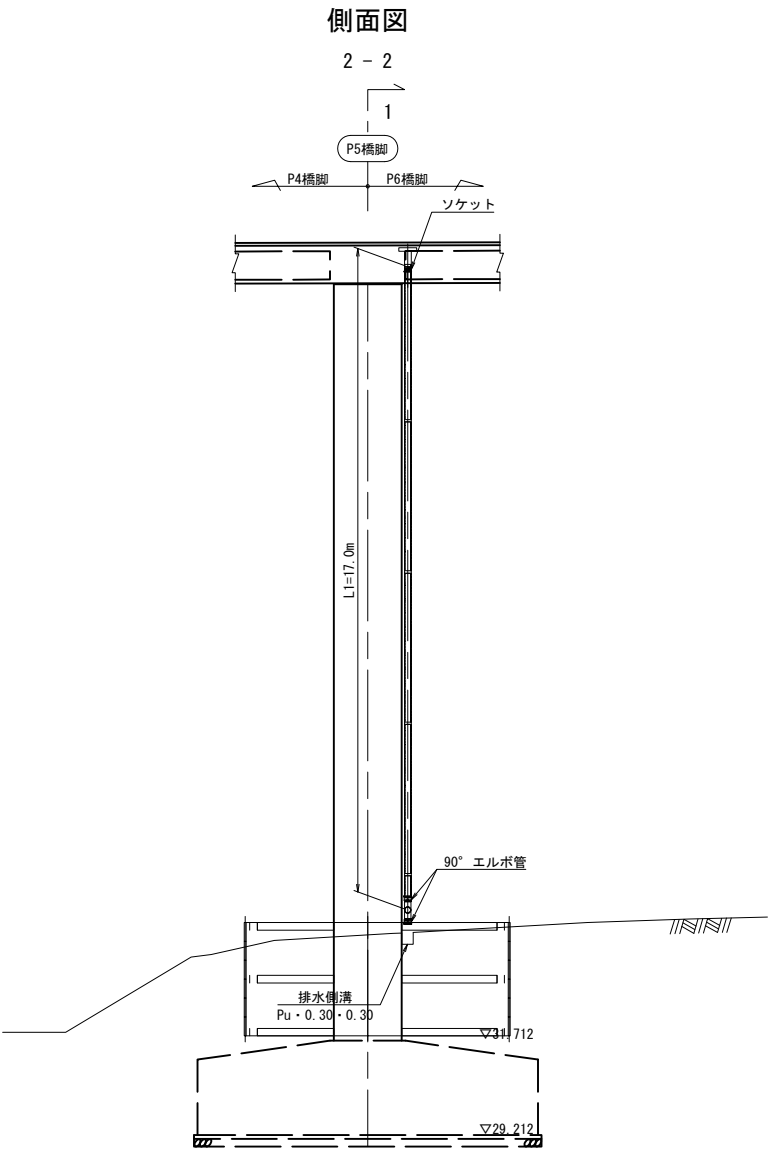
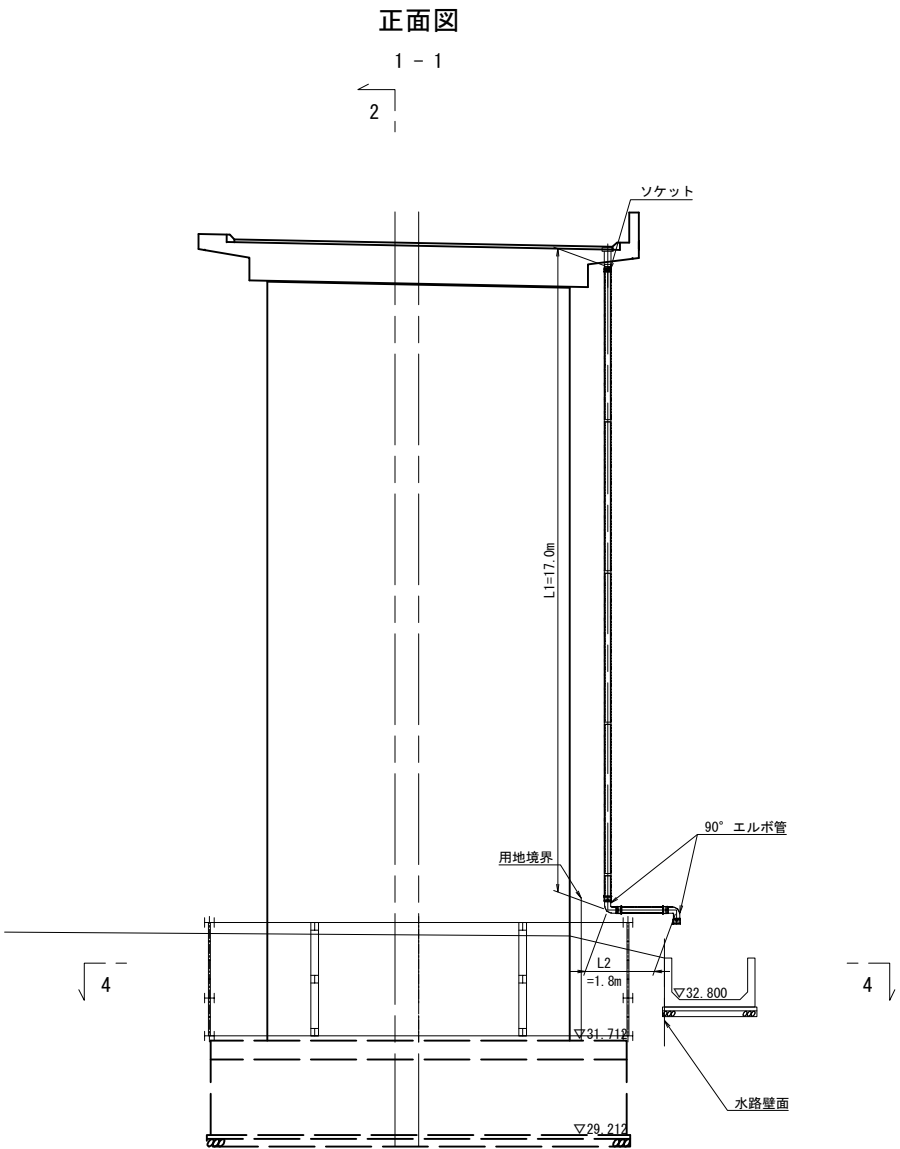


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
16.5	1.8	18.3	2	1

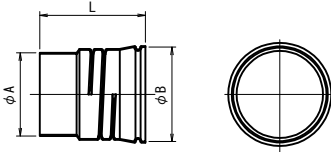


館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	豊成高架橋(上り線) P4橋脚 仮排水管設置図(参考図)			
	縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所			



仮設排水管詳細図

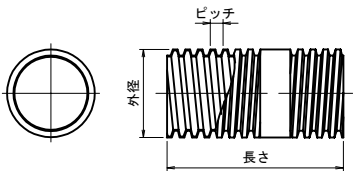
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

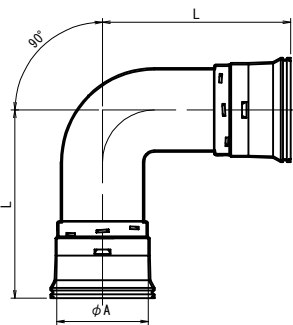
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管

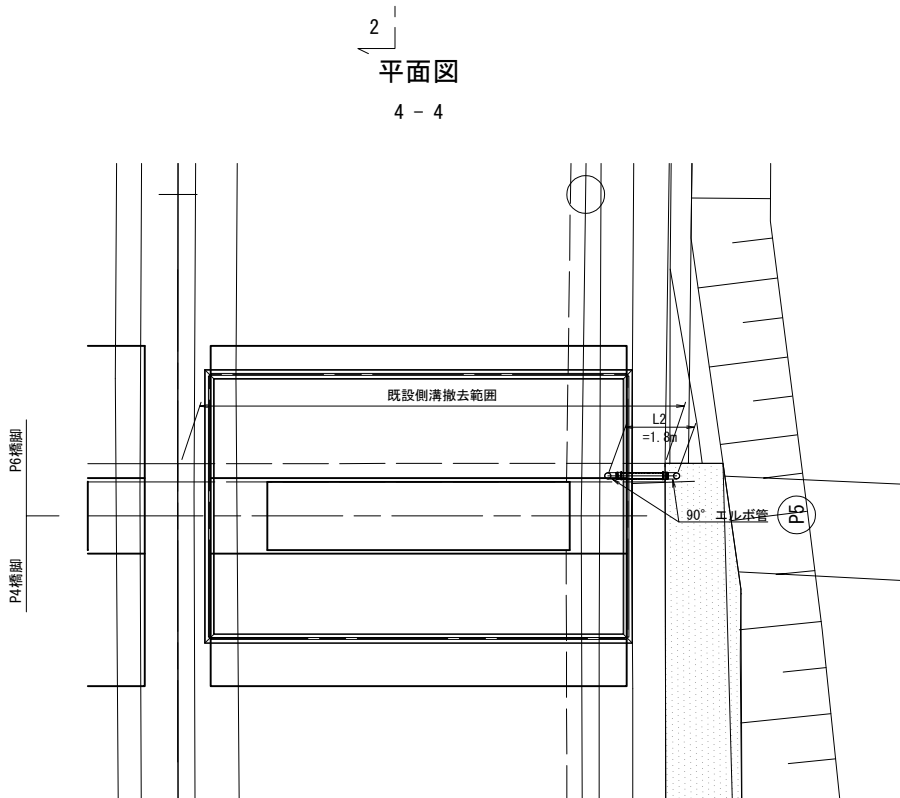


規格	φA	L
φ150	181	373

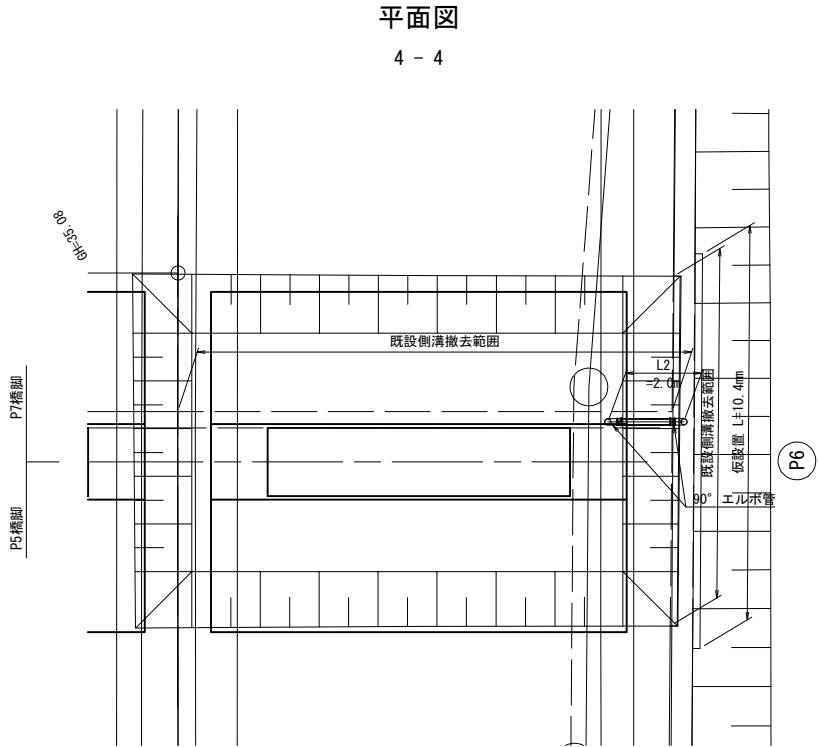
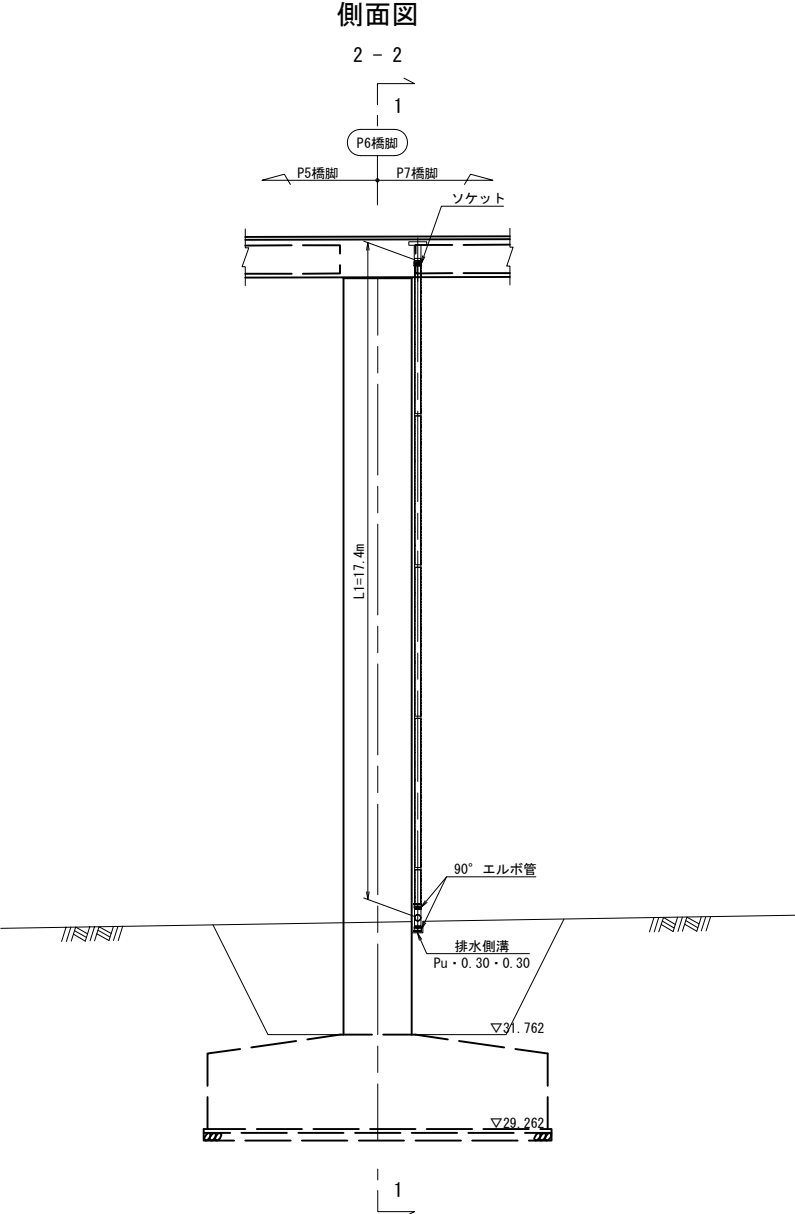
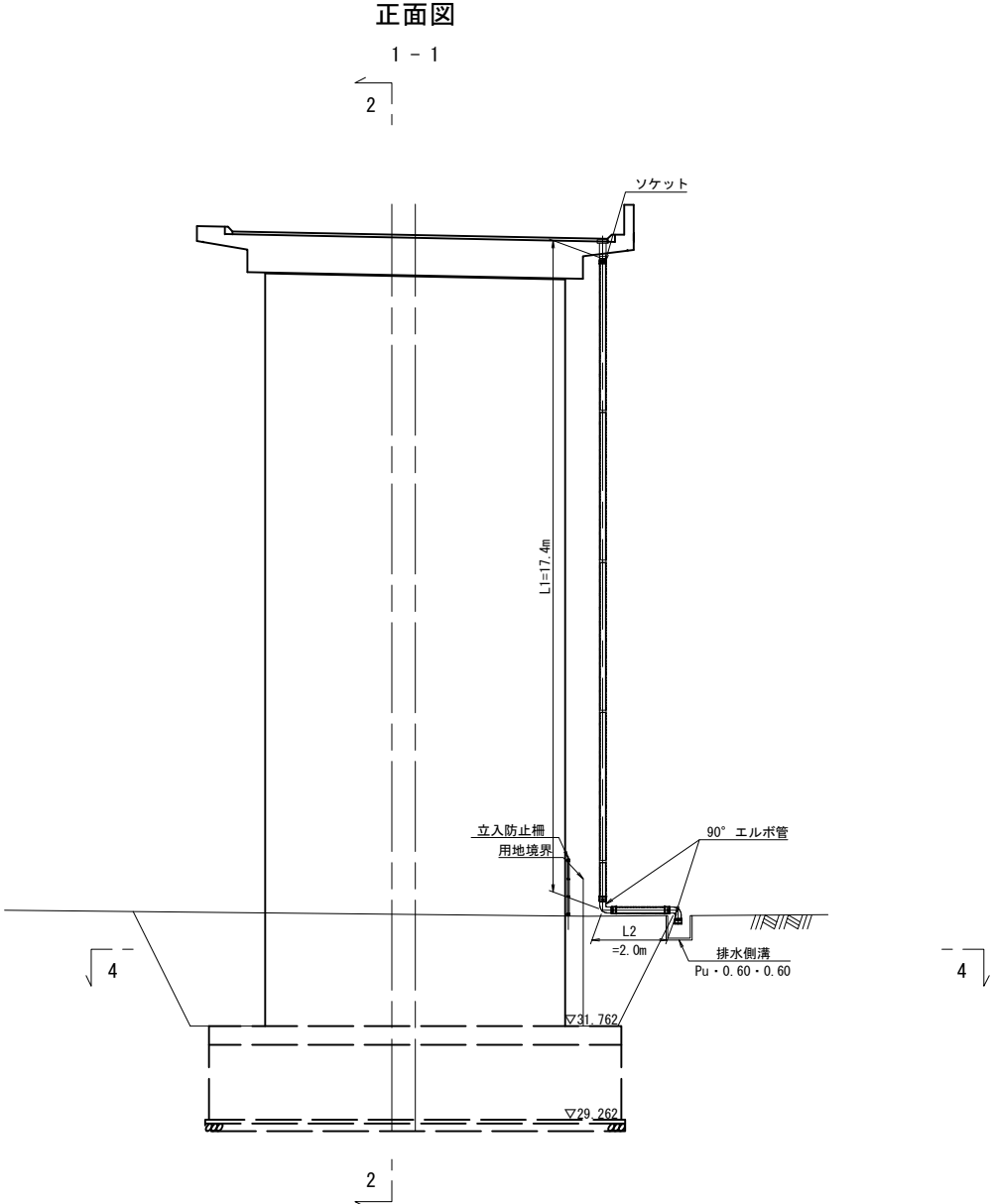
(mm)

仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
17.0	1.8	18.8	2	1



館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	豊成高架橋(上り線) P5橋脚 仮排水管設置図(参考図)			
	縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所			

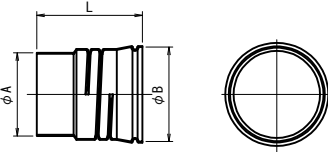


仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
17.4	2.0	19.4	2	1

仮設排水管詳細図

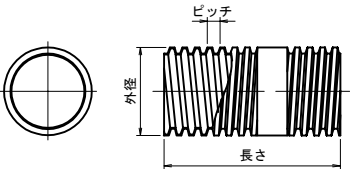
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

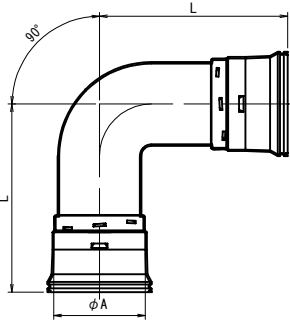
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

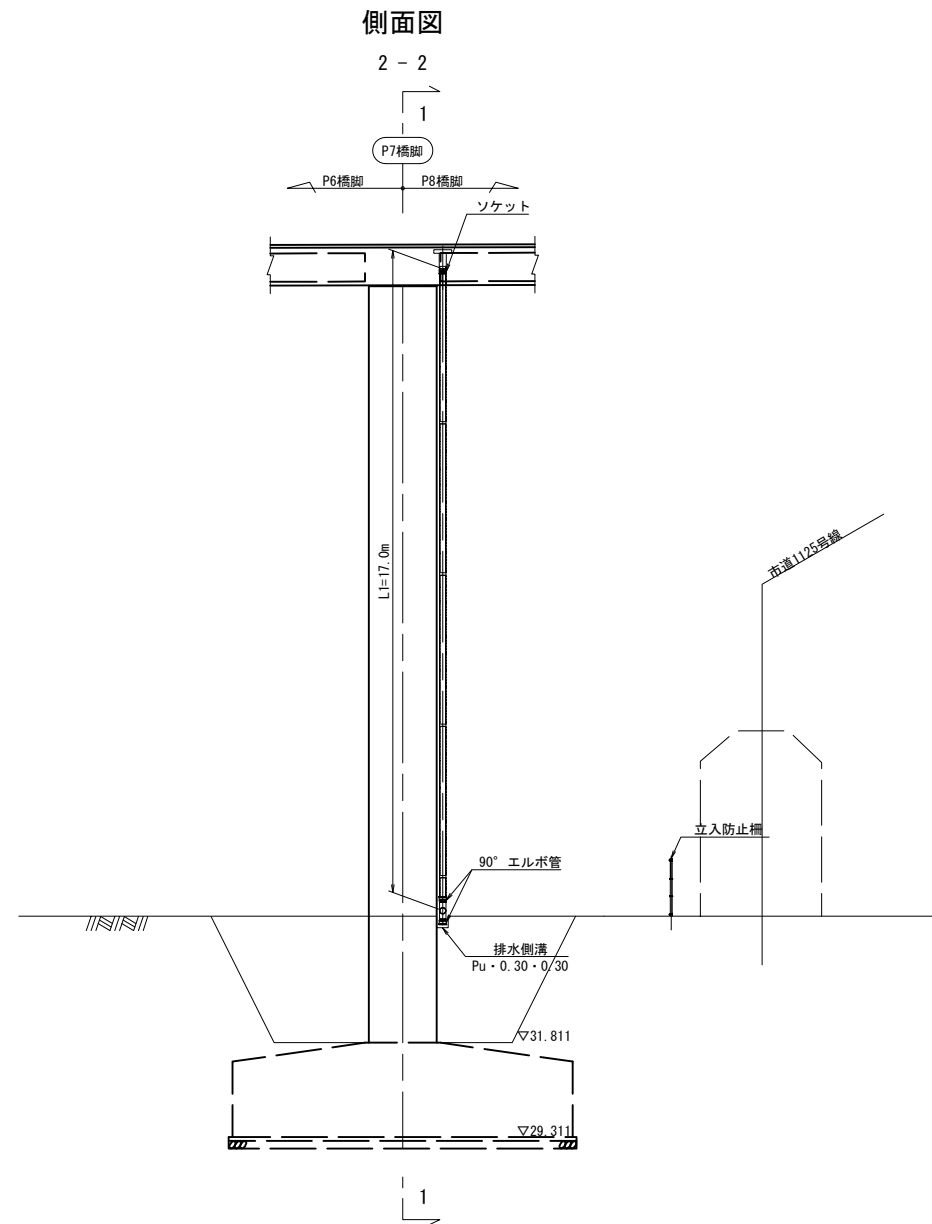
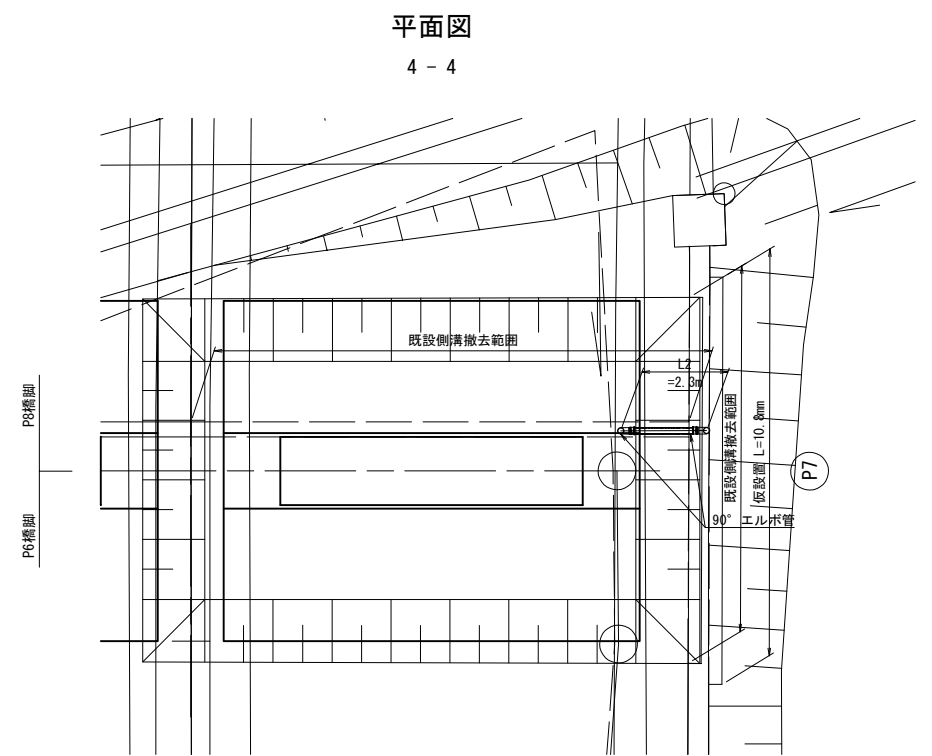
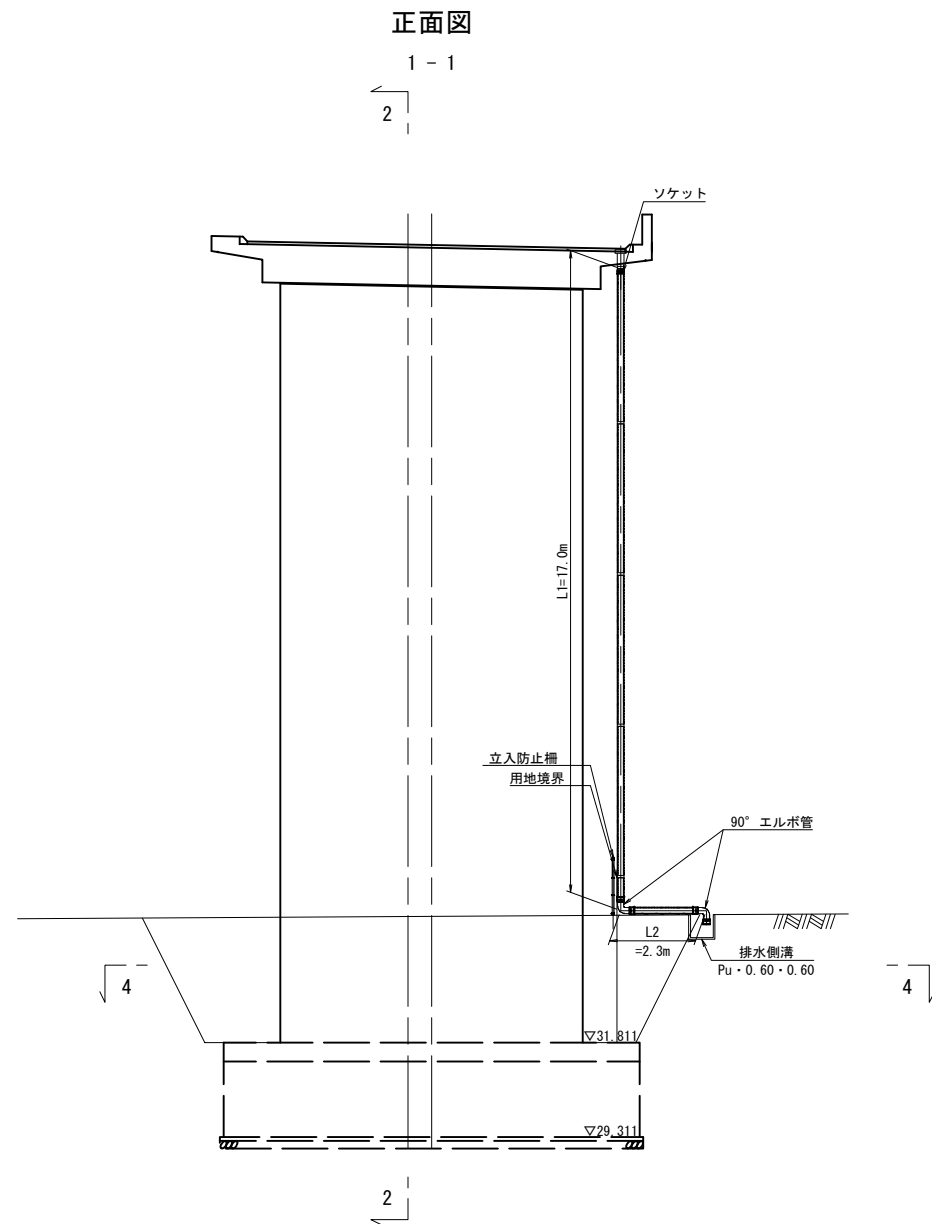
90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

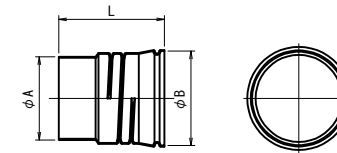
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) P6橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	市 原 管 理 事 務 所		



仮設排水管詳細図

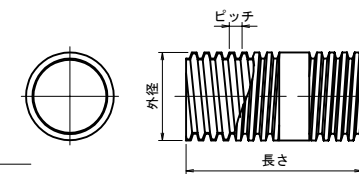
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

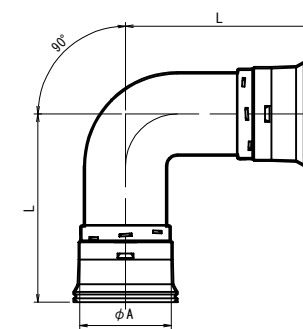
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90°エルボ管



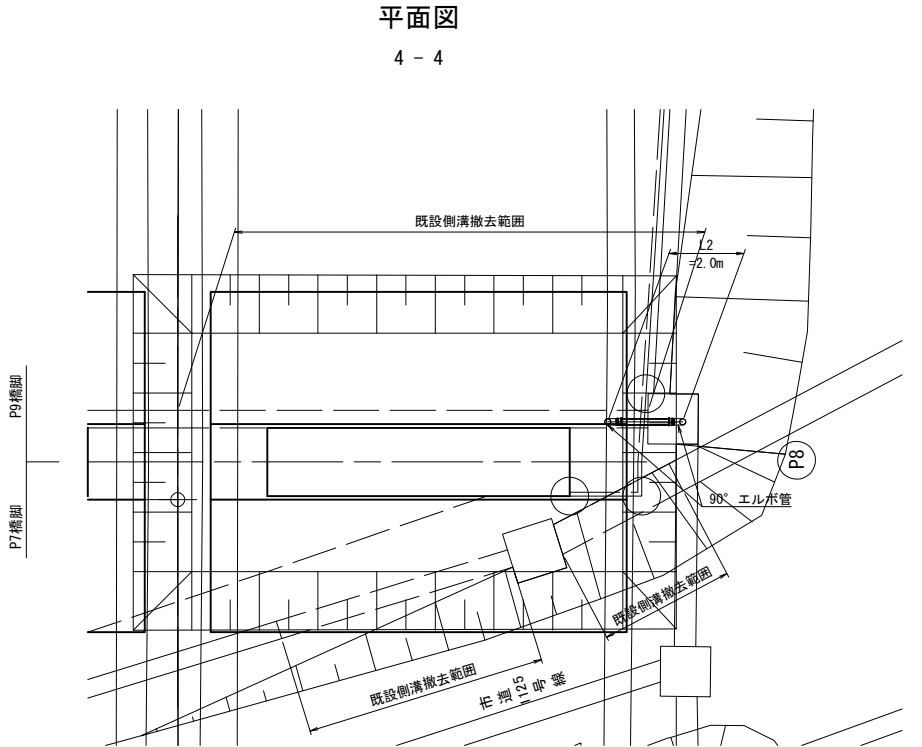
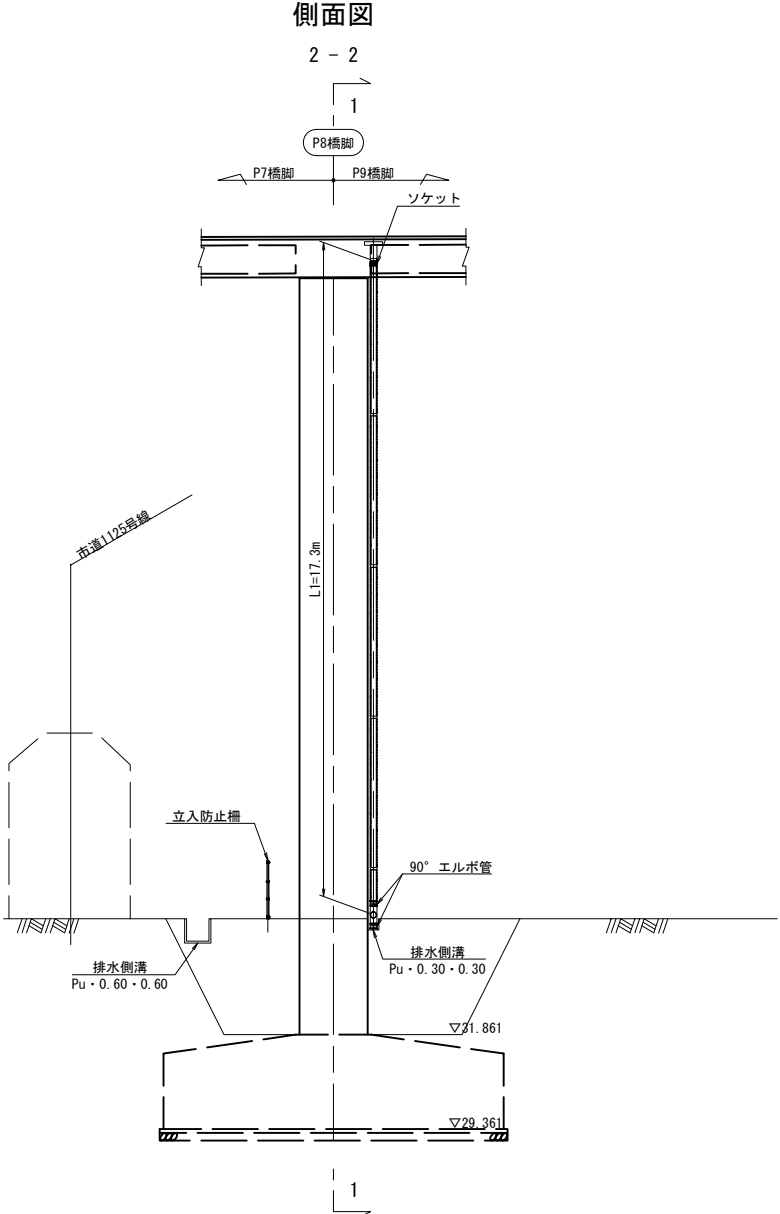
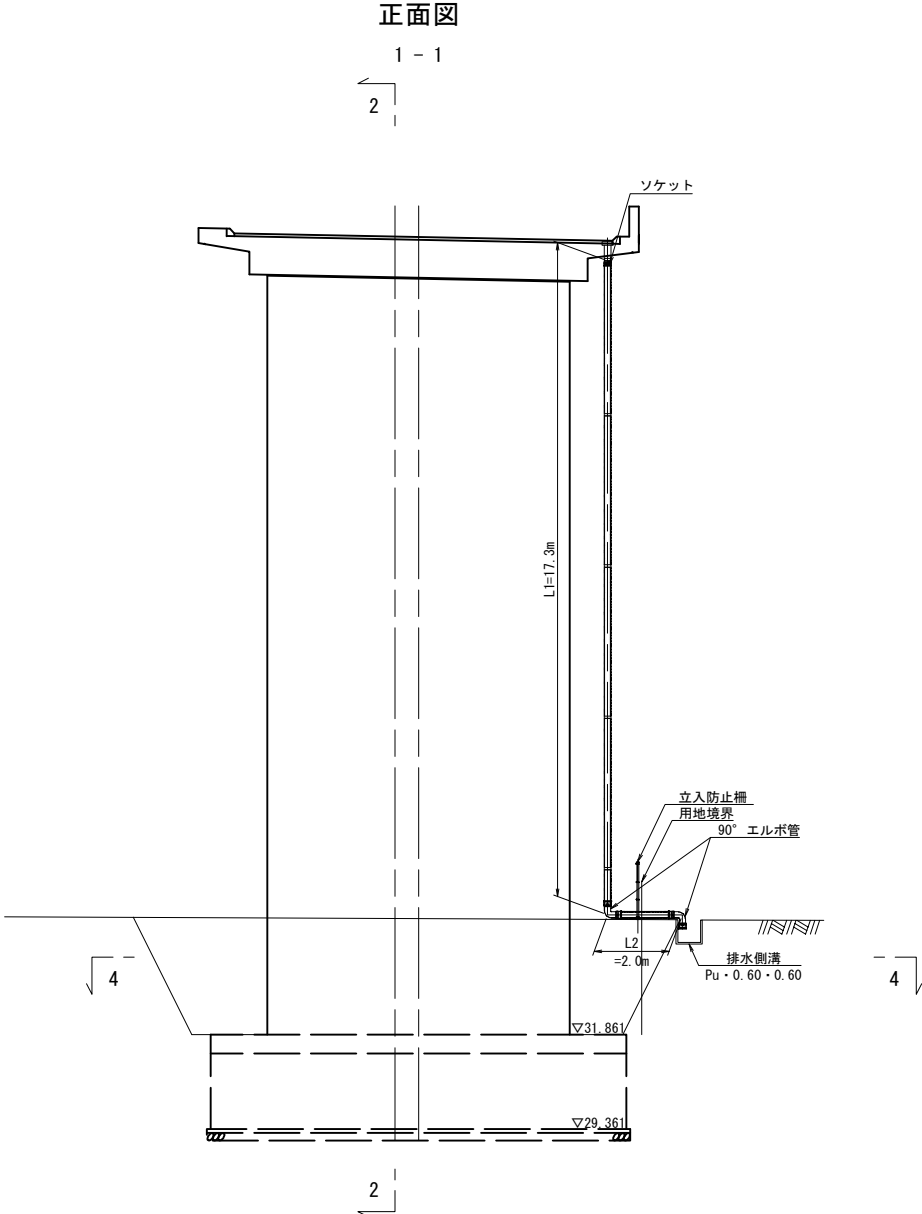
規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90°エルボ管 (個)	ソケット (個)
17.0	2.3	19.3	2	1

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) P7橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
	縮 尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
	市 原 管 理 事 務 所		

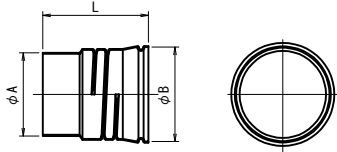


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
17.3	2.0	19.3	2	1

仮設排水管詳細図

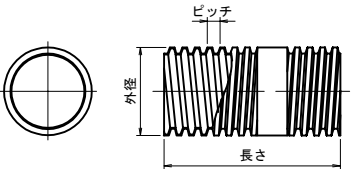
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

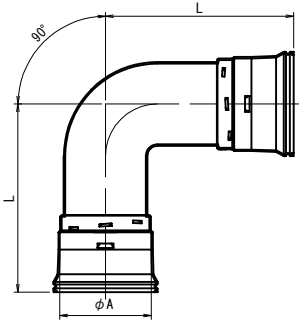
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

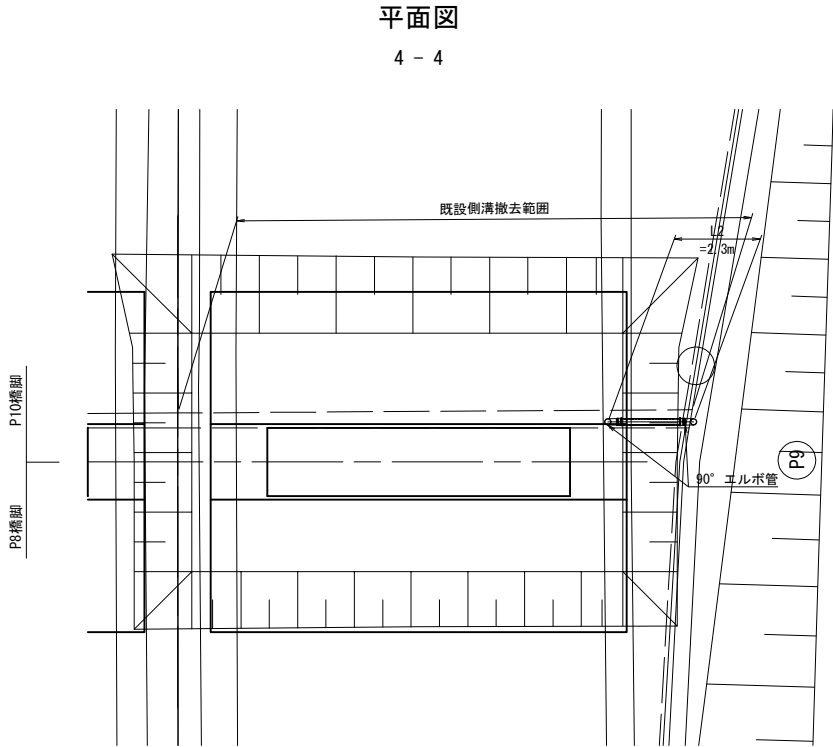
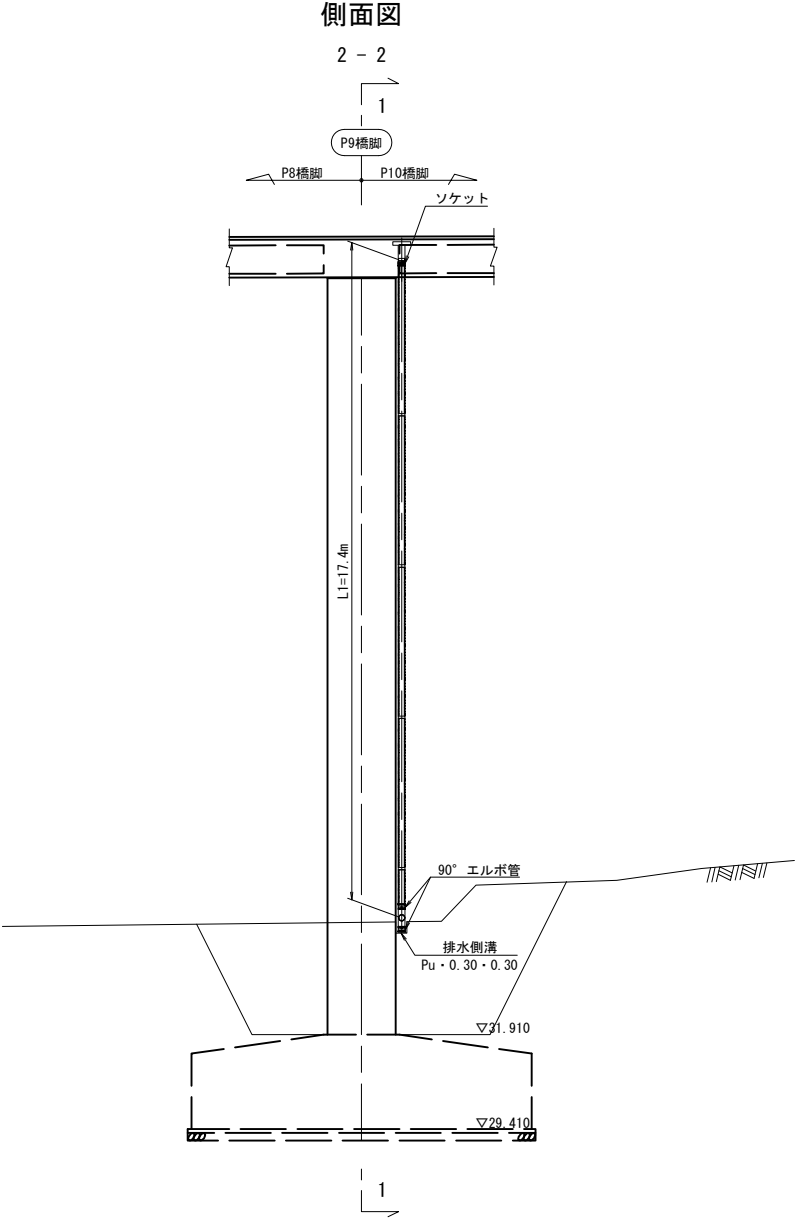
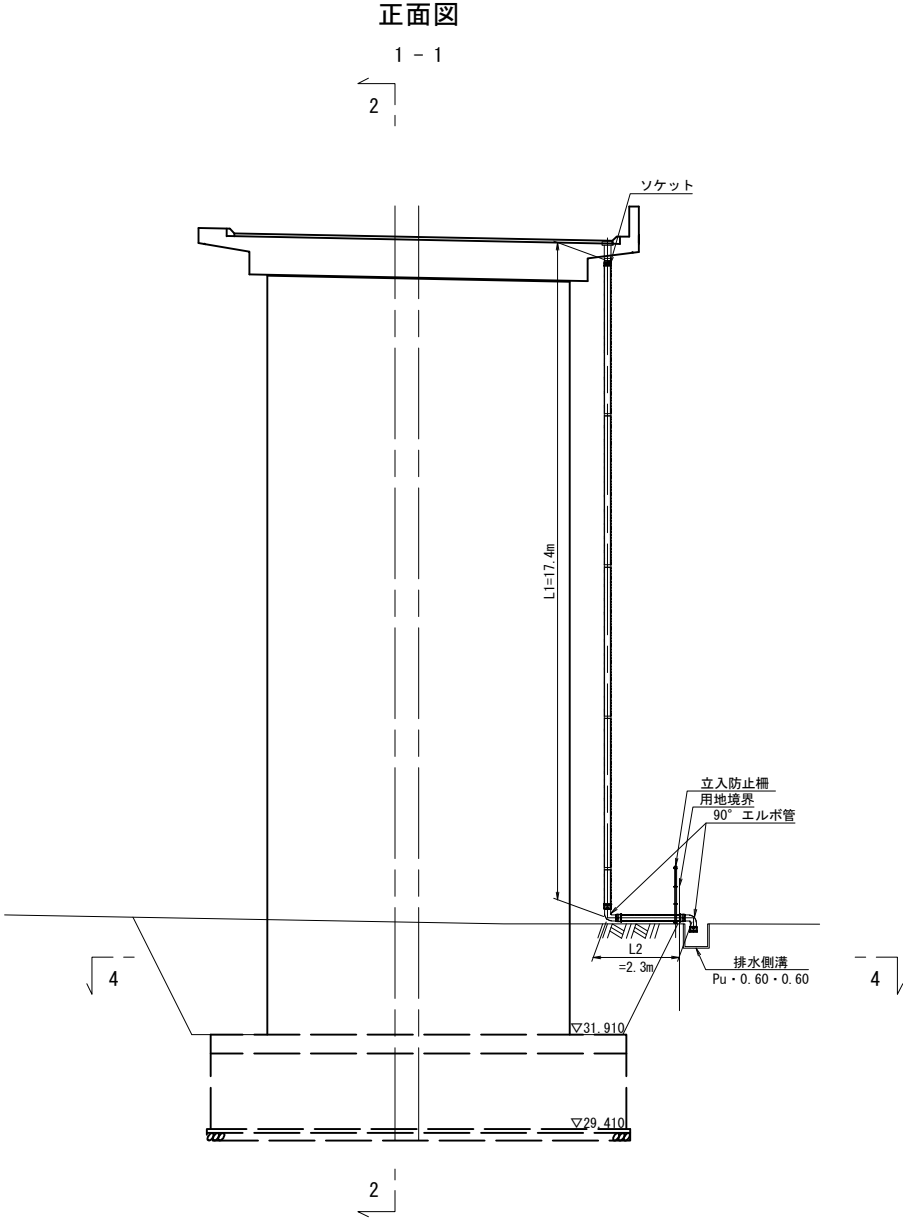
90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	豊成高架橋(上り線) P8橋脚 仮排水管設置図(参考図)			
	縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社			
事務所名	市原管理事務所			

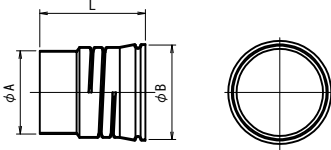


仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
17.4	2.3	19.7	2	1

仮設排水管詳細図

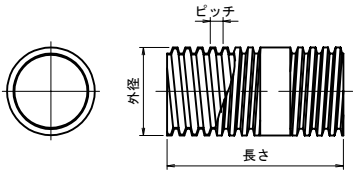
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

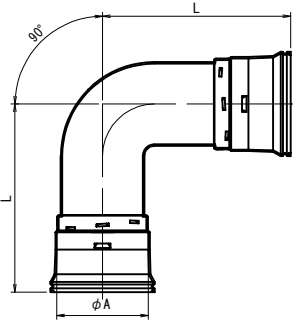
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼び径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

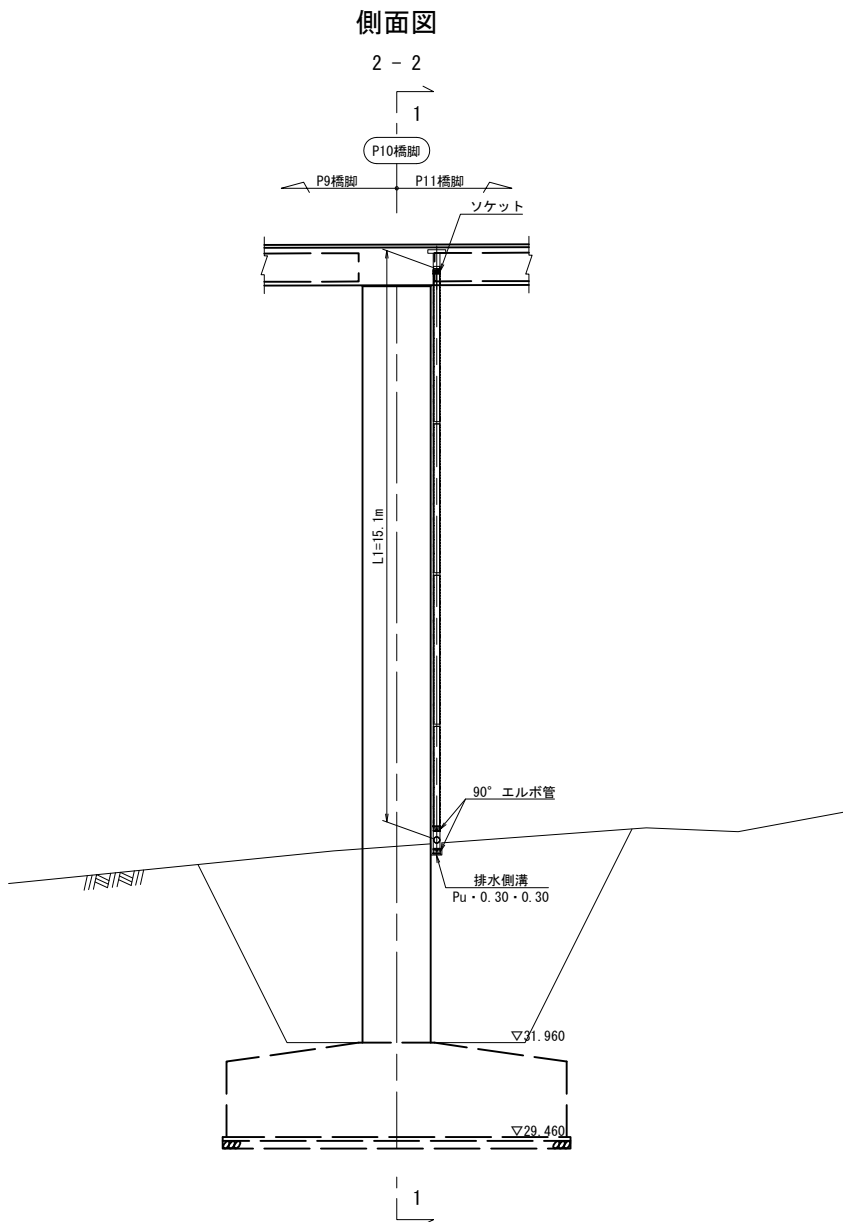
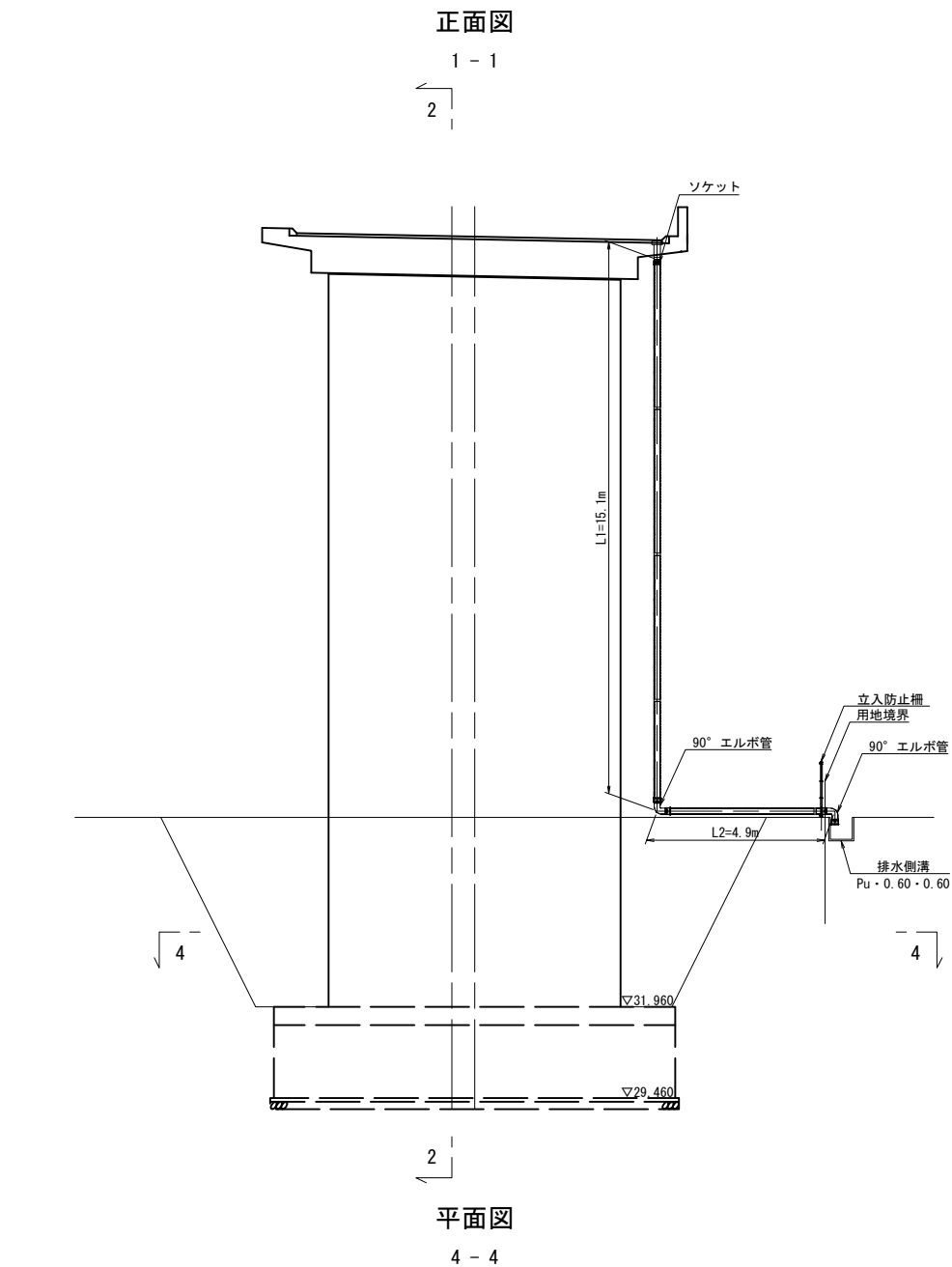
90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線) P9橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
	縮尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

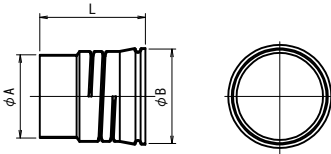


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
15.1	4.9	20.0	2	1

仮設排水管詳細図

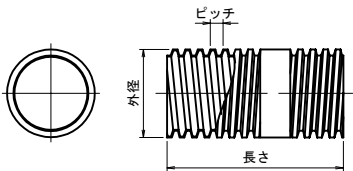
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

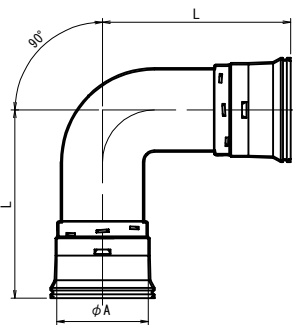
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



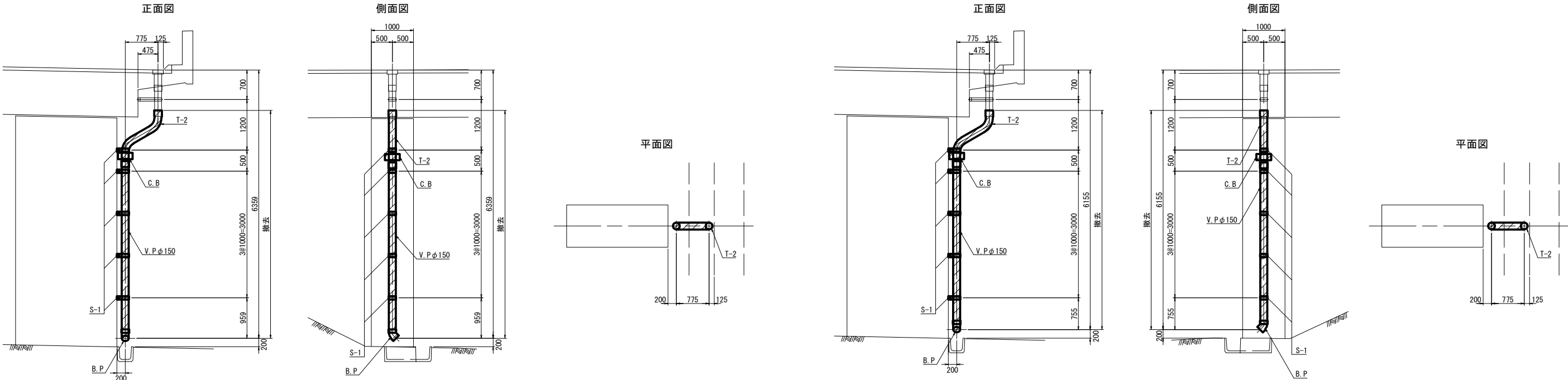
規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

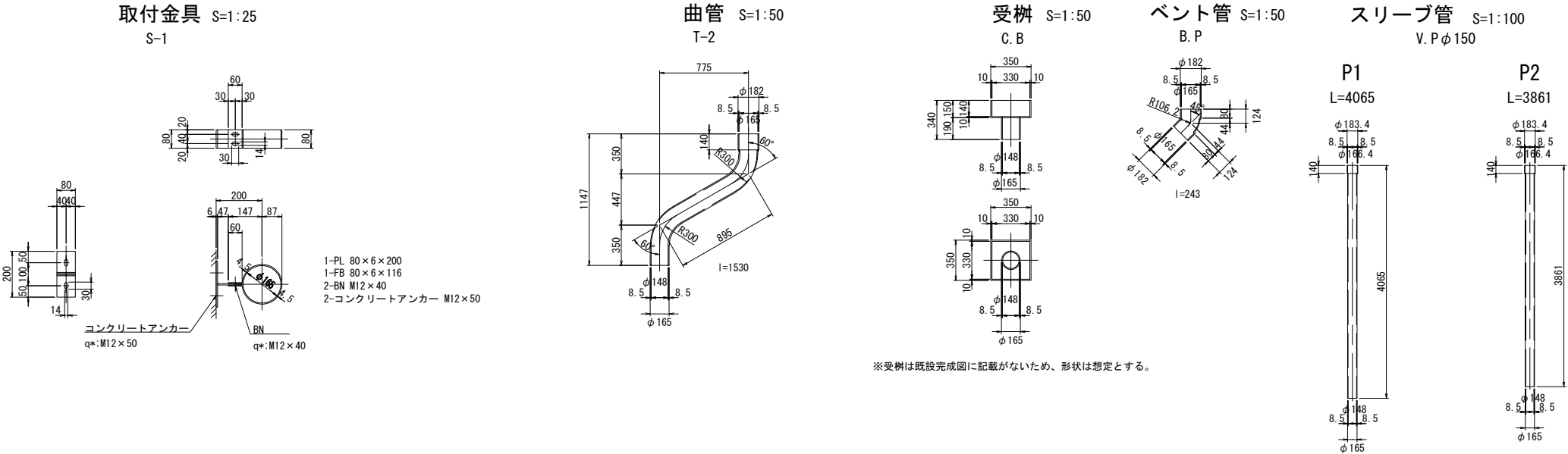
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	豊成高架橋(上り線)		
	P10橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P1橋脚

P2橋脚



排水管詳細図



※受桝は既設完成図に記載がないため、形状は想定とする。

寸法表

橋脚	スリーブ管長 l (m)	流水線延長 (m)
P1	4.065	5.813
P2	3.861	5.609
合計	7.926	11.422

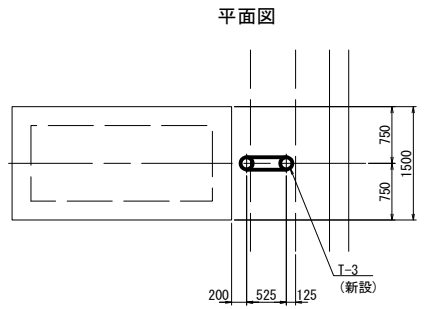
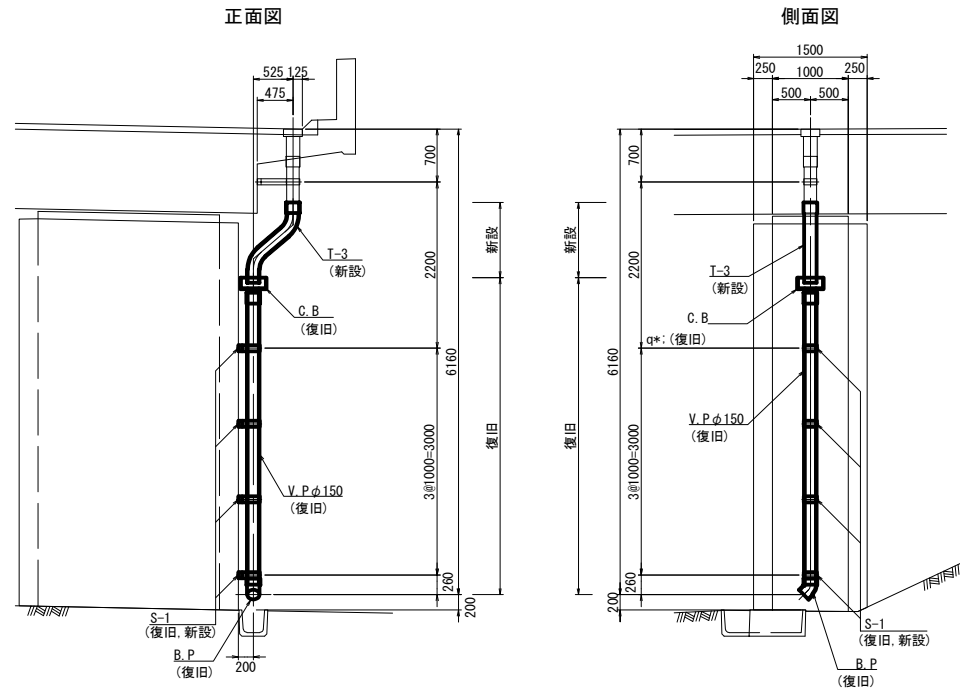
※流水線延長 (m)
・ 1.530 - 0.145 + 0.200 + スリーブ管長l + 0.243 - 0.080
(T-2長) (受桝内T-2長) (受桝) (B.P長) (B.P内スリーブ管長)

撤去数量

名称	形状	単位	数 量			摘要
			P1	P2	合計	
曲管	T-2	個	1	1	2	
受桝	C.B	〃	1	1	2	
スリーブ管	V.Pφ150	〃	1	1	2	
取付金具	S-1	〃	5	5	10	
ベント管	B.P	〃	1	1	2	

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	姉崎第二橋 (上り線)		
	排水装置撤去図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

P2橋脚



スリーブ管 S=1:100
V.P ϕ 150
(復旧)

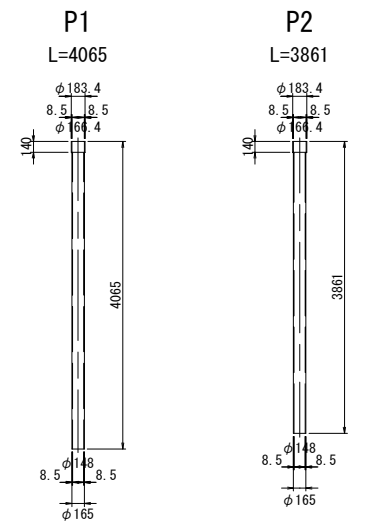
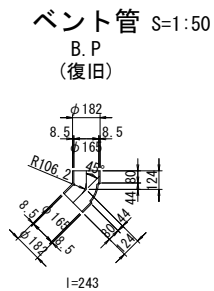
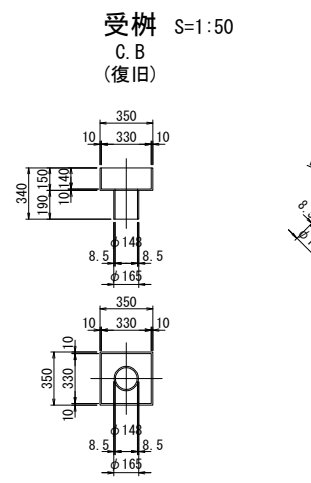
取付金具 S=1:25

S-1
(復旧, 新設)

1-PL 80 x 6 x 200 (復旧)
1-FB 80 x 6 x 116 (復旧)
2-BN M12 x 40 (復旧)
2-コンクリートアンカー M12 x 50 (新設)

コンクリートアンカー
φ*: M12 x 50
(新設)

φ*: M12 x 40
(復旧)

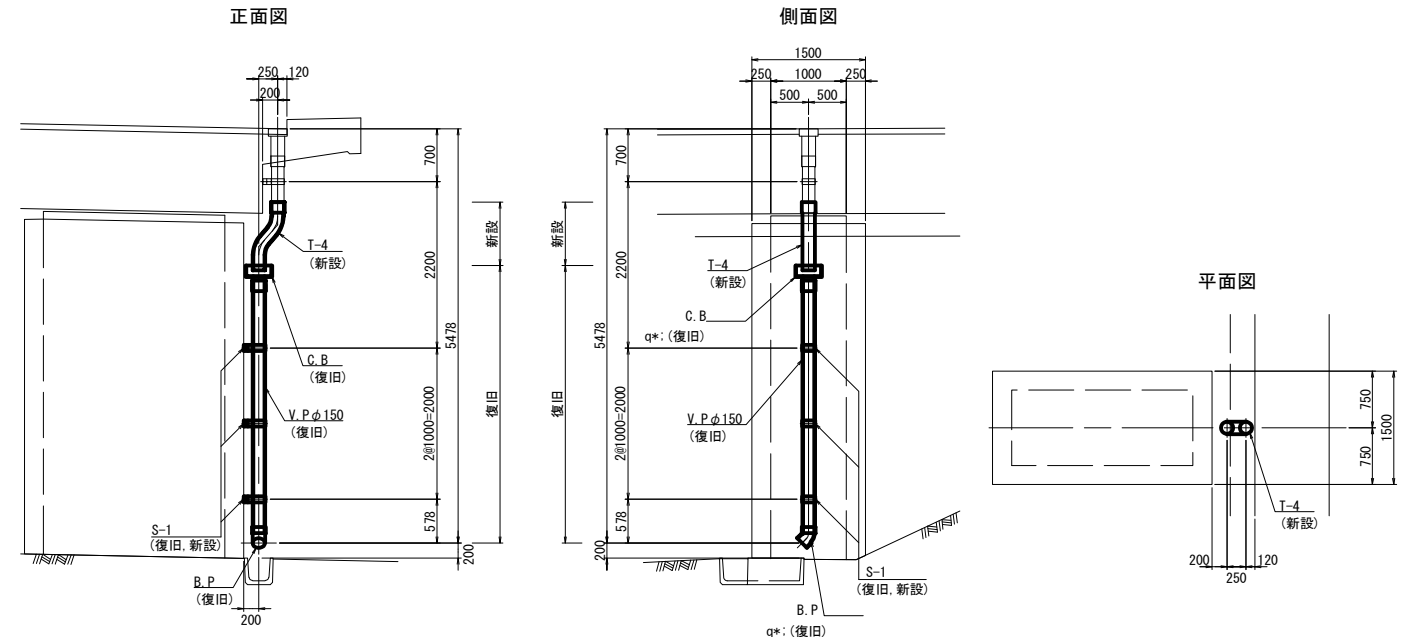


注記

1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 取付金具は全て溶融亜鉛メッキとし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 49
3. ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
4. 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事		
図面の種類	姉崎第二橋（上り線） 排水装置復旧図	
縮 尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所	

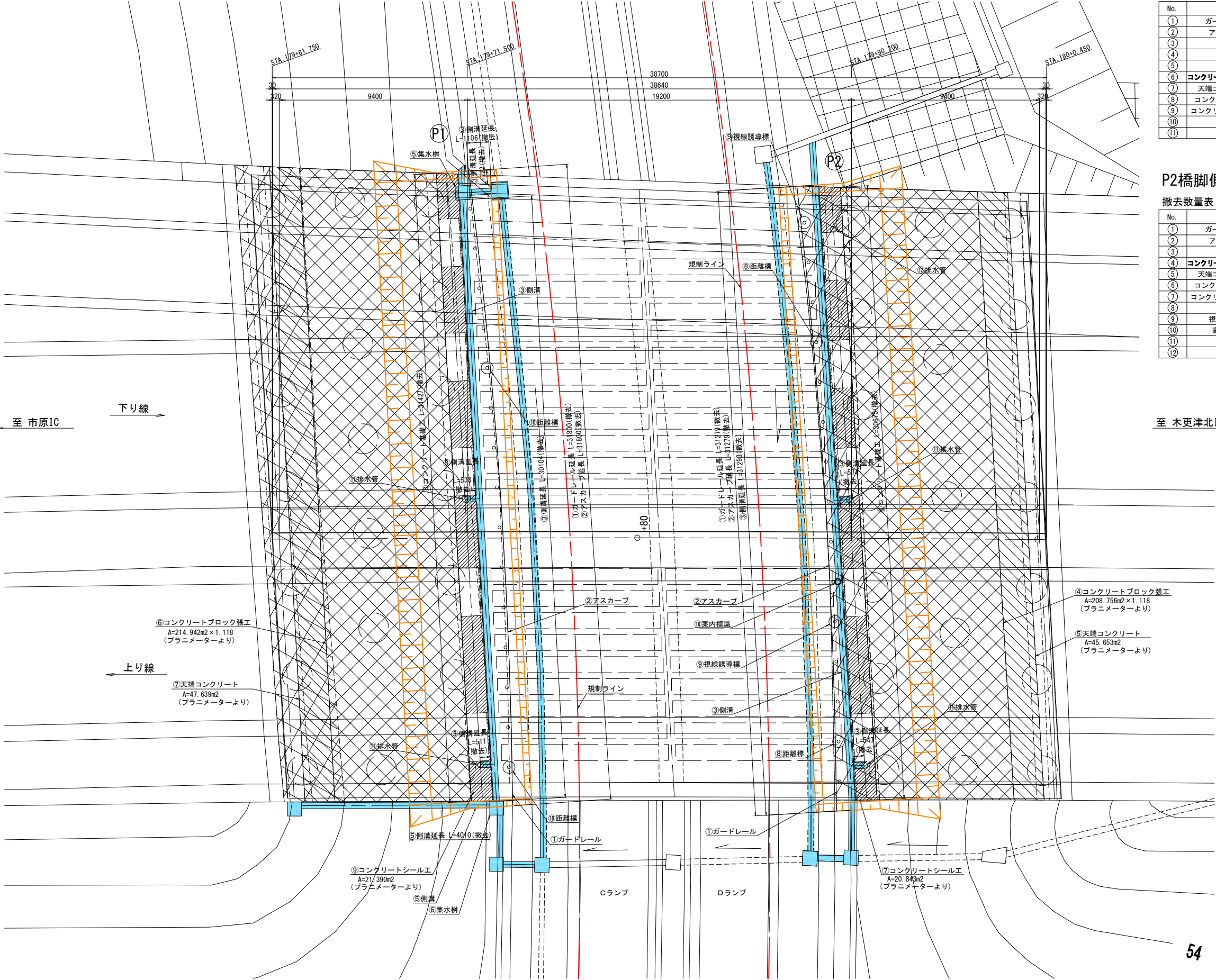
P2橋脚



スリーブ管 S=1:100

館山自動車道			
豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類		姉崎第二橋（下り線） 排水装置復旧図	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P1橋脚側

撤去数量表

No.	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
①	ガードレール	Gr-A-2E	m	31.8	撤去
②	アスカーブ	As-C	m	31.8	撤去
③	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	33.0	撤去
④	側溝	Dv-PuL・0.30・0.30(5)	m	4.0	撤去
⑤	集水樹	Dc(D)-0.50・0.50・0.50	基	2	撤去
⑥	コンクリートブロック張工	(空)控12cm	m2	240.3	撤去
⑦	天端コンクリート		m2	47.6	撤去
⑧	コンクリート基礎工		m	31.4	撤去
⑨	コンクリートシール工	t=10cm	m2	21.4	撤去
⑩	距離標	D2	枚	2	撤去
⑪	排水管	VPφ150	m	10.8	撤去

P2橋脚側

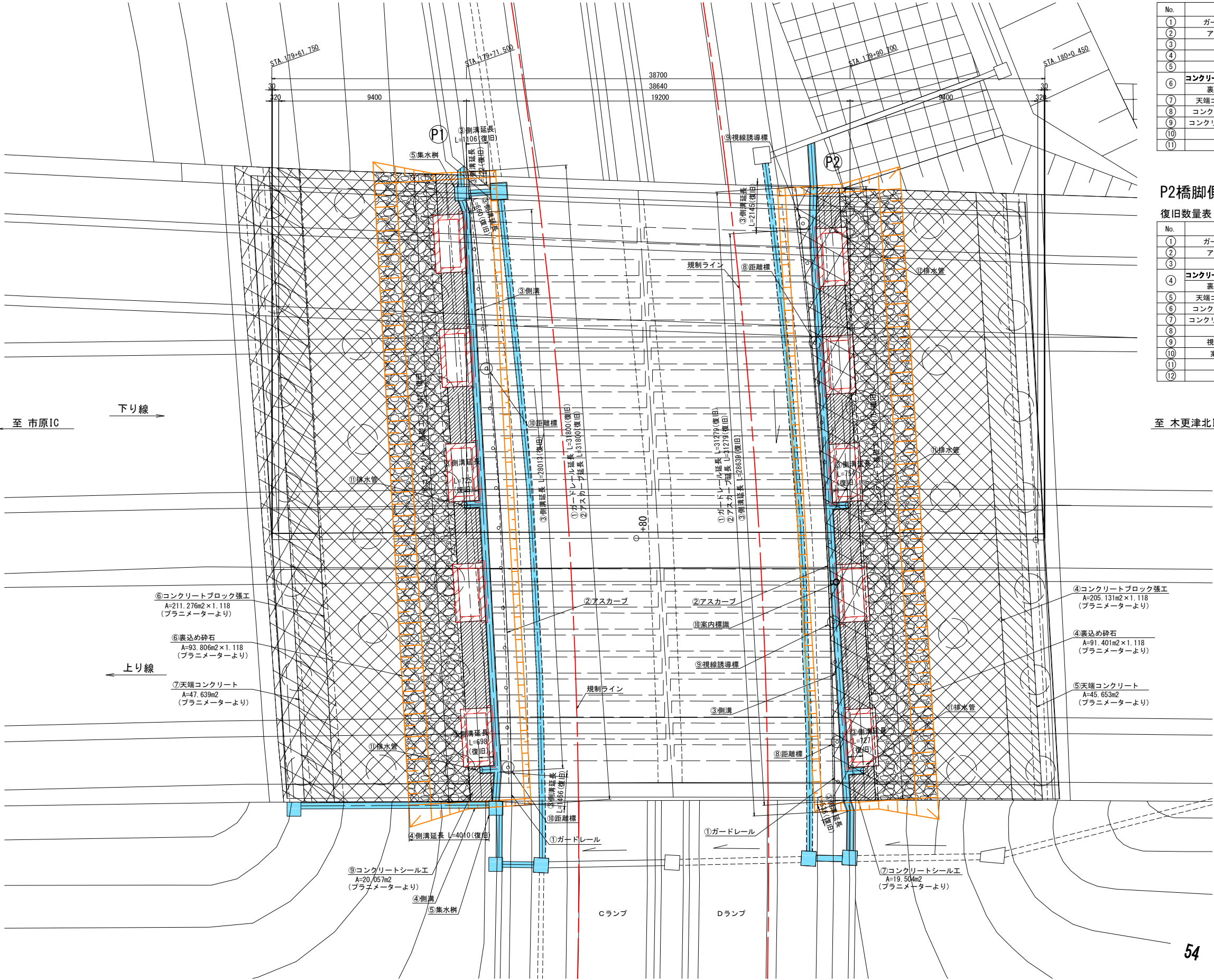
撤去数量表

No.	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
①	ガードレール	Gr-A-2E	m	31.3	撤去
②	アスカーブ	As-C	m	31.3	撤去
③	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	32.4	撤去
④	コンクリートブロック張工	(空)控12cm	m2	233.4	撤去
⑤	天端コンクリート		m2	45.7	撤去
⑥	コンクリート基礎工		m	30.7	撤去
⑦	コンクリートシール工	t=10cm	m2	20.8	撤去
⑧	距離標	D2	枚	2	撤去
⑨	視線誘導標	A2-1	基	2	撤去
⑩	案内標識	600×1500	基	1	撤去
⑪	排水管	VPφ150	m	10.4	撤去
⑫	排水管	VPφ60	m	6.0	撤去

注記) 1. 工事に際しては施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行ったうえで施工を行うこと。
2. 排水管については、付属物撤去図も参照のこと。
3. 設備管の規格については、既往資料がないため、現地に確認を行うこと。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事				
図面の種類	姉崎第二橋(上下線)			
	付帯工 撤去図(参考図)			
縮 尺	図示	図面番号	／	
設計会社名	株式会社 建設技術研究所			
施工会社名				
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所			

平面図



P1橋脚側

復旧数量表

No.	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
①	ガードレール	Gr-A-2E	m	31.8	復旧
②	アスカーブ	As-C	m	31.8	復旧
③	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	33.0	復旧
④	側溝	Dv-PuL・0.30・0.30(5)	m	4.0	復旧
⑤	集水樹	Dc ⁺ (D)・0.50・0.50・0.50	基	2	復旧
⑥	コンクリートブロック張工	(空)控12cm	m2	236.2	復旧
⑦	裏込め砕石	C-40~0	m2	104.9	復旧
⑧	天端コンクリート	D1-1	m2	47.6	復旧
⑨	コンクリート基礎工	TypeA	m	31.4	復旧
⑩	コンクリートシール工	t=10cm	m2	20.1	復旧
⑪	距離標	D2	枚	2	復旧
⑫	排水管	VPφ150	m	10.4	復旧

P2橋脚側

復旧数量表

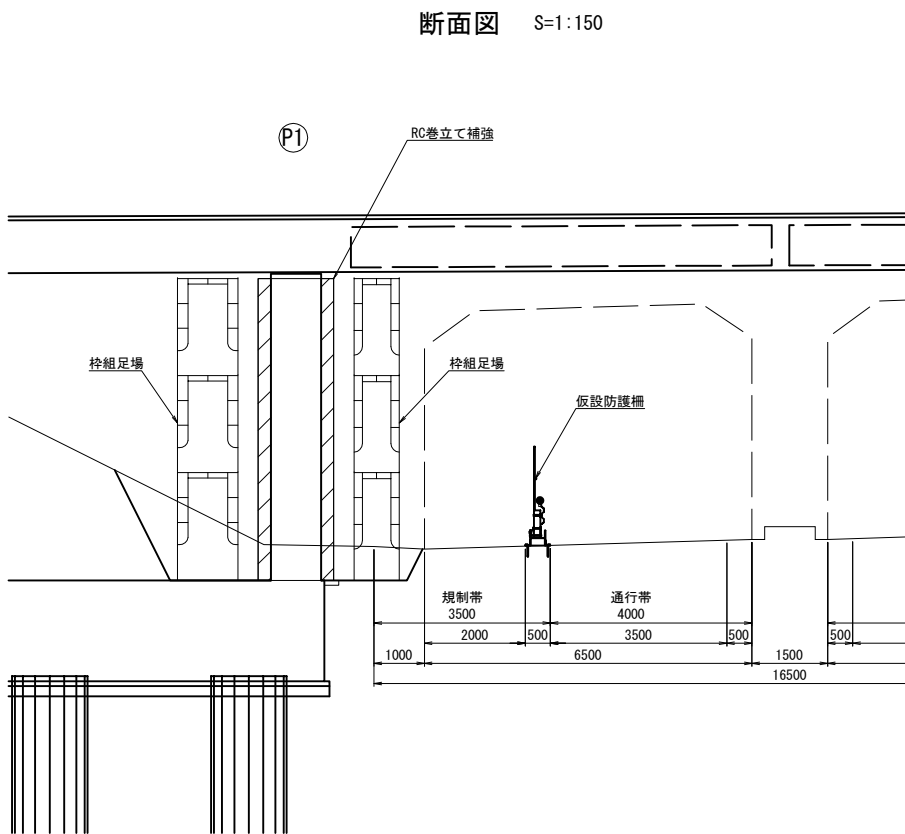
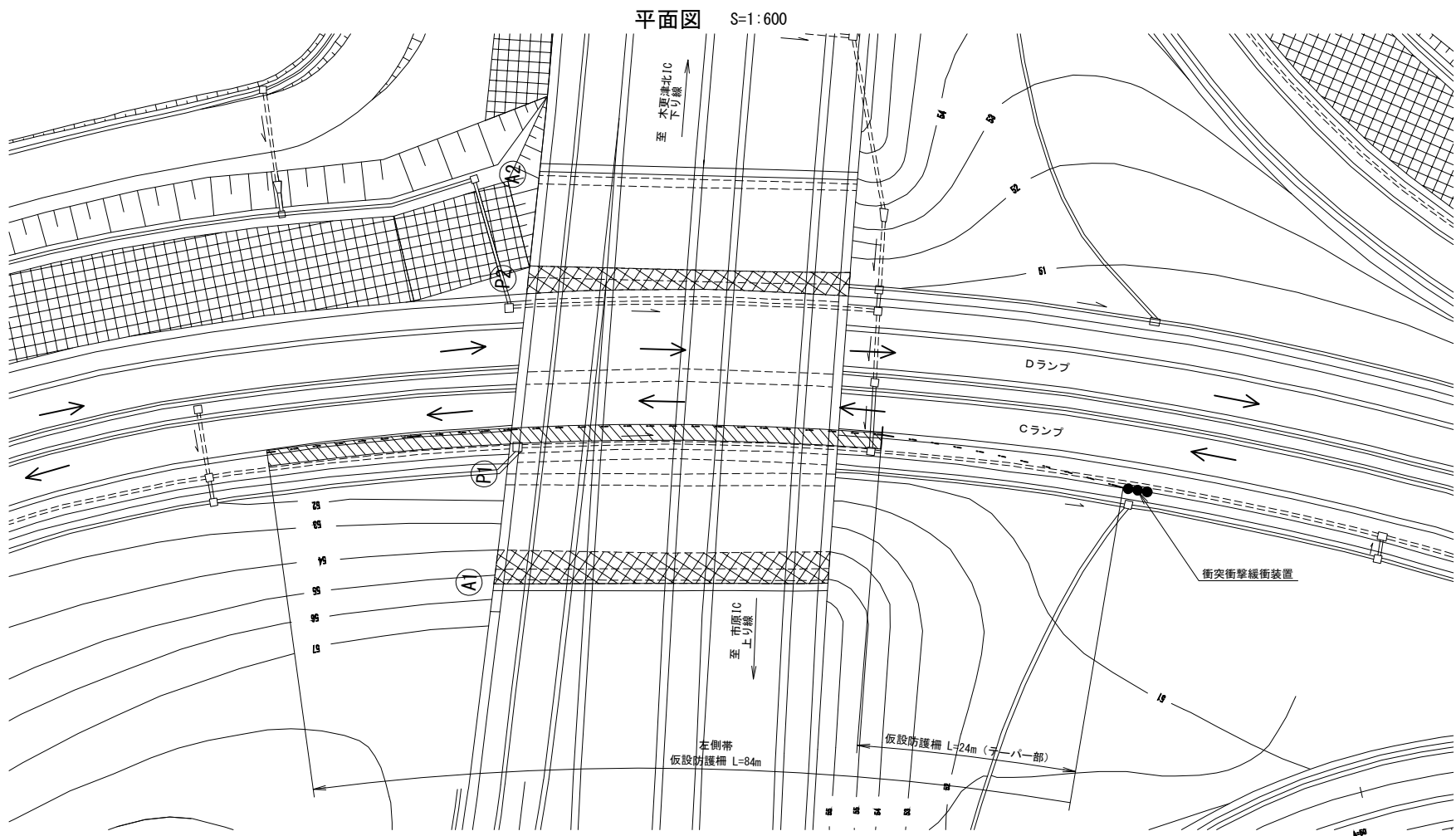
No.	名 称	規 格	単 位	数 量	備 考
①	ガードレール	Gr-A-2E	m	31.3	復旧
②	アスカーブ	As-C	m	31.3	復旧
③	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	32.4	復旧
④	コンクリートブロック張工	(空)控12cm	m2	229.3	復旧
⑤	裏込め砕石	C-40~0	m2	102.2	復旧
⑥	天端コンクリート	D1-1	m2	45.7	復旧
⑦	コンクリート基礎工	TypeA	m	30.7	復旧
⑧	コンクリートシール工	t=10cm	m2	19.5	復旧
⑨	距離標	D2	枚	2	復旧
⑩	視線誘導標	A2-1	基	2	復旧
⑪	案内標識	600×1500	基	1	再設置
⑫	排水管	VPφ150	m	10.0	復旧
⑬	排水管	VPφ60	m	6.0	復旧

注記) 1. 工事に際しては施工範囲に埋設物等がある可能性があるため、事前に調査を行ったうえで施工を行うこと。
2. 排水管については、付属物復旧図も参照のこと。
3. 設備管の規格については、既往資料がないため、現地にて確認を行うこと。

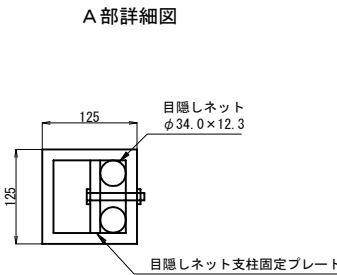
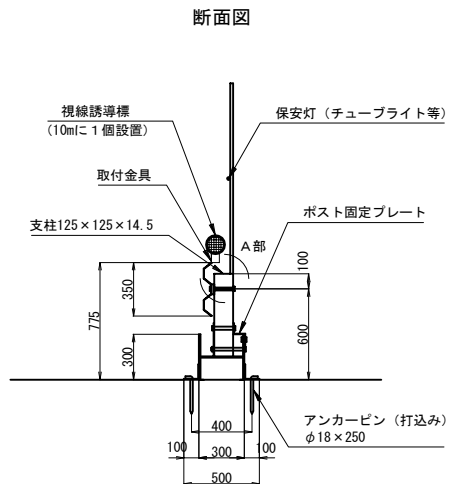
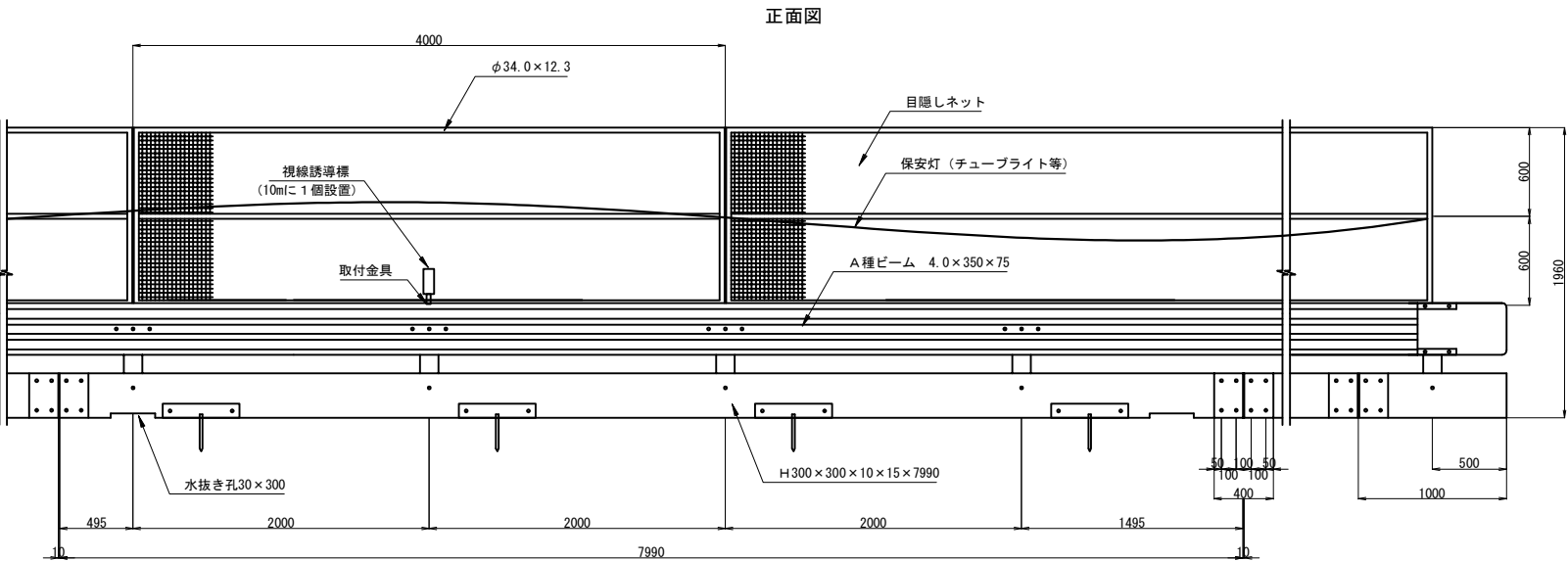
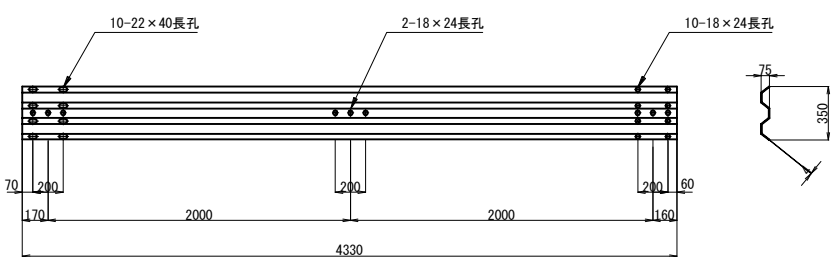
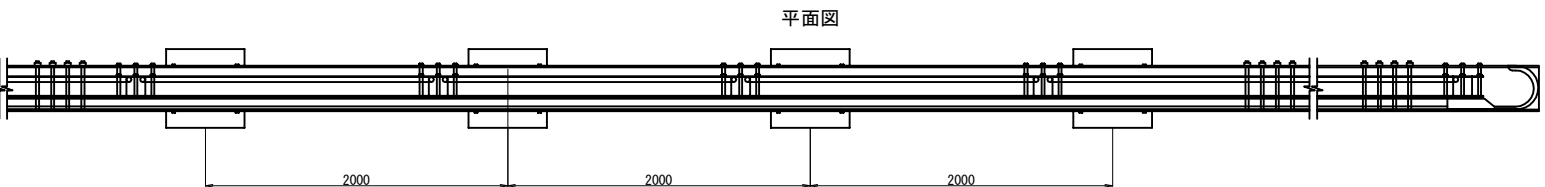
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	姉崎第二橋(上下線) 付帯工 再設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

姉崎第二橋(上下線) 仮設防護柵図(参考図)(その1)

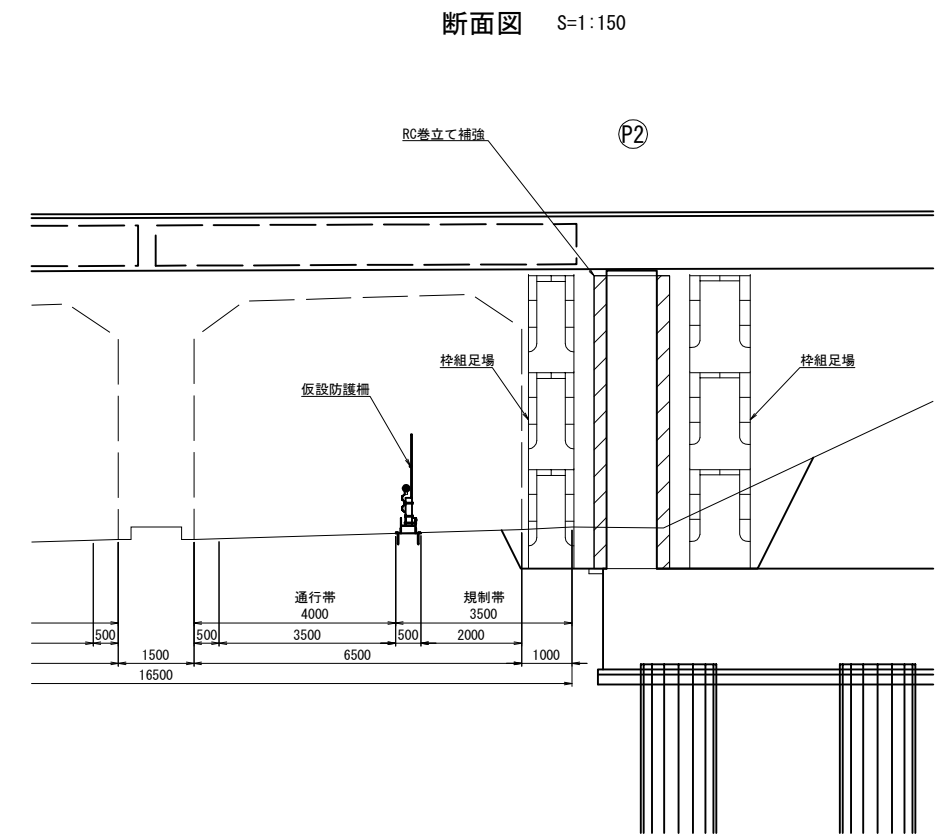
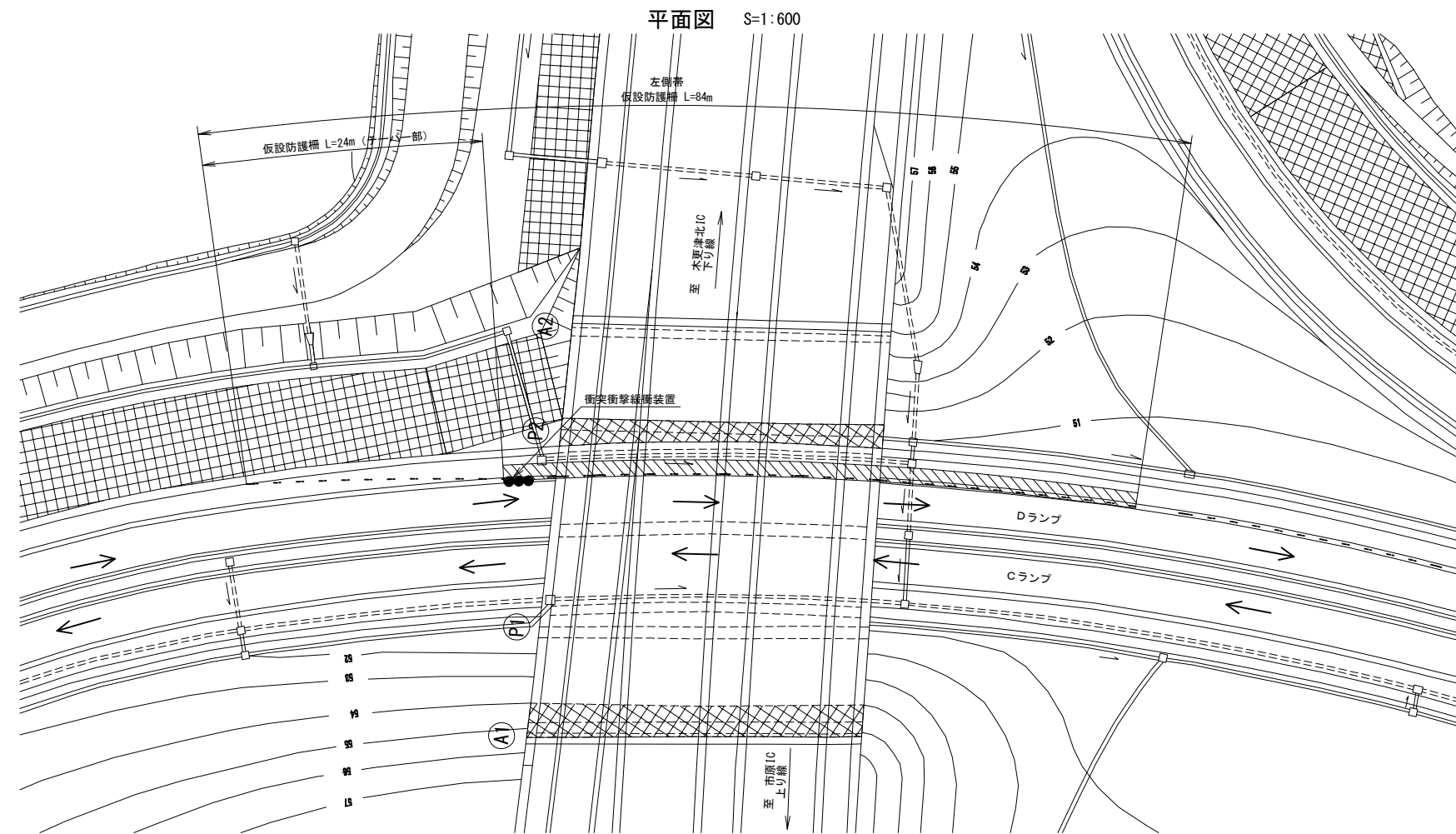
P1橋脚施工時 Cランプ路肩規制 (固定規制)



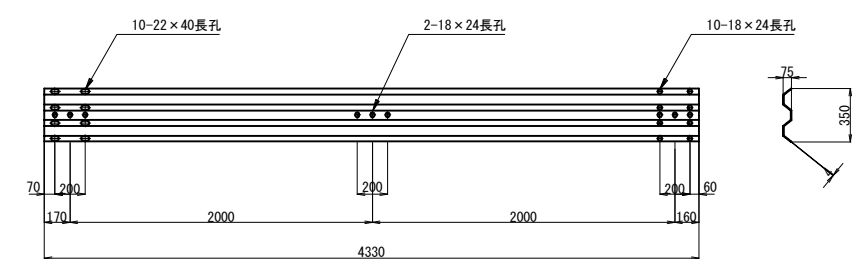
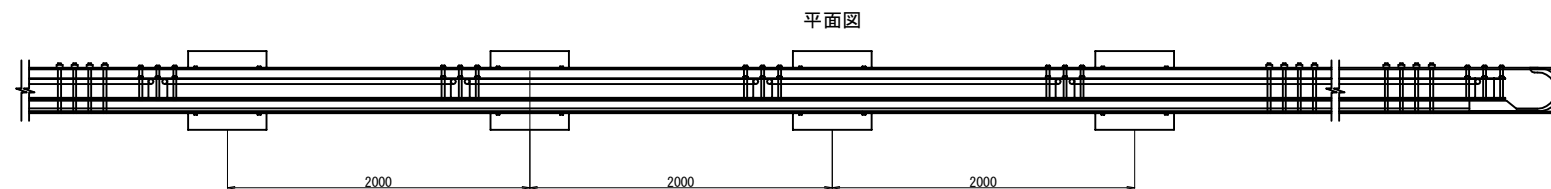
仮設防護柵姿図 S=1:50



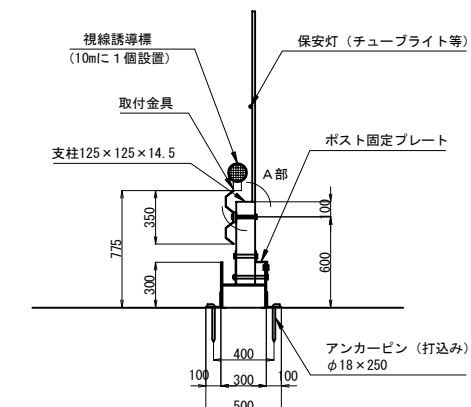
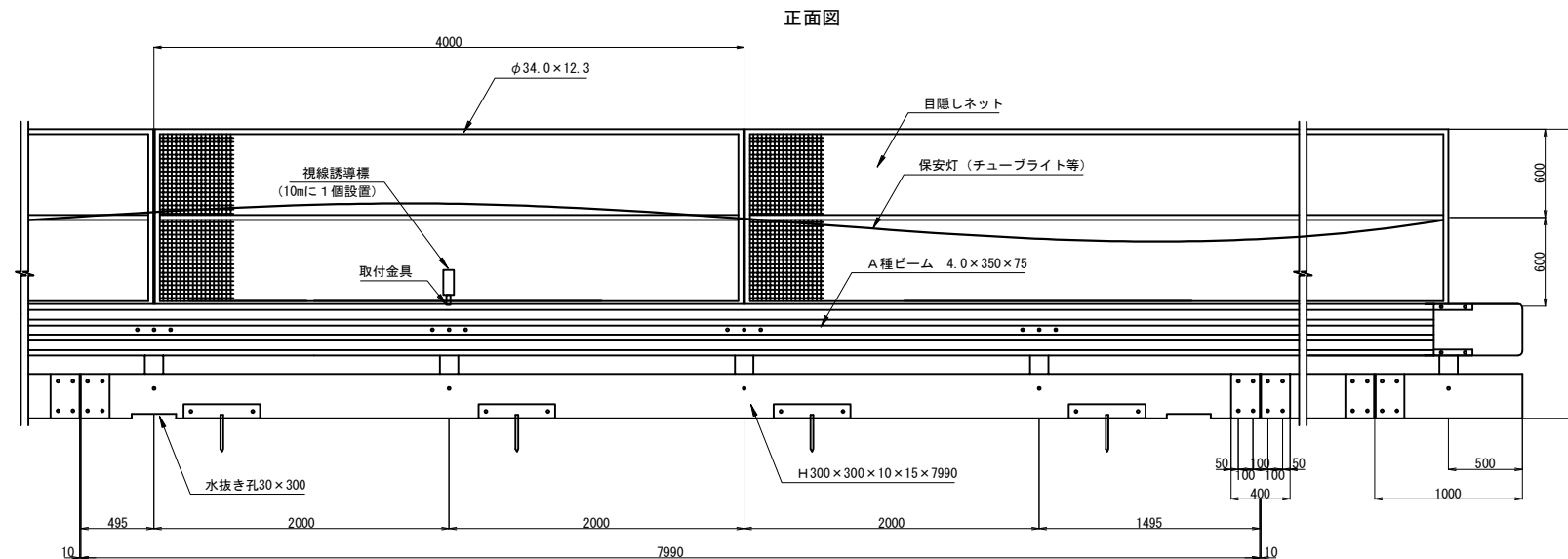
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	姉崎第二橋(上下線) 仮設防護柵図(参考図)(その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



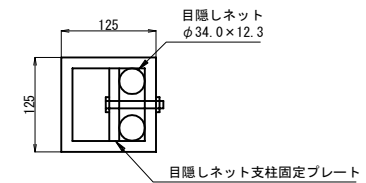
仮設防護柵姿図 S=1:50



断面図

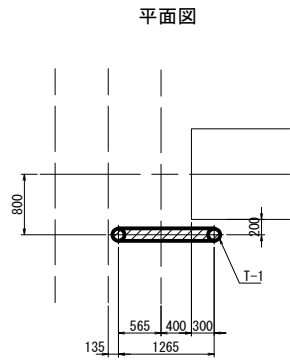
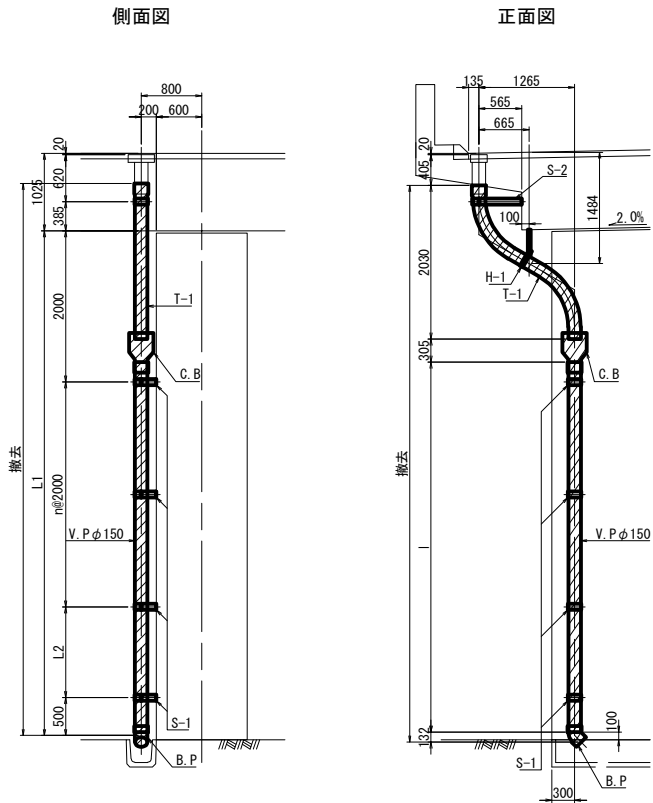


A 部詳細図

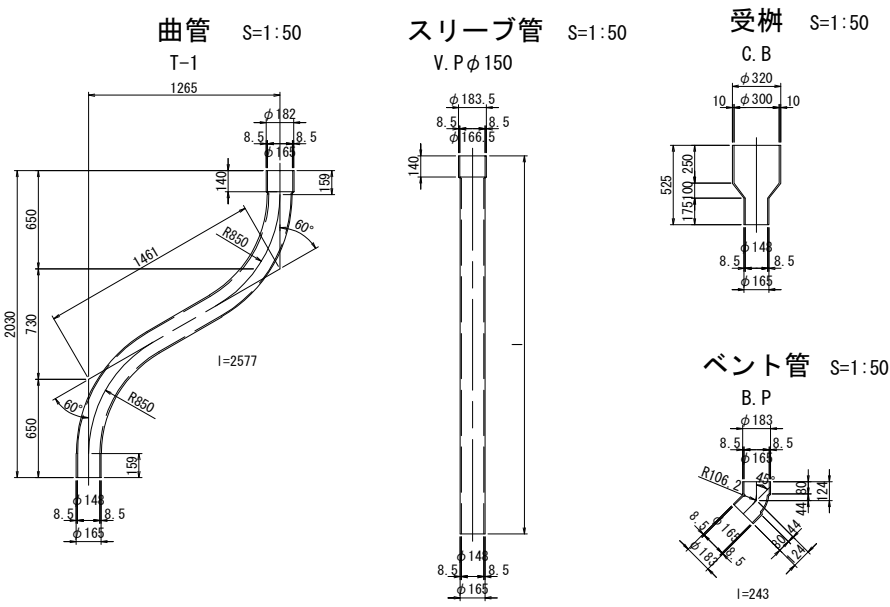


館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類		姉崎第二橋（上下線） 仮設防護欄図（参考図）（その2）	
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

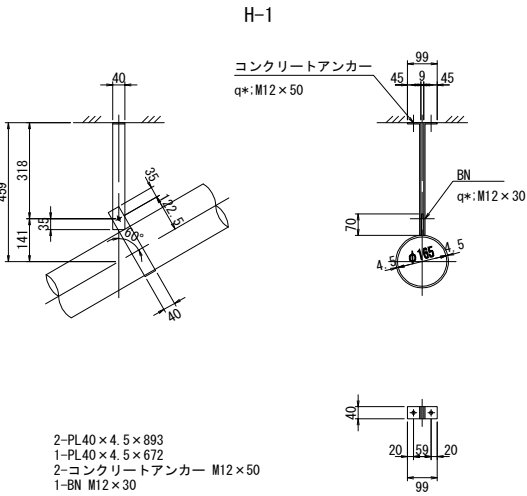
P2～P11, P13～P18橋脚



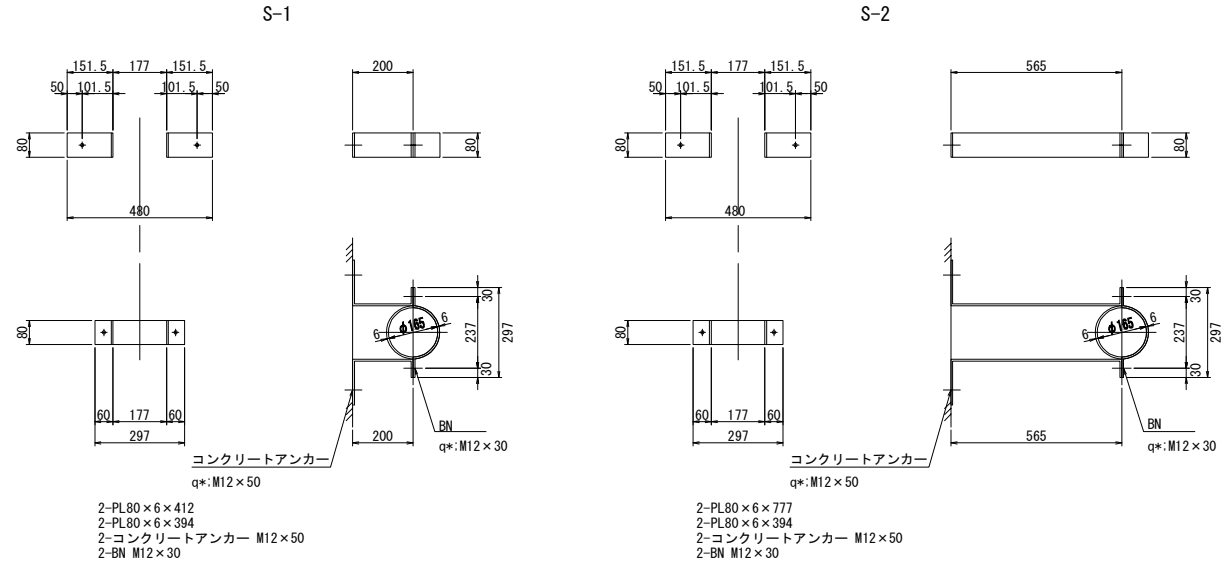
排水管詳細図



ハンガー S=1:25



取付金具 S=1:25



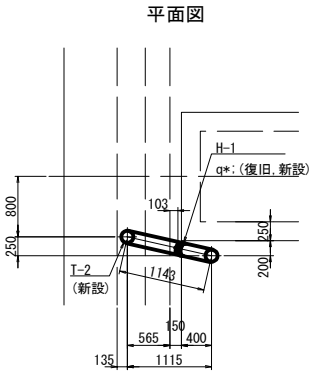
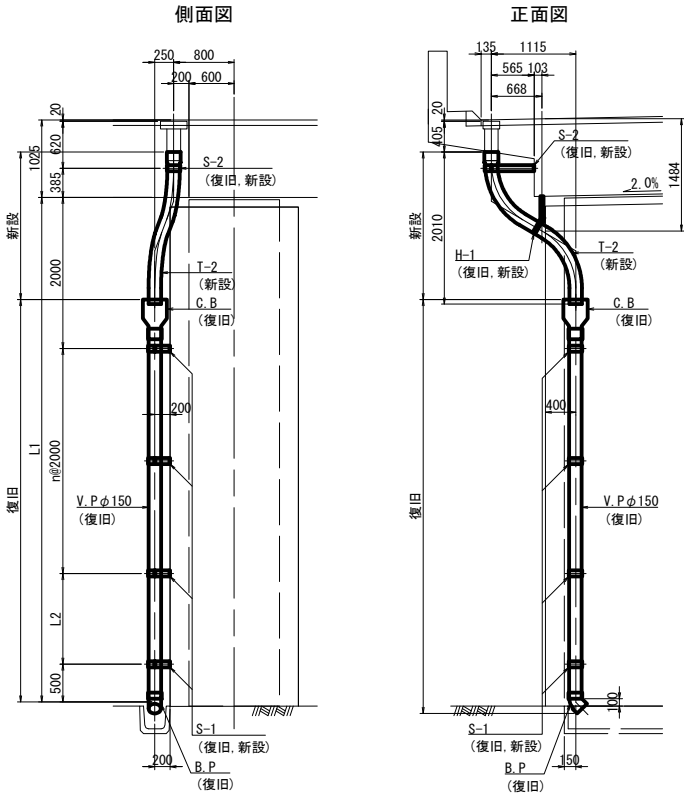
橋脚	L1 (mm)	n	L2 (mm)	スリーブ管長 l (m)	流水線延長 (m)
P2	5700	1	1200	3.921	6.966
P3	6300	1	1800	4.521	7.566
P4	6500	1	2000	4.721	7.766
P5	8500	2	2000	6.721	9.766
P6	8500	2	2000	6.721	9.766
P7	8300	2	1800	6.521	9.566
P8	8500	2	2000	6.721	9.766
P9	8000	2	1500	6.221	9.266
P10	8000	2	1500	6.221	9.266
P11	8200	2	1700	6.421	9.466
P13	8000	2	1500	6.221	9.266
P14	7800	2	1300	6.021	9.066
P15	7100	2	600	5.321	8.366
P16	7200	2	700	5.421	8.466
P17	7200	2	700	5.421	8.466
P18	7100	2	600	5.321	8.366
合計				92.436	141.156

※流水線延長 (m)
2.577 - 0.080 + 0.385 + スリーブ管長 l + 0.243 - 0.080
(T-1長) (受桙内T-1長) (受桙) (B.P長) (B.P内スリーブ管長)

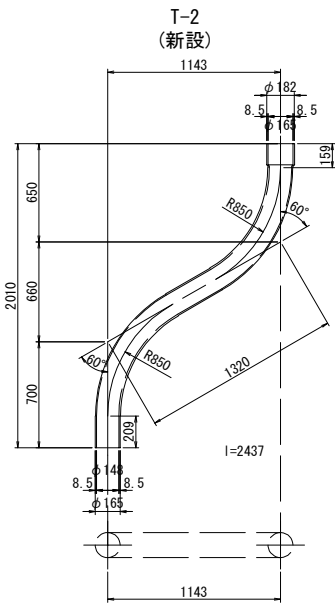
撤去数量			数 量																	摘要
名称	形状	単位	P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P13	P14	P15	P16	P17	P18	合計	
曲管	T-1	個	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
ハンガー	H-1	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
受樹	C.B	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
スリーブ管	V.Pφ150	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
取付金具	S-1	〃	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	61	
	S-2	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
ベント管	B.P	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋 (上り線)		
	排水装置撤去図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

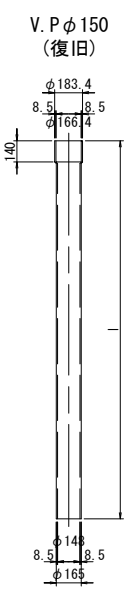
P2~P11, P13~P18橋脚



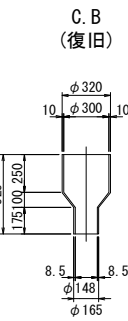
曲管 S=1:50



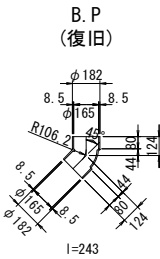
スリーブ管 S=1:50



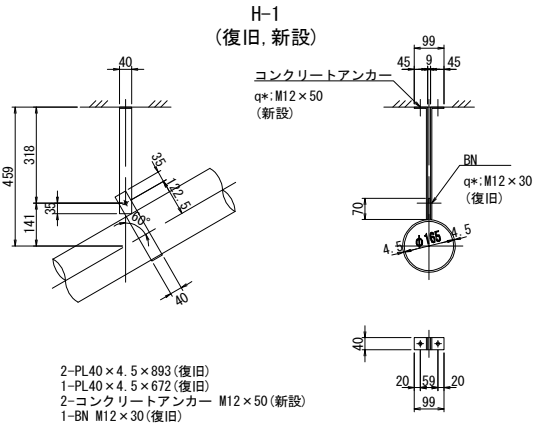
受樹 S=1:50



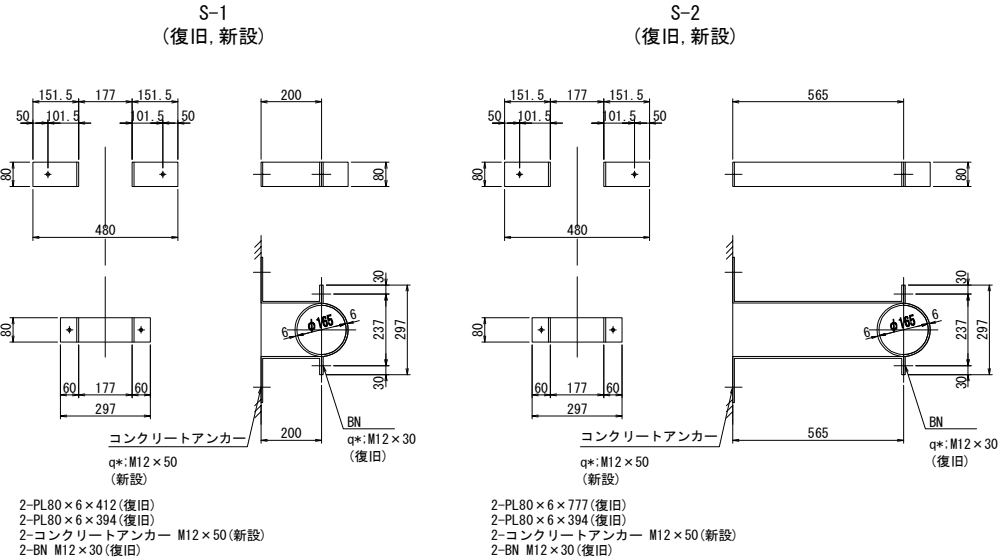
ベント管 S=1:50



ハンガー S=1:25



取付金具 S=1:25



流水線延長表

橋脚	L1 (mm)	n	L2 (mm)	スリーブ管長 l (m)		流水線延長 (m)
				加工前	加工後	
P2	5700	1	1200	3.921	(3.921)	6.846
P3	6300	1	1800	4.521	(4.521)	7.446
P4	6500	1	2000	4.721	(4.721)	7.646
P5	8500	2	2000	6.721	(6.721)	9.646
P6	8500	2	2000	6.721	(6.721)	9.646
P7	8300	2	1800	6.521	(6.521)	9.446
P8	8500	2	2000	6.721	(6.721)	9.646
P9	8000	2	1500	6.221	(6.221)	9.146
P10	8000	2	1500	6.221	(6.221)	9.146
P11	8200	2	1700	6.421	(6.421)	9.346
P13	8000	2	1500	6.221	(6.221)	9.146
P14	7800	2	1300	6.021	(6.021)	8.946
P15	7100	2	600	5.321	(5.321)	8.246
P16	7200	2	700	5.421	(5.421)	8.346
P17	7200	2	700	5.421	(5.421)	8.346
P18	7100	2	600	5.321	(5.321)	8.246
合計				92.436	(92.436)	139.236

※流水線延長 (m)
・ 2.437 - 0.060 + 0.385 + スリーブ管長 l + 0.243 - 0.080
(T-2長) (受樹内T-2長) (受樹) (B.P長) (B.P内スリーブ管長)
※ () は、復旧管長を示す。

復旧数量

名称	形状	単位	数 量																	摘要
			P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P13	P14	P15	P16	P17	P18	合計	
ハンガー	H-1	個	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
受樹	C.B	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
スリーブ管	V.Pφ150	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
取付金具	S-1	〃	3	3	3	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	61	
	S-2	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	
ベント管	B.P	〃	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	

新設数量

名称	形状	単位	数 量																	摘要
			P2	P3	P4	P5	P6	P7	P8	P9	P10	P11	P13	P14	P15	P16	P17	P18	合計	
曲管	T-2	個	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	16	流水線延長 2.437m
コンクリートアンカー	M12×50	〃	10	10	10	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	12	186	S-1, S-2, H-1 1個当り2個

注記
1. 特記なき材質は全てSS400とする。
2. 取付金具は全て溶融亜鉛メッキとし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 49
3. ナットはすべてゆるみ止め機能付きとする。
4. 新設及び加工は現場実測をして寸法を再度確認のうえ行う。

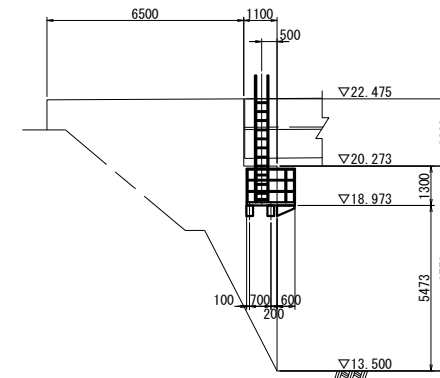
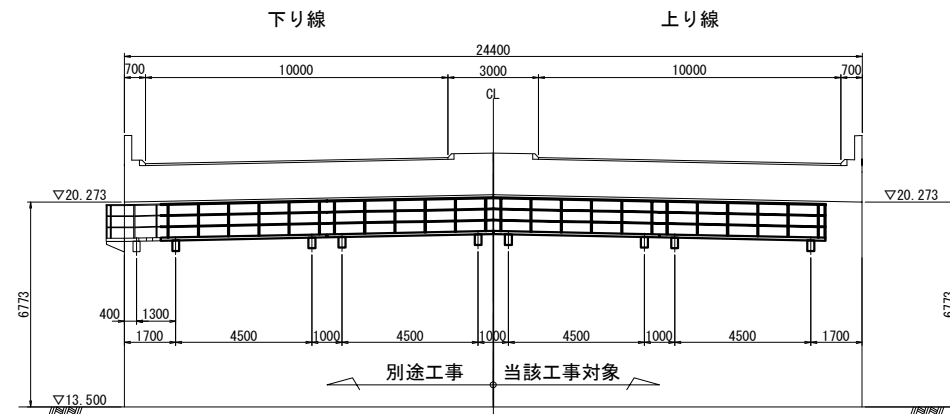
※S-2は既設完成図に記載がないため、形状は想定とする。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋 (上り線) 排水装置復旧図		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

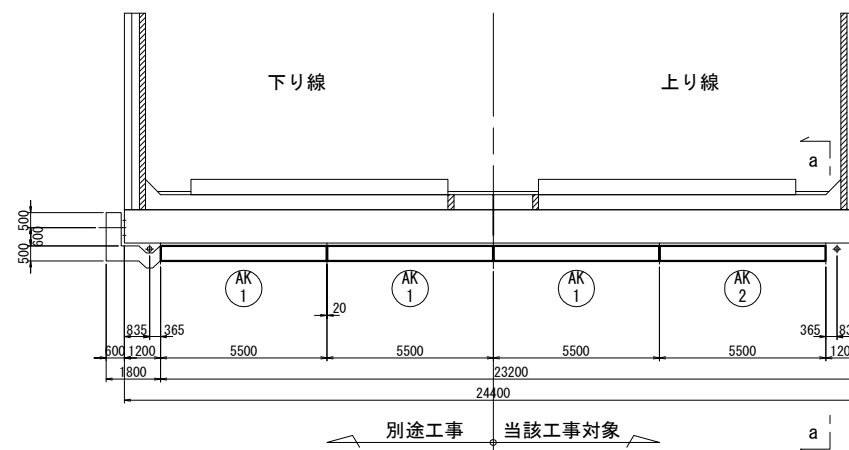
A2橋台

正面図 S=1:250

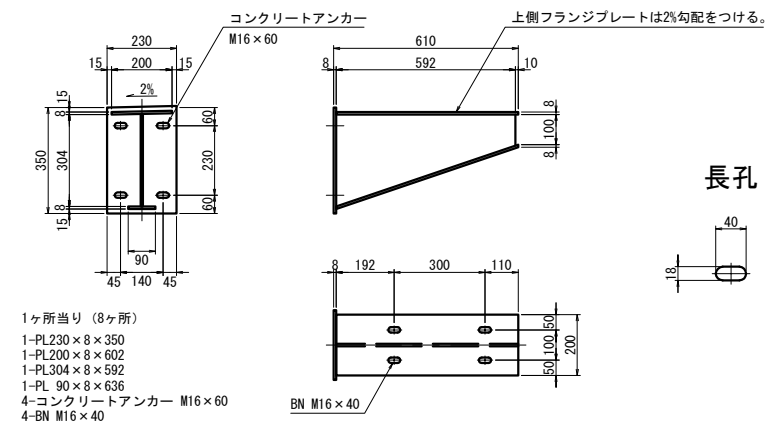
側面図 S=1:250



平面図 S=1:250



受台 S=1:25

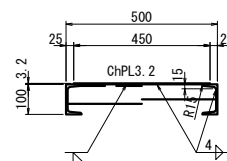


長孔 S=1:10



歩廊断面 S=1:25

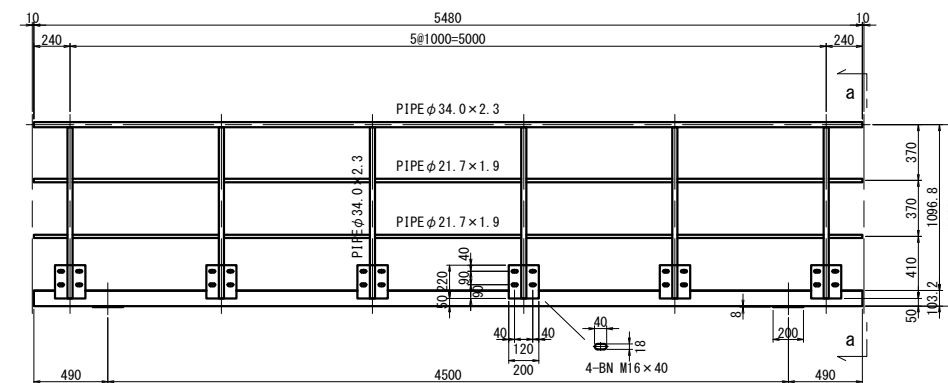
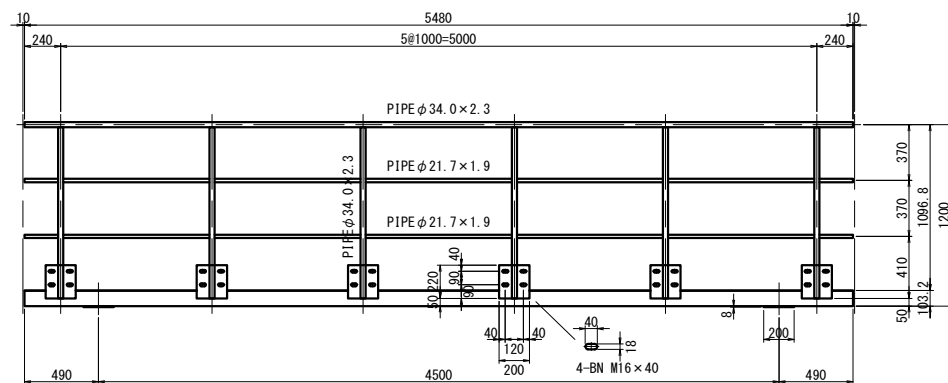
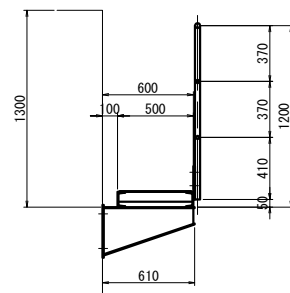
端部 中間部



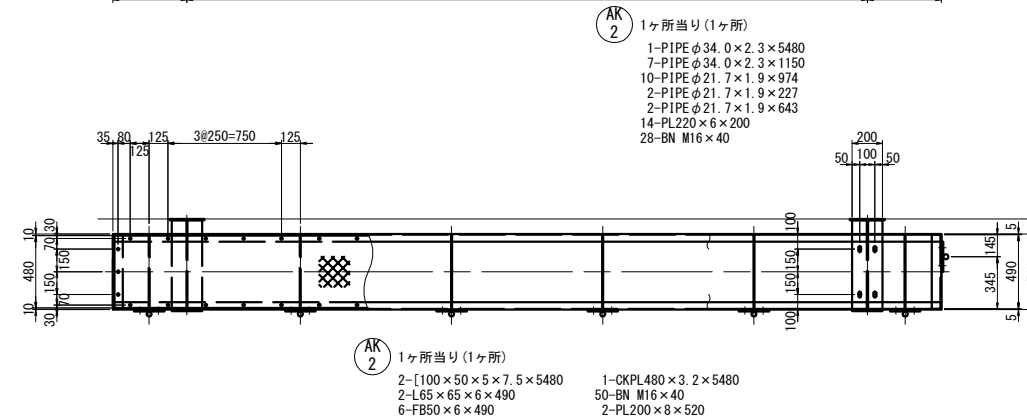
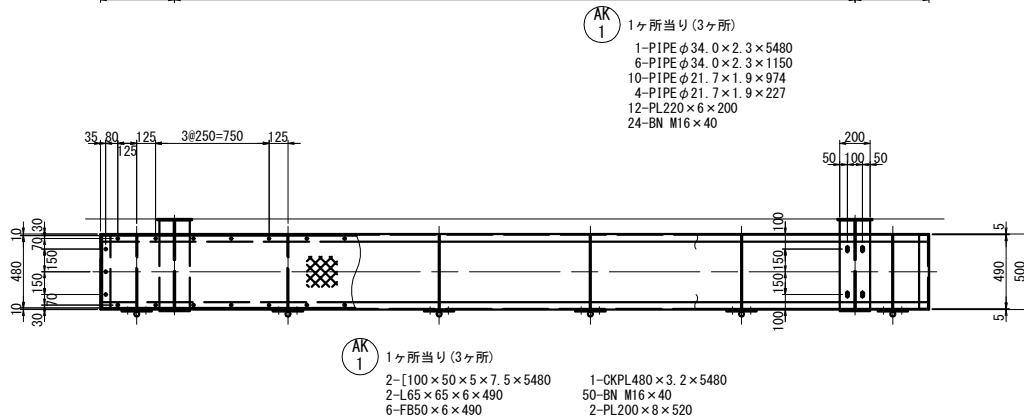
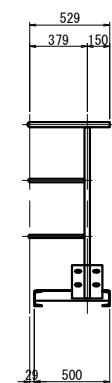
AK1 詳細図

AK2 詳細図

受台位置断面

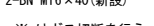


a - a

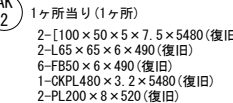


館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) 下部工検査路撤去図		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

上り線



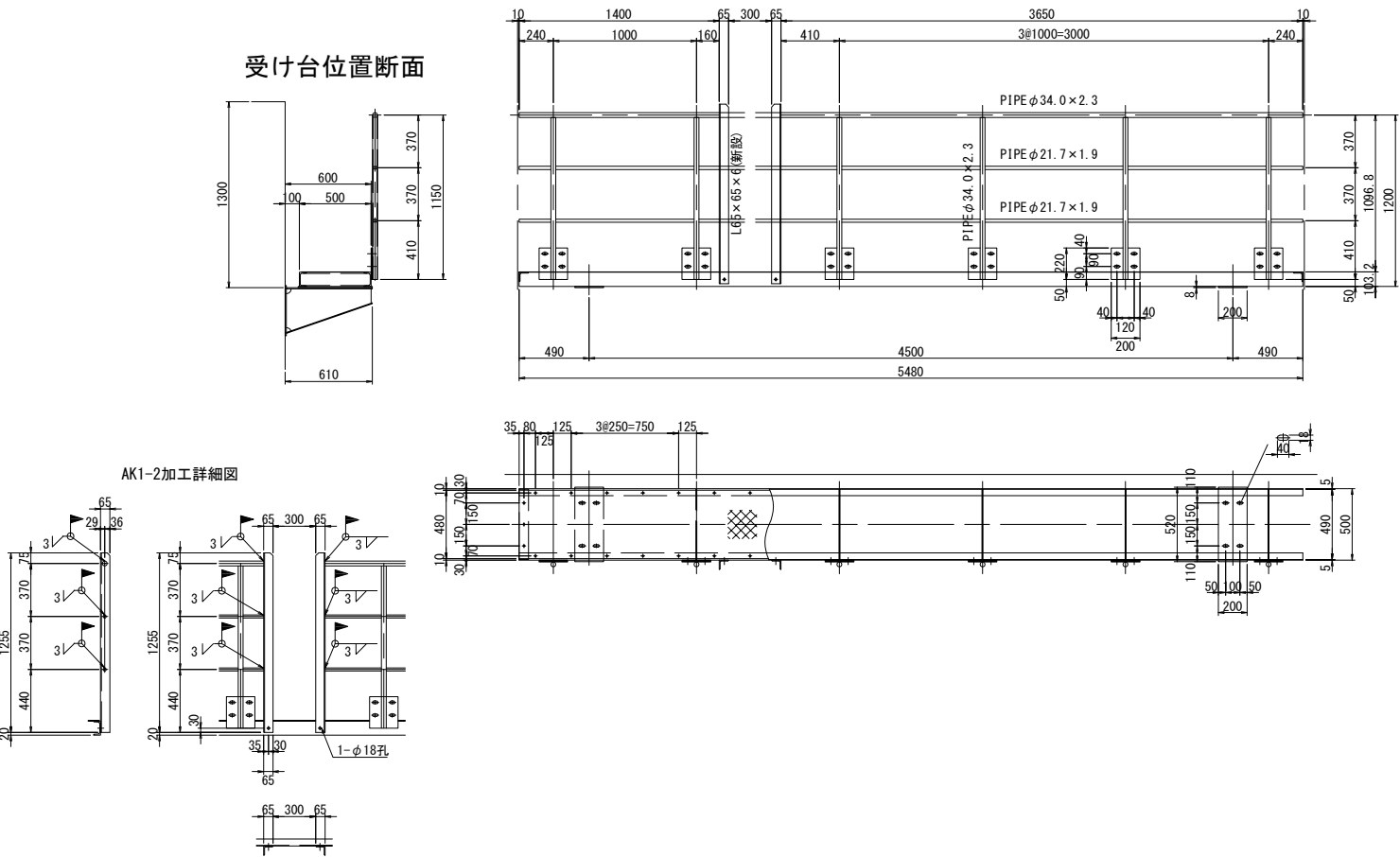
上り線



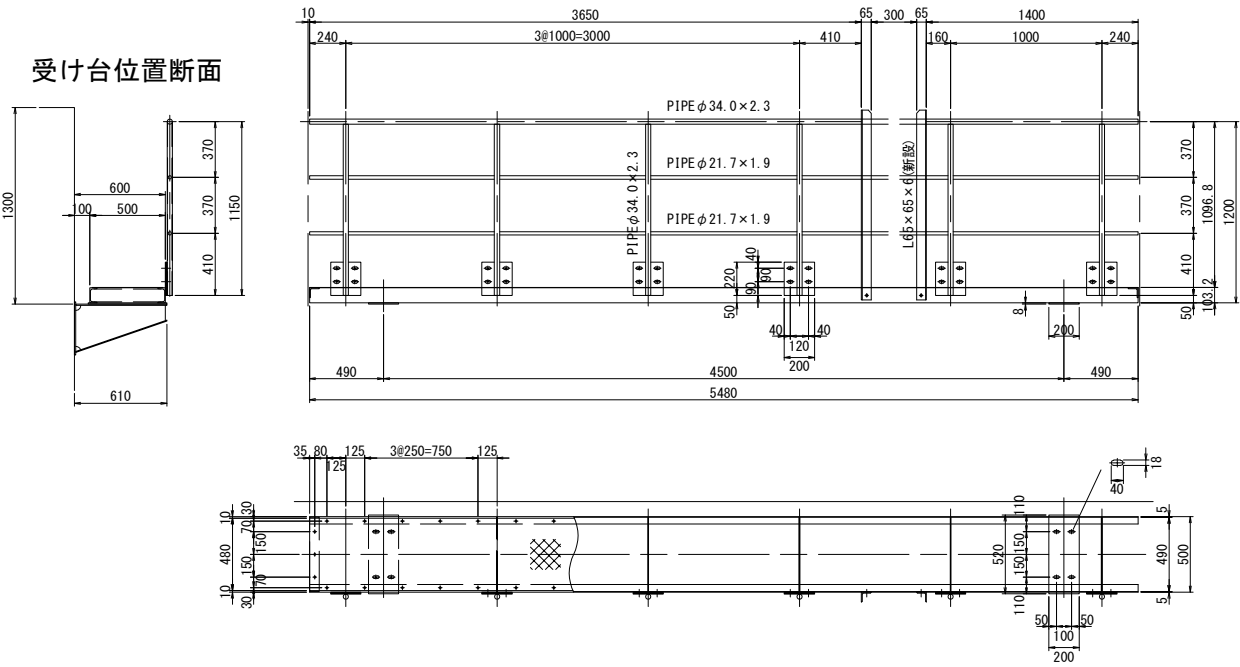
館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類		大曽根高架橋(上り線) 下部工検査路復旧(その1)	
縮	尺	図示	図面番号 /
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

A2橋台

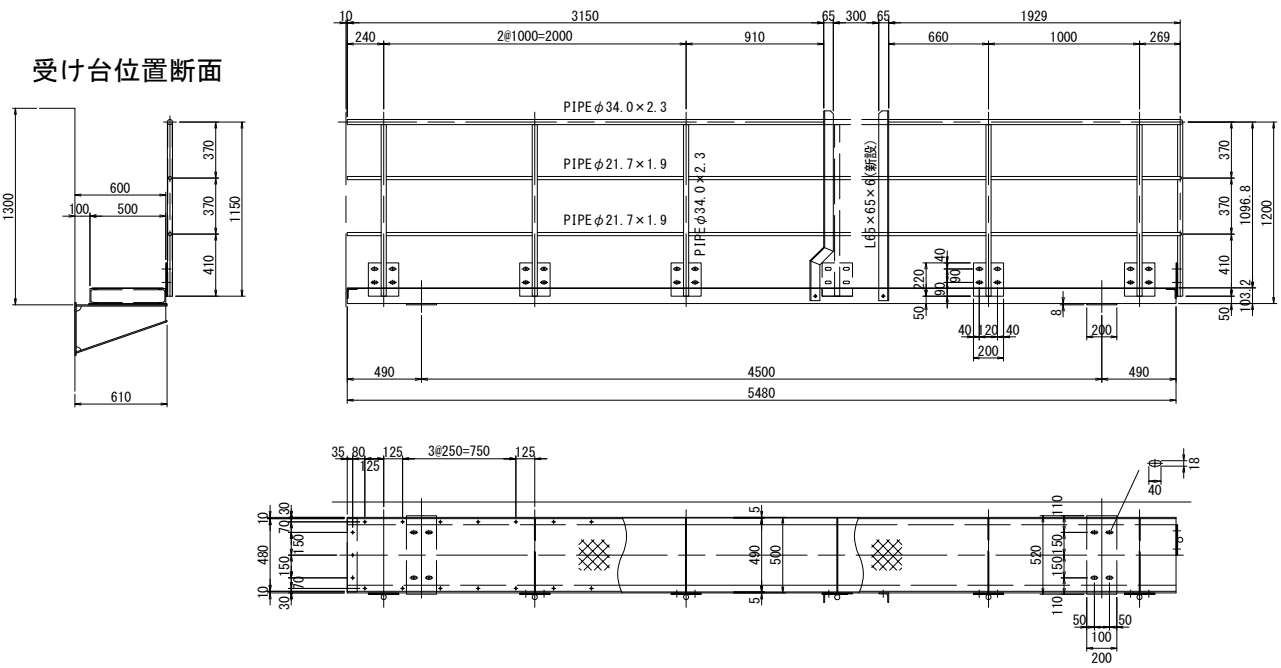
AK1-2 詳細図



AK1-3 詳細図



AK2 詳細図

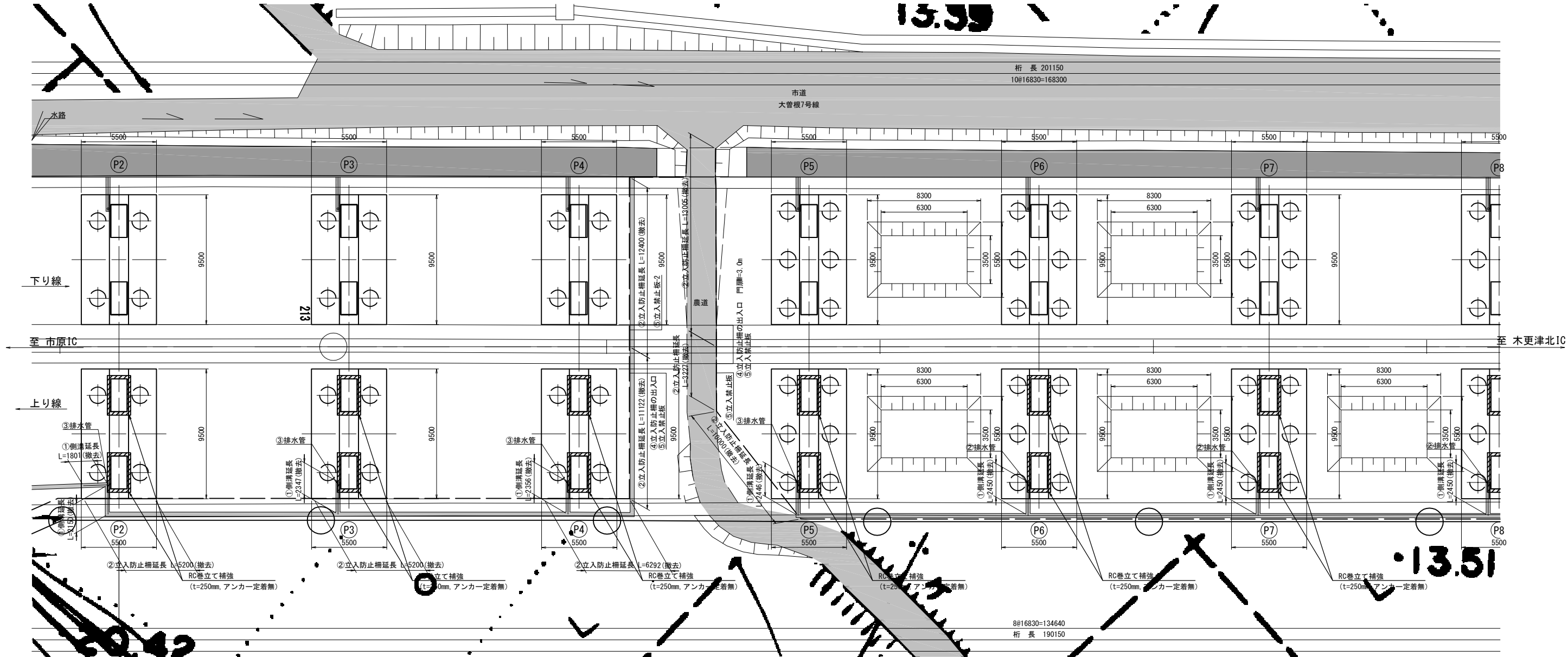


注記

- 特記なき材質は全てSS400とする。
- 特記なきスカーラップはR35とする。
- アンカーボルト埋込み部を除き、全ての部材は溶融垂鉛メッキ塗装とし、付着量は以下とする。
JIS H 8641 HDZT 77 鋼板(板厚6mm以上)
JIS H 8641 HDZT 63 鋼板(板厚3mm以上)
JIS H 8641 HDZT 56 鋼板(板厚2mm以上)
JIS H 8641 HDZT 49 アンカーボルト、ナット、ワッシャー
- アンカー削孔前には鉄筋探査を行い既設鉄筋位置を確認し、必要に応じてアンカー位置を調整すること。

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	下部工検査路復旧図(その2)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

大曽根高架橋(上り線) 付帯工 撤去図 (その1) S=1:300
平面図



P2橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	4.0	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	5.2	撤去
③	排水管	VPφ150	m	7.0	撤去

P3橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.3	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	5.2	撤去
③	排水管	VPφ150	m	7.6	撤去

P4橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	29.8	撤去
③	排水管	VPφ150	m	7.8	撤去
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	3	撤去

P5橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	26.2	撤去
③	排水管	VPφ150	m	9.8	撤去
④	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	1	撤去

P6橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.8	撤去

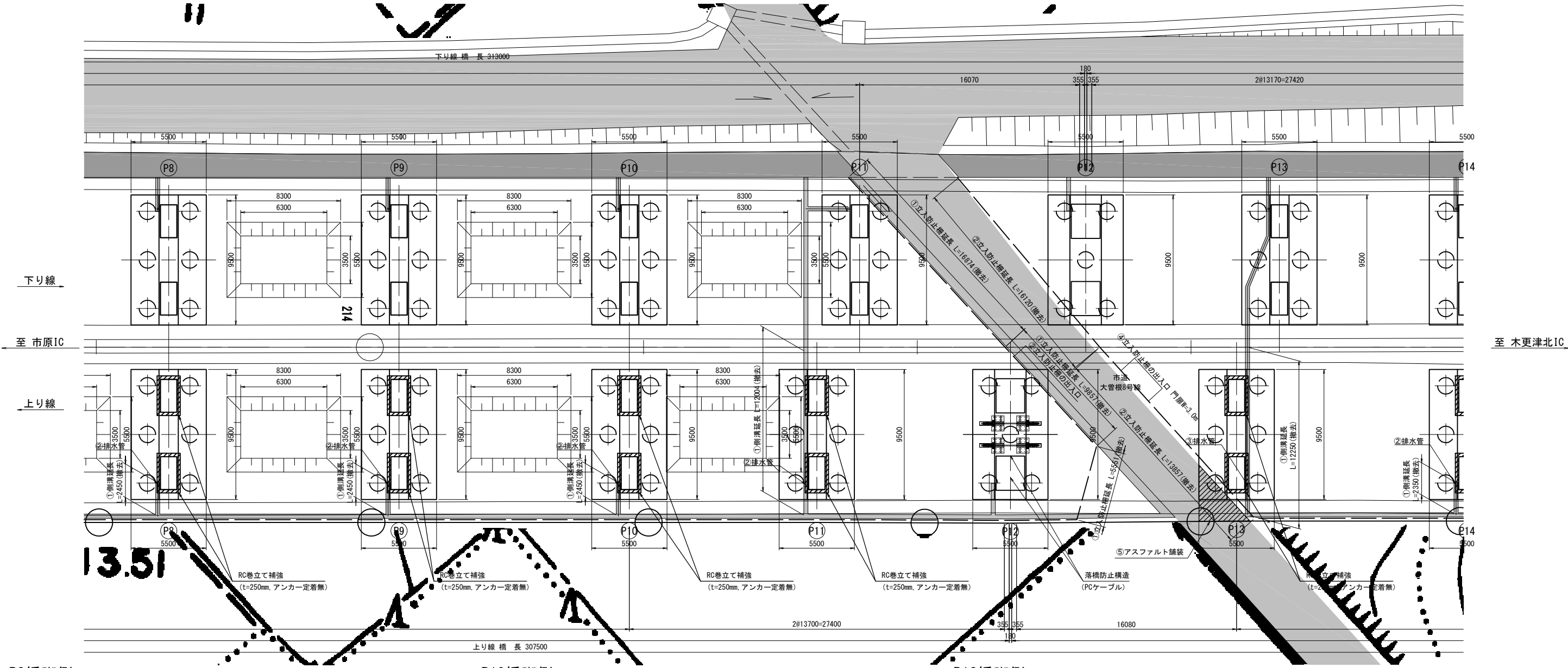
P7橋脚側

撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.6	撤去

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) 付帯工 撤去図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

平面図



P8橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.8	撤去

P10橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.3	撤去

P12橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	32.3	撤去
②	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	撤去

P9橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.3	撤去

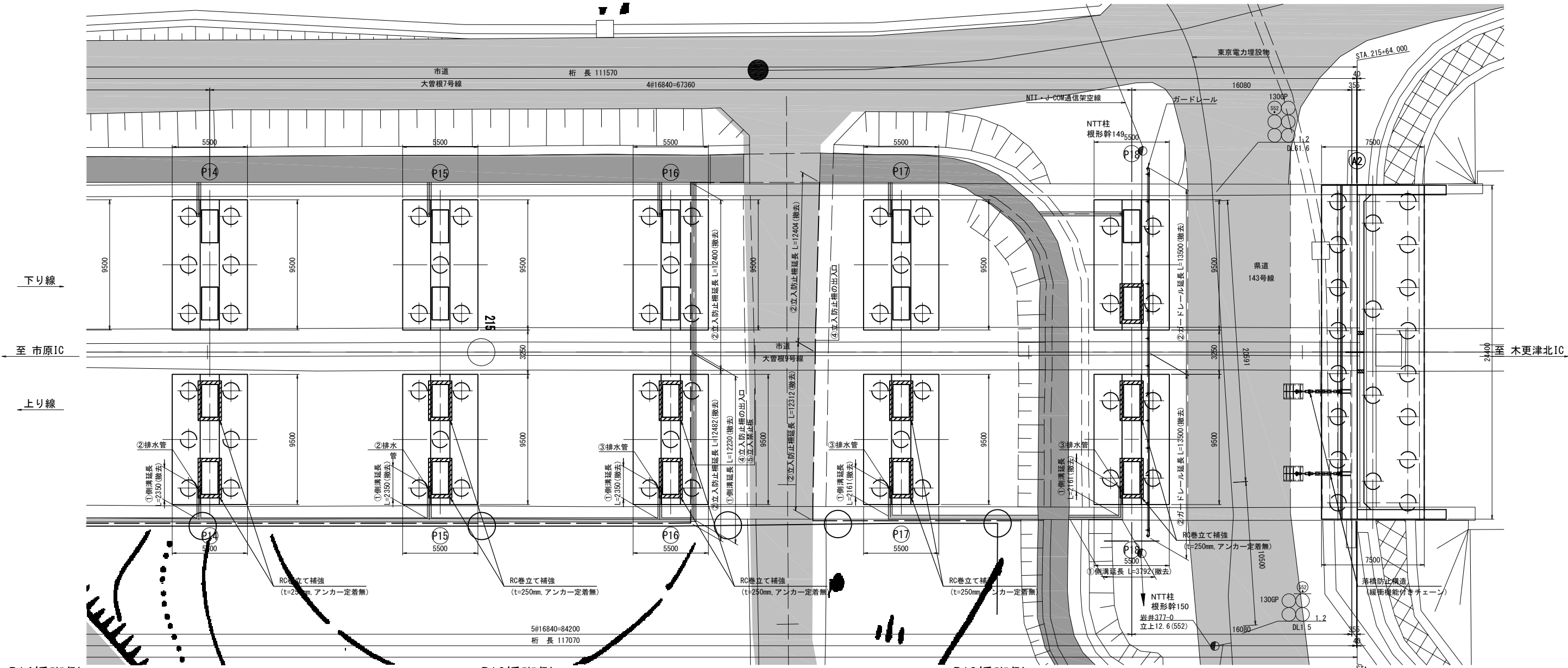
P11橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.0	撤去
②	排水管	VPφ150	m	9.5	撤去

P13橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.3	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	30.0	撤去
③	排水管	VPφ150	m	9.3	撤去
④	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	撤去
⑤	アスファルト舗装		m ²	7.9	撤去

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) 付帯工 撤去図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		



P14橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	撤去
②	排水管	VP φ150	m	9.1	撤去

P16橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	14.6	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	24.9	撤去
③	排水管	VP φ150	m	8.5	撤去
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	撤去
⑤	立入禁止板		枚	1	撤去

P18橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	6.0	撤去
②	ガードレール	Gr-C-4E	m	27.0	撤去
③	排水管	VP φ150	m	8.4	撤去

P15橋脚側
撤去数量表

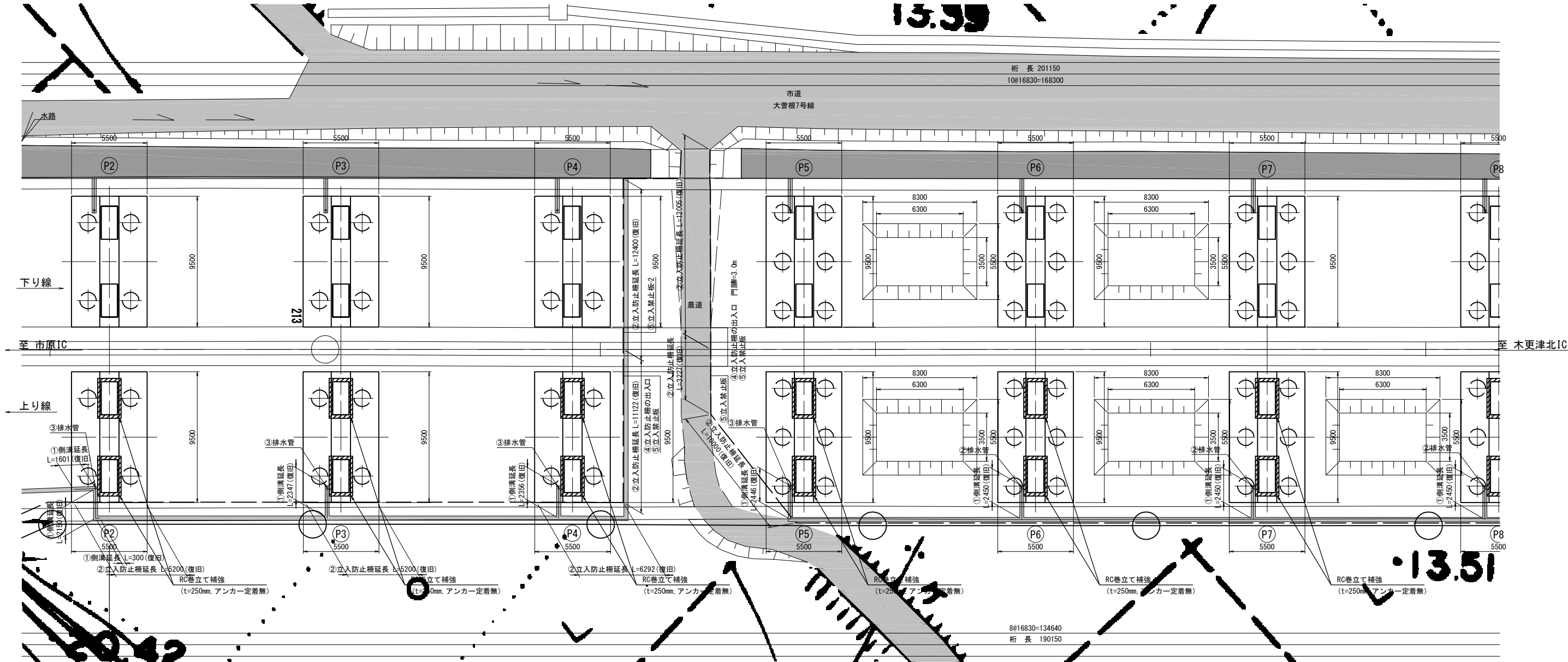
No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	撤去
②	排水管	VP φ150	m	8.4	撤去

P17橋脚側
撤去数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.2	撤去
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	24.7	撤去
③	排水管	VP φ150	m	8.5	撤去
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	撤去

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) 付帯工 撤去図 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

大曽根高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その1) S=1:300
平面図



P2橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	4.0	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	5.2	復旧
③	排水管	VPφ150	m	6.8	復旧

P3橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.3	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	5.2	復旧
③	排水管	VPφ150	m	7.4	復旧

P4橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	29.8	復旧
③	排水管	VPφ150	m	7.6	復旧
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	3	復旧

P5橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	26.2	復旧
③	排水管	VPφ150	m	9.6	復旧
④	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	1	復旧

P6橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	復旧
②	排水管	VPφ150	m	9.6	復旧

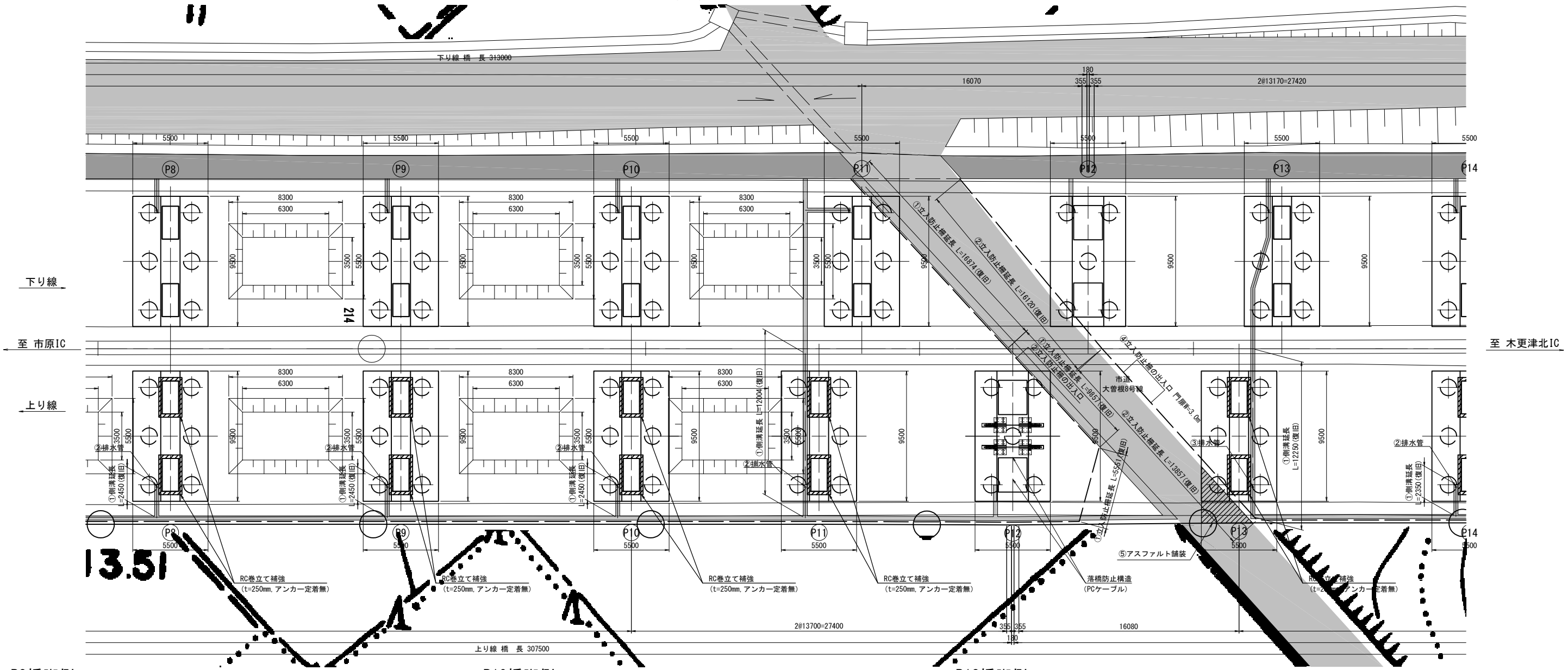
P7橋脚側

復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	復旧
②	排水管	VPφ150	m	9.4	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その1)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

平面図



P8橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	復旧
②	排水管	VPφ150	m	9.6	復旧

P10橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	復旧
②	排水管	VPφ150	m	9.1	復旧

P9橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.5	復旧
②	排水管	VPφ150	m	9.1	復旧

P11橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.0	復旧
②	排水管	VPφ150	m	9.3	復旧

P12橋脚側
復旧数量表

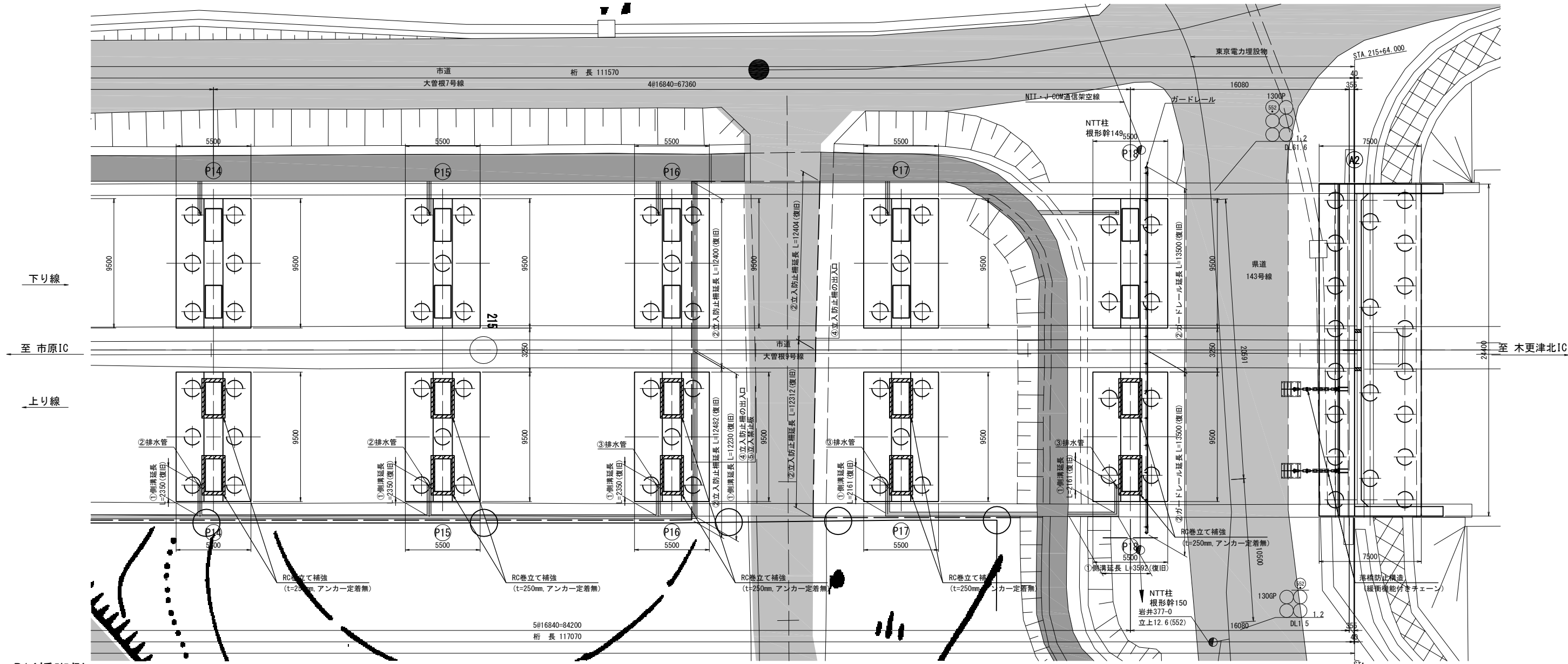
No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	立入防止柵		m	32.3	復旧
②	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	復旧

P13橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	12.3	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	30.0	復旧
③	排水管	VPφ150	m	9.1	復旧
④	立入防止柵の出入口	門扉W=3.0m	箇所	1	復旧
⑤	アスファルト舗装		m ²	7.9	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その2)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

大曽根高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その3) S=1:300
平面図



P14橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	復旧
②	排水管	VPφ150	m	8.9	復旧

P15橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.4	復旧
②	排水管	VPφ150	m	8.2	復旧

P16橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	14.6	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	24.9	復旧
③	排水管	VPφ150	m	8.3	復旧
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	復旧
⑤	立入禁止板		枚	1	復旧

P17橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	2.2	復旧
②	立入防止柵	一般型非積雪地用	m	24.7	復旧
③	排水管	VPφ150	m	8.3	復旧
④	立入防止柵の出入口	一般型非積雪地用	箇所	1	復旧

P18橋脚側
復旧数量表

No.	名称	規格	単位	数量	備考
①	側溝	Ds-PuL・0.30・0.30	m	6.0	復旧
②	ガードレール	Gr-C-4E	m	27.0	復旧
③	排水管	VPφ150	m	8.2	復旧

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) 付帯工 再設置図 (その3)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

1 - 1



3 - 3



2 - 2



仮設排水管詳細図

DV用ソケット

(mm)

高密度ポリエチレン管



4

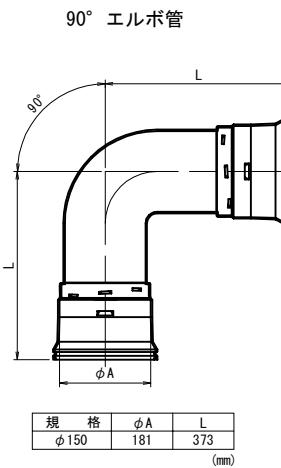
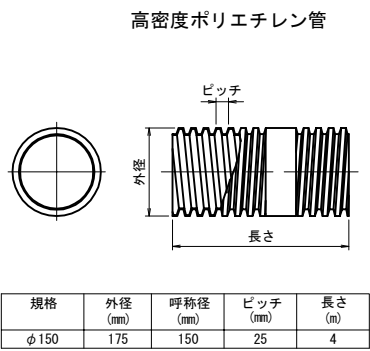
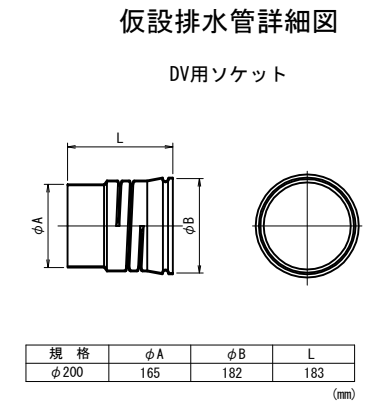
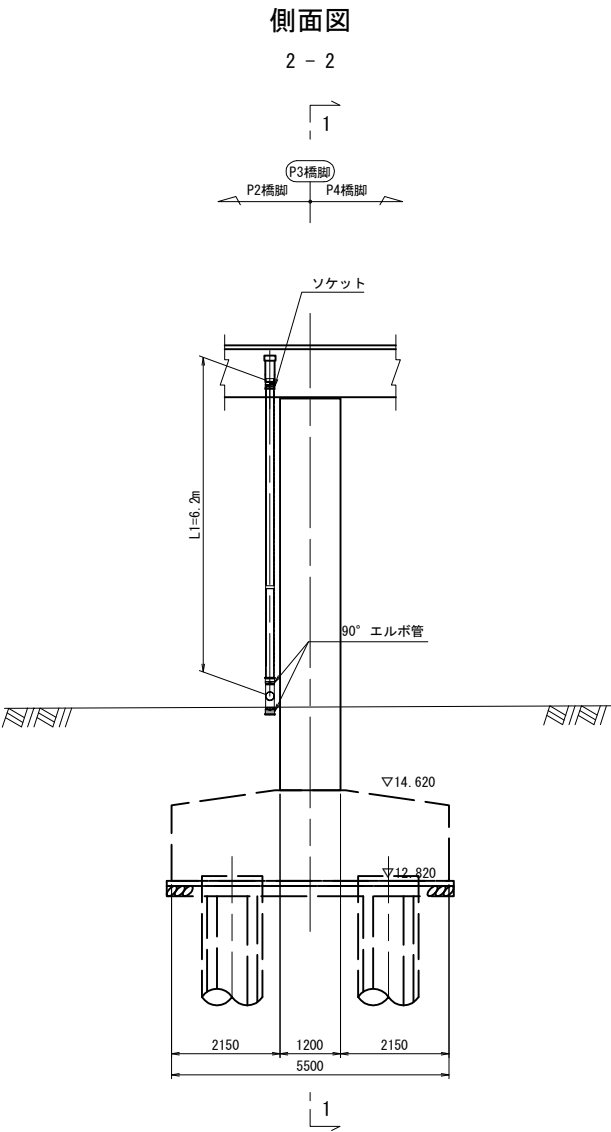
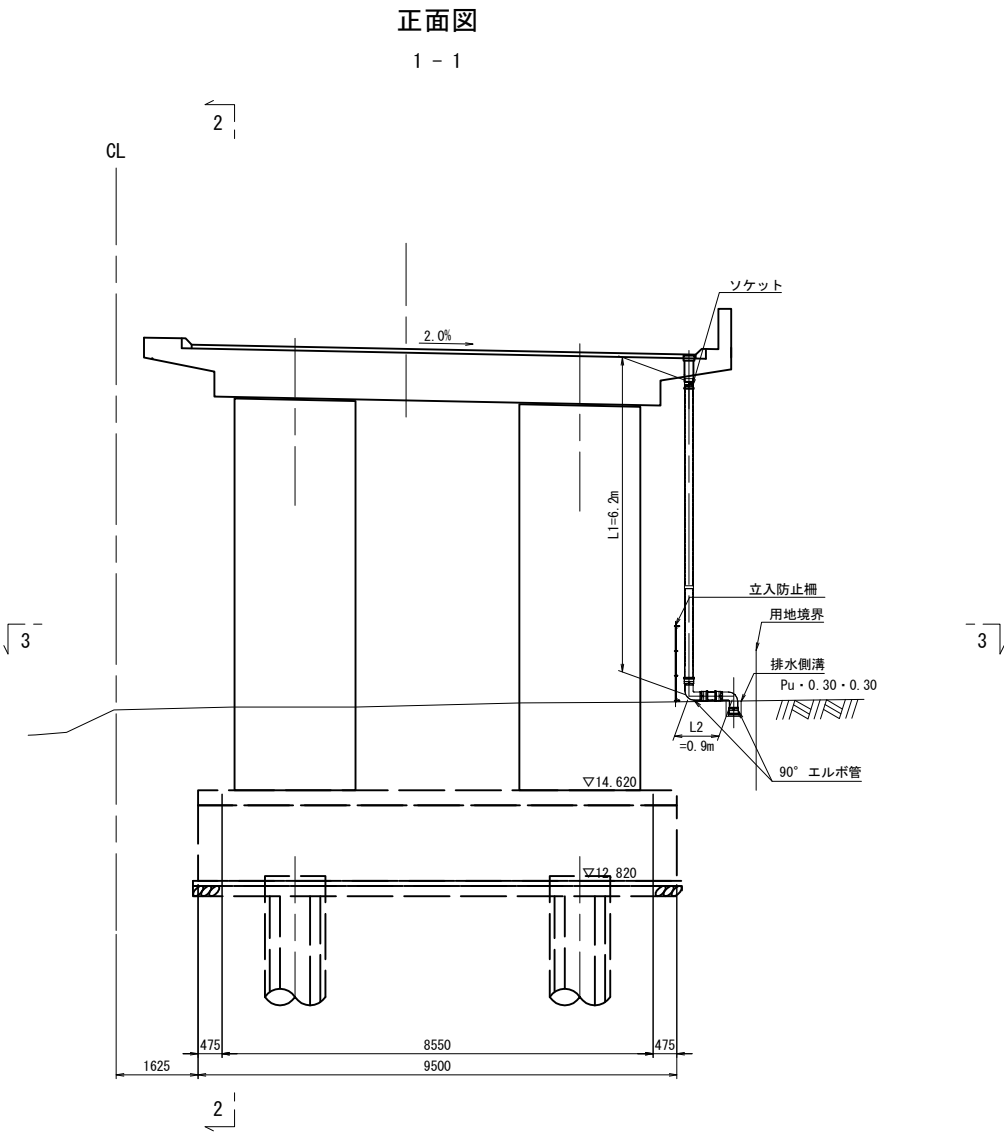
90° エルボ管

)

仮設排水管数量表

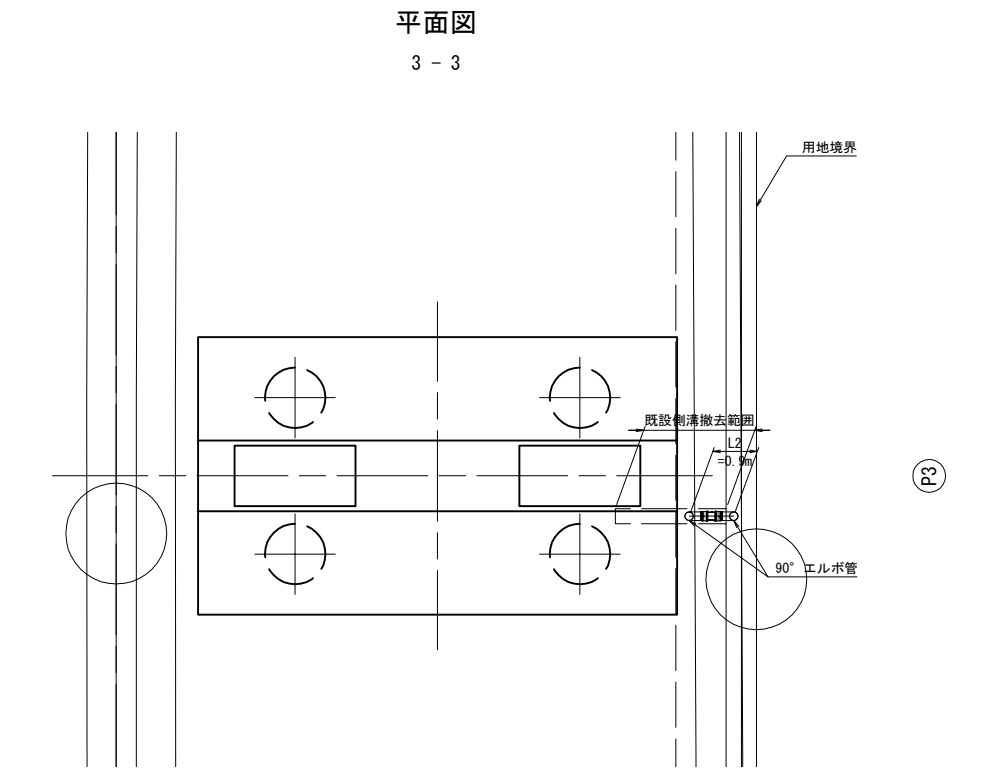
90	エルネスト	アグロ
	(個)	(個)
	2	1

<p align="center">館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事</p>		
図面の種類	<p align="center">大曽根高架橋(上り線) P2橋脚 仮排水管設置図 (参考図)</p>	
縮 尺	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所	
施工会社名		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所	



仮設排水管数量表

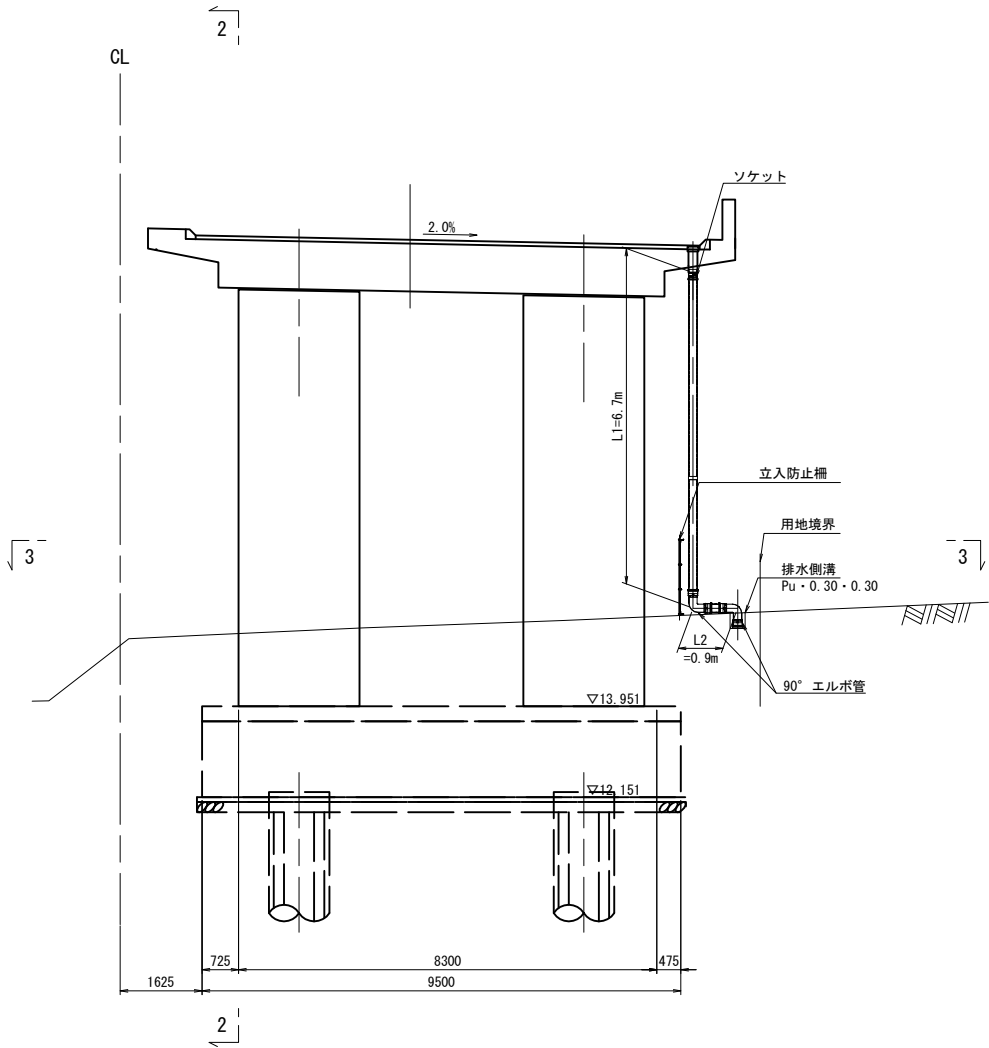
L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90°エルボ管 (個)	ソケット (個)
6.2	0.9	7.1	2	1



館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P3橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

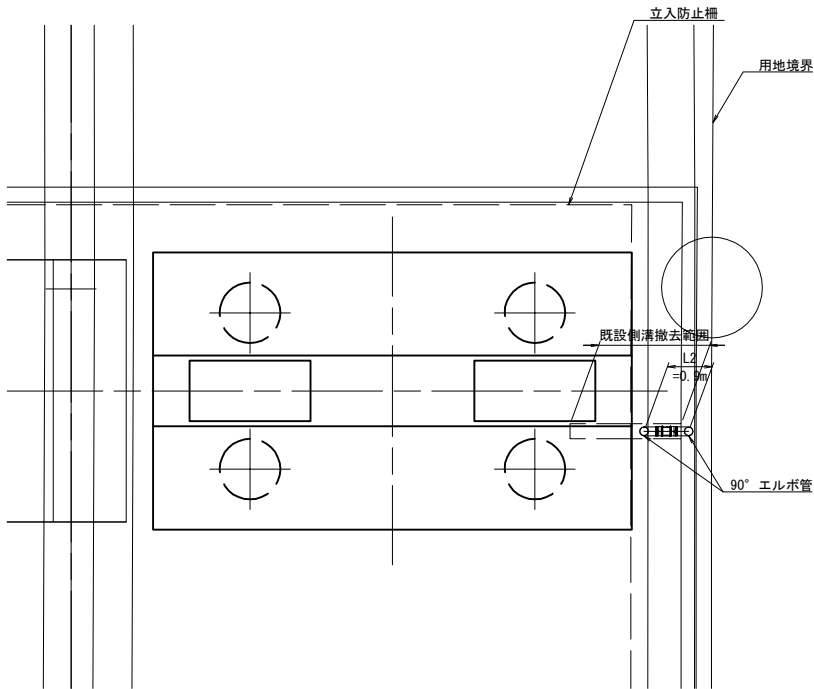
正面図

1 - 1



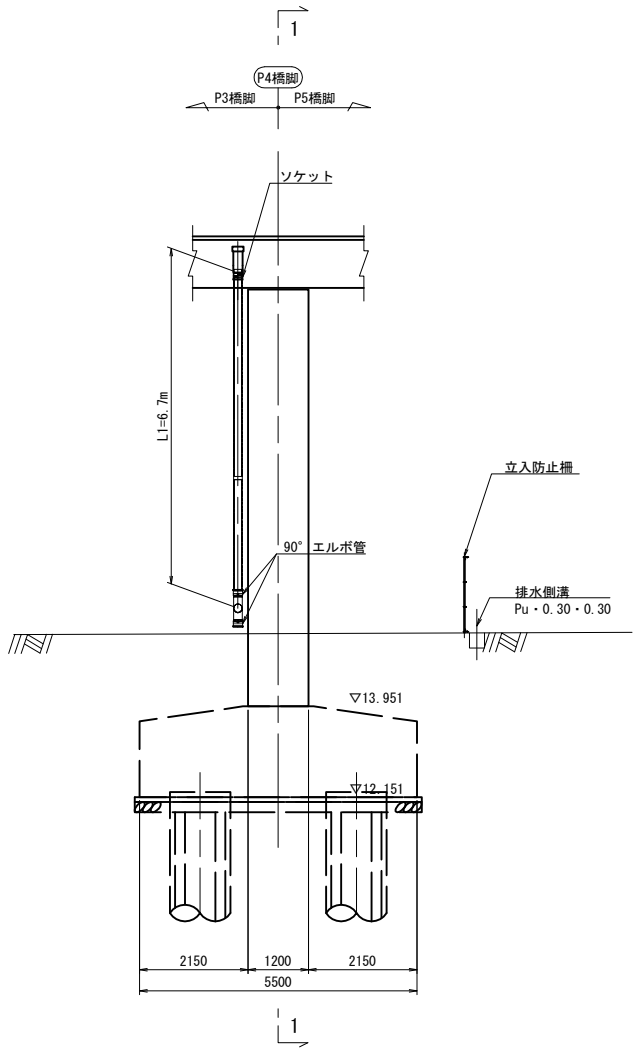
平面図

3 - 3



側面図

2 - 2

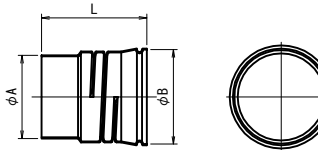


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	Σ L (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
6.7	0.9	7.6	2	1

仮設排水管詳細図

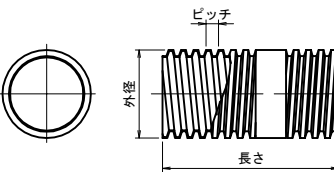
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

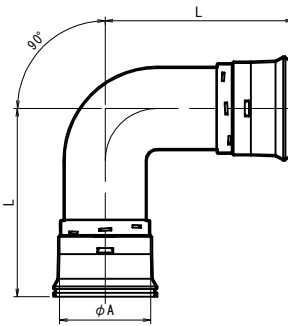
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) P4橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	市原管理事務所		

1 - 1



3 - 3



2 - 2

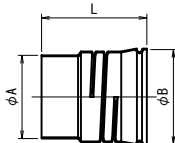


仮設排水管数量表

L1	L2	ΣL	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
8.4	1.0	9.4	2	1

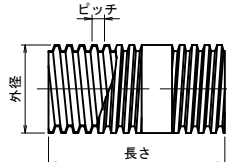
假設排水管詳細圖

DV用ソケット



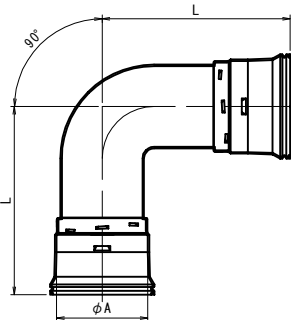
(continued)

高密度ポリエチレン^①



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

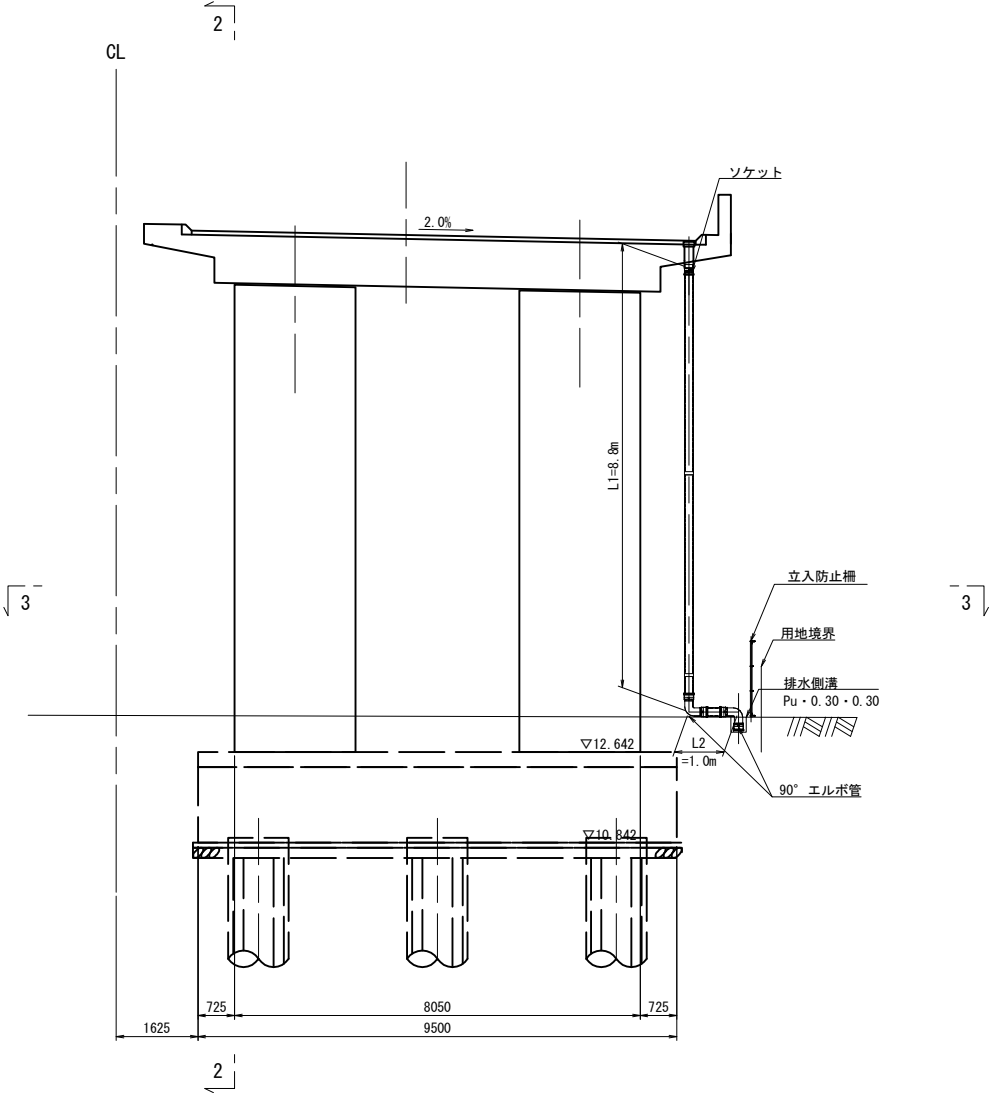
90° エルボ管



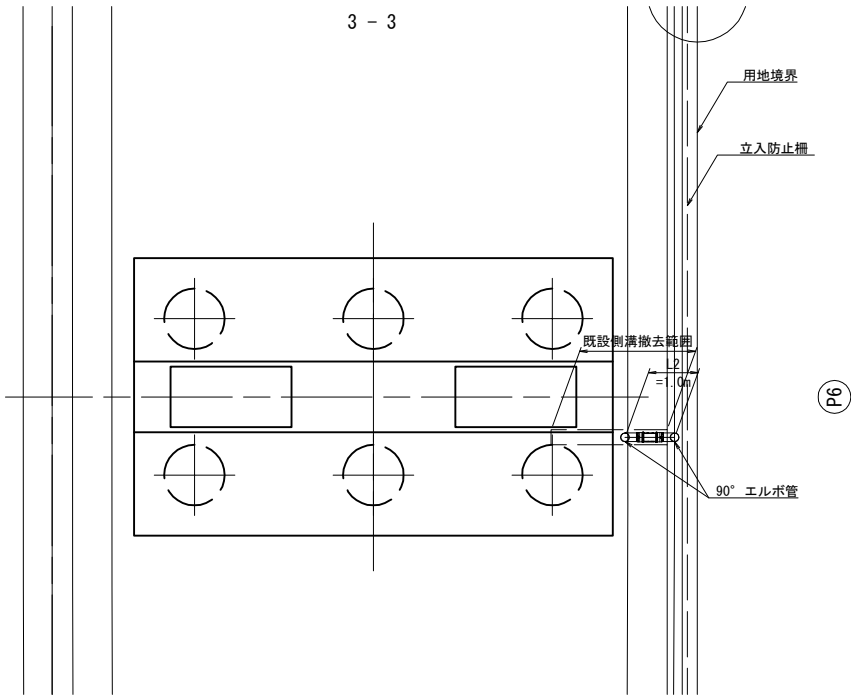
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) P5橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮 尺	図式	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 支店 館 理 事 所		

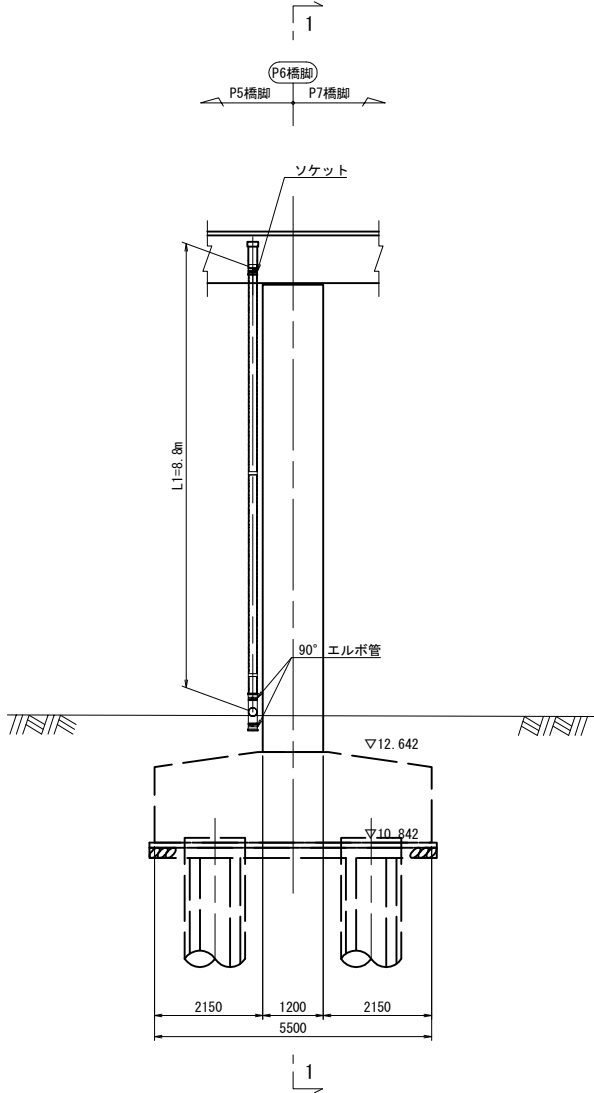
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

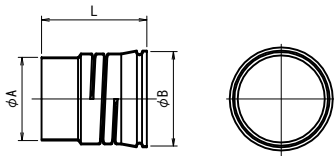


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
8.8	1.0	9.8	2	1

仮設排水管詳細図

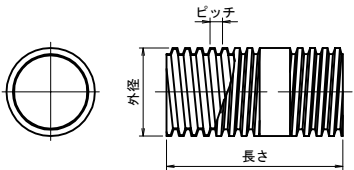
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

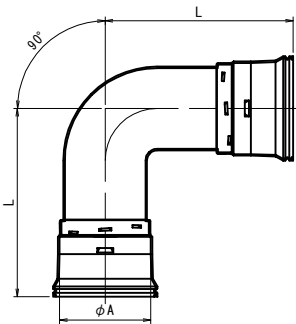
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ビッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管

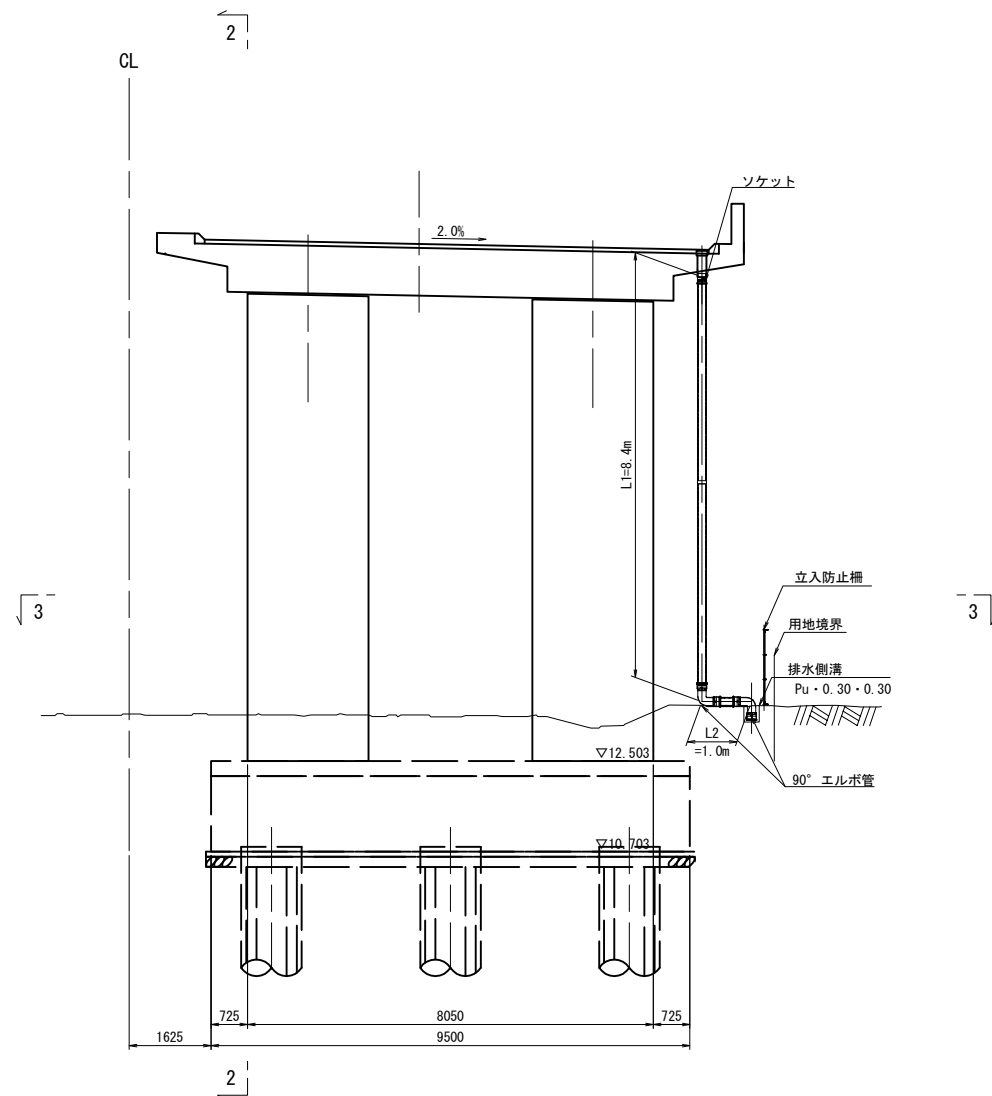


規格	φA	L
φ150	181	373

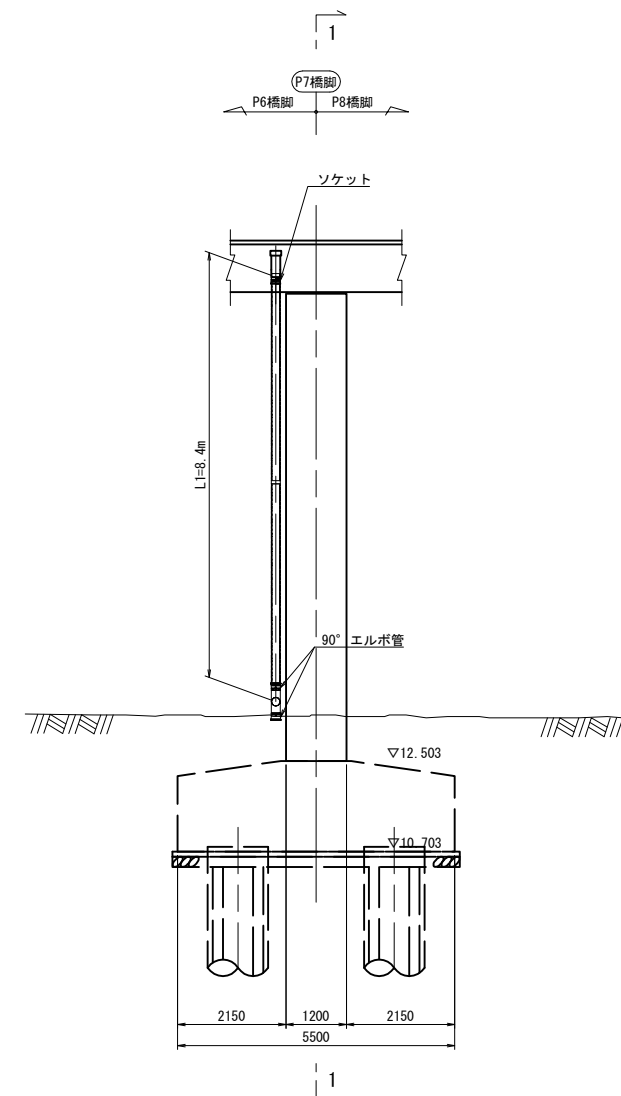
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P6橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

正面図
1 - 1

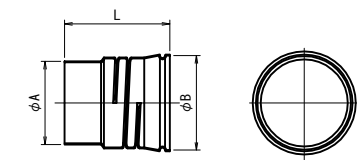


側面図
2 - 2



仮設排水管詳細図

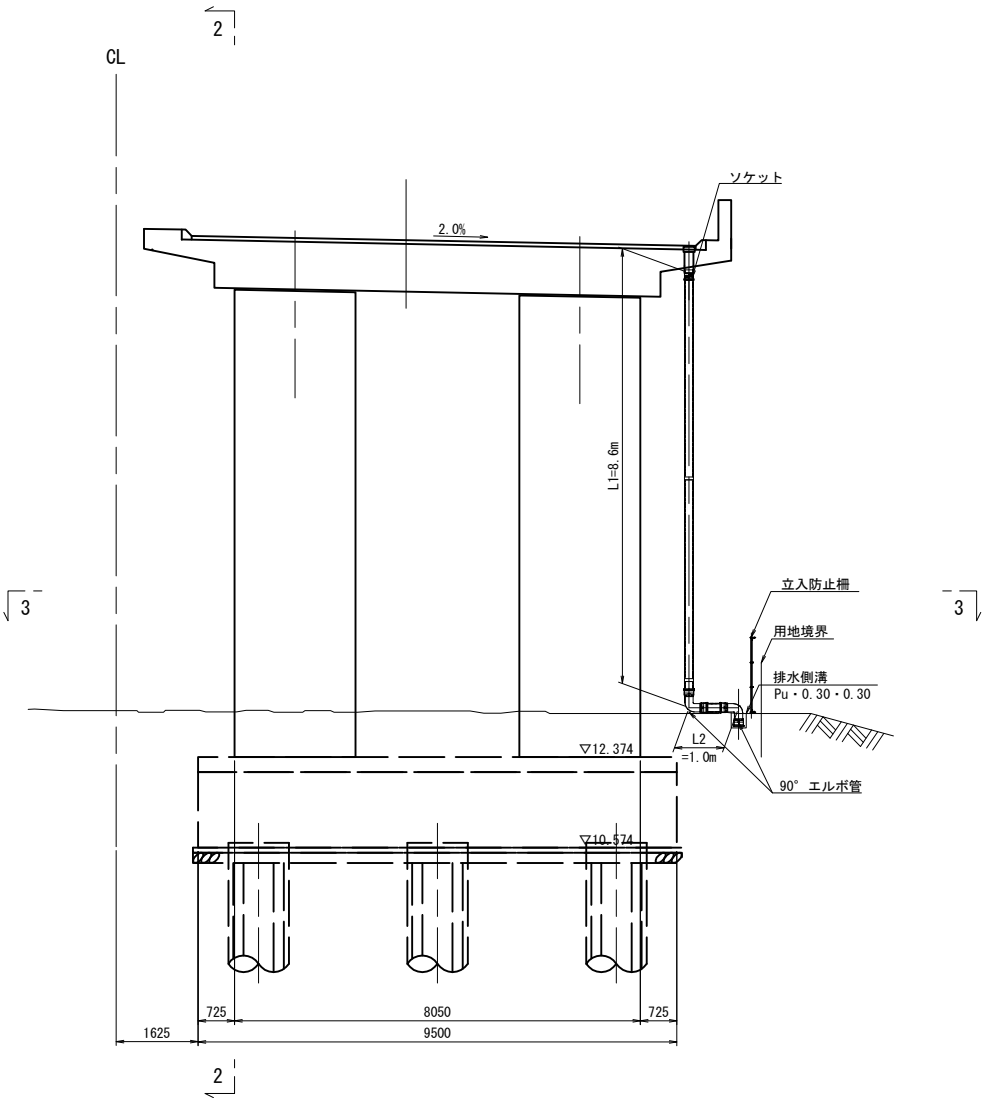
DV用ソケット



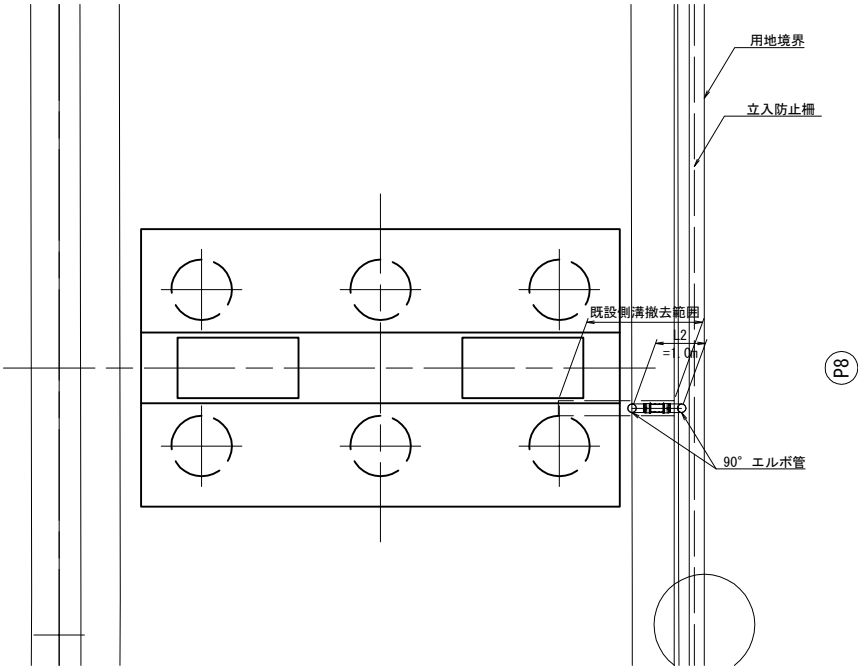
規 格	ϕA	ϕB	L
$\phi 200$	165	182	183

(mm)

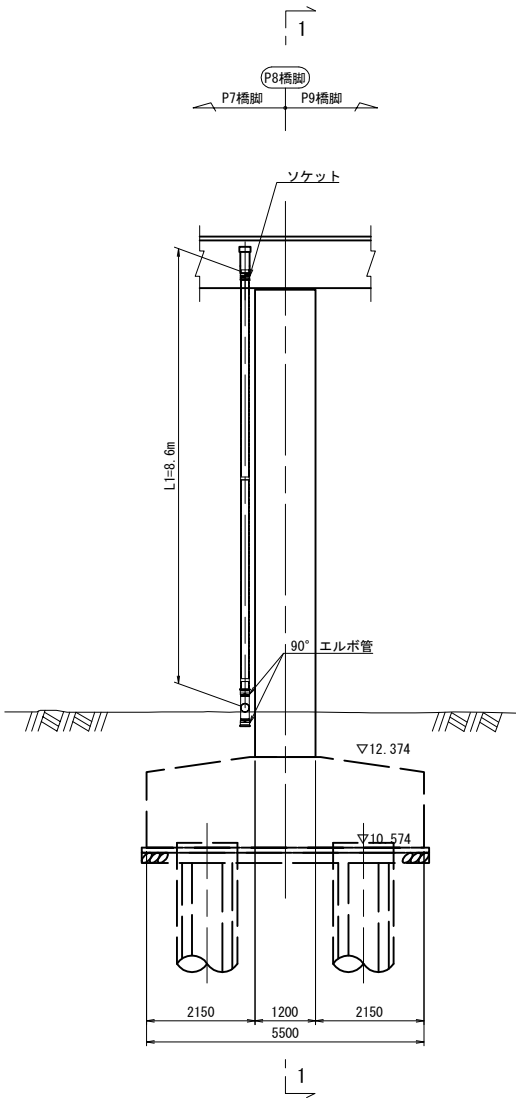
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

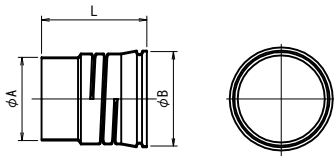


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	Σ L (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
8.6	1.0	9.6	2	1

仮設排水管詳細図

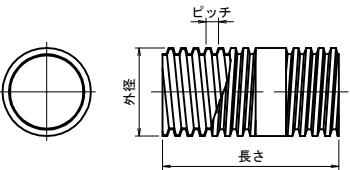
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

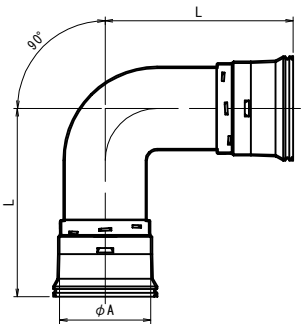
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼び径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管

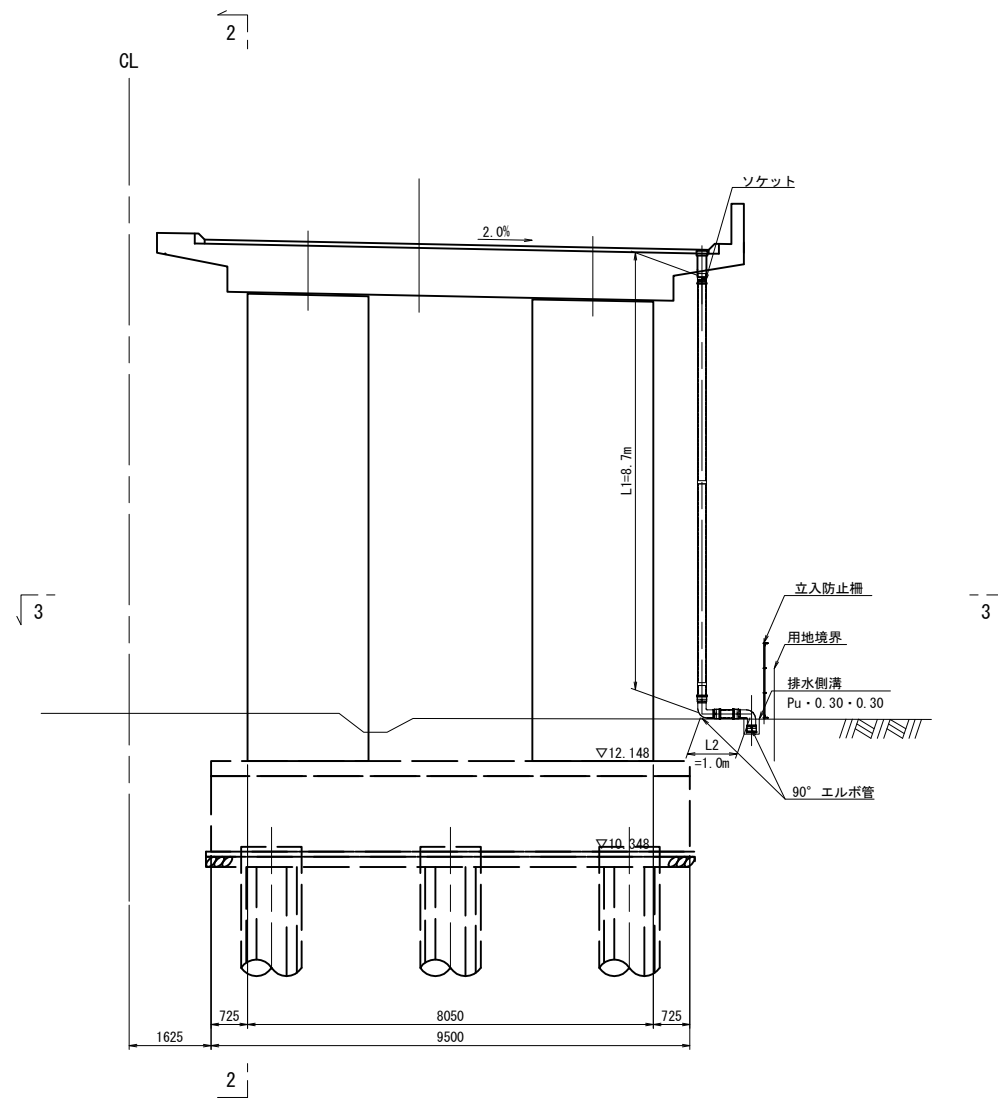


規格	φA	L
φ150	181	373

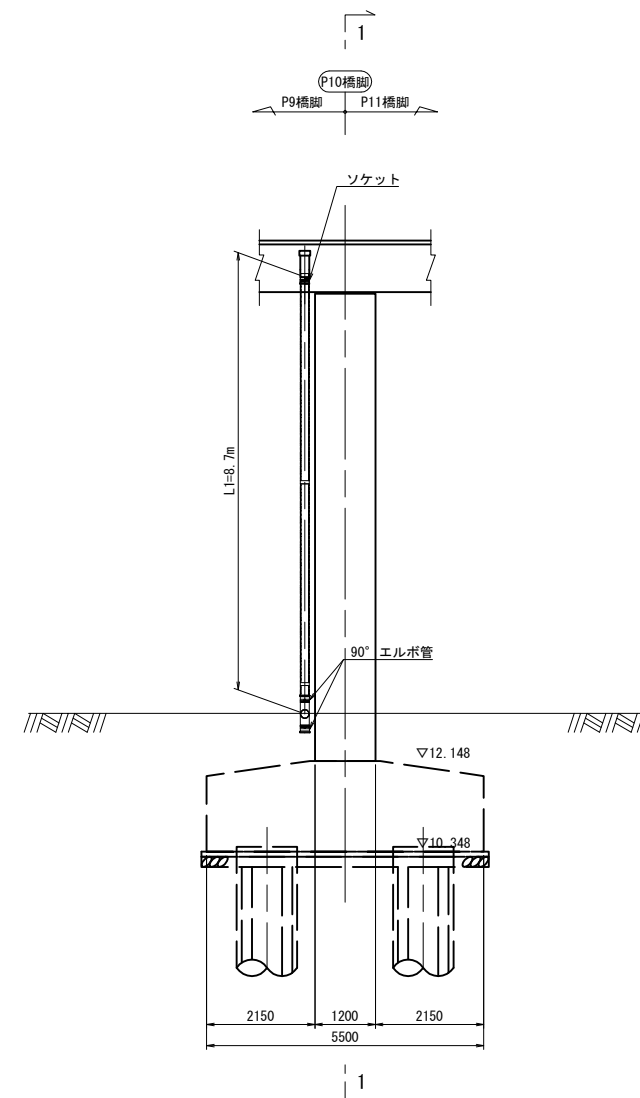
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P8橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

正面図
1 - 1

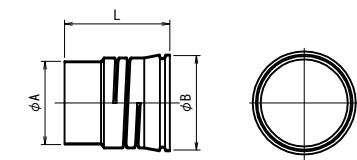


側面図
2 - 2



仮設排水管詳細図

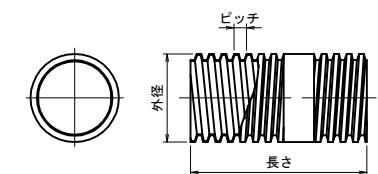
DV用ソケット



規 格	ϕA	ϕB	L
$\phi 200$	165	182	183

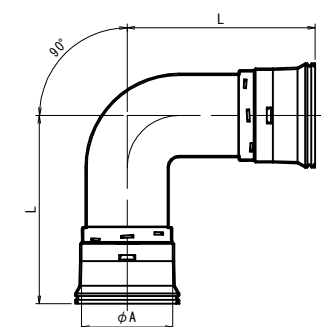
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管

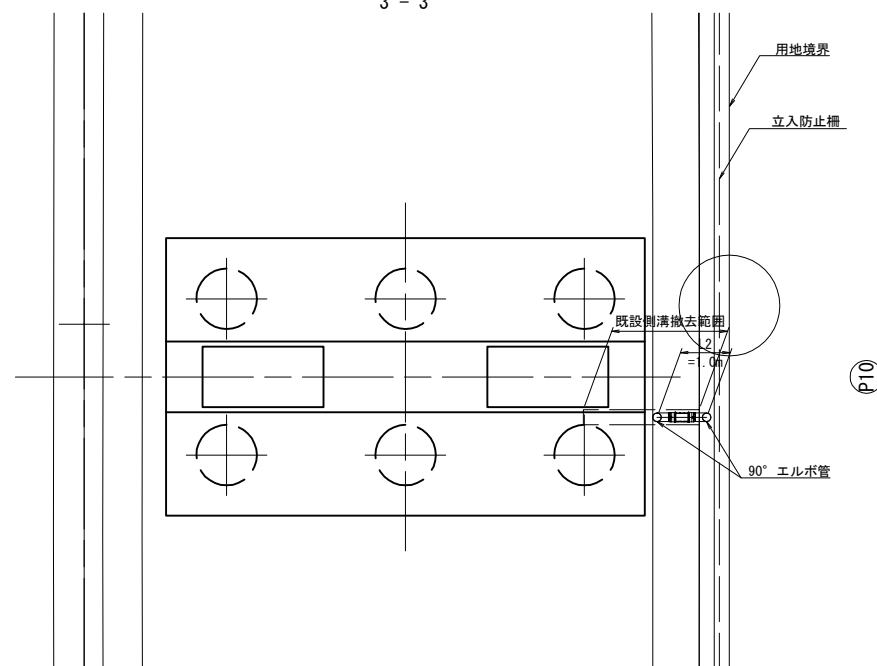


規 格	ϕA	L
$\phi 150$	181	373

(mm)

平面図

3 - 3



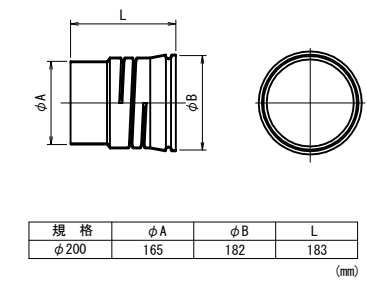
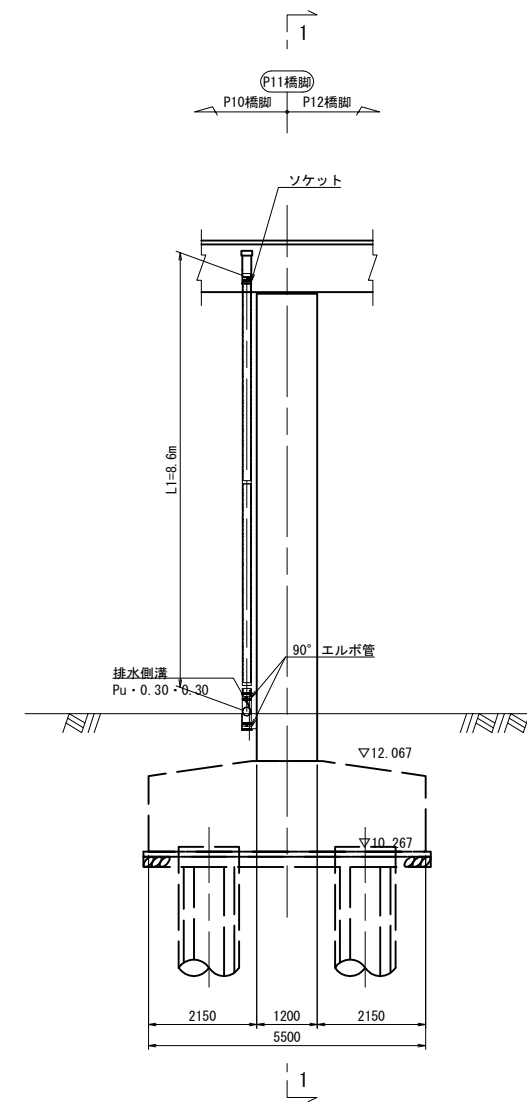
仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	Σ L (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
8.7	1.0	9.7	2	1

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大管根高架橋(上り線) P10橋脚 排水水管設置図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

側面図
2 - 2

DV用ソケット



Technical drawing of a spiral spring. The left view is a cross-section showing two concentric circles. The right view is a side elevation showing the helical coils. Labels include 'ピッチ' (Pitch) for the distance between adjacent coils, '外径' (Outer Diameter) for the maximum diameter of the coils, and '長さ' (Length) for the total length of the spring.

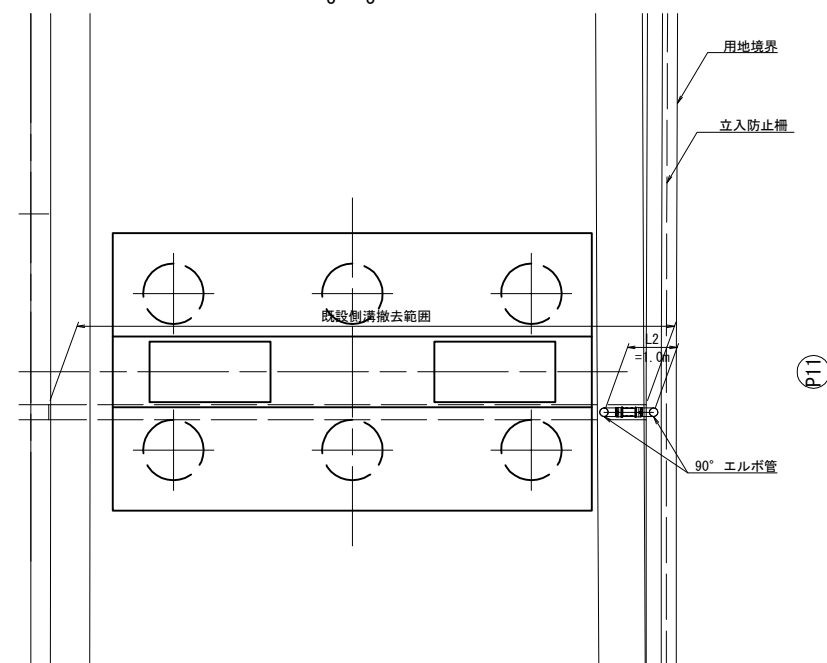
規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

規 格	ϕA	L
$\phi 150$	181	373

(mm)

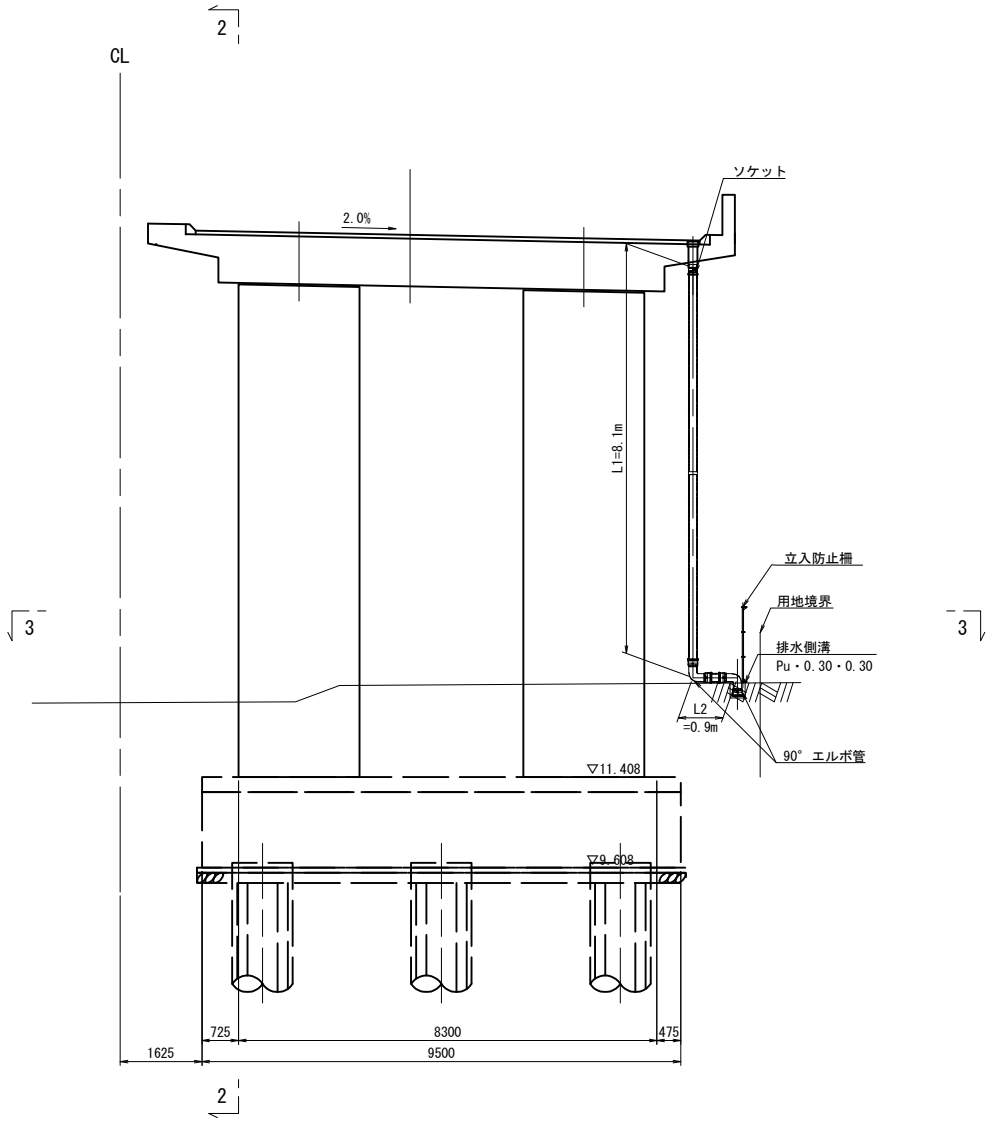
仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	Σ L (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
8.6	1.0	9.6	2	1

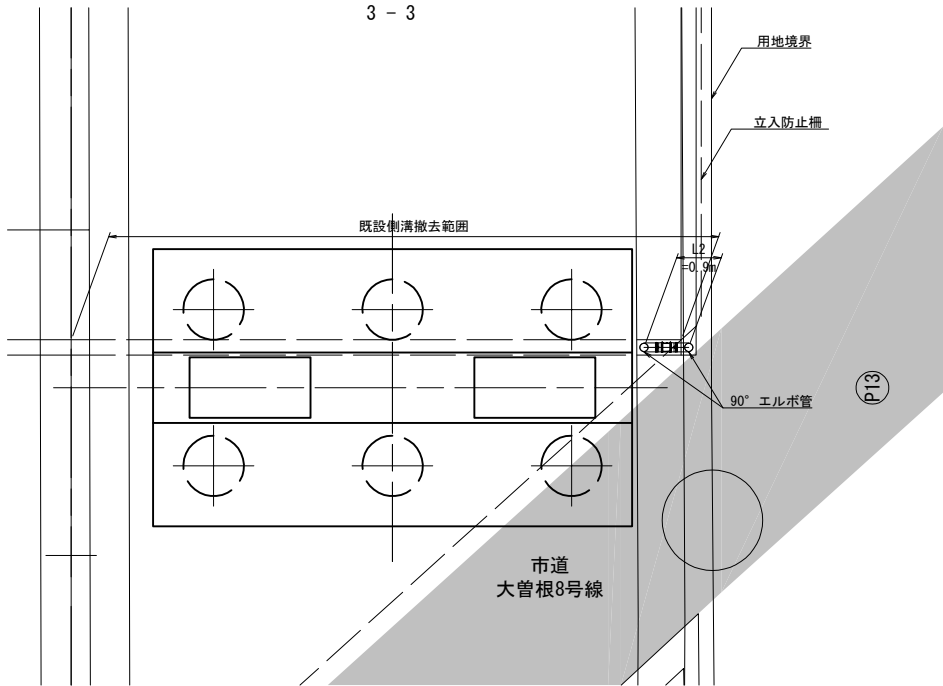


館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
大曽根高架橋(上り線)			
図面の種類	P11橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

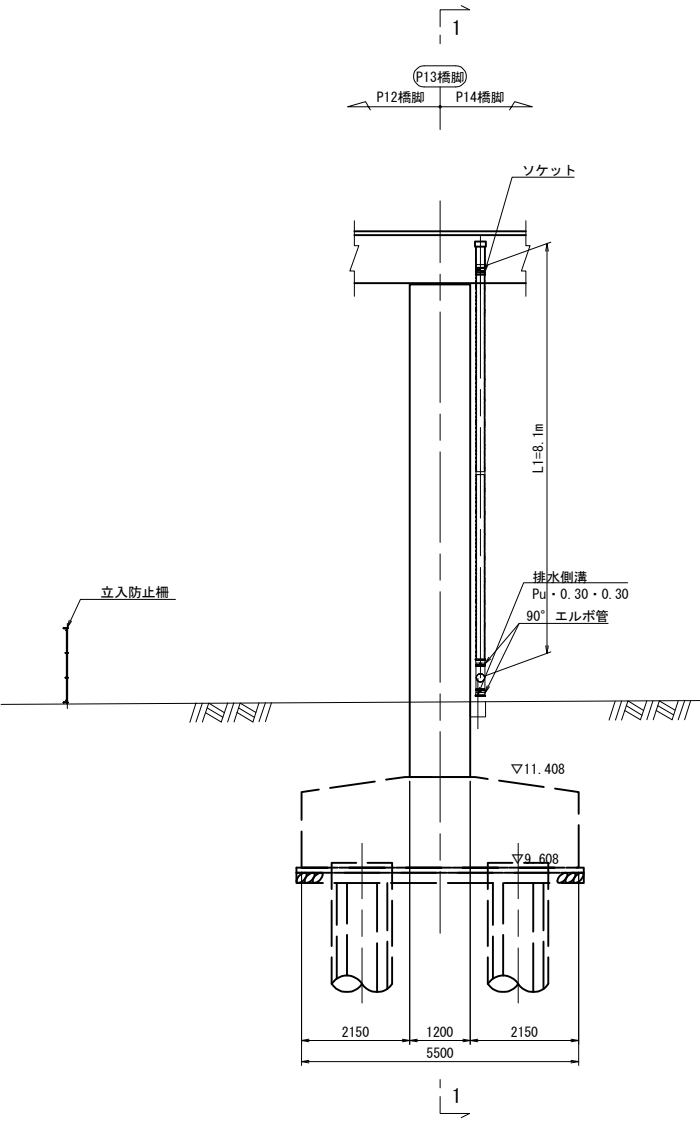
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

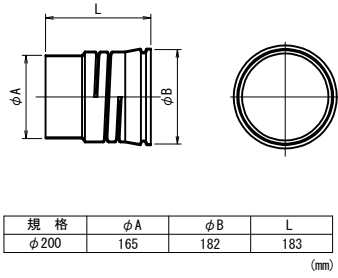


仮設排水管数量表

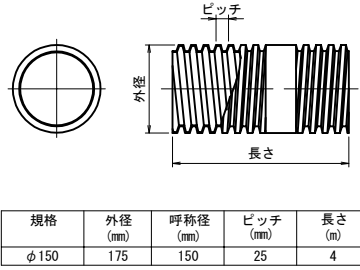
L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90°エルボ管 (個)	ソケット (個)
8.1	0.9	9.0	2	1

仮設排水管詳細図

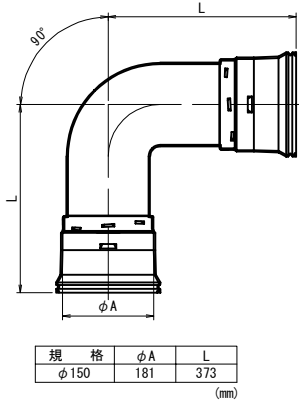
DV用ソケット



高密度ポリエチレン管

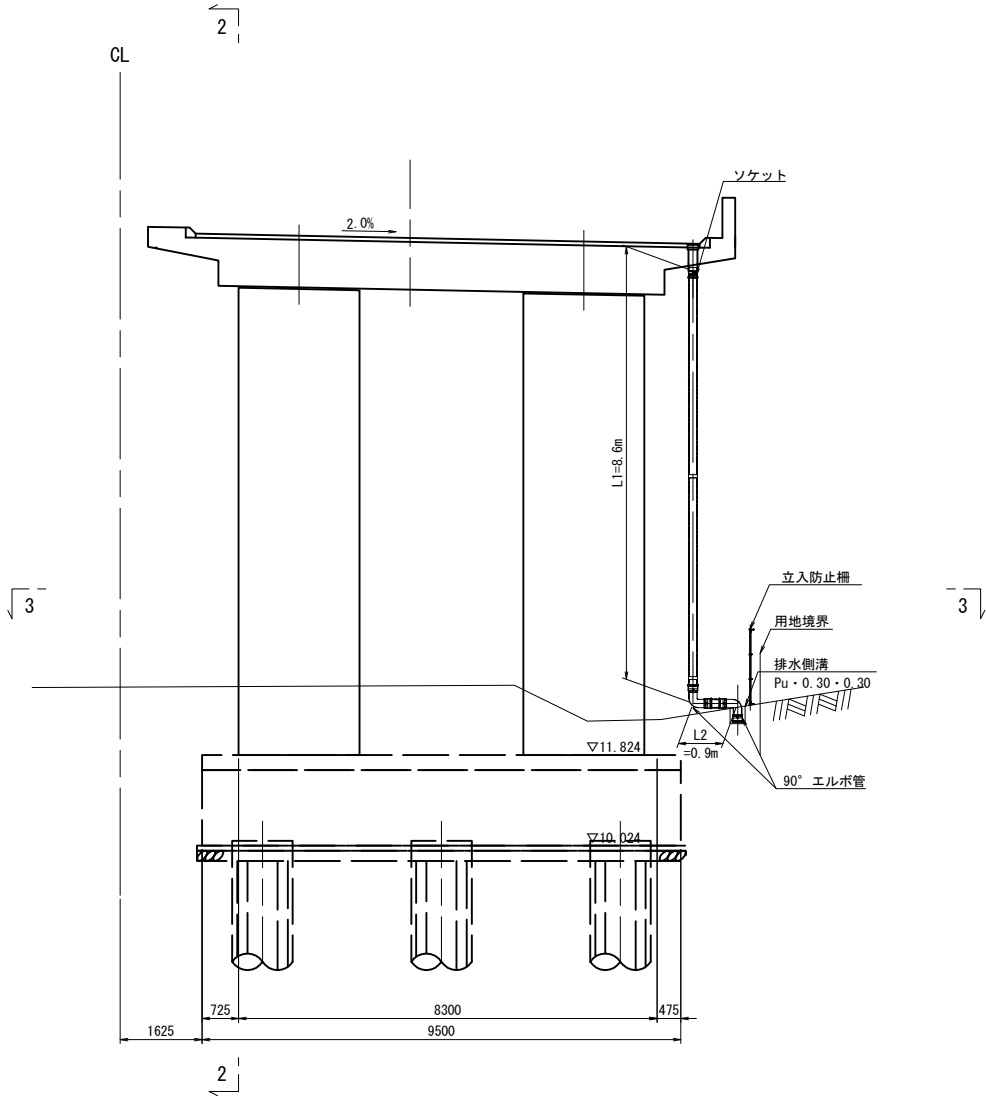


90°エルボ管

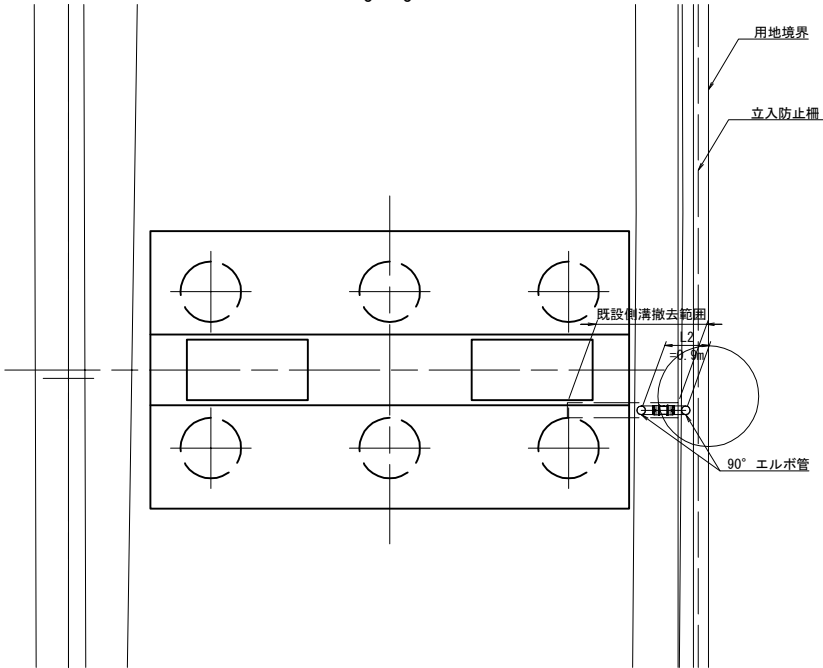


館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P13橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

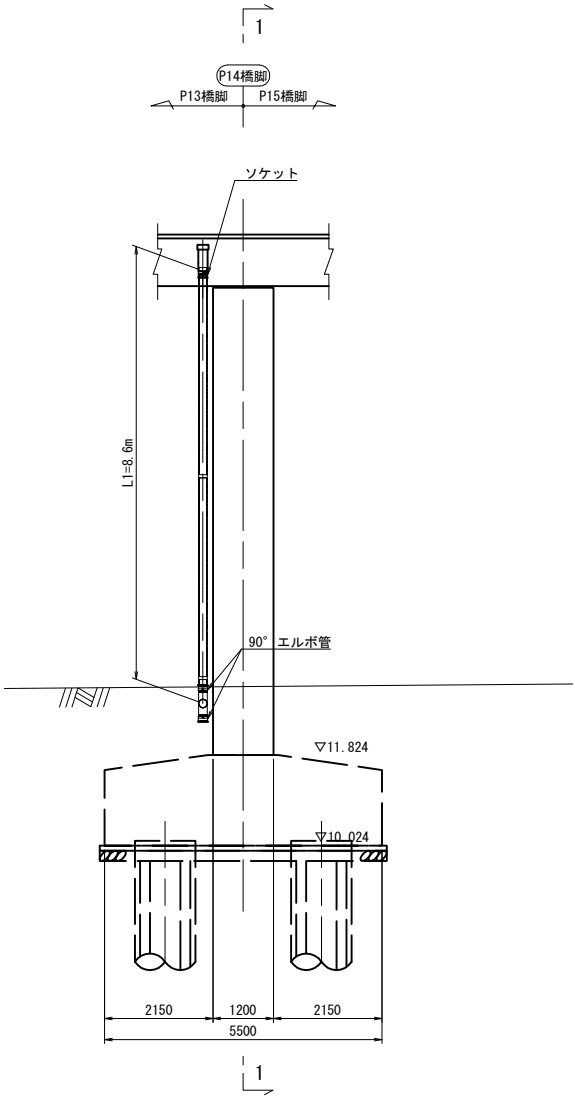
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

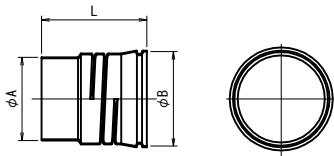


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90°エルボ管 (個)	ソケット (個)
8.6	0.9	9.5	2	1

仮設排水管詳細図

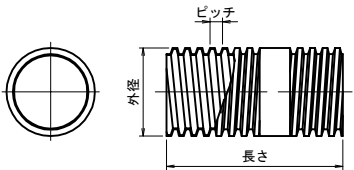
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

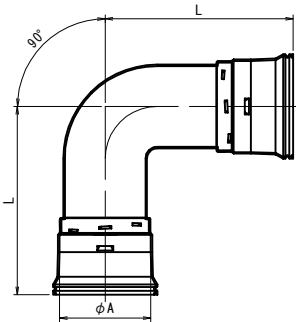
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90°エルボ管

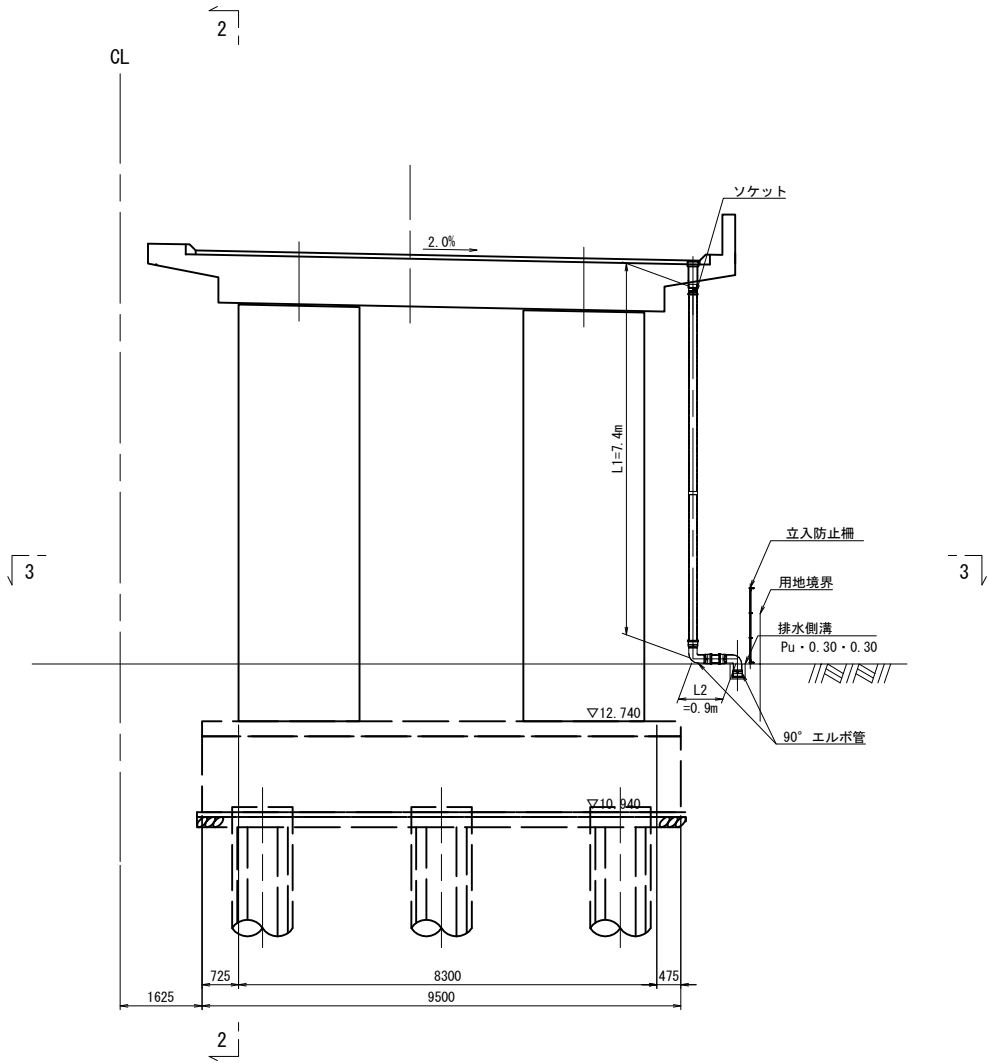


規格	φA	L
φ150	181	373

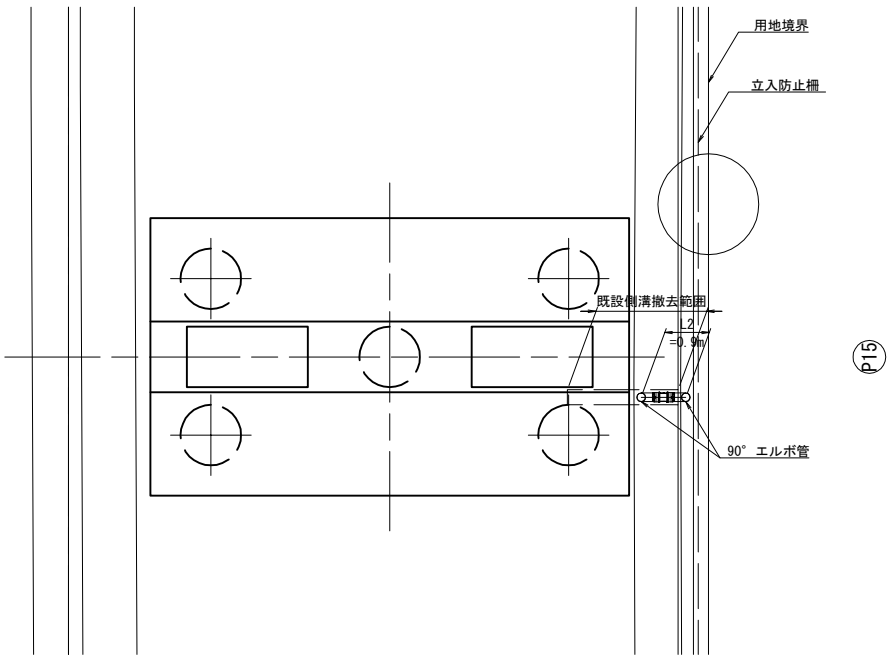
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P14橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

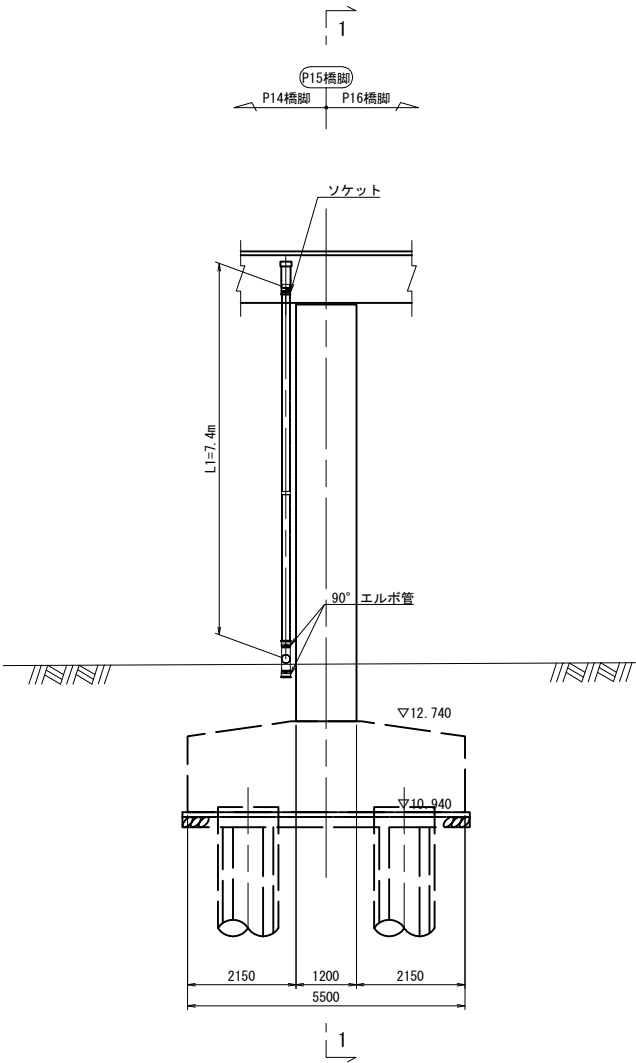
正面図
1 - 1



平面図
3 - 3



側面図
2 - 2

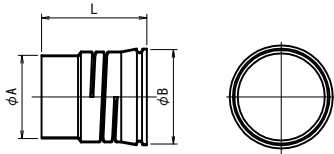


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	Σ L (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
7.4	0.9	8.3	2	1

仮設排水管詳細図

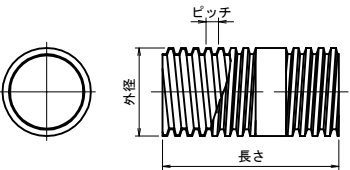
DV用ソケット



規 格	φ A	φ B	L
φ 200	165	182	183

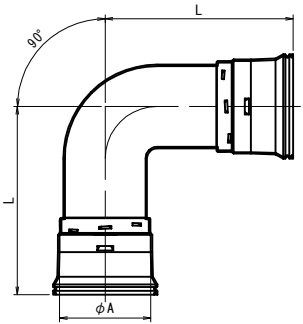
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ 150	175	150	25	4

90° エルボ管

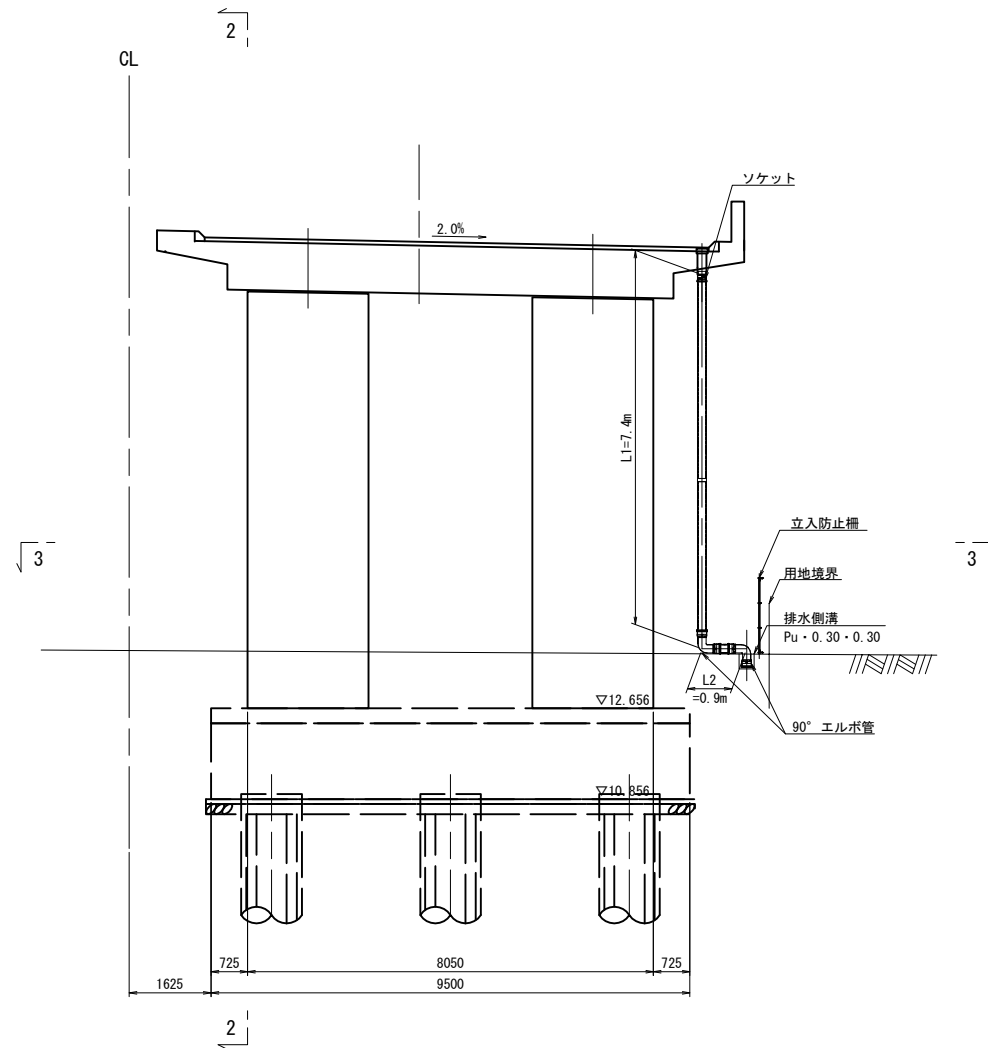


規 格	φ A	L
φ 150	181	373

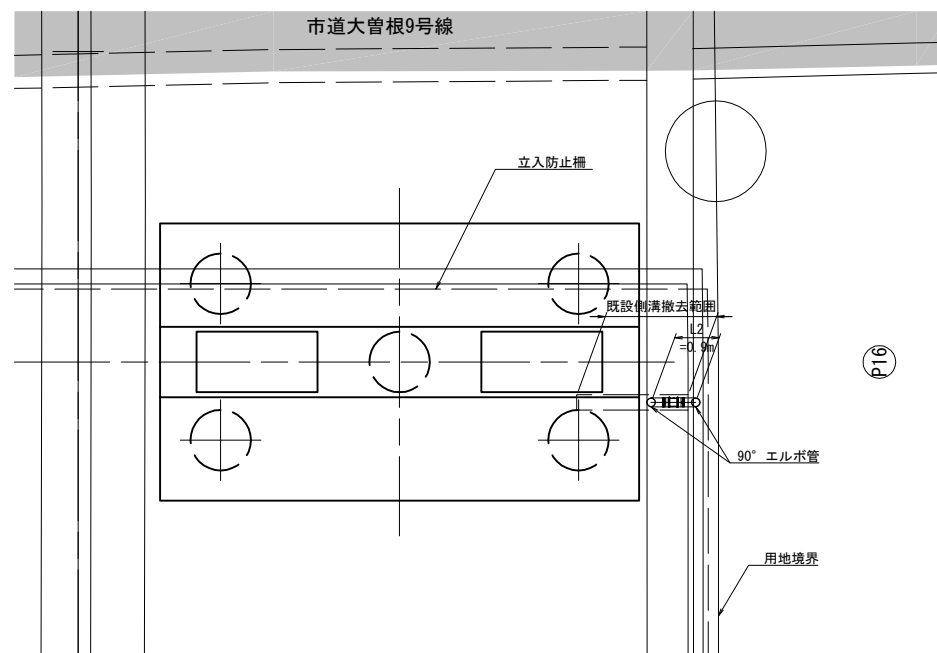
(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P15橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

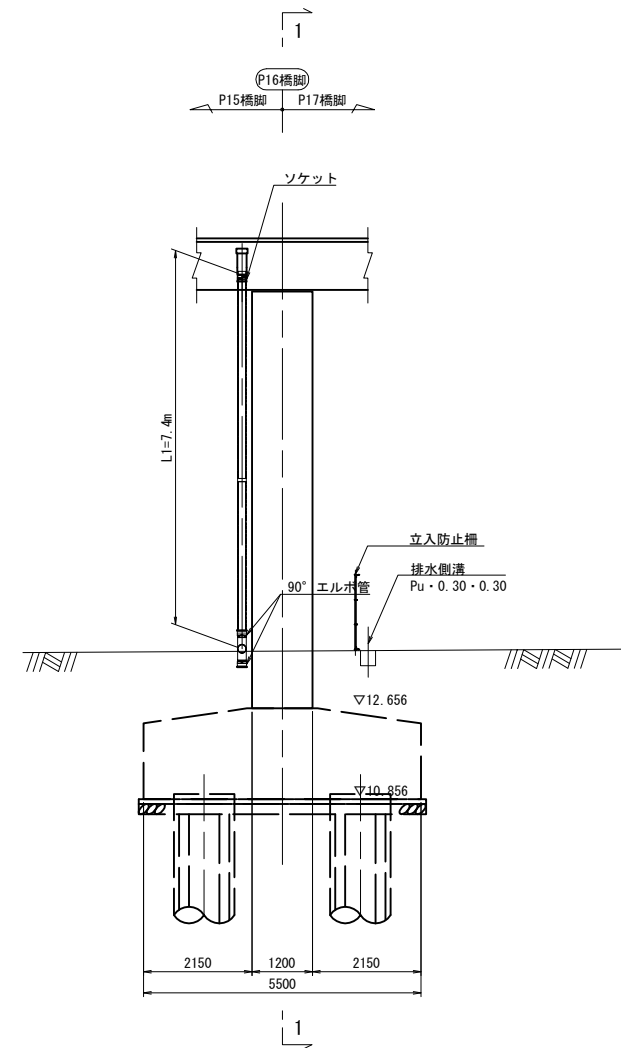
1 - 1



3 - 3

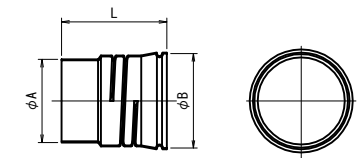


2 - 2



仮設排水管詳細図

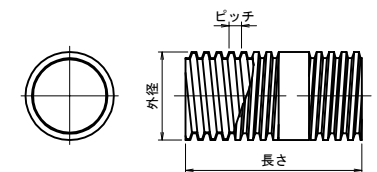
DV用ソケット



規 格	ϕA	ϕB	L
$\phi 200$	165	182	183

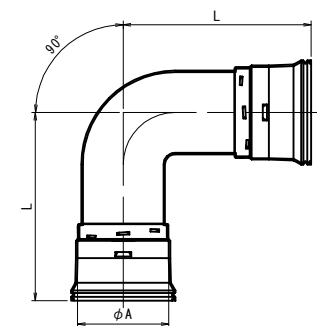
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



規 格	ϕA	L
$\phi 150$	181	373

(mm)

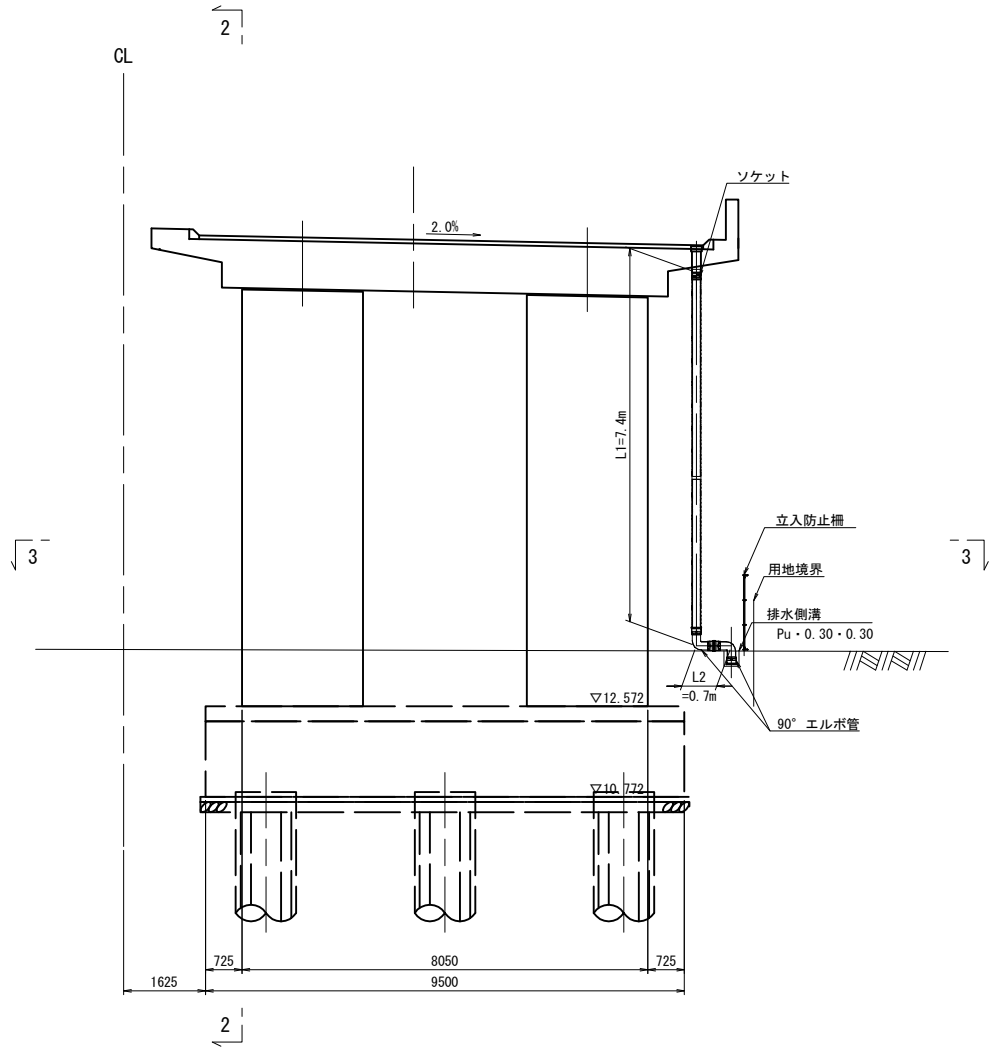
仮設排水管数量表

L1	L2	Σ L	90° エルボ管	ソケット
(m)	(m)	(m)	(個)	(個)
7.4	0.9	8.3	2	1

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大管根高架橋(上り線) P16橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮 尺	図示	図面番号	/
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名			
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市 原 管 理 事 務 所		

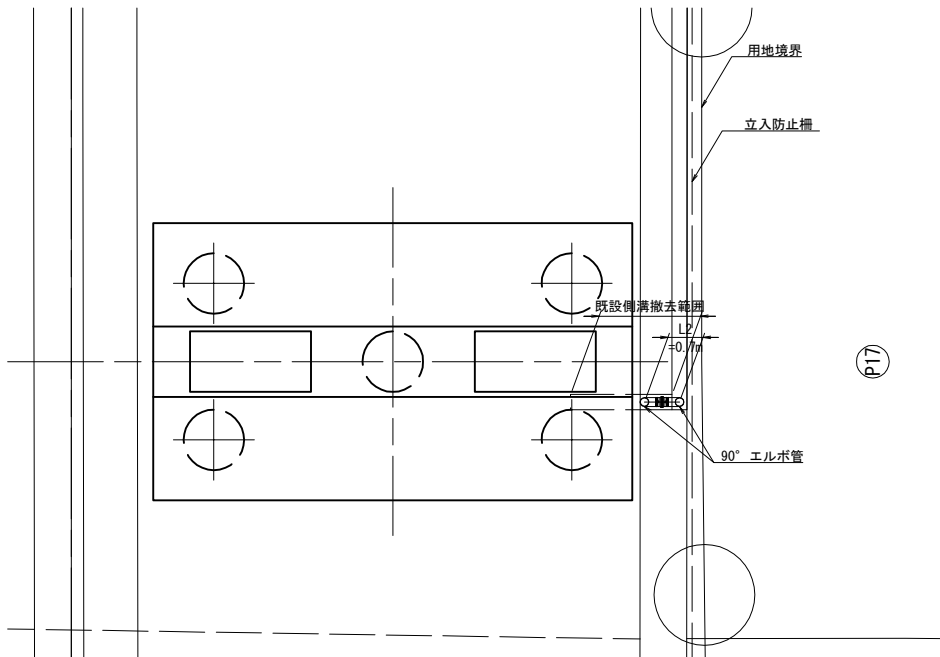
正面図

1 - 1



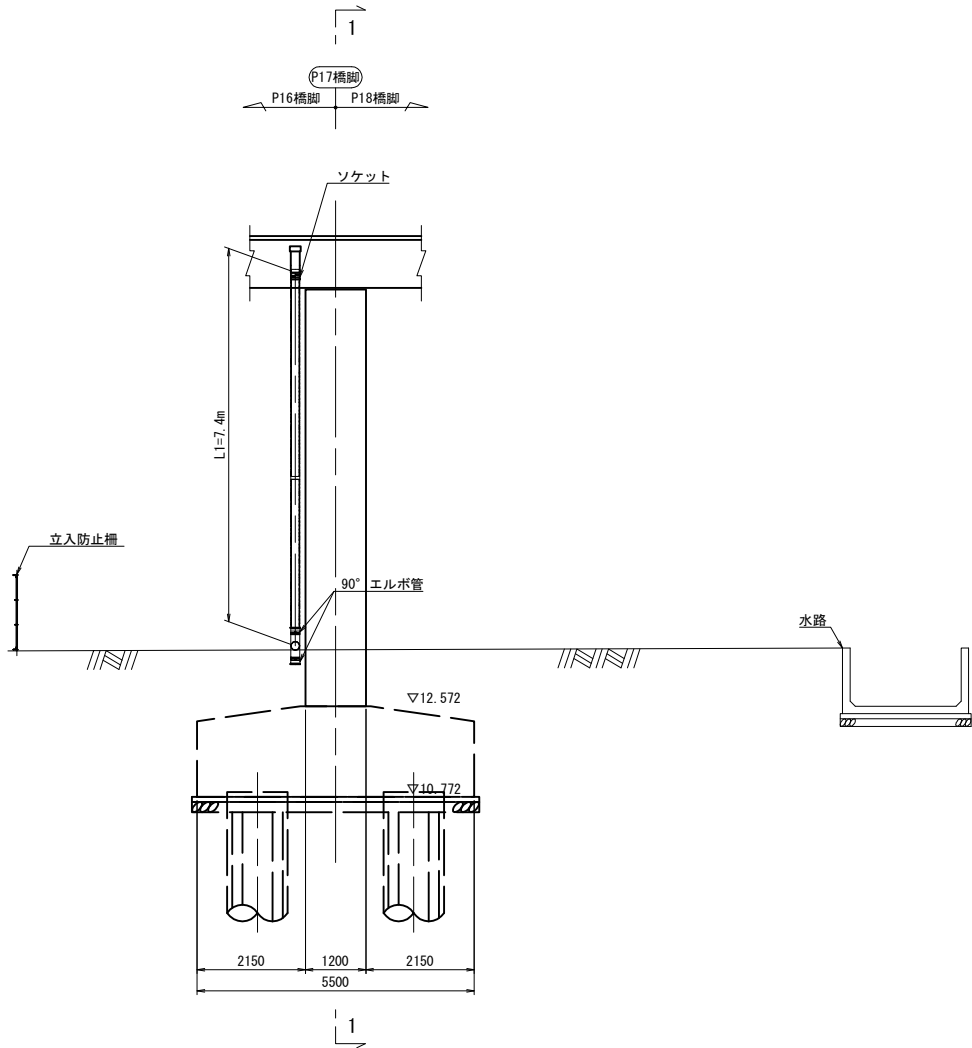
平面図

3 - 3



側面図

2 - 2

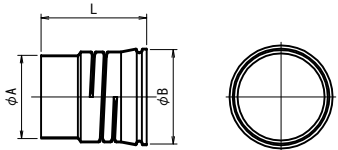


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
7.4	0.7	8.3	2	1

仮設排水管詳細図

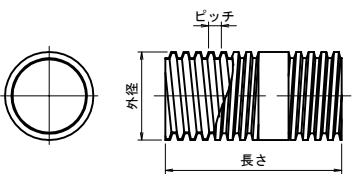
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

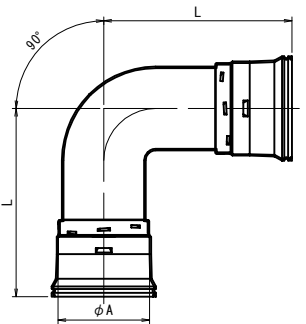
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼称径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



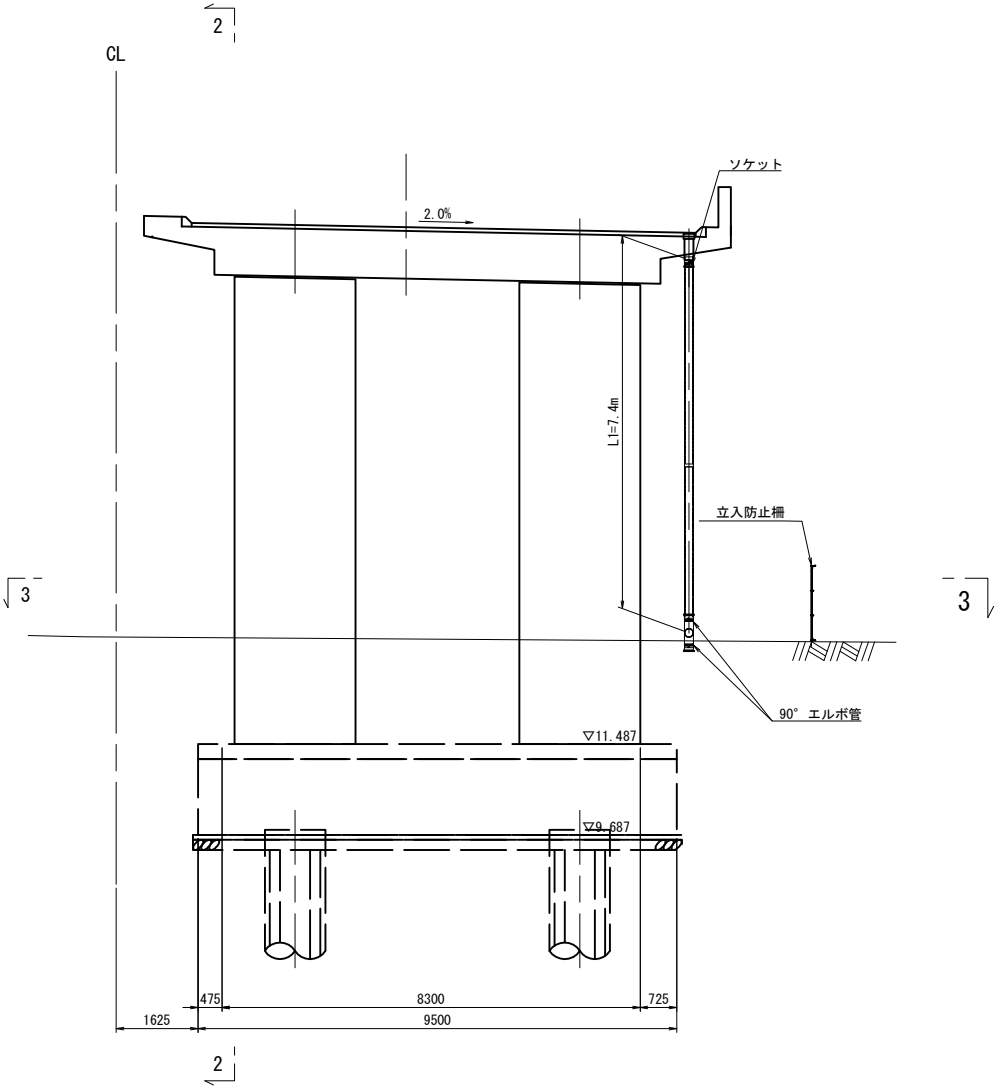
規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線)		
	P17橋脚 仮排水管設置図 (参考図)		
縮尺	図示	図面番号	／
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	株式会社 建設技術研究所		
事務所名	東日本高速道路株式会社 関東支社 市原管理事務所		

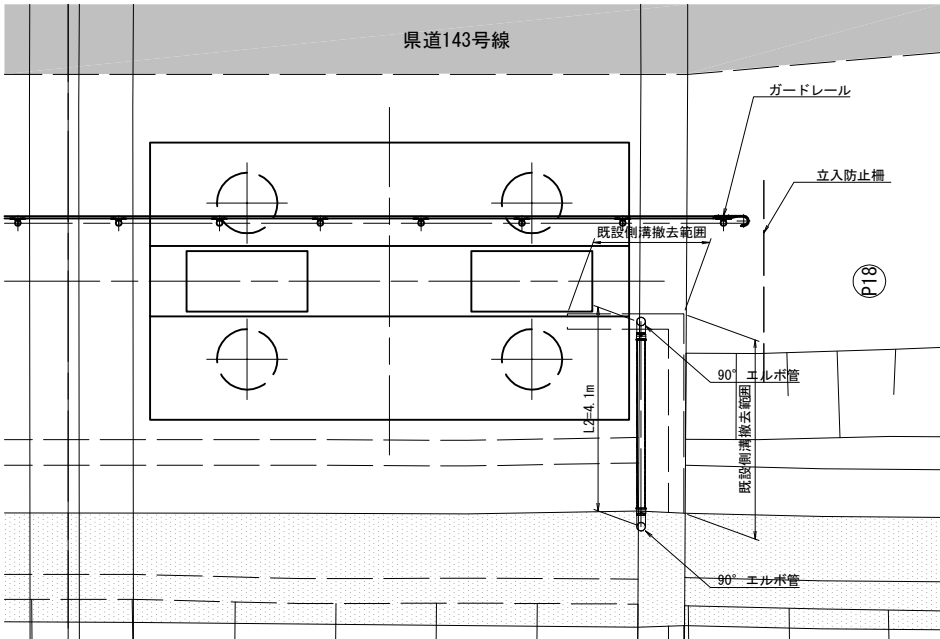
正面図

1 - 1



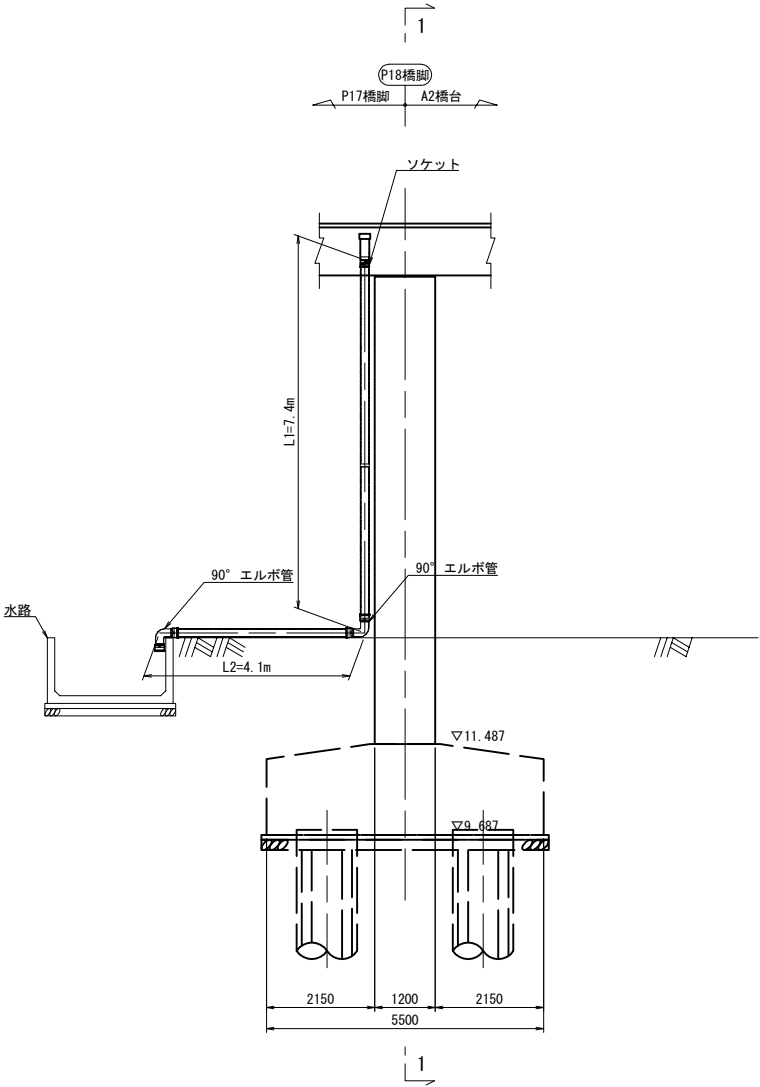
平面図

3 - 3



側面図

2 - 2

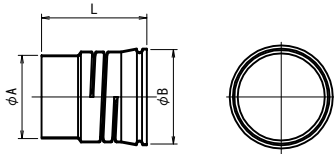


仮設排水管数量表

L1 (m)	L2 (m)	ΣL (m)	90° エルボ管 (個)	ソケット (個)
7.4	4.1	11.5	2	1

仮設排水管詳細図

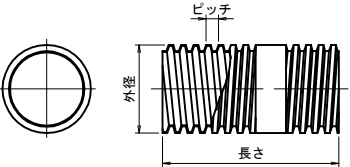
DV用ソケット



規格	φA	φB	L
φ200	165	182	183

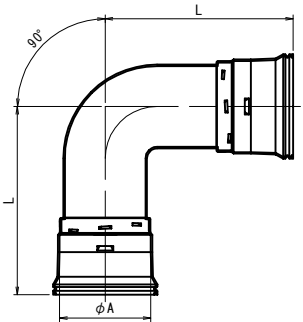
(mm)

高密度ポリエチレン管



規格	外径 (mm)	呼び径 (mm)	ピッチ (mm)	長さ (m)
φ150	175	150	25	4

90° エルボ管



規格	φA	L
φ150	181	373

(mm)

館山自動車道 豊成高架橋耐震補強工事			
図面の種類	大曽根高架橋(上り線) P18橋脚 仮排水管設置図(参考図)		
	縮尺	図示	図面番号
設計会社名	株式会社 建設技術研究所		
施工会社名	東日本高速道路株式会社 関東支社		
事務所名	市原 管 理 事 務 所		